

平成 30 年度
伊賀市まちづくりアンケート
(市 民 意 識 調 査)
調 査 結 果 報 告 書



2019 (令 和 元) 年 8 月
企画振興部総合政策課

【目 次】

I. 調査の概要	1
II. 回答者の属性（問 1 関係）	2
調査結果	
第 2 次伊賀市総合計画について（問 2 関係）	5
定住意識（問 3 関係）	7
市内公共交通について（問 4 ～ 6 関係）	11
くらしの現状について（問 7 関係）	21
各分野別施策の状況（問 8 ～ 9 関係）	39
健康・福祉の分野	41
生活・環境の分野	59
産業・交流の分野	73
生活基盤の分野	89
教育・人権の分野	99
文化・地域づくりの分野	115
計画の推進	131
伊賀市まちづくりアンケート記述意見一覧	147
□資料	167

伊賀市まちづくりアンケート調査票

I. 調査の概要

1. 調査目的

第2次再生計画では、それぞれの施策について、市民のみなさんや地域、各種団体のみなさんと一緒に取り組みを進めることとしています。このアンケート調査は、「ひとが輝く 地域が輝く 伊賀市」を実現するために、市民のみなさんが普段の生活で感じられていること、お気づきになられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりの参考とするものです。

2. 調査内容

- ① 第2次伊賀市総合計画の認知度についての質問
- ② 市民のみなさんの定住意識についての質問
- ③ 市内公共交通についての質問
- ④ 暮らしの現状に関する11の項目について、「はい」から「関心がない」までの6段階で質問
- ⑤ 第2次伊賀市総合計画第2次再生計画に掲げる47項目の施策について、現状を市民のみなさんの実感に基づき、「満足」から「関心がない」までの6段階で質問
- ⑥ 今後、伊賀市が魅力的なまちであるために、第2次伊賀市総合計画第2次再生計画に掲げる47項目の施策について、重要度を「重要」から「重要でない」までの4段階で質問
- ⑦ まちづくりへの市民参加に関する45項目について、「当てはまる」から「関心がない」までの6段階で質問

3. 調査仕様

- | | |
|---------|------------------------|
| (1)調査地域 | 伊賀市全域 |
| (2)調査対象 | 伊賀市在住の18歳以上の市民2, 222人 |
| (3)抽出方法 | 住民基本台帳に登録されている方から無作為抽出 |
| (4)調査方法 | 無記名式質問紙調査 |

4. 調査期間

2019(平成31)年2月13日～2019(平成31)年3月7日

5. 回収率

- | | |
|----------|---------|
| (1)対象者数 | 2, 222人 |
| (2)有効回収数 | 896件 |
| (3)有効回収率 | 40. 3% |

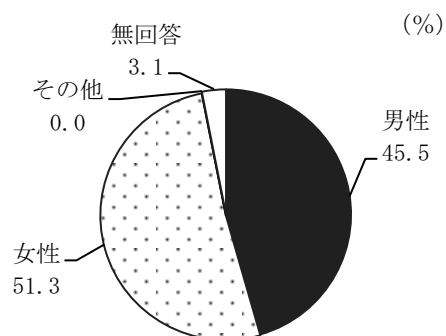
6. その他

・調査結果はパーセンテージで表しており、小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ. 回答者の属性（問 1 関係）

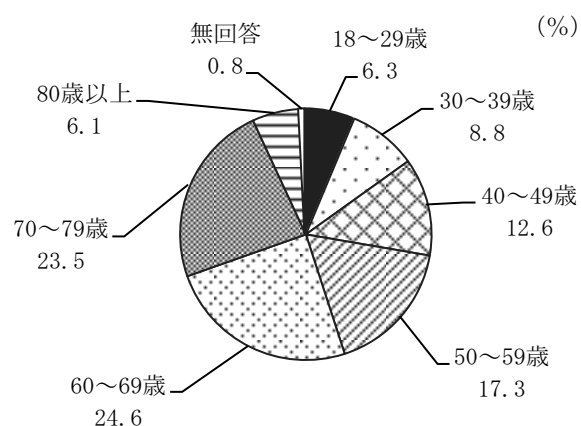
(1) 性別

	回答数	比率(%)
1. 男性	408	45.5
2. 女性	460	51.3
3. その他	0	0.0
4. 無回答	28	3.1
N値	896	100.0



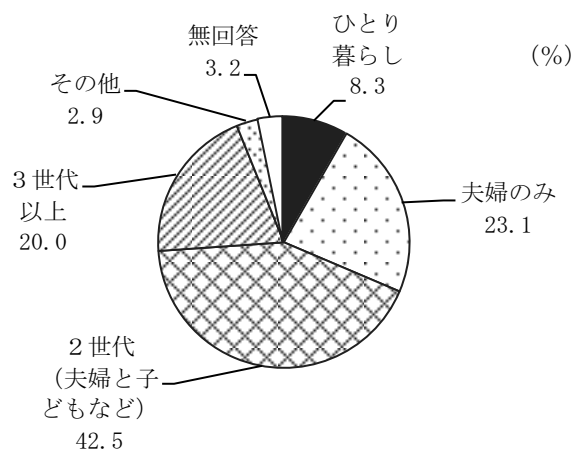
(2) 年齢

	回答数	比率(%)
1. 18～29歳	56	6.3
2. 30～39歳	79	8.8
3. 40～49歳	113	12.6
4. 50～59歳	155	17.3
5. 60～69歳	220	24.6
6. 70～79歳	211	23.5
7. 80歳以上	55	6.1
8. 無回答	7	0.8
N値	896	100.0



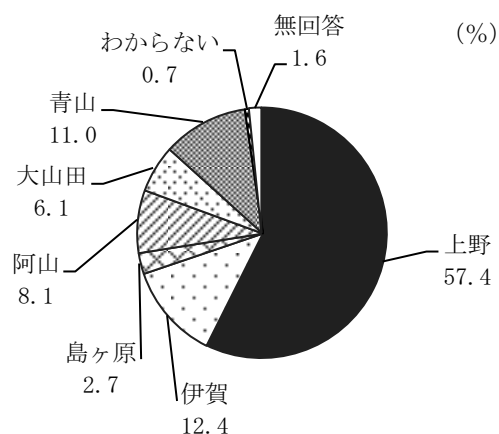
(3) 世帯構成

	回答数	比率(%)
1. ひとり暮らし	74	8.3
2. 夫婦のみ	207	23.1
3. 2世代(夫婦と子どもなど)	381	42.5
4. 3世代以上	179	20.0
5. その他	26	2.9
6. 無回答	29	3.2
N値	896	100.0



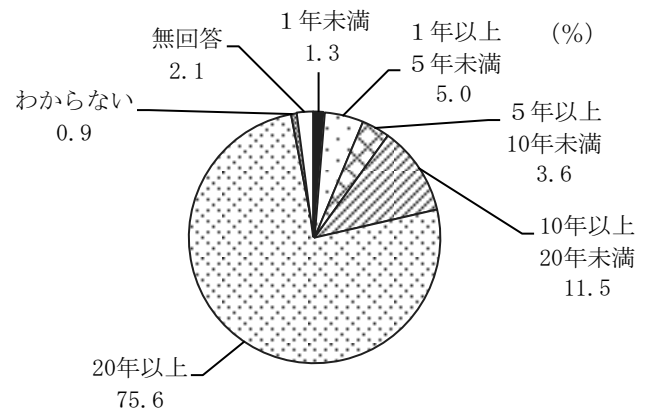
(4) 居住地区

	回答数	比率(%)
1. 上野	514	57.4
2. 伊賀	111	12.4
3. 島ヶ原	24	2.7
4. 阿山	73	8.1
5. 大山田	55	6.1
6. 青山	99	11.0
7. わからない	6	0.7
8. 無回答	14	1.6
N値	896	100.0



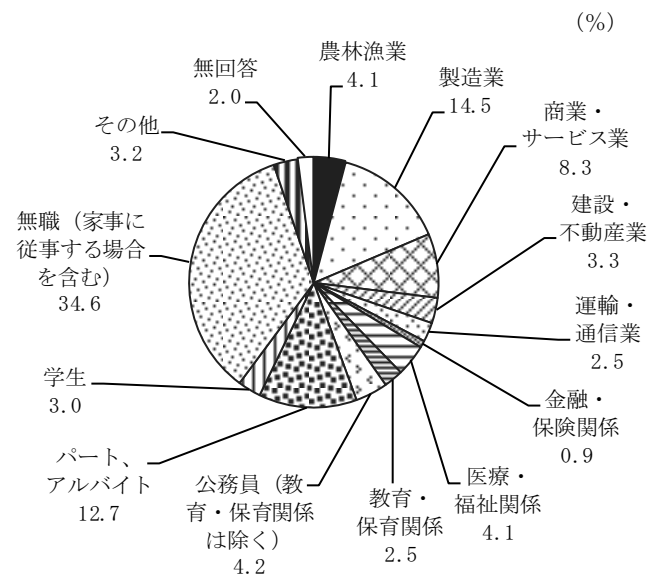
(5) 居住年数

	回答数	比率(%)
1. 1年未満	12	1.3
2. 1年以上5年未満	45	5.0
3. 5年以上10年未満	32	3.6
4. 10年以上20年未満	103	11.5
5. 20年以上	677	75.6
6. わからない	8	0.9
7. 無回答	19	2.1
N値	896	100.0



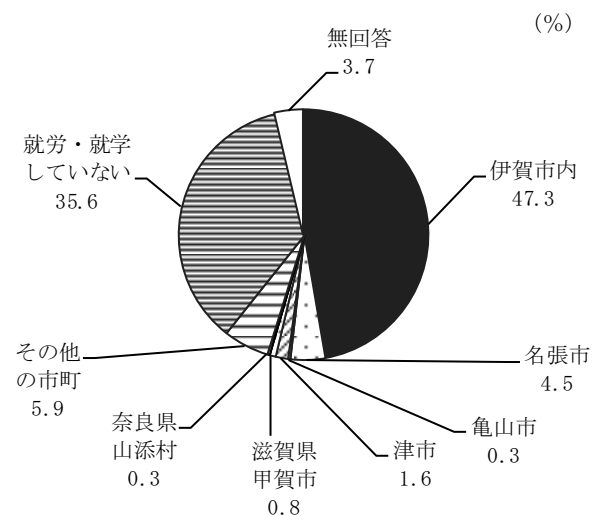
(6) 職業

	回答数	比率(%)
1. 農林漁業	37	4.1
2. 製造業	130	14.5
3. 商業・サービス業	74	8.3
4. 建設・不動産業	30	3.3
5. 運輸・通信業	22	2.5
6. 金融・保険関係	8	0.9
7. 医療・福祉関係	37	4.1
8. 教育・保育関係	22	2.5
9. 公務員(教育・保育関係は除く)	38	4.2
10. パート、アルバイト	114	12.7
11. 学生	27	3.0
12. 無職(家事に従事する場合を含む)	310	34.6
13. その他	29	3.2
14. 無回答	18	2.0
N値	896	100.0



(7) 就労・就学先

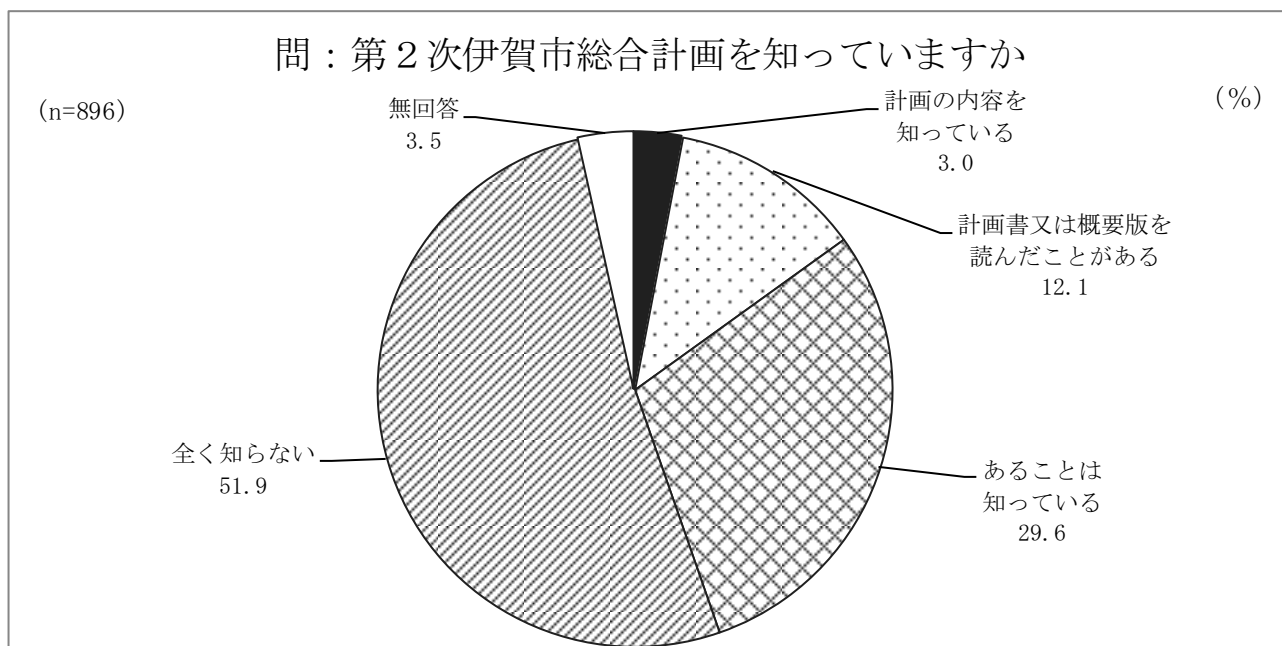
	回答数	比率(%)
1. 伊賀市内	424	47.3
2. 名張市	40	4.5
3. 亀山市	3	0.3
4. 津市	14	1.6
5. 滋賀県甲賀市	7	0.8
6. 京都府南山城村	0	0.0
7. 京都府笠置町	0	0.0
8. 奈良県山添村	3	0.3
9. その他の市町	53	5.9
10. 就労・就学していない	319	35.6
11. 無回答	33	3.7
N値	896	100.0



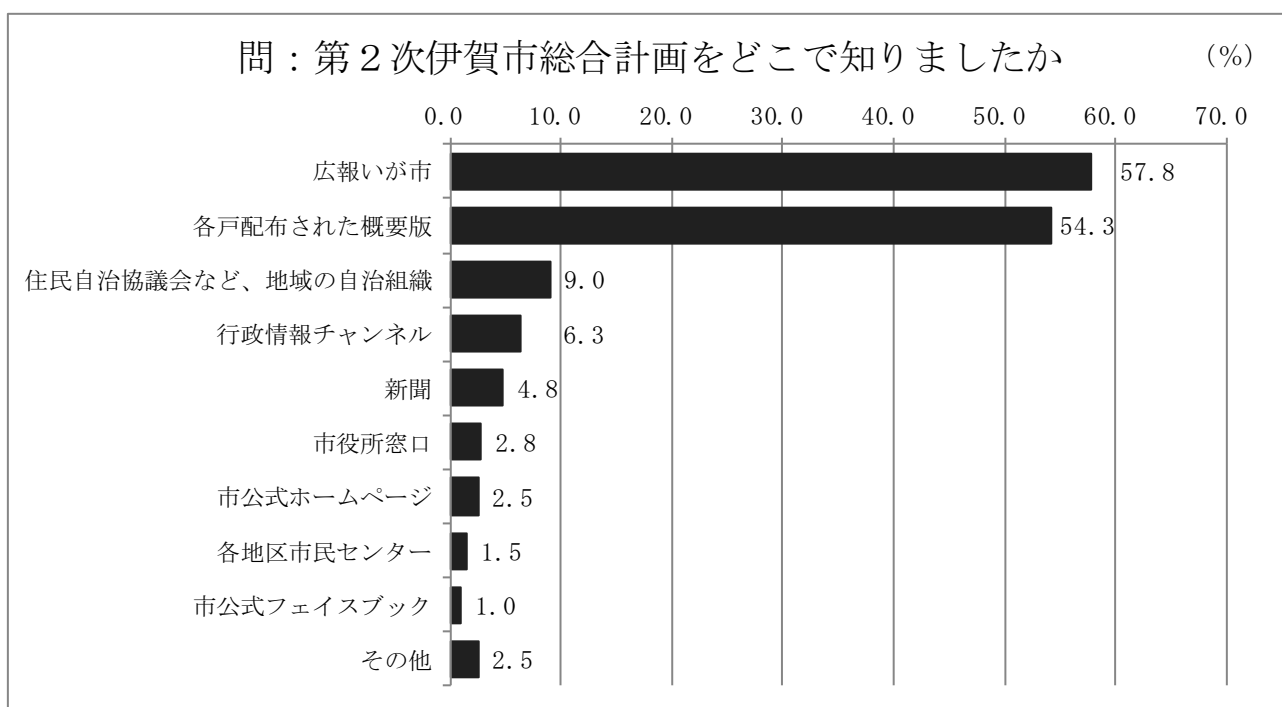
第2次伊賀市総合計画について

（ 問2関係 ）

第2次伊賀市総合計画の認知度については、「計画の内容を知っている」(3.0%)、「計画書又は概要版を読んだことがある」(12.1%)と答えた人の割合は 15.1%となっています。一方、「全く知らない」(51.9%)と答えた人の割合は、5割を上回っています。



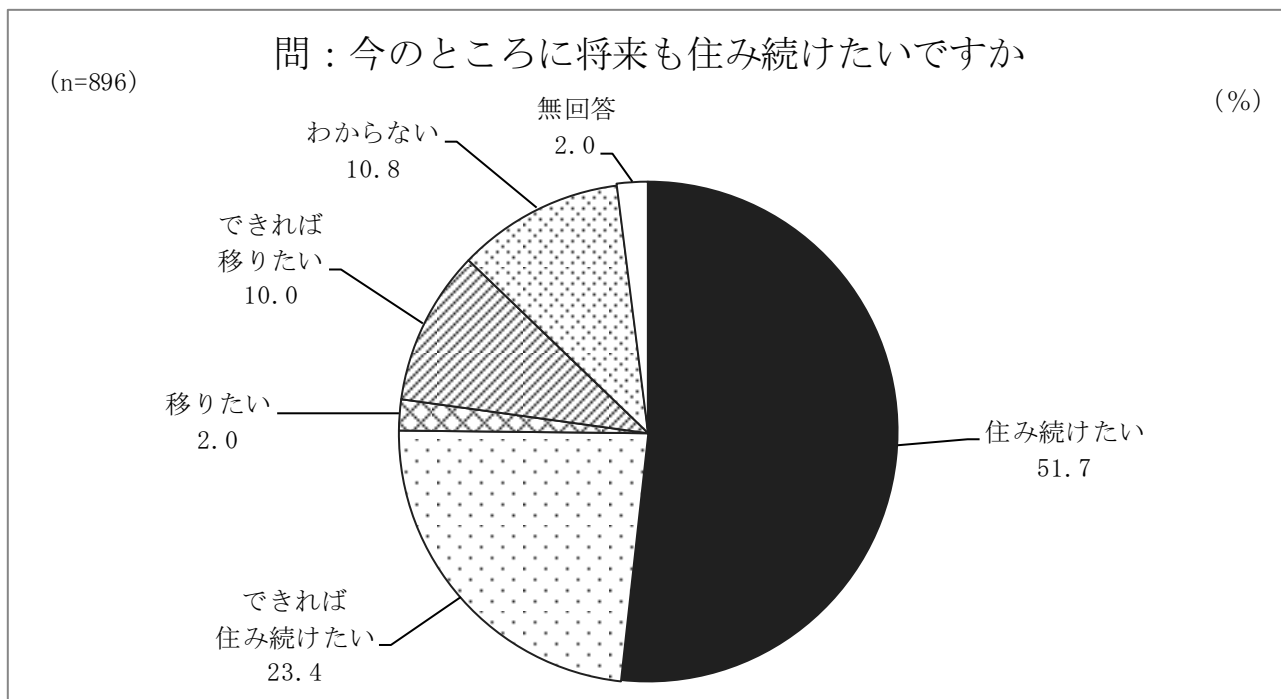
「計画の内容を知っている」、「計画書又は概要版を読んだことがある」、「計画書があることは知っている」と答えた人が、第2次伊賀市総合計画をどこで知り得たかについては、「広報いが市」と答えた人の割合が最も多く、57.8%になっています。次いで、「各戸配布された概要版」と答えた人の割合が、54.3%となっています。一方、「行政情報チャンネル」(6.3%)や「市公式ホームページ」(2.5%)など他の手段については、それぞれ1割に満たない状況であることから、紙媒体による各戸配布が計画周知における重要な一役を担っていることがうかがえます。



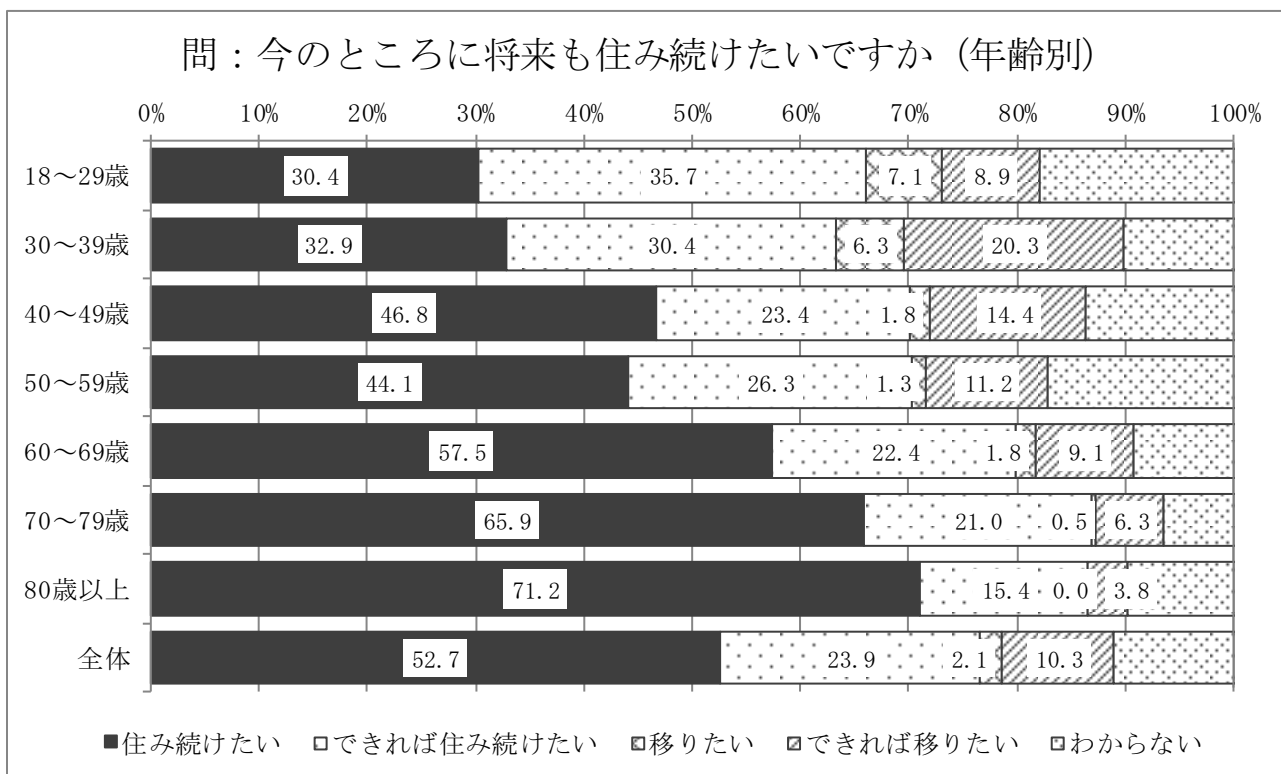
定住意識

(問 3 関係)

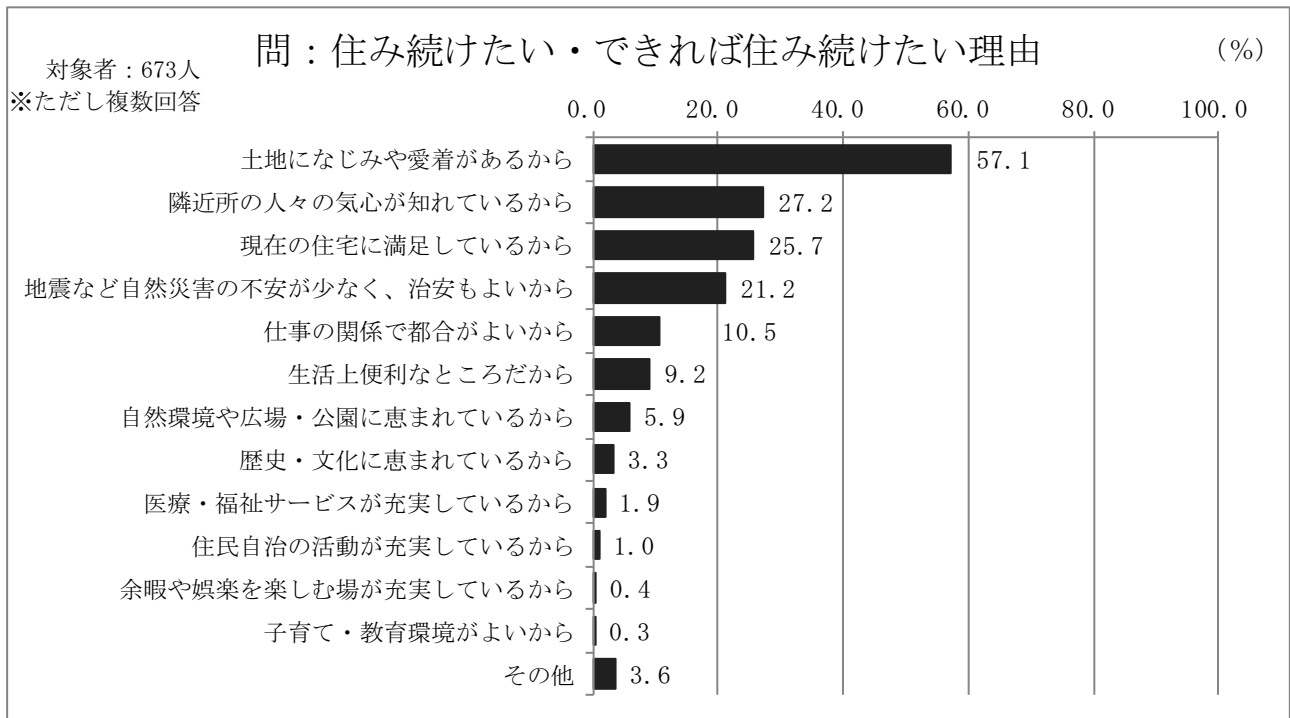
今のところに将来も「住み続けたい」(51.7%)、「できれば住み続けたい」(23.4%)と答えた人の割合は、75.1%になっています。一方、「移りたい」(2.0%)、「できれば移りたい」(10.0%)と答えた人の割合は、12.0%となっており、全体的に定住意識が高くなっています。



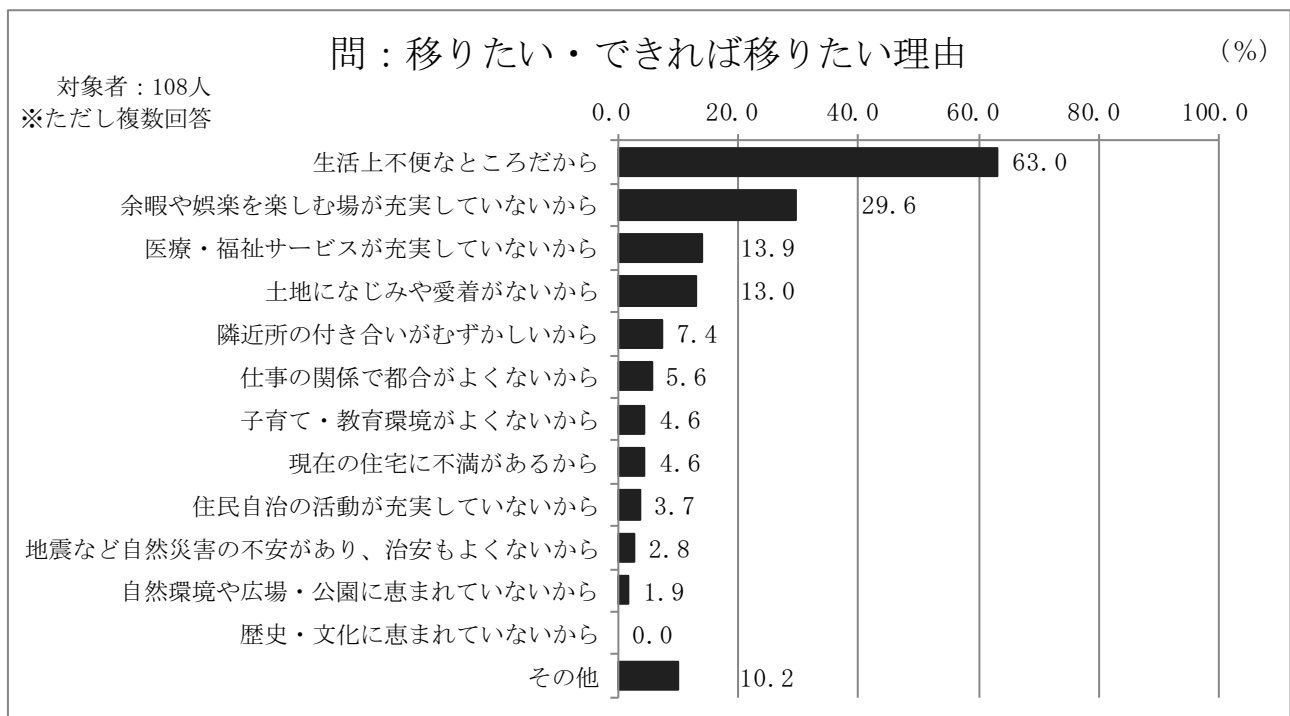
年齢別では、年齢が高くなるほど「住み続けたい」と答えた人の割合が、高い傾向にあります。また、「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」と答えた人の割合が、全ての年齢層で6割を上回っており、特に70歳以上では8割を上回っています。



『住み続けたい』理由については、「土地になじみや愛着があるから」(57.1%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「隣近所の人々の気心が知れているから」(27.2%)、「現在の住宅に満足しているから」(25.7%)と続き、住みなれた土地、地域、住宅への愛着や満足度の高さが理由であることがうかがえます。



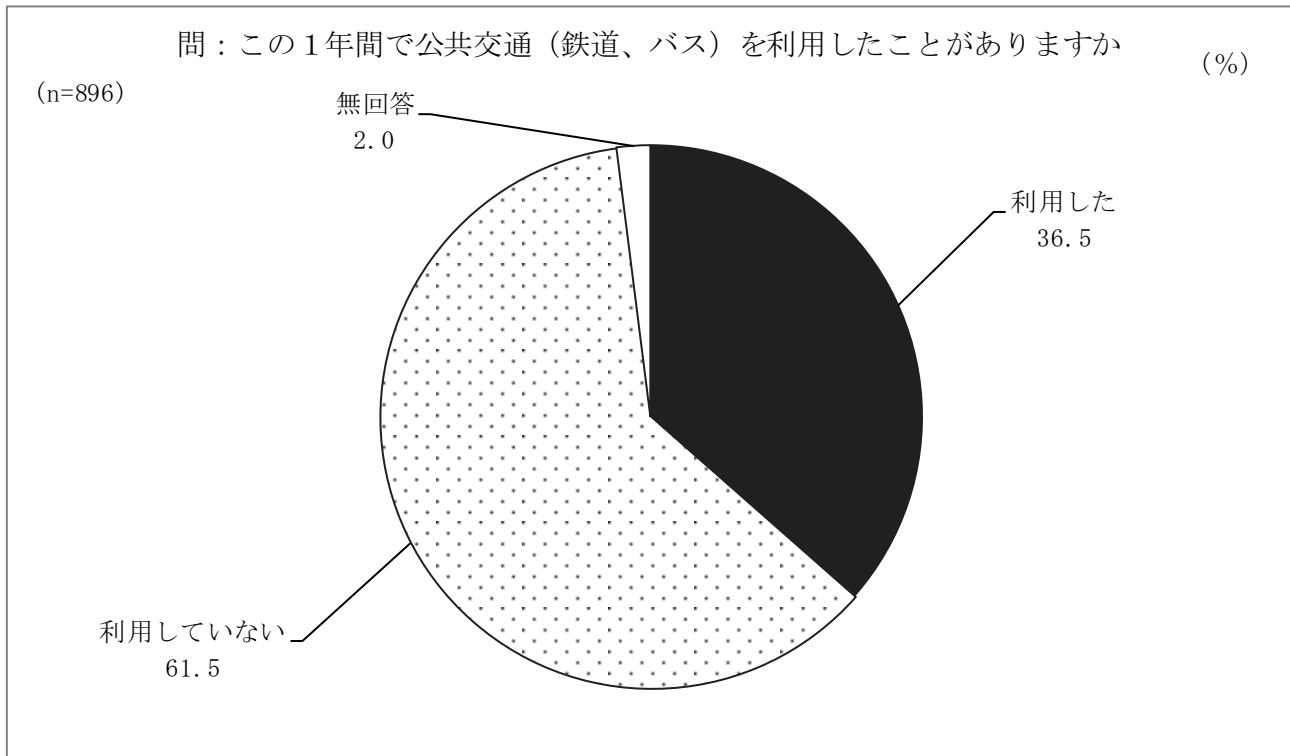
『移りたい』理由については、「生活上不便なおところだから」(63.0%)と答えた人の割合が最も高くなっています。次いで、「余暇や娯楽を楽しむ場が充実していないから」(29.6%)と続き、生活の不便さに加え、余暇や娯楽を楽しむ場の満足度の低さが理由であることがうかがえます。



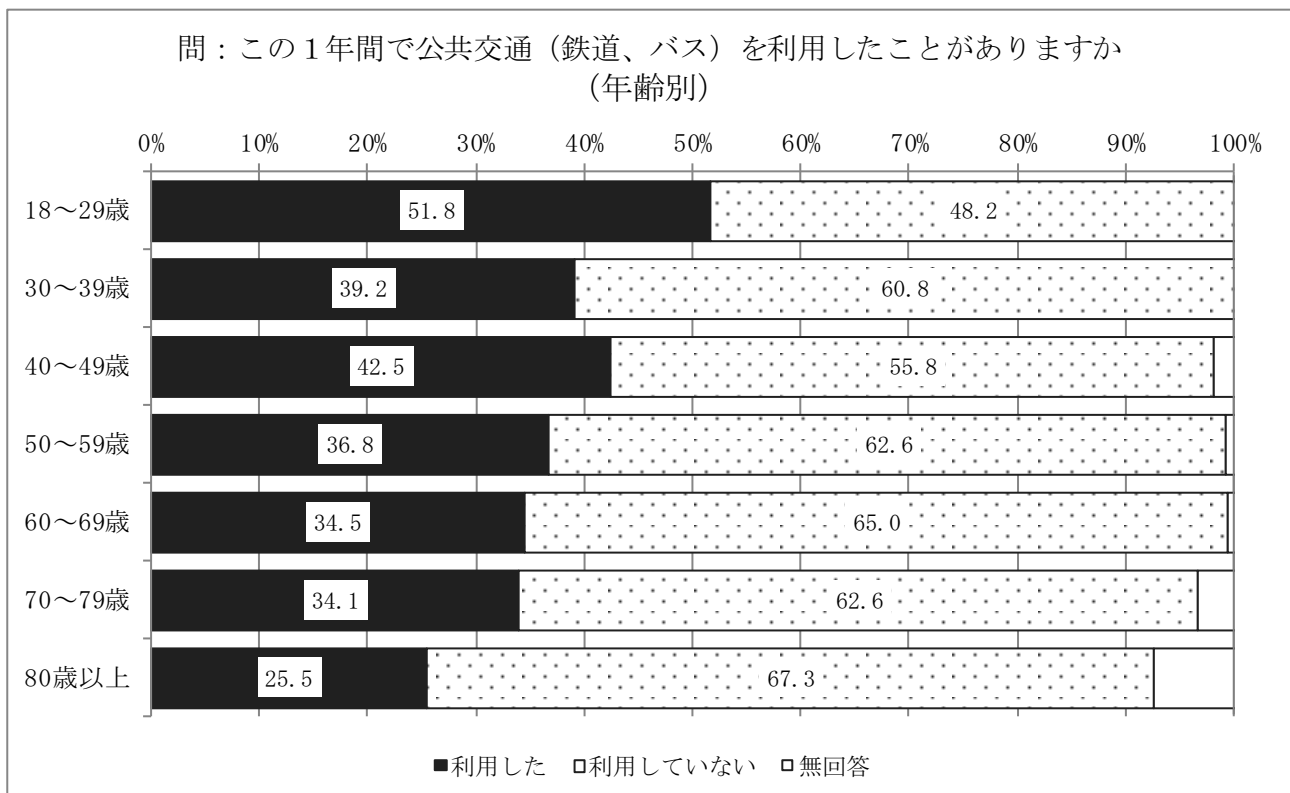
市内公共交通について

(問 4 ～ 6 関係)

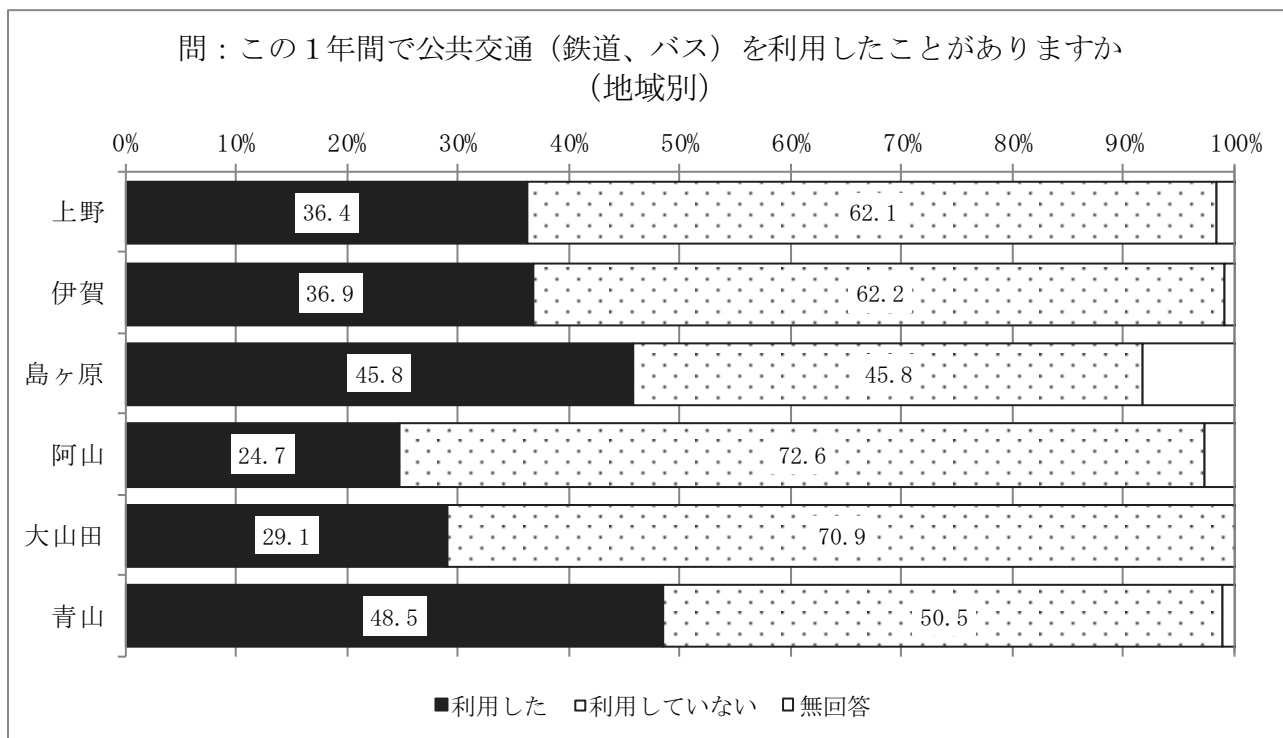
この1年間で市内の鉄道とバスを、「利用した」と答えた人の割合は、36.5%となっています。「利用していない」と答えた人の割合は、61.5%となっています。



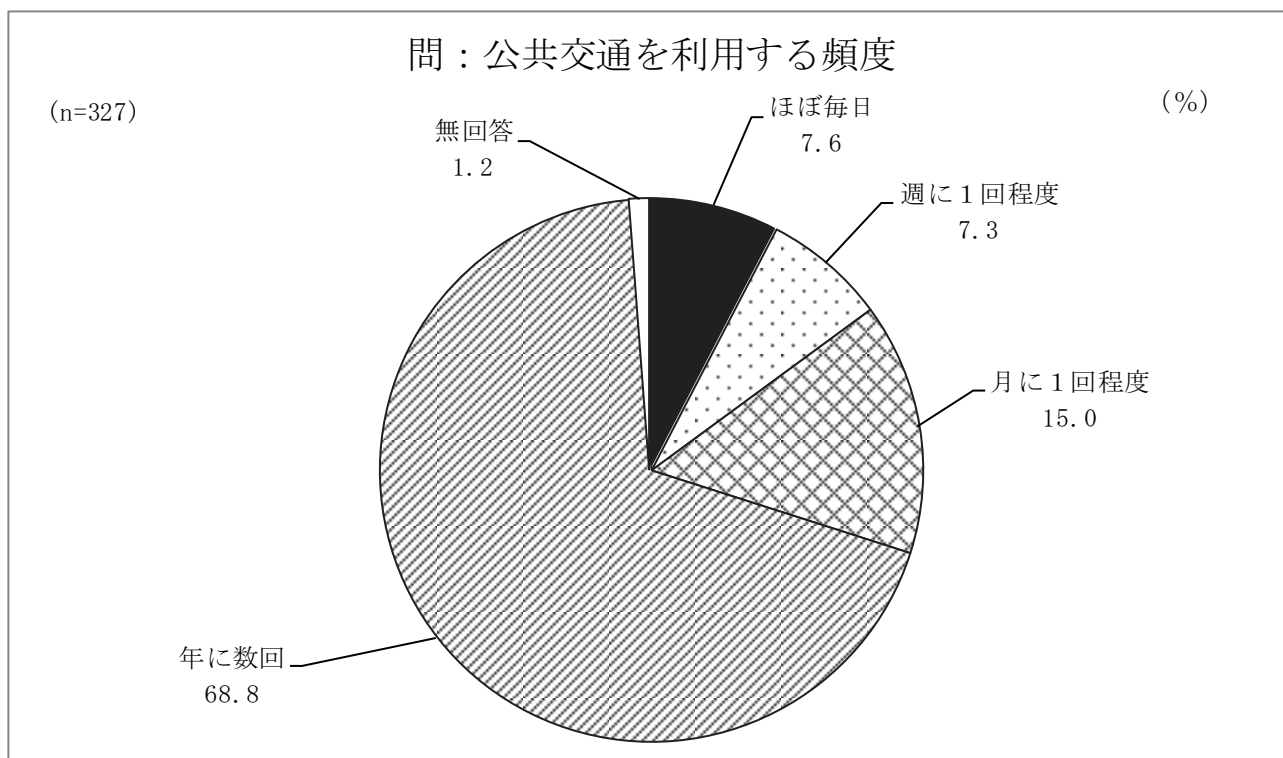
年齢別の利用状況では、「18～29歳」(51.8%)が最も高く、他の年齢層では、おおよそ4割が利用していますが、年齢が高くなるほど「利用していない」割合が高くなっています。



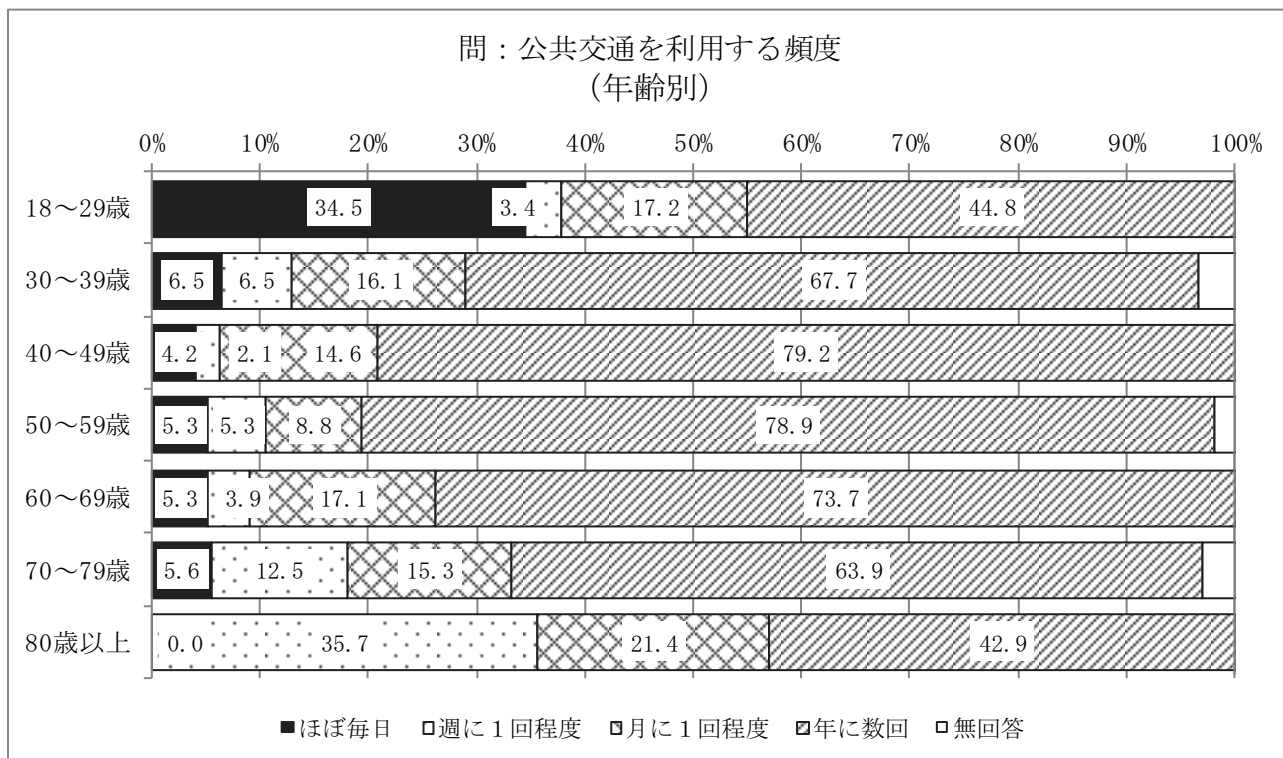
地域別では、「利用した」と答えた人の割合は、「島ヶ原」(45.8%)、「青山」(48.5%)が高く、「利用していない」と答えた人の割合は、「阿山」(72.6%)、「大山田」(70.9%)が高くなっています。



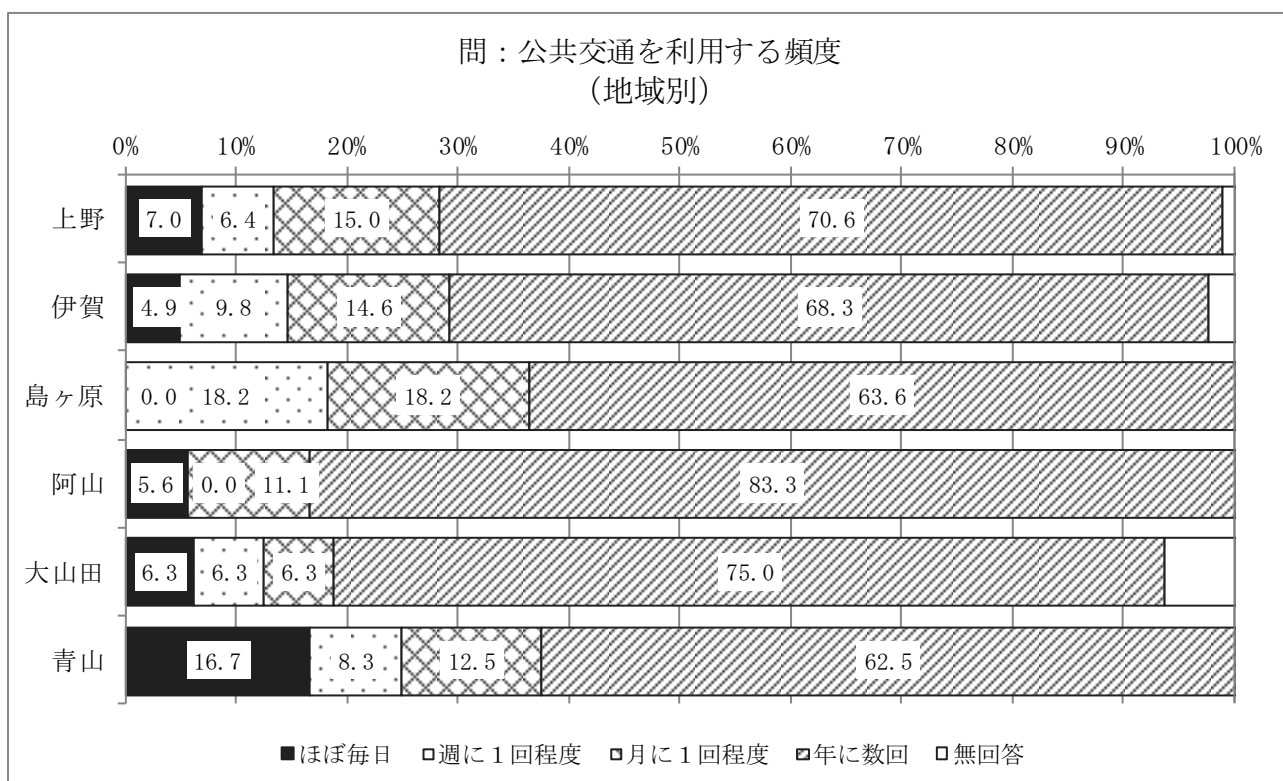
公共交通を利用する頻度では、「年に数回」利用すると答えた人の割合は、68.8%と高くなっています。一方、「ほぼ毎日」(7.6%)、「週に1回程度」(7.3%)と答えた人の割合は 14.9%と低くなっています。



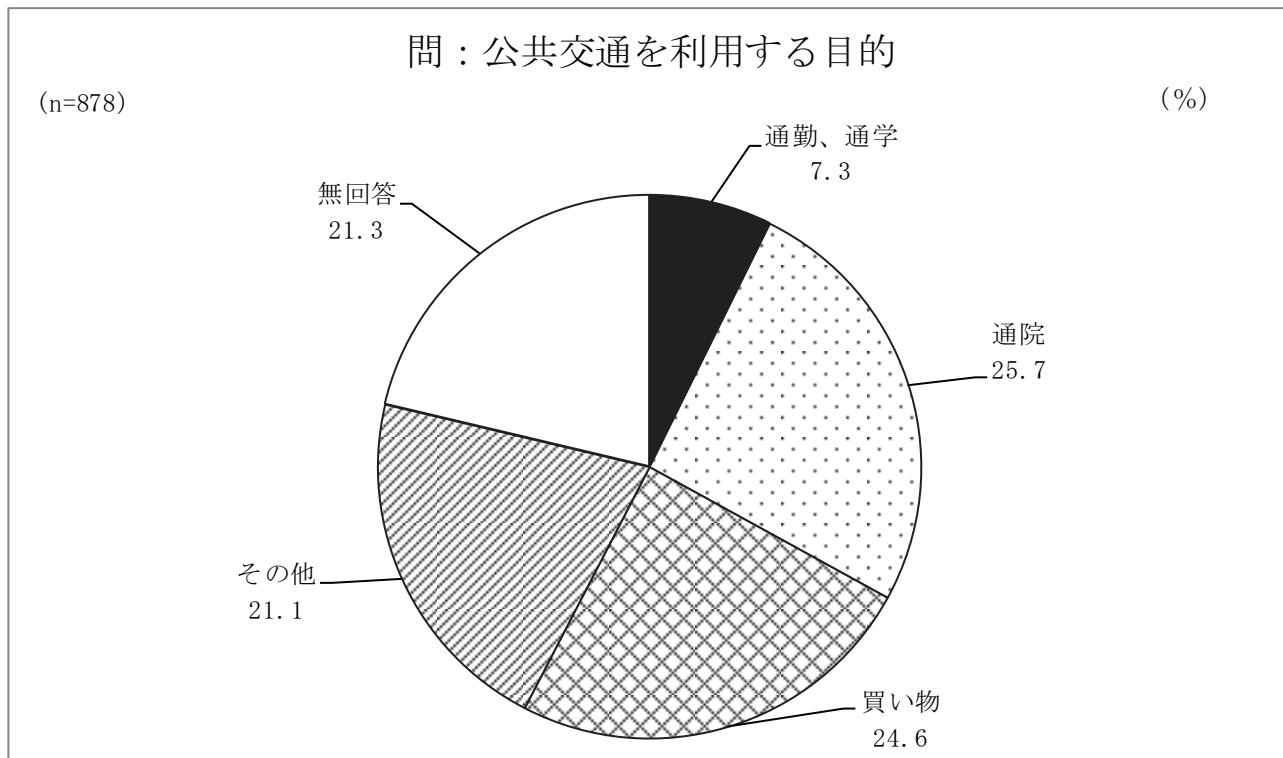
年齢別では、「ほぼ毎日」利用と答えた人の割合は、「18～29歳」で34.5%に上る一方、他の年齢層では1割に満たず、大きな差がみられます。



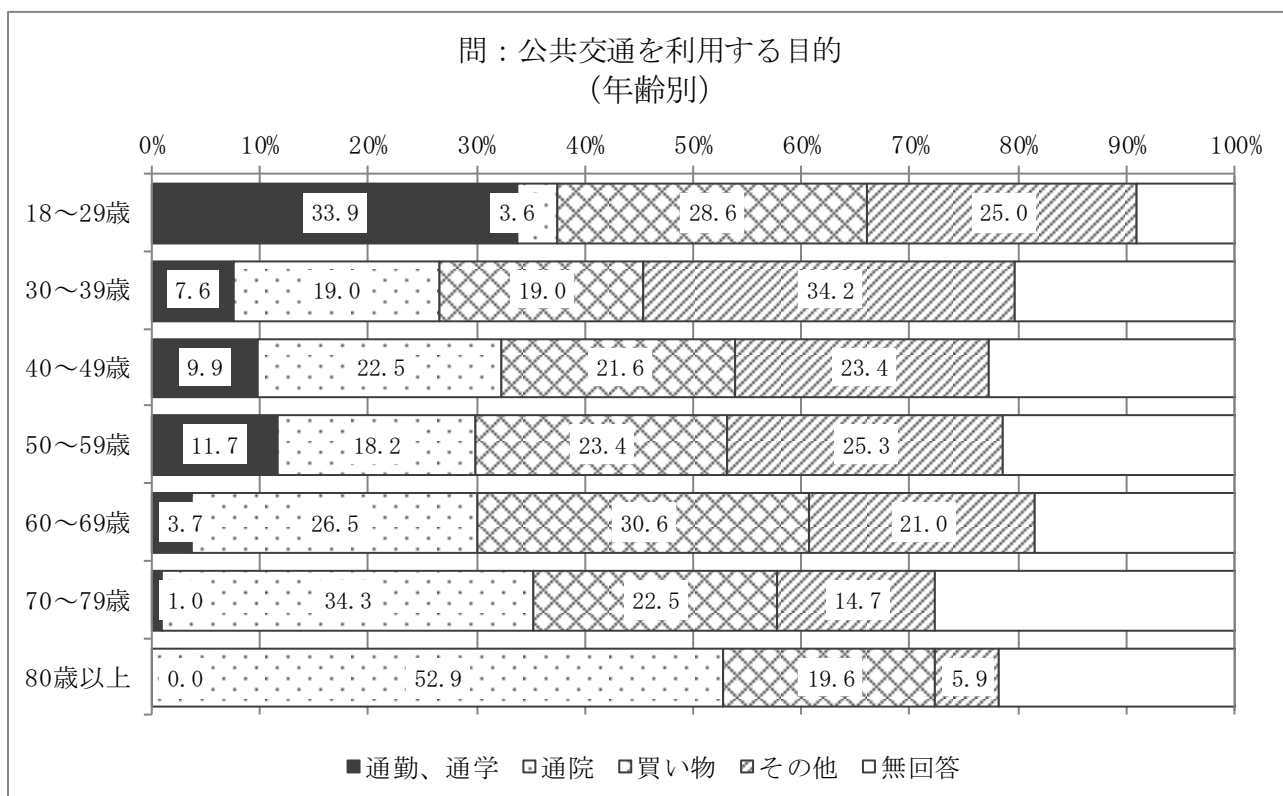
地域別では、「ほぼ毎日」「週に1回程度」と答えた人の割合は、「青山」(25.0%)が最も高くなっています。一方、その他の地域では、2割を下回っています。



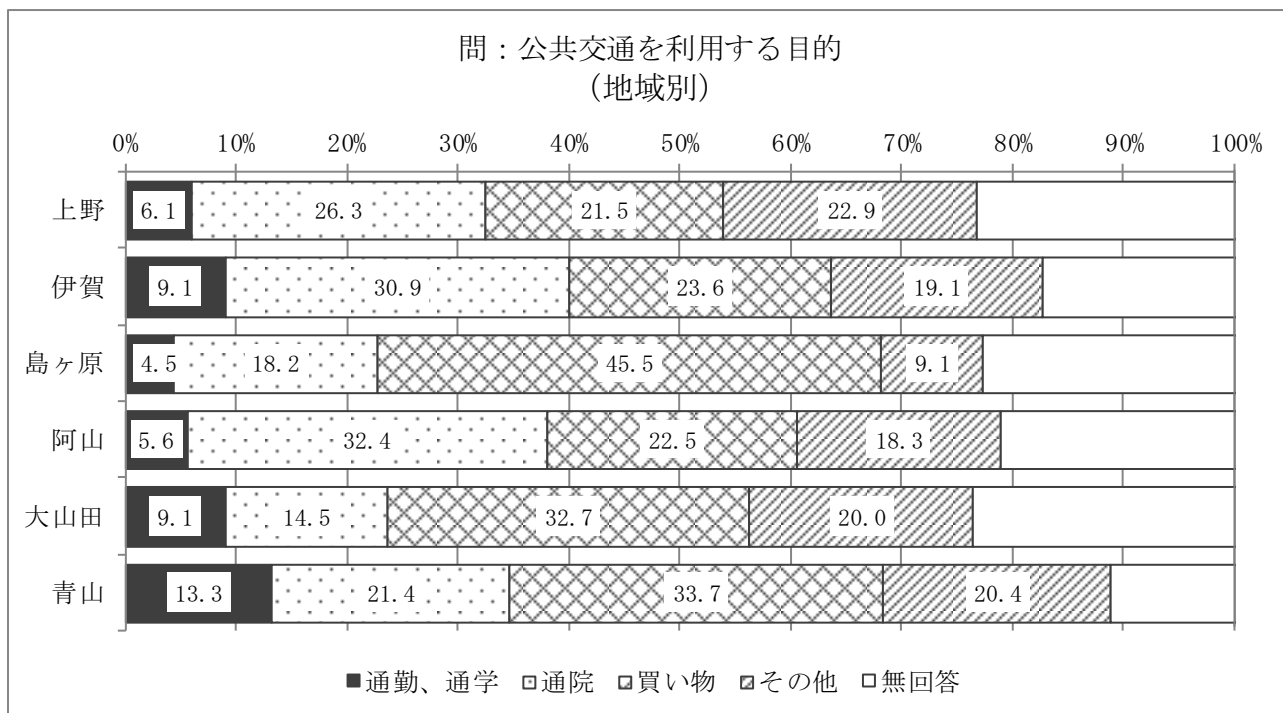
公共交通を利用する目的としては、「通院」(25.7%)が最も高く、次いで「買い物」(24.6%)、「通勤、通学」(7.3%)となっています。



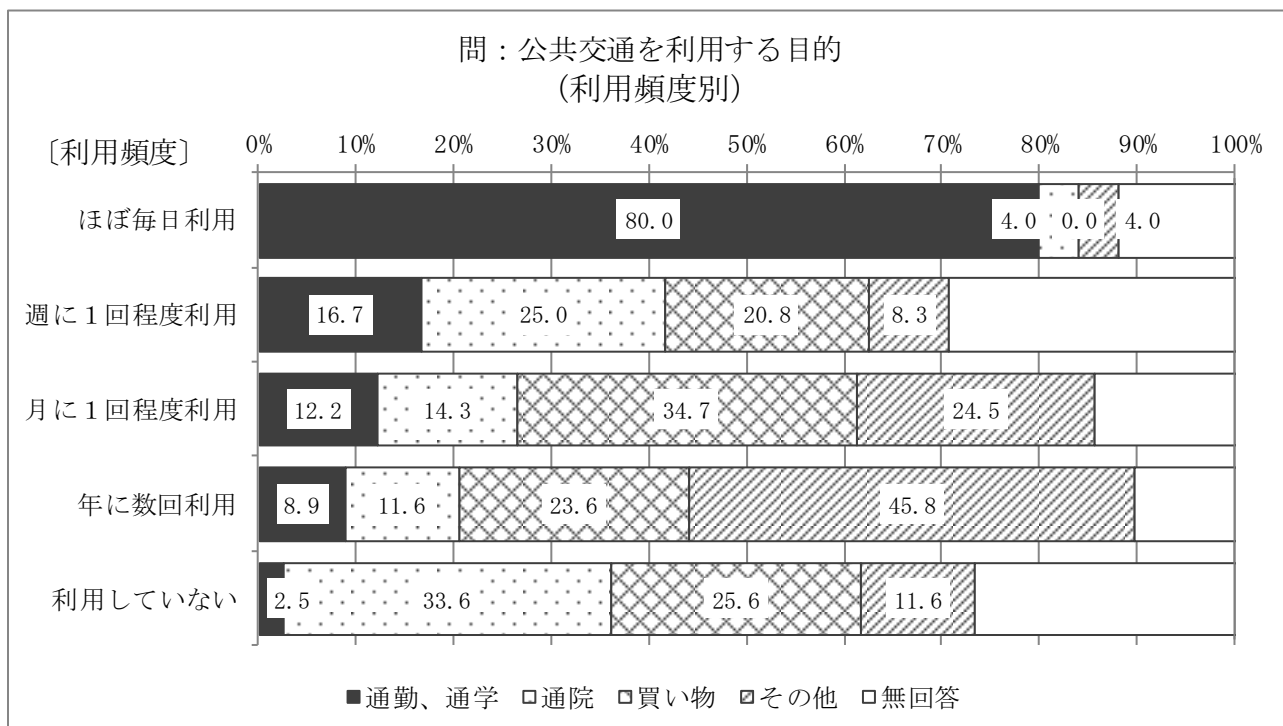
年齢別では、「18～29歳」で「通勤、通学」と答えた人の割合は、33.9%に上り、年齢が高くなるとともに「通院」と答えた人の割合は、高くなっています。



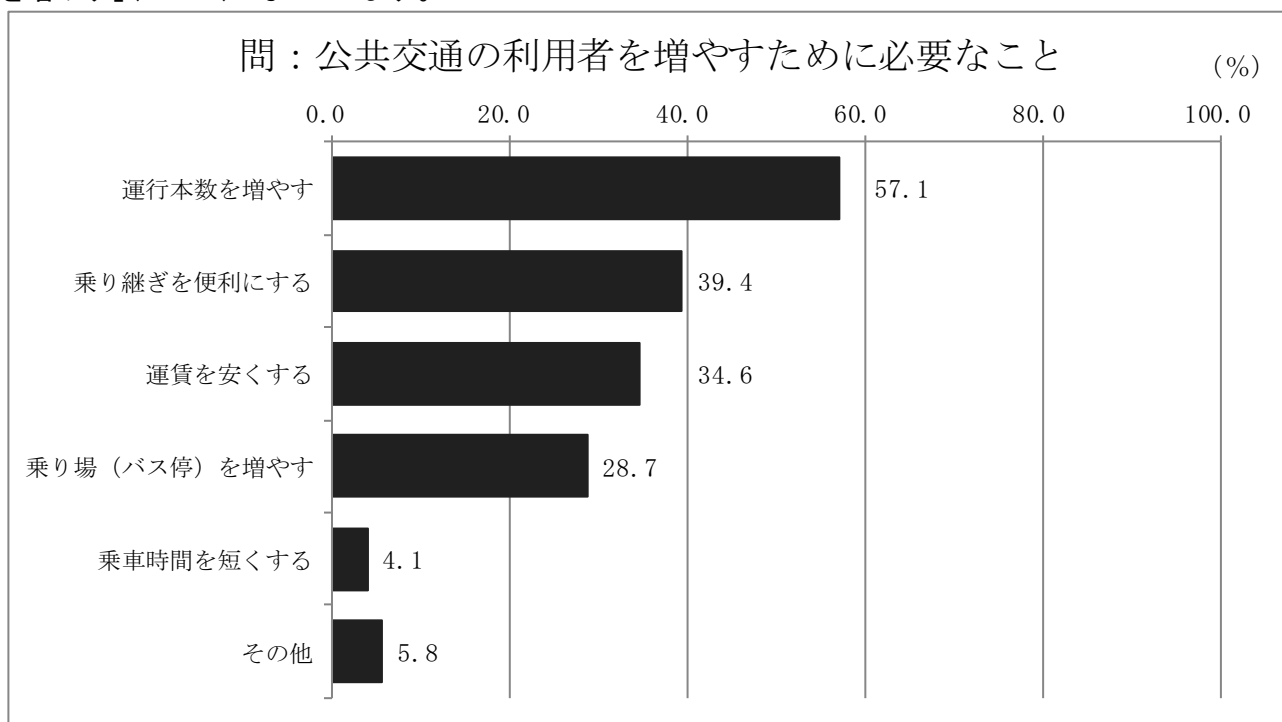
地域別では、「通勤、通学」と答えた人の割合は、「青山」(13.3%)が最も高く、「通院」と答えた人の割合は、「伊賀」(30.9%)、「阿山」(32.4%)と3割を上回っています。また、「買い物」と答えた人の割合は、「島ヶ原」(45.5%)と高くなっています。



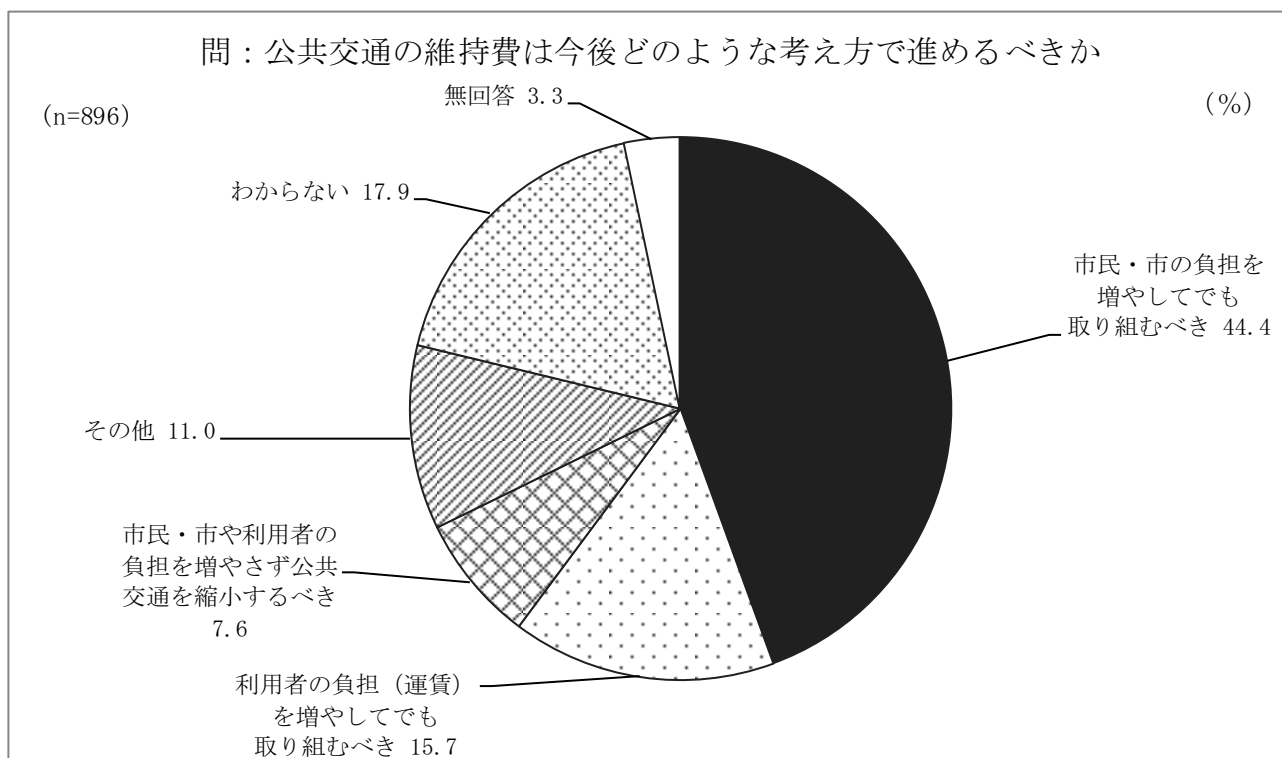
利用頻度別では、「ほぼ毎日利用」と答えた人の割合は、「通勤、通学」(80.0%)、「週に1回程度利用」と答えた人の割合は、「通院」(25.0%)、「月に1回程度利用」と答えた人の割合は、「買い物」(34.7%)が高くなっています。また、「利用していない」と答えた人が、将来、公共交通を「通院」(33.6%)、「買い物」(25.6%)に利用すると答えています。



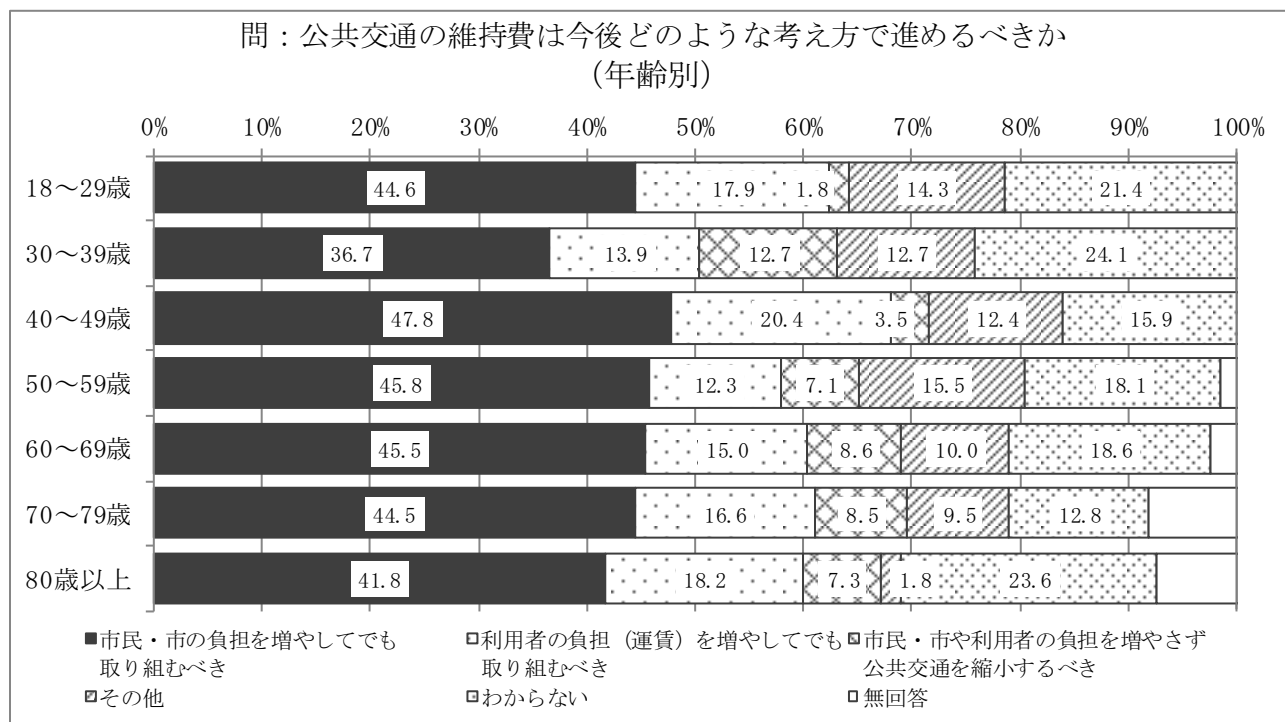
公共交通の利便性を向上させるには、「運行本数を増やす」と答えた人の割合は、57.1%と最も高い結果となっています。次いで、「乗り継ぎを便利にする」(39.4%)、「運賃を安くする」(34.6%)、「乗り場(バス停)を増やす」(28.7%)となっています。



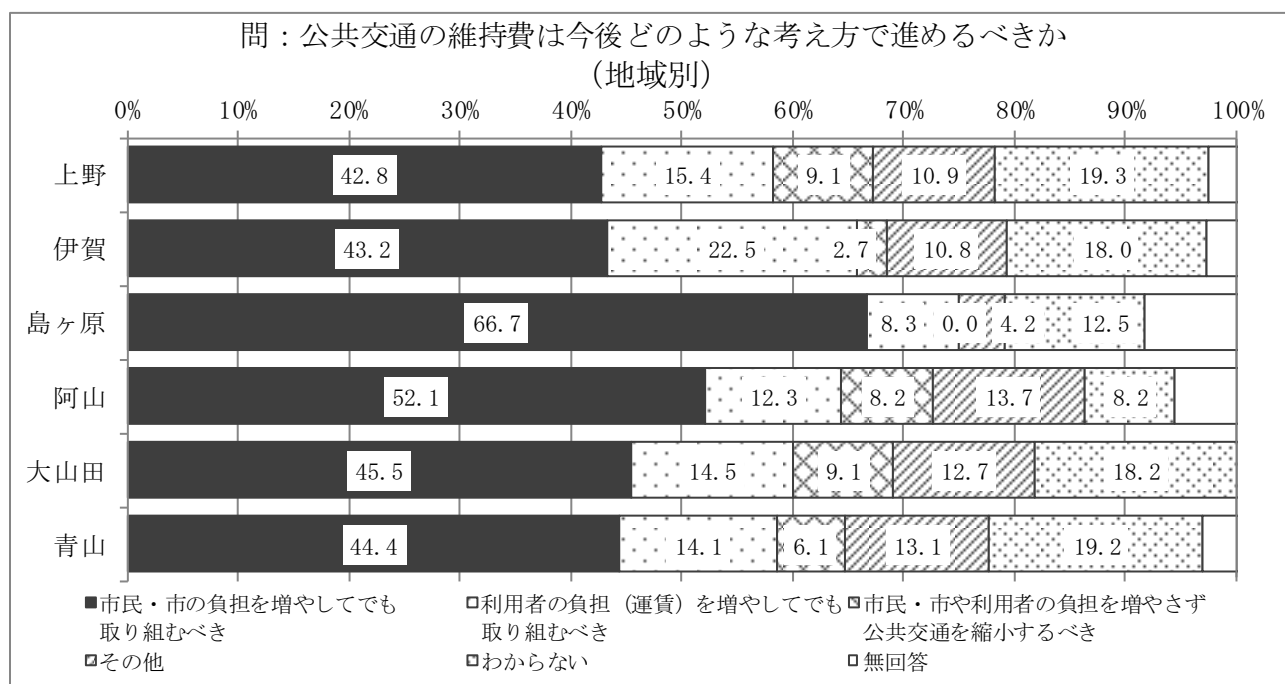
公共交通の維持費については、今後どのような考え方で進めるべきかでは、「市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合は、44.4%に上り、半数近くとなっています。「利用者の負担(運賃)を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合は、15.7%となっています。



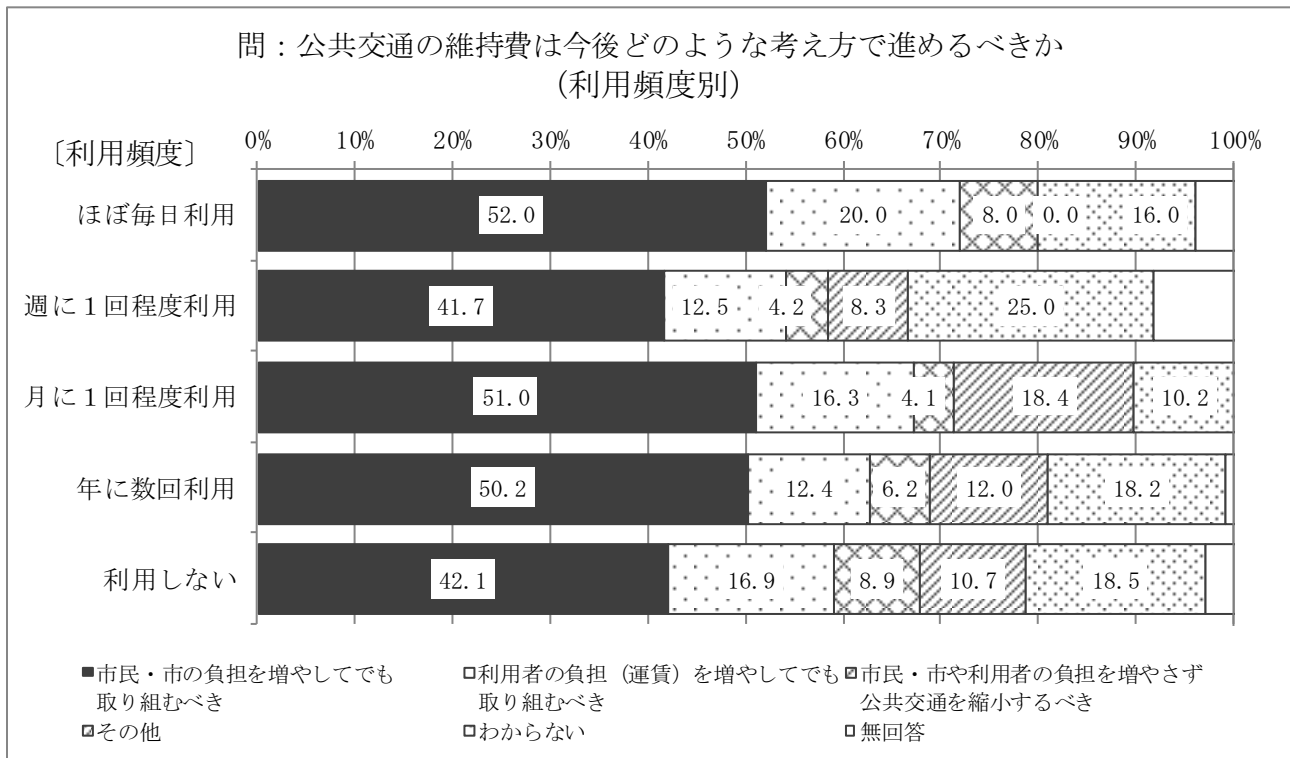
年齢別では、「市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合は、全ての年齢層で高くなっており、「利用者の負担（運賃）を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合と合わせると、負担を増やしてでも維持していくべきと答えた人の割合が、5割を上回っています。一方、「市民・市や利用者の負担を増やさず公共交通を縮小するべき」は「30～39歳」（12.7%）で1割を上回っているものの、全年齢層で低くなっています。



地域別では、「市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合は、「島ヶ原」（66.7%）で最も高いが、全地域において負担を増やしてでも維持していくべきと答えた人の割合は、高くなっています。



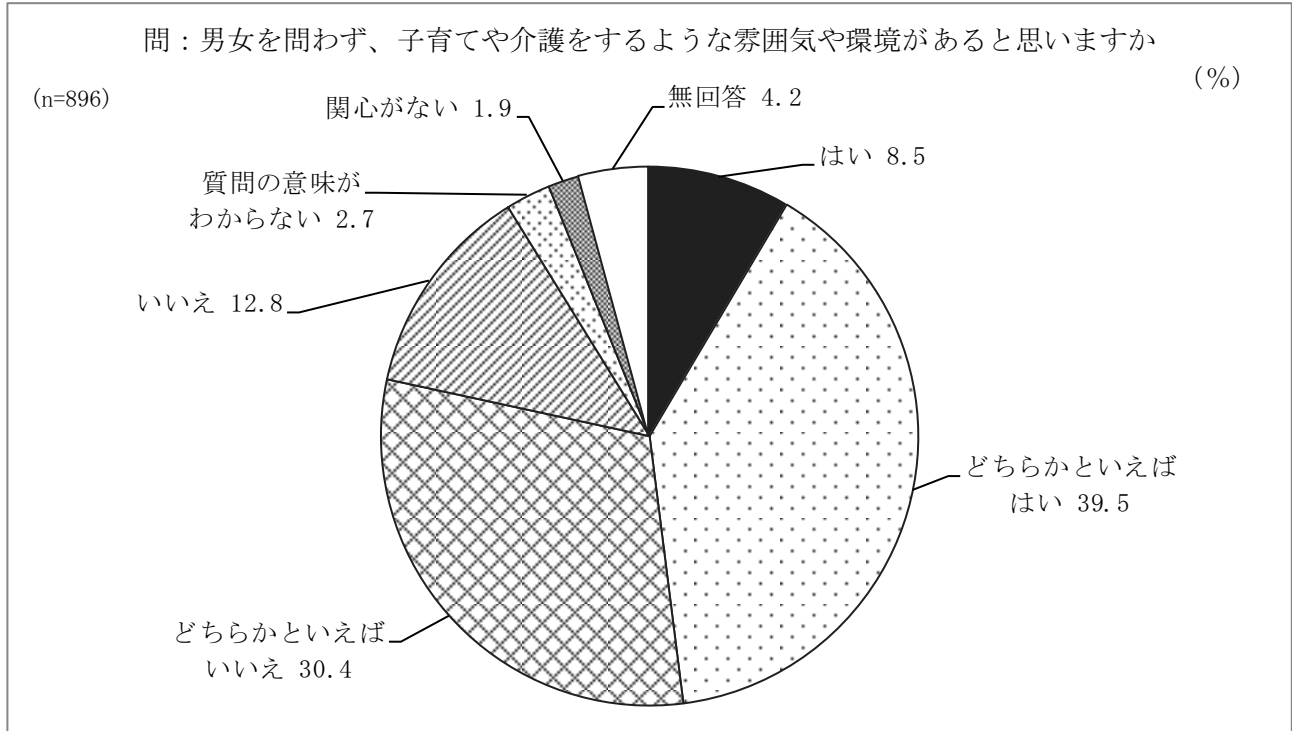
利用頻度別では、どの利用頻度でも「市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき」と答えた人の割合は、おおよそ5割となっています。「ほぼ毎日利用」と答えた人の割合は、「利用者の負担（運賃）を増やしてでも取り組むべき」（20.0%）と高く、その他の利用頻度でも、おおよそ1割になっています。一方、「ほぼ毎日利用」と答えた人の割合は、「市民・市や利用者の負担を増やさず公共交通を縮小するべき」（8.0%）で最も高いものの、全ての利用頻度で1割未満となっています。



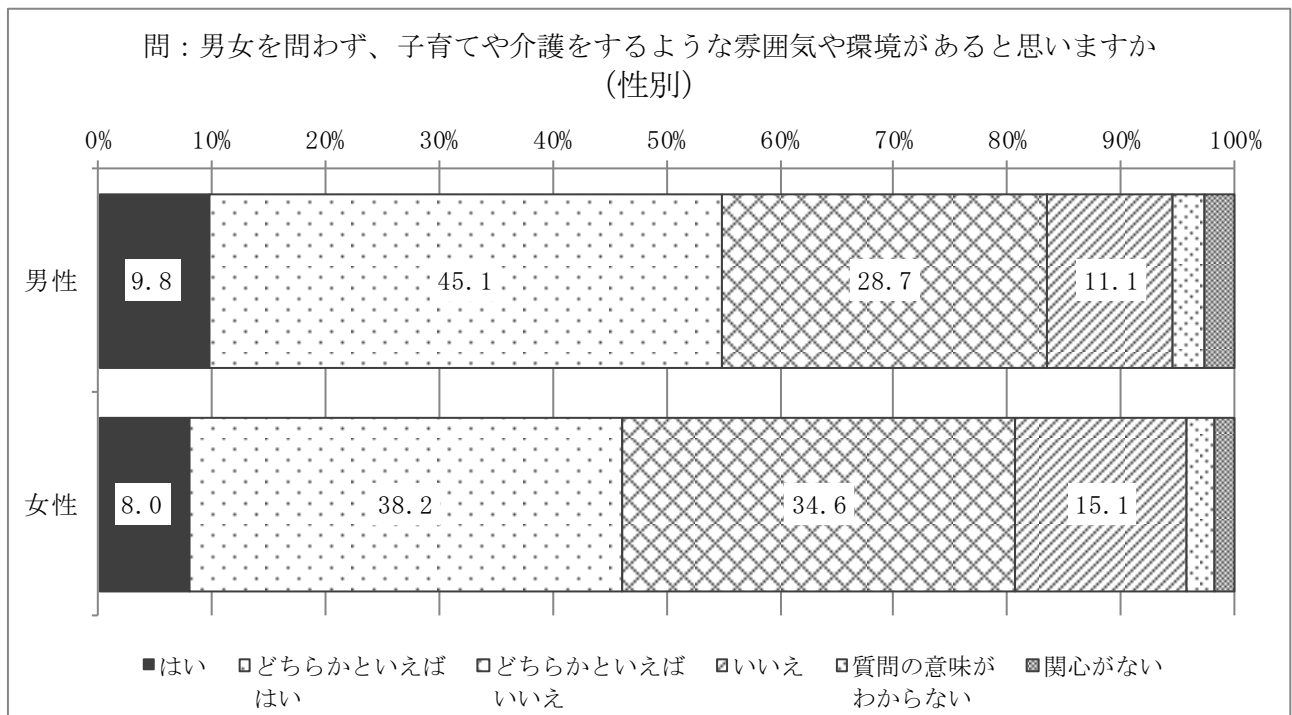
くらしの現状について

（ 問 7 関 係 ）

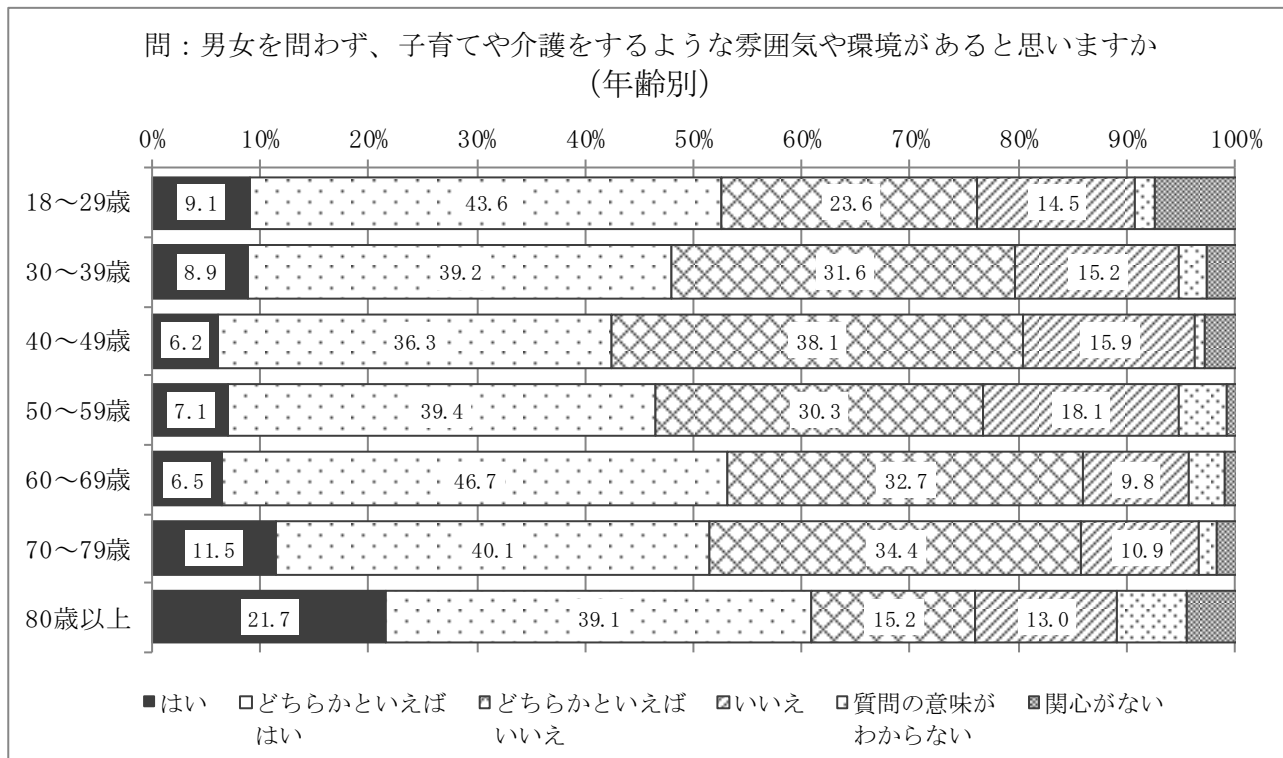
男女を問わず、子育てや介護をするような雰囲気があるかどうかについては、「はい」(8.5%)、「どちらかといえばはい」(39.5%)と答えた人の割合は、48.0%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(30.4%)、「いいえ」(12.8%)と答えた人の割合は、43.2%となっています。『男女を問わず、子育てや介護をするような雰囲気や環境がある』と感じている人が、感じていない人の割合を上回っています。



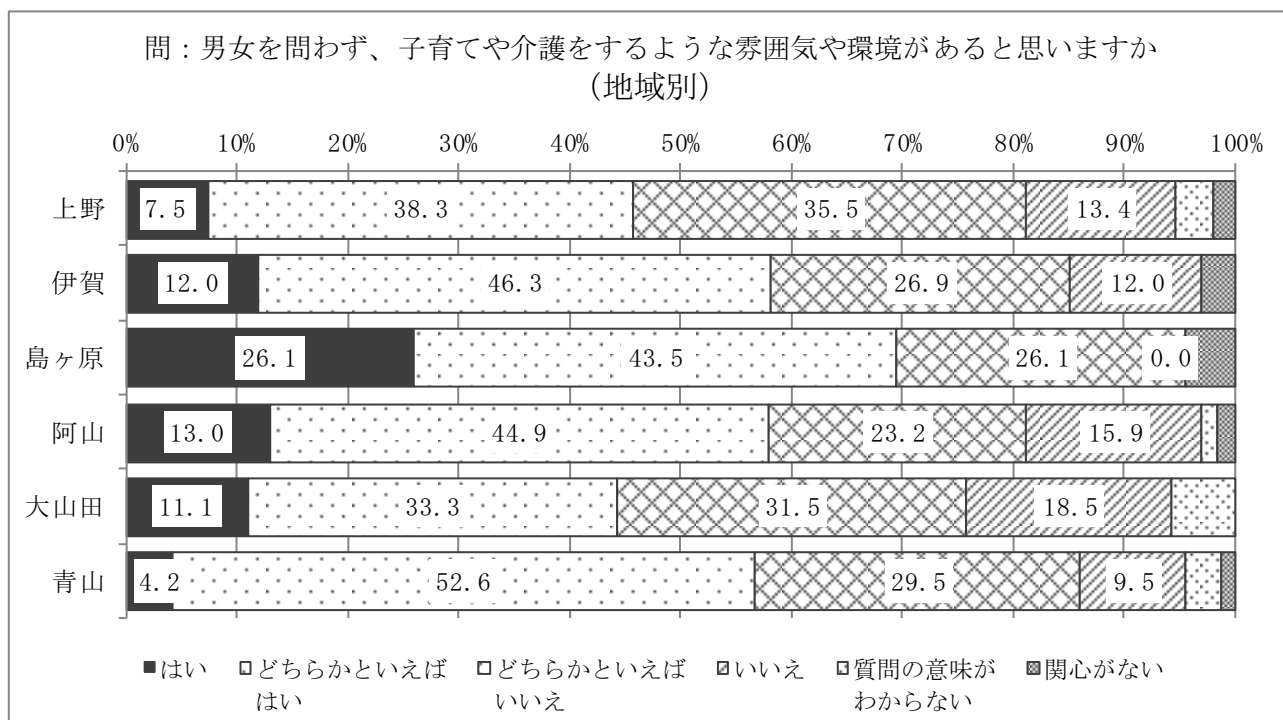
男女別では、「男性」で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、5割を上回っているのに対し、「女性」では5割を下回る結果となっています。



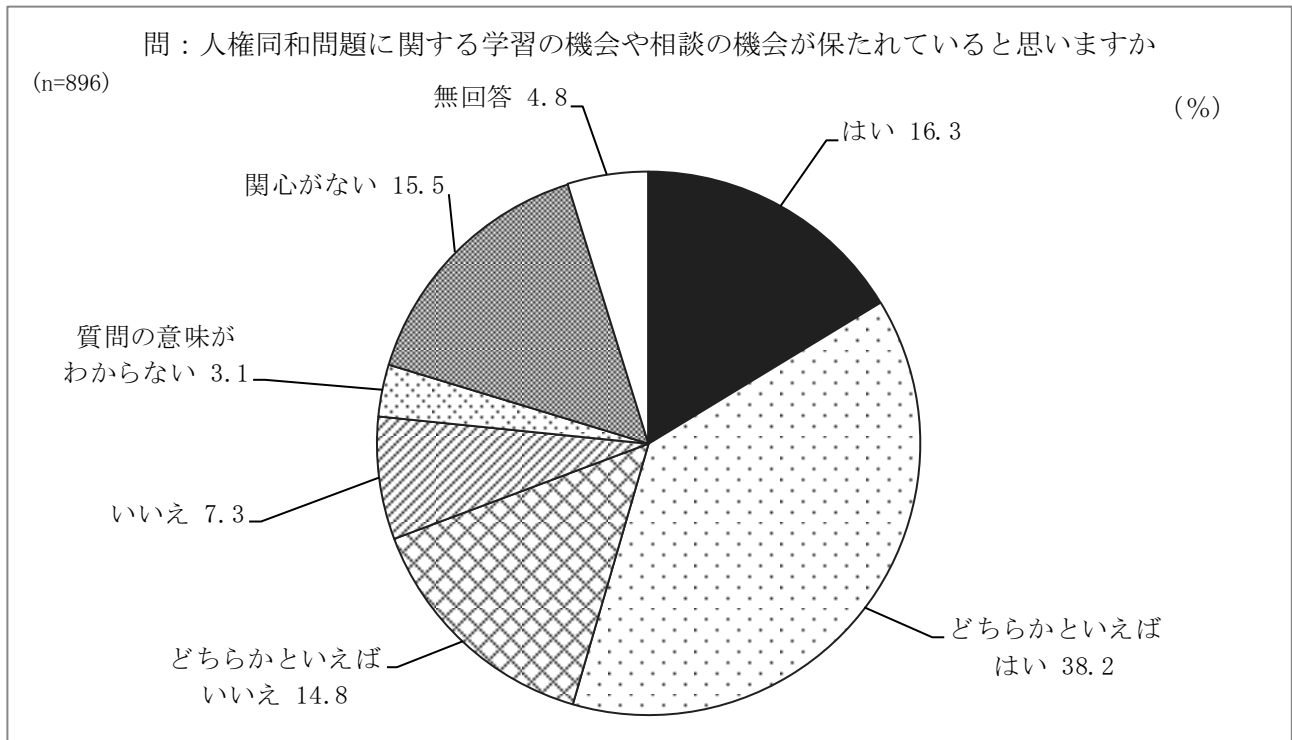
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、80歳以上の年齢層で高くなっています。一方、「どちらかといえばいい」、「いいえ」と答えた人の割合は、「30～39歳」(46.8%)、「40～49歳」(54.0%)、「50～59歳」(48.4%)、「60～69歳」(42.5%)、「70～79歳」(45.3%)の年齢層で4割を上回っています。



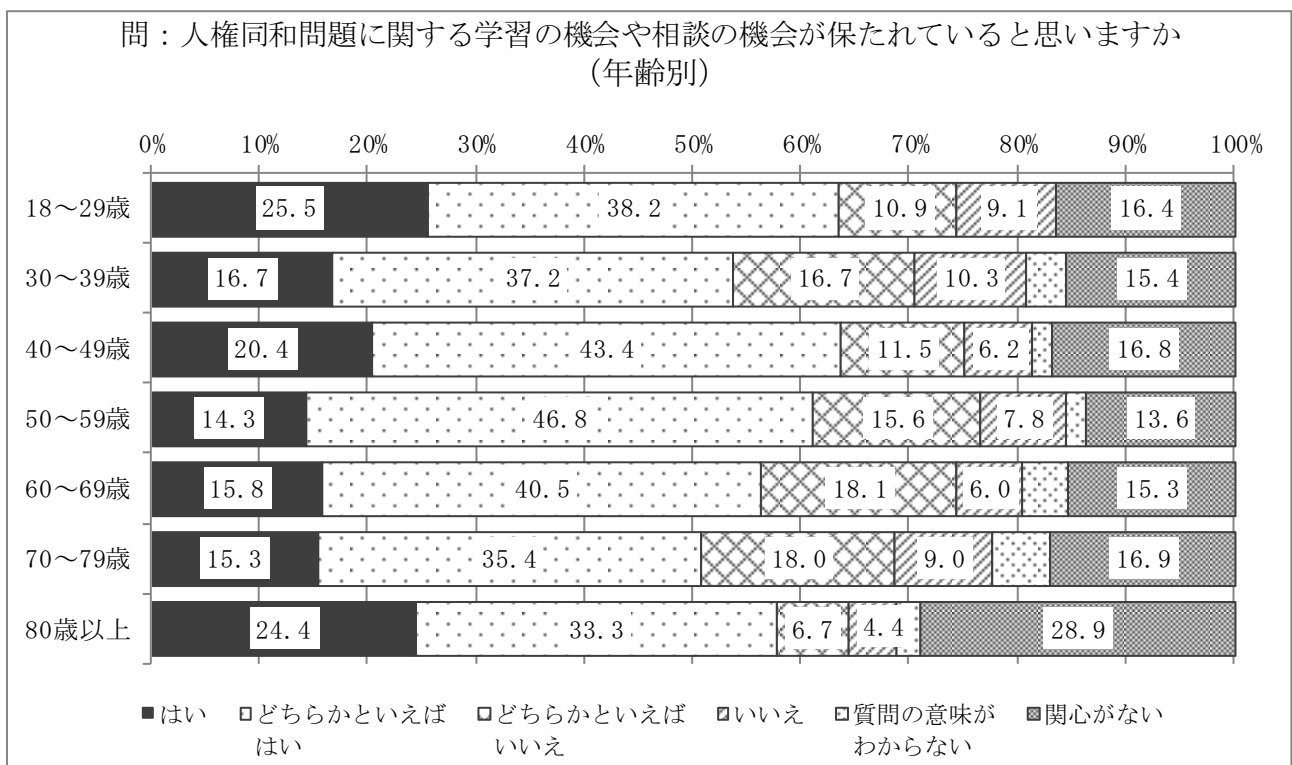
地域別では、「上野」、「大山田」以外の地域では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が、5割を上回っています。



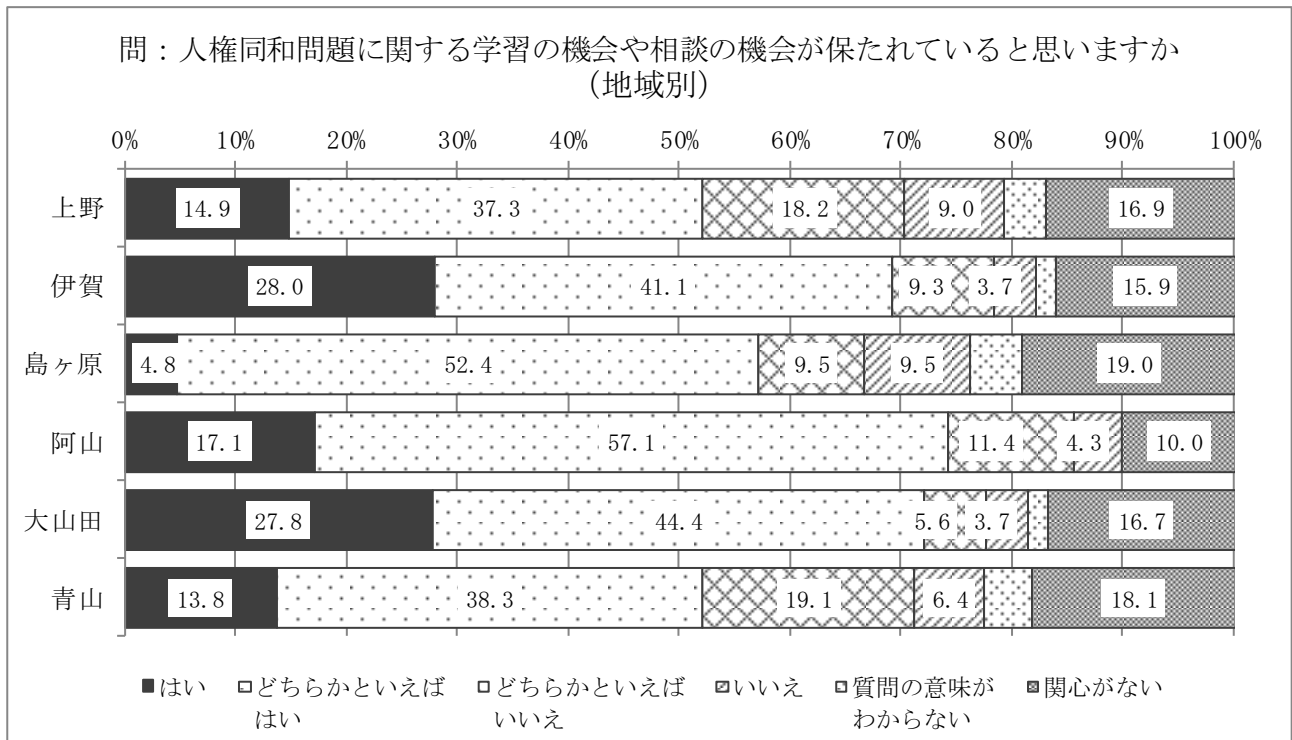
人権同和問題に関する学習や相談の機会が保たれているかどうかについては、「はい」(16.3%)、「どちらかといえばはい」(38.2%)と答えた人の割合は、54.5%となっています。一方、「どちらかといえいいえ」(14.8%)、「いいえ」(7.3%)と答えた人の割合は、22.1%となっています。



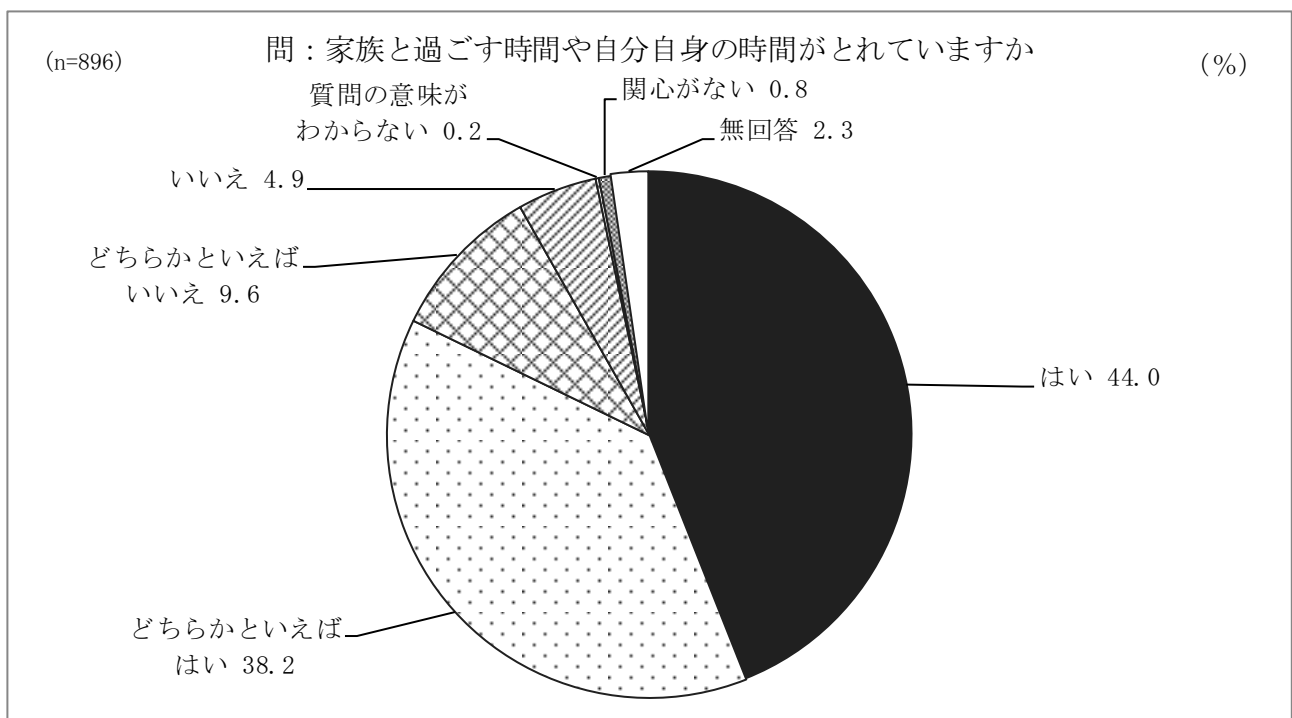
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、全ての年齢層で5割を上回っています。一方、「関心がない」と答えた人の割合は、全年齢層で高くなっています。



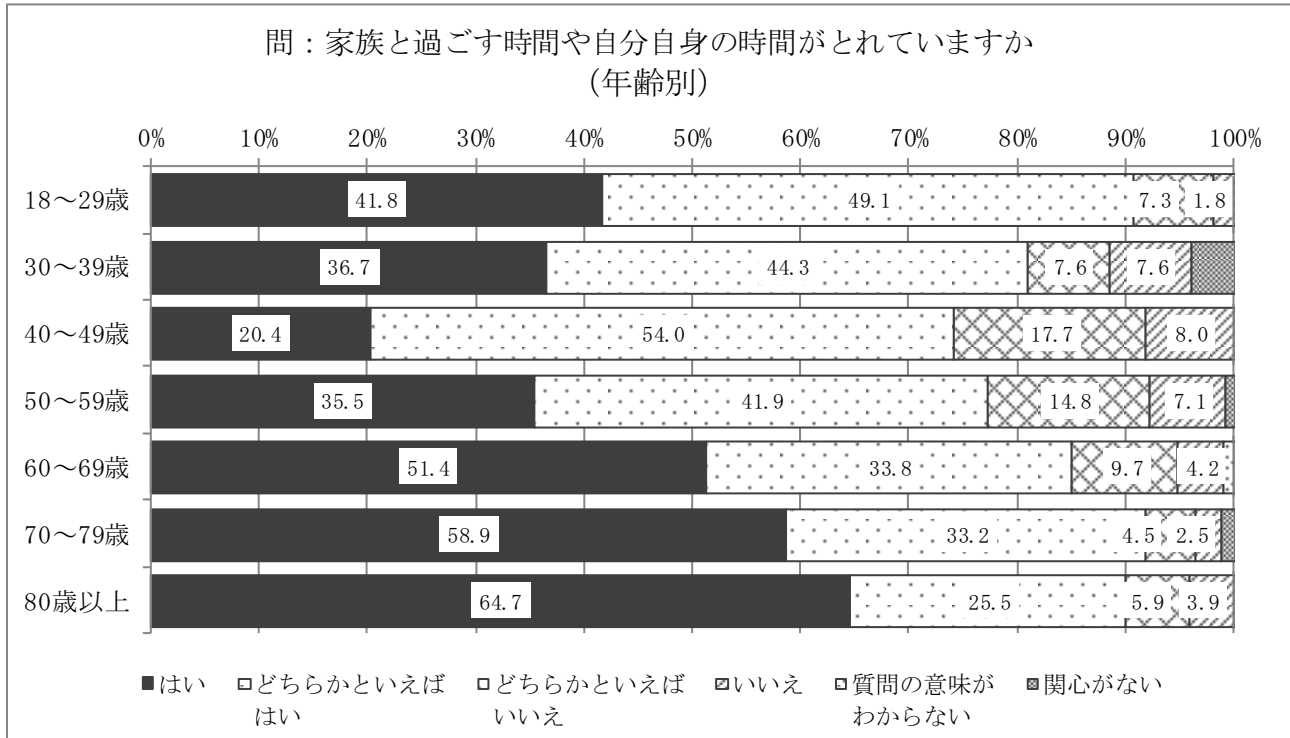
地域別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「伊賀」(69.1%)、「阿山」(74.2%)、「大山田」(72.2%)でおおよそ7割となっています。一方、「どちらかといえばいい」、「いいえ」と答えた人の割合は、「上野」(27.2%)、「青山」(25.5%)と3割近くになっており、地域間の差が顕著に現れています。



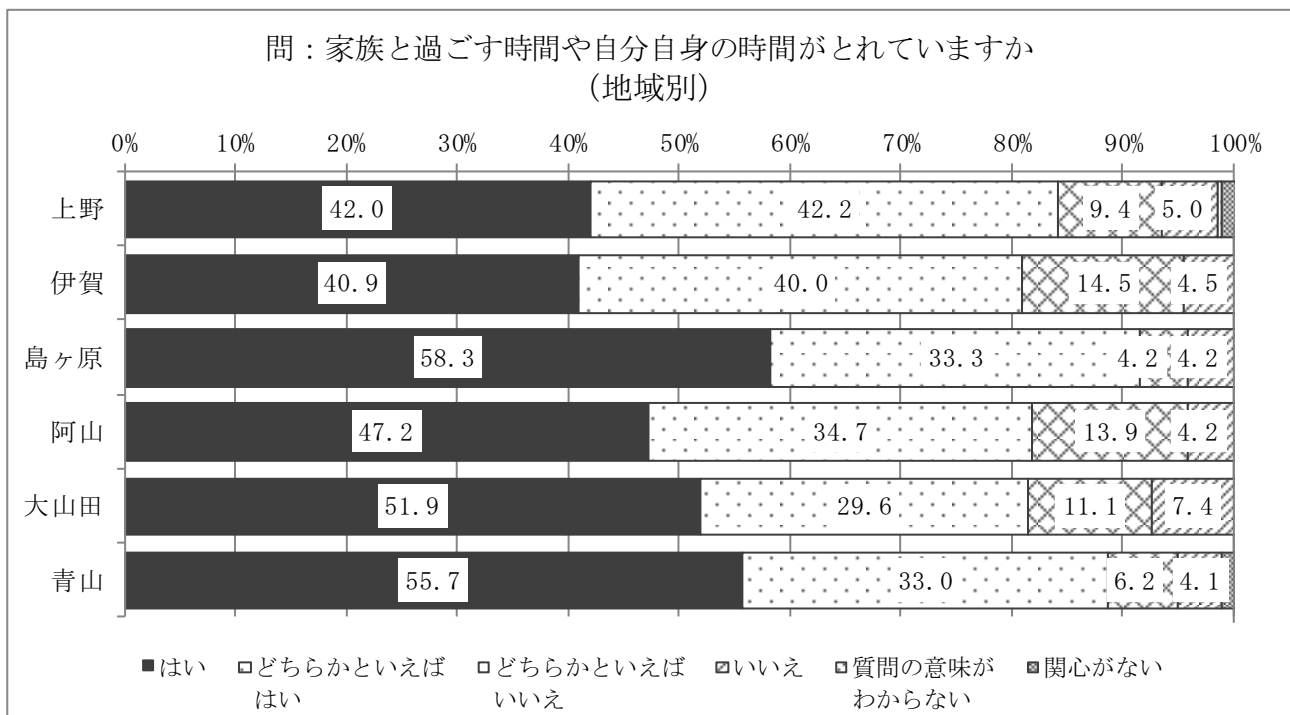
家族と過ごす時間や自分の時間がとれているかどうかについては、「はい」(44.0%)、「どちらかといえばはい」(38.2%)と答えた人の割合は、82.2%となっており、8割を上回る人が、家族と過ごす時間や自分の時間がとれていると感じています。



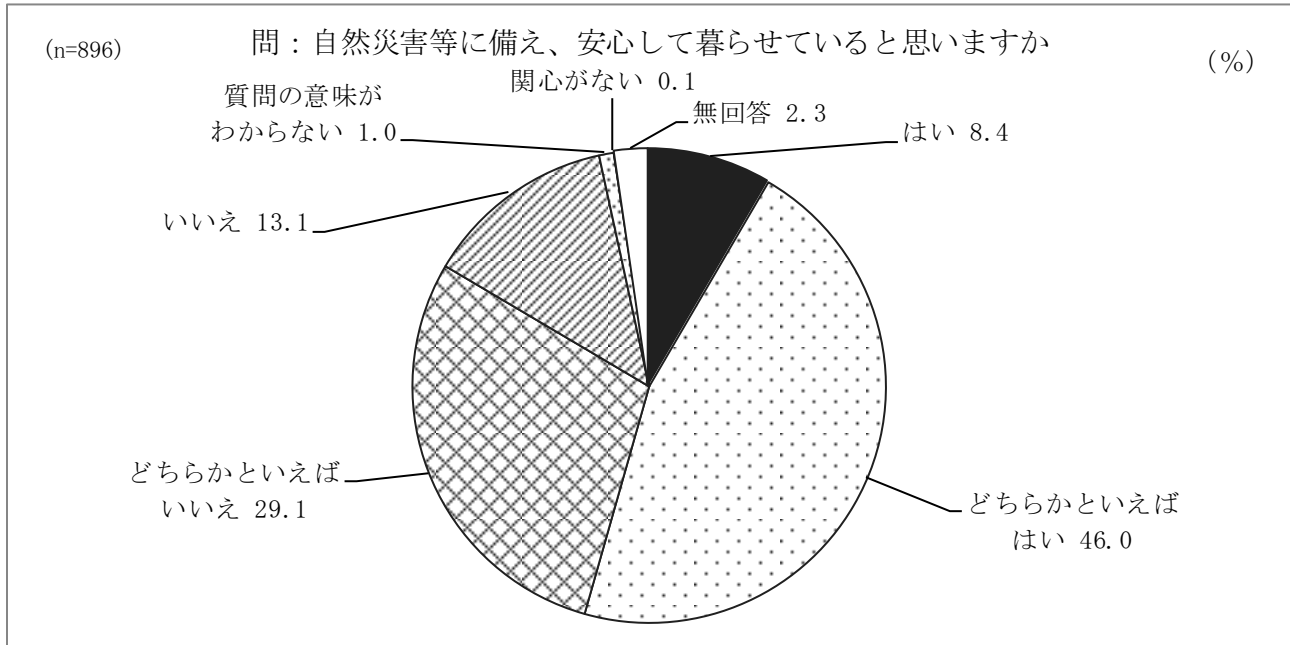
年齢別では、全ての年齢層で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が、7割を上回っており、『家族と過ごす時間や自分自身の時間がとれている』と感じている人の割合が高くなっています。特に、「はい」と答えた人の割合が、「60～69歳」(51.4%)、「70～79歳」(58.9%)、「80歳以上」(64.7%)と高くなっています。



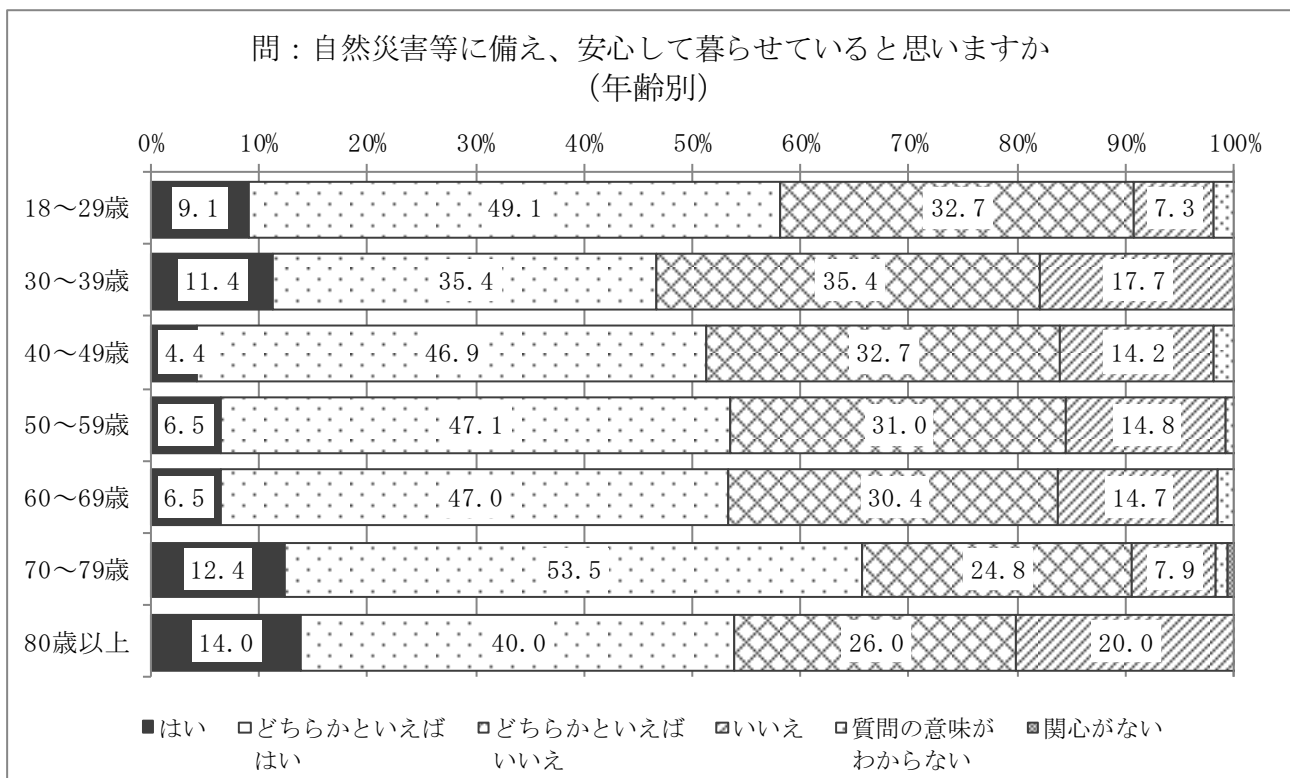
地域別では、全ての地域で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が、8割を上回っています。



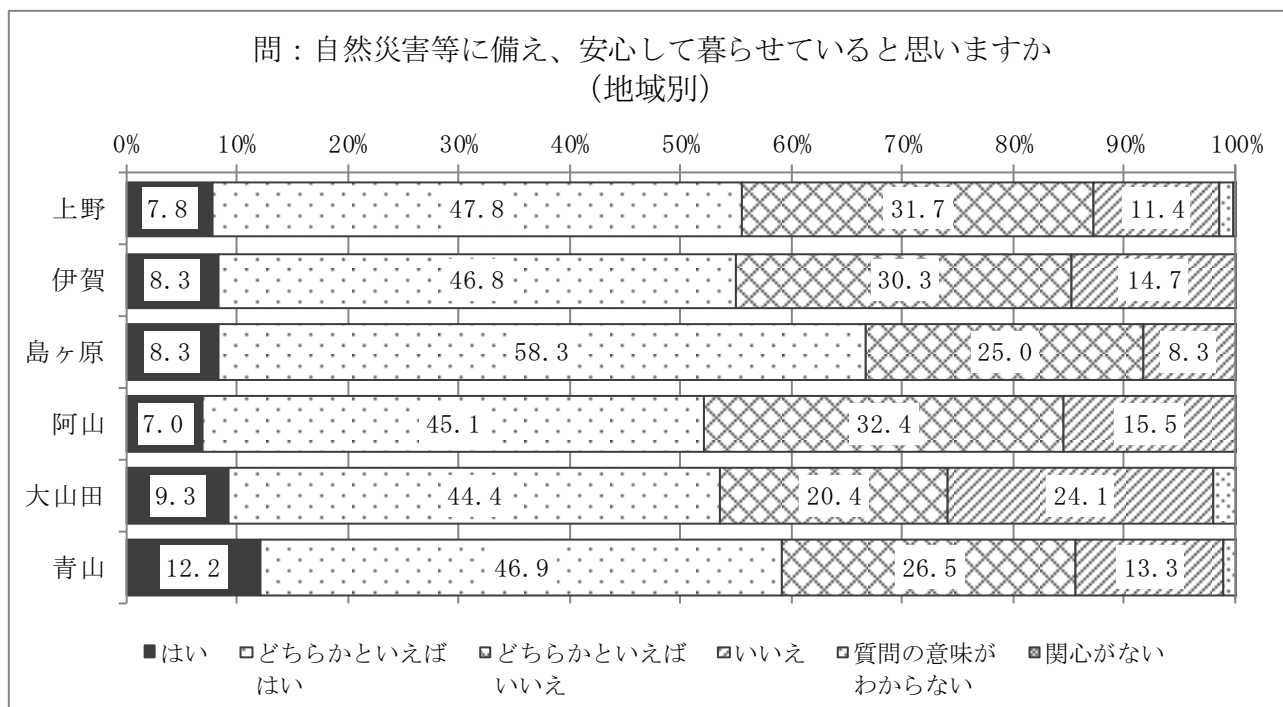
自然災害等に備え、安心して暮らせているかどうかについては、「はい」(8.4%)、「どちらかといえばはい」(46.0%)と答えた人の割合は、54.4%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(29.1%)、「いいえ」(13.1%)と答えた人の割合は、42.2%となっており、自然災害等に備え、安心して暮らせていると思う人が思っていない人の割合を上回っています。



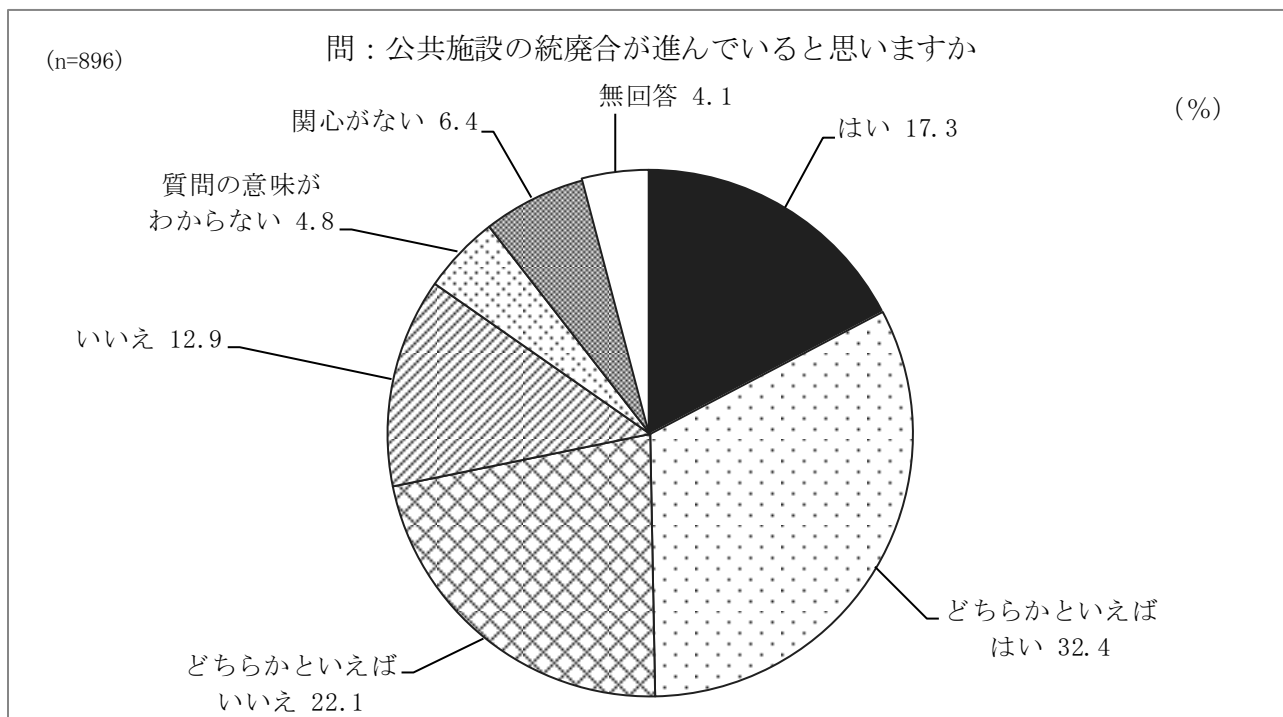
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「70～79歳」(65.9%)で6割を上回っています。一方、「30～39歳」では、「はい」、「どちらかといえばはい」と思う人が思っていない人の割合を下回っています。



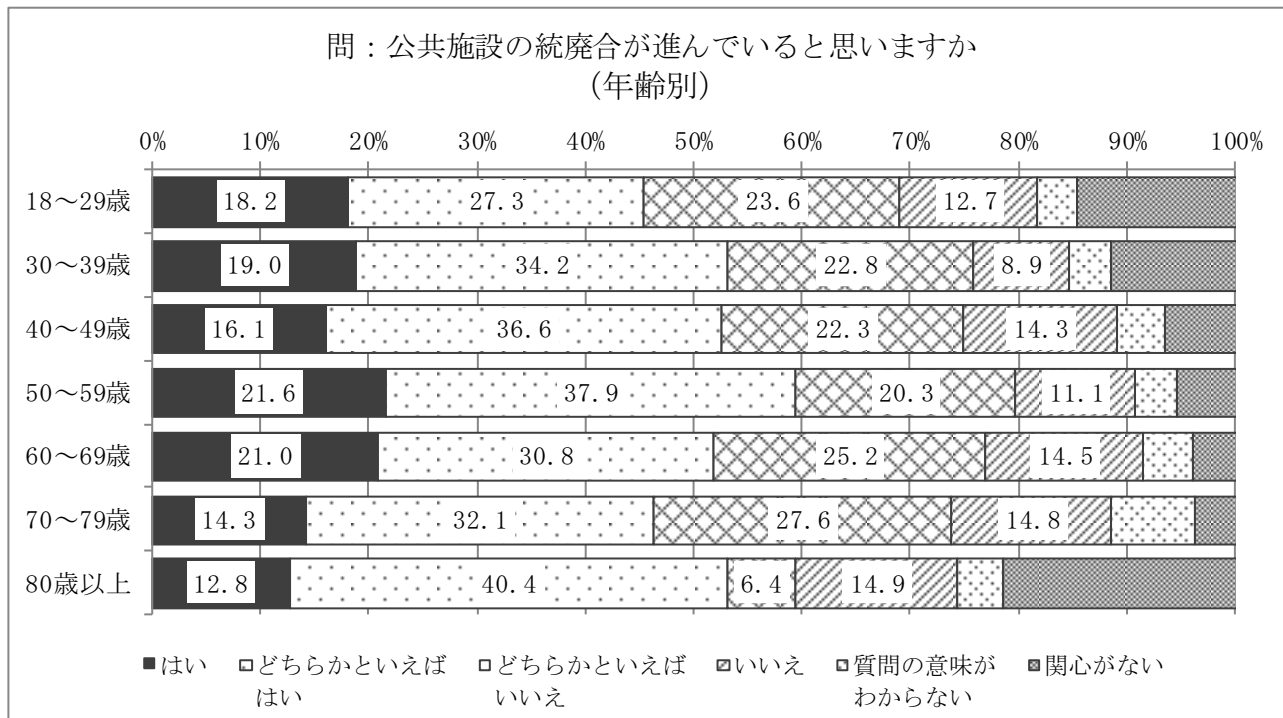
地域別では、全地域で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、5割を上回っています。特に、「島ヶ原」(66.6%)においては、6割を上回っており、自然災害等に備え、安心して暮らせていると感じている人の割合が高くなっています。



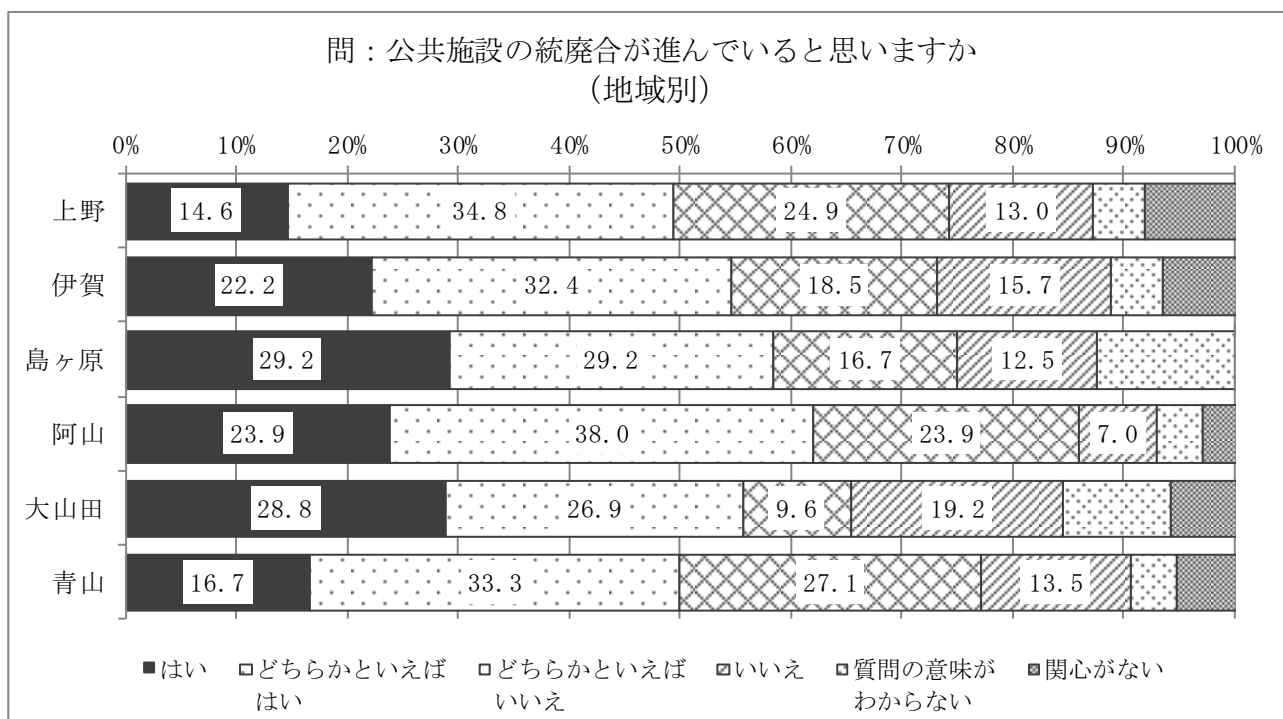
公共施設の統廃合が進んでいるかどうかについては、「はい」(17.3%)、「どちらかといえばはい」(32.4%)と答えた人の割合は、49.7%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(22.1%)、「いいえ」(12.9%)と答えた人の割合は、35.0%となっており、公共施設の統廃合が進んでいると思う人が思っていない人の割合を上回っています。



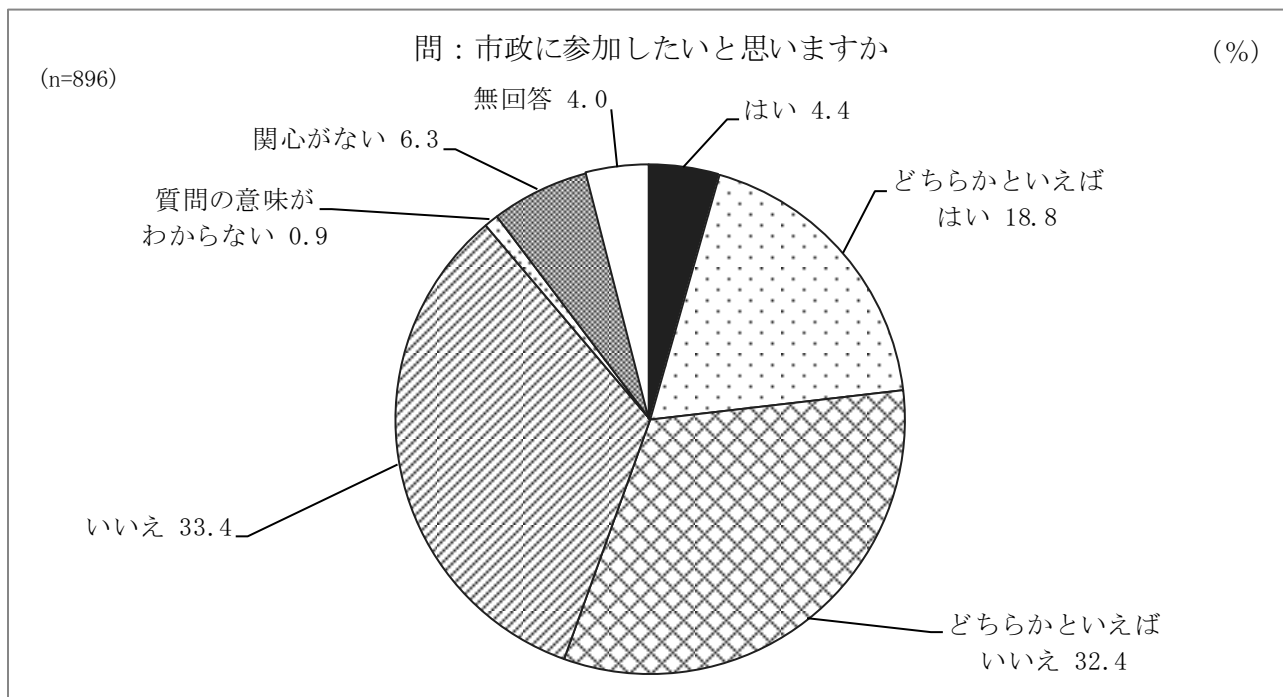
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「30～39歳」(53.2%)、「40～49歳」(52.7%)、「50～59歳」(59.5%)、「60～69歳」(51.8%)、「80歳以上」(53.2%)で、5割を上回っています。一方、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合は、「70～79歳」(42.4%)と他の年齢層より高くなっています。



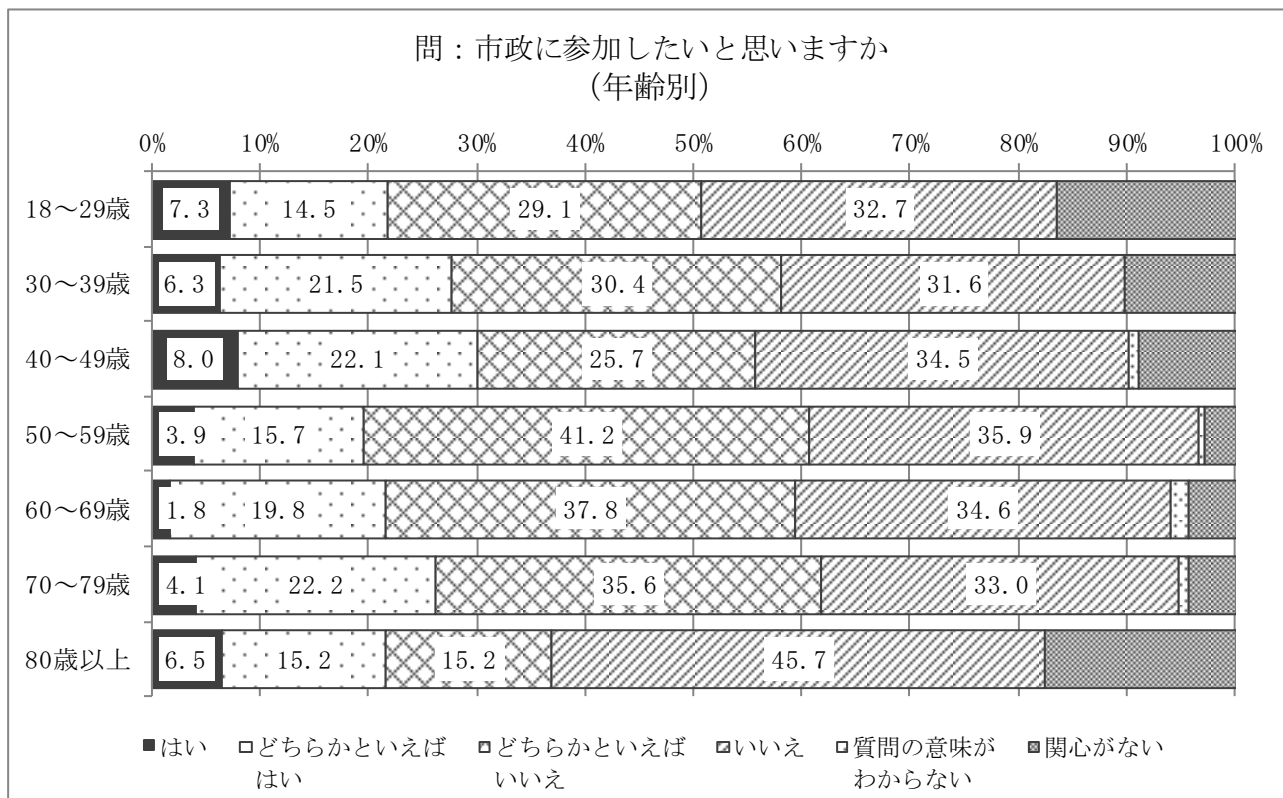
地域別では、全地域で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、おおよそ5割を上回っています。一方、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合は、「青山」(40.6%)と4割を上回っています。



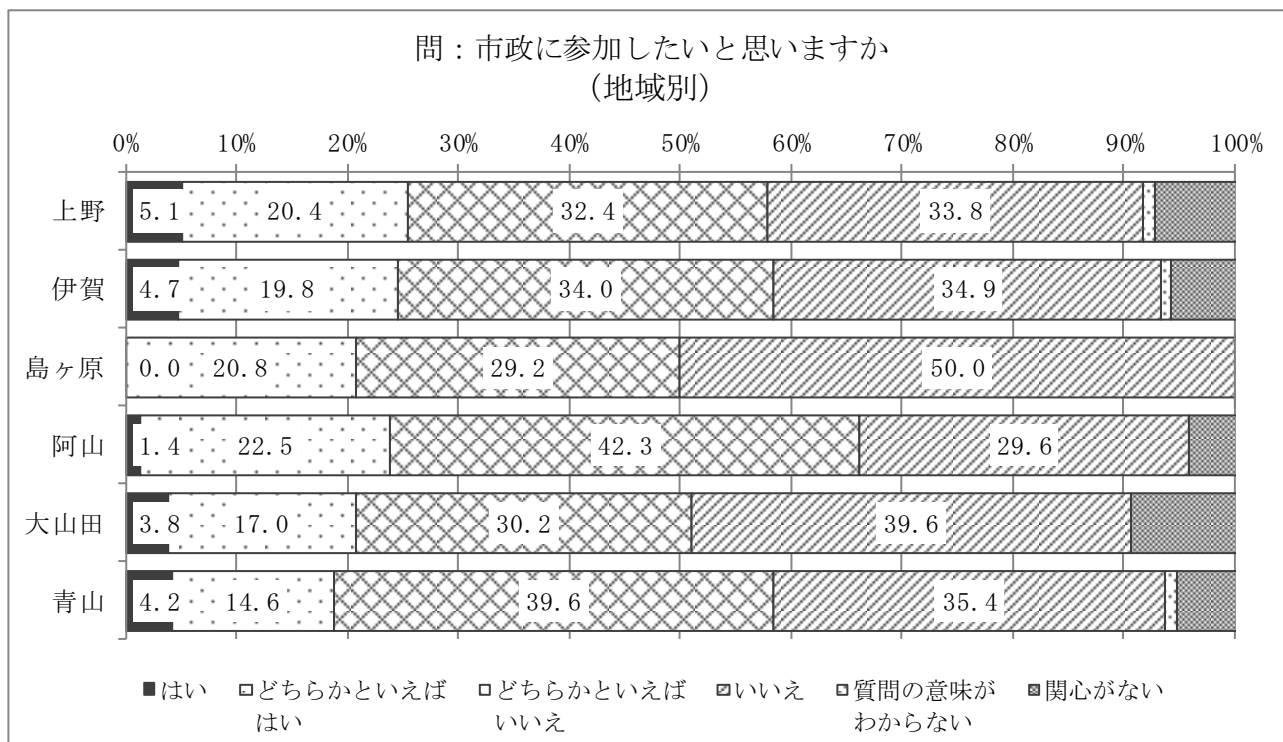
市政への参加意欲については、「はい」(4.4%)、「どちらかといえばはい」(18.8%)と答えた人の割合は、23.2%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(32.4%)、「いいえ」(33.4%)と答えた人の割合は、65.8%となっており、市政に参加したいと思わない人の割合が思う人の割合を大きく上回っています。



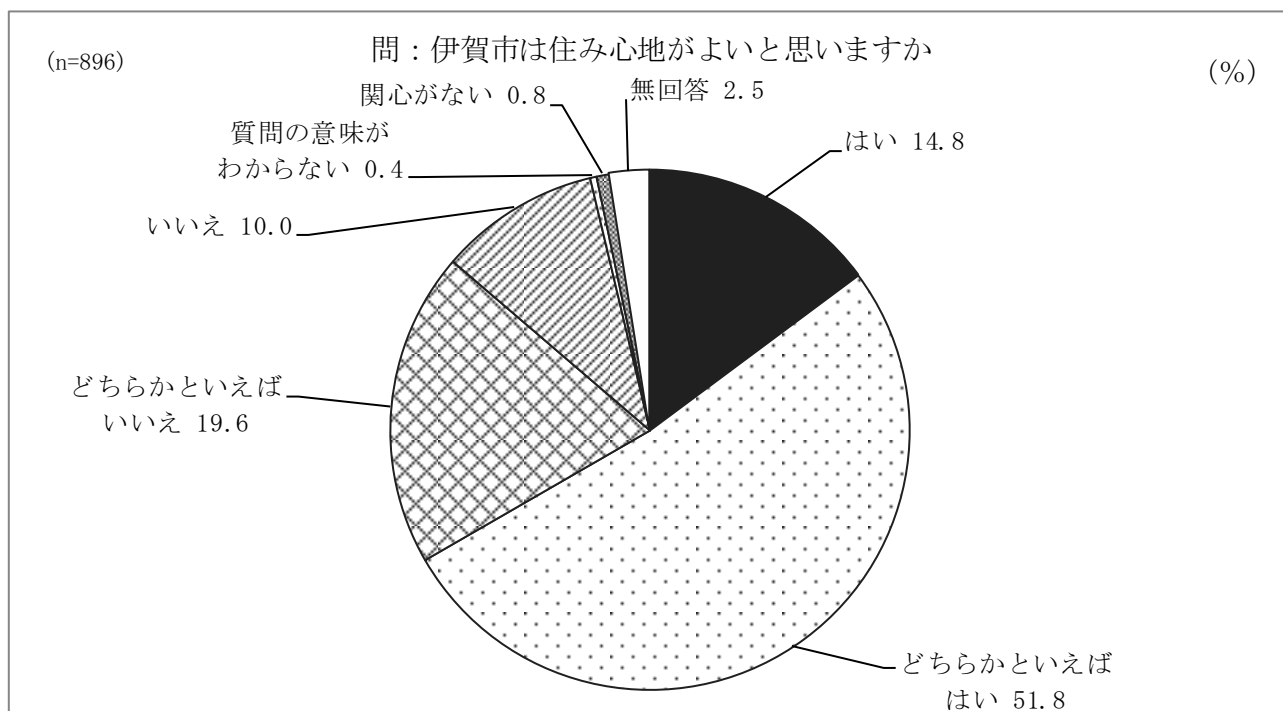
年齢別では、全年齢層で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合を下回っています。



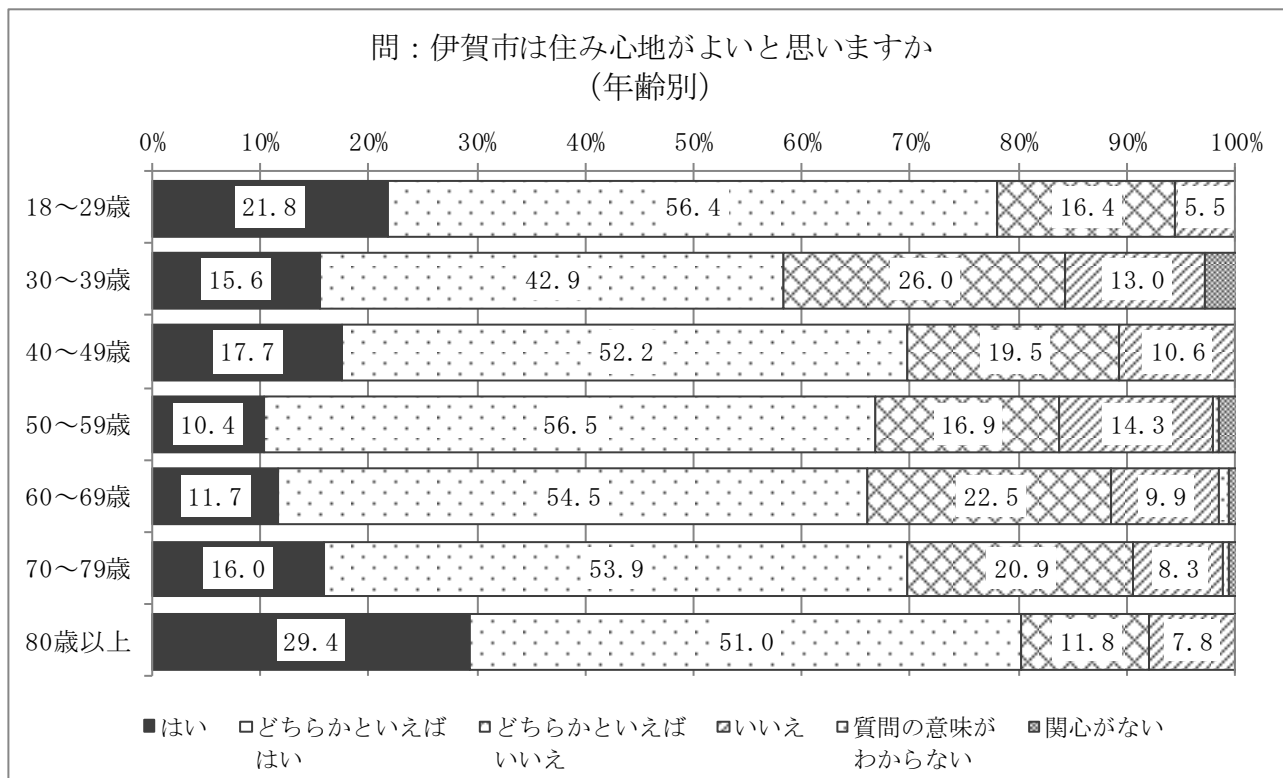
地域別では、全地域で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「どちらかといえばいい」、「いいえ」と答えた人の割合を下回っています。



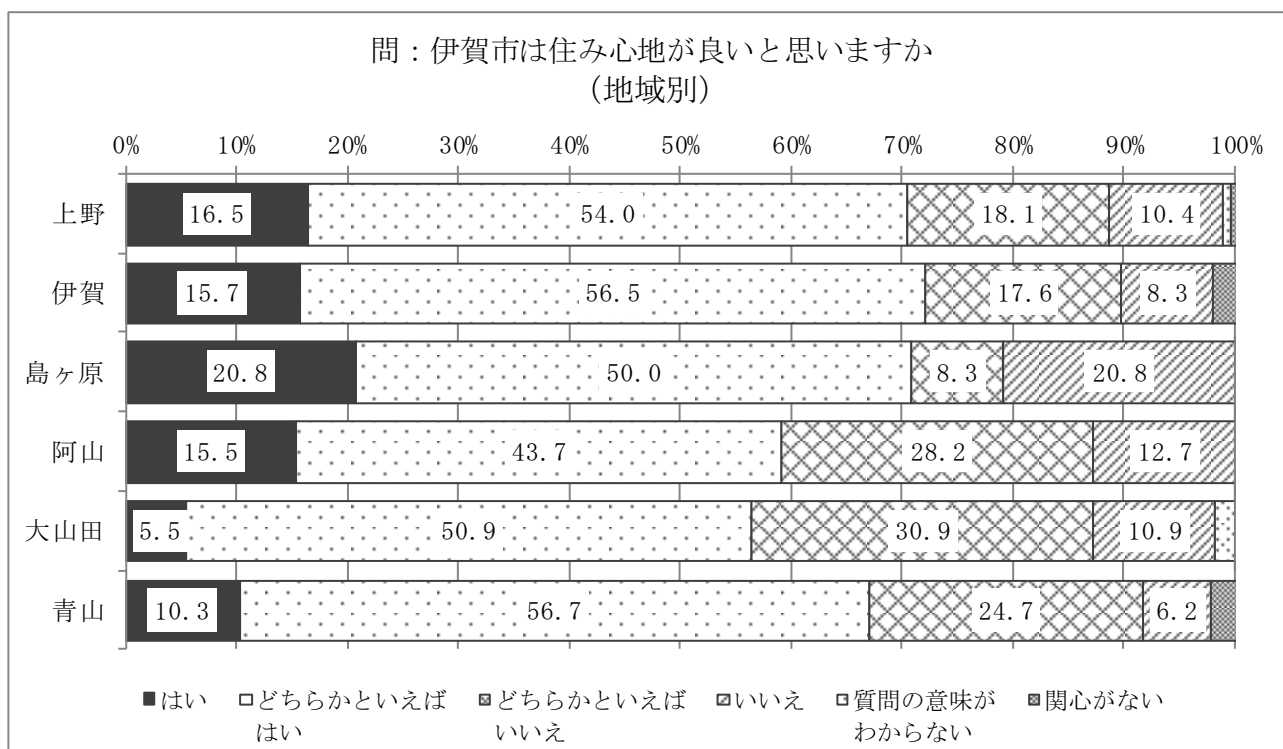
伊賀市は住み心地がよいかどうかについては、「はい」(14.8%)、「どちらかといえばはい」(51.8%)と答えた人の割合は、66.6%となっています。一方、「どちらかといえばいい」(19.6%)、「いいえ」(10.0%)と答えた人の割合は、29.6%となっており、住み心地がよいと思う人が思っていない人の割合を上回っています。



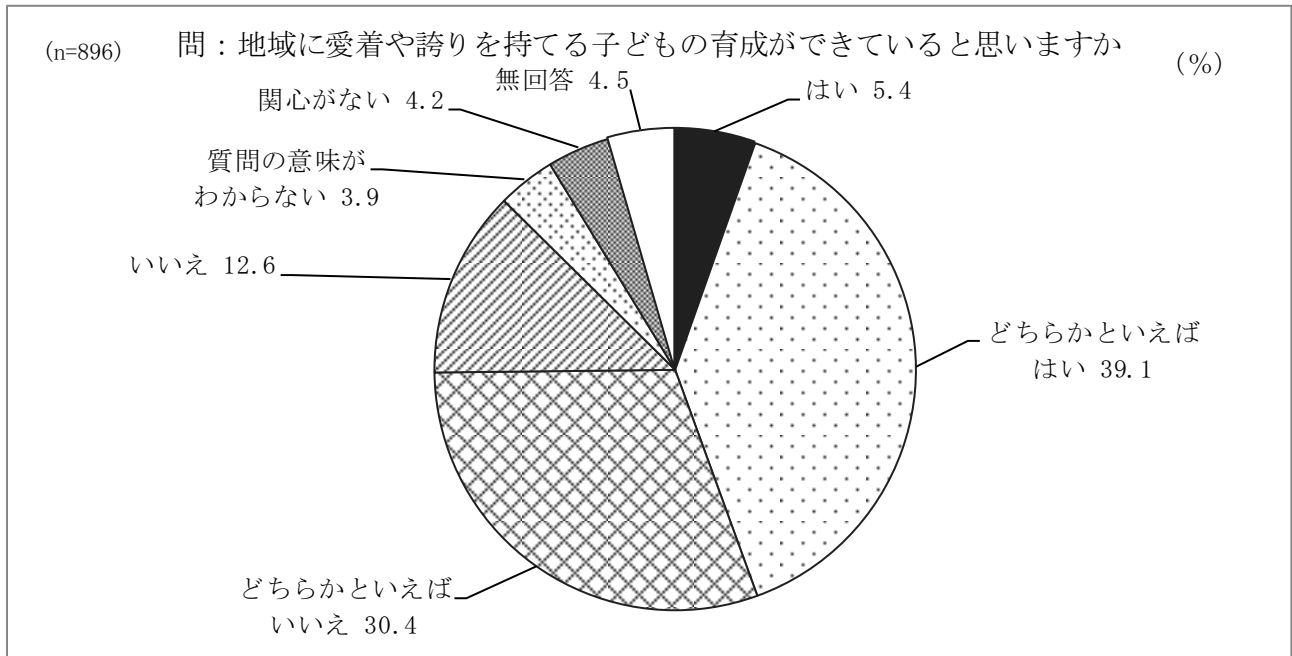
年齢別では、「30～39 歳」以外の年齢層で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、高くなっています。



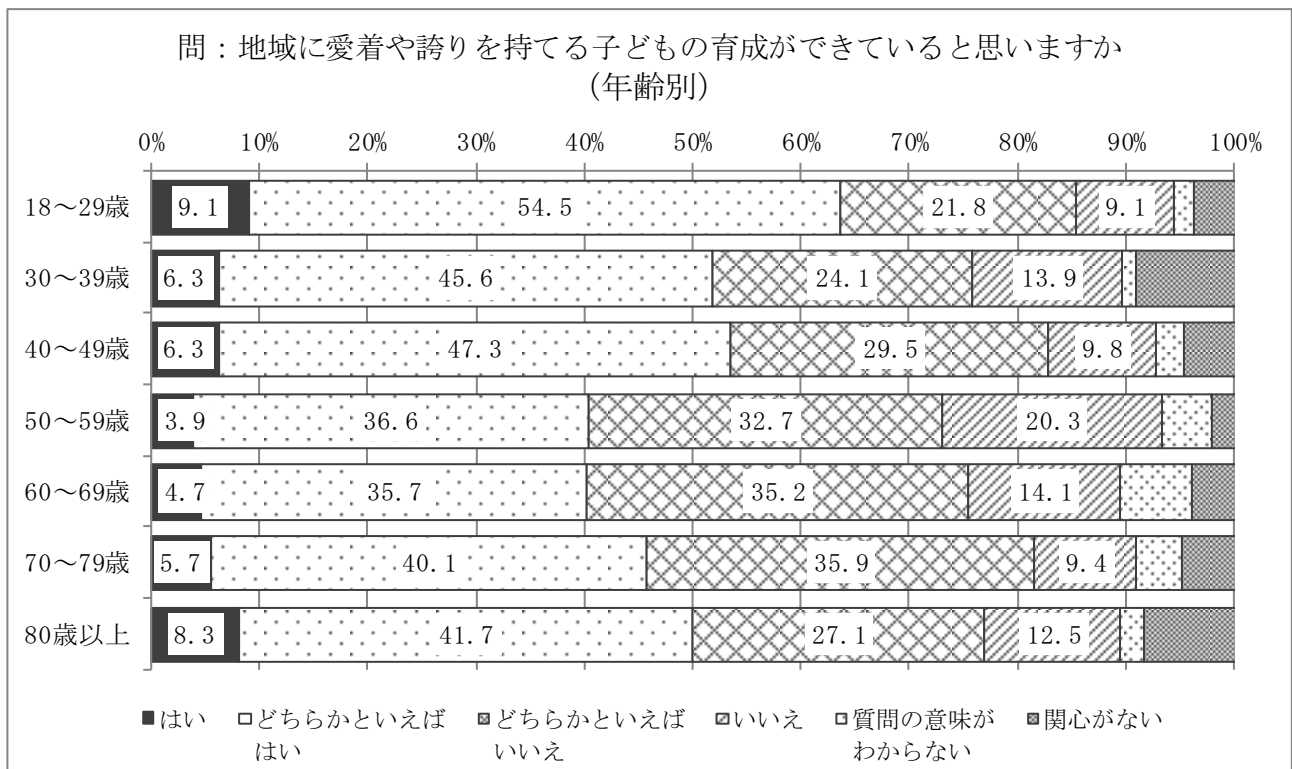
地域別では、「阿山」、「大山田」において、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合は、高くなっています。



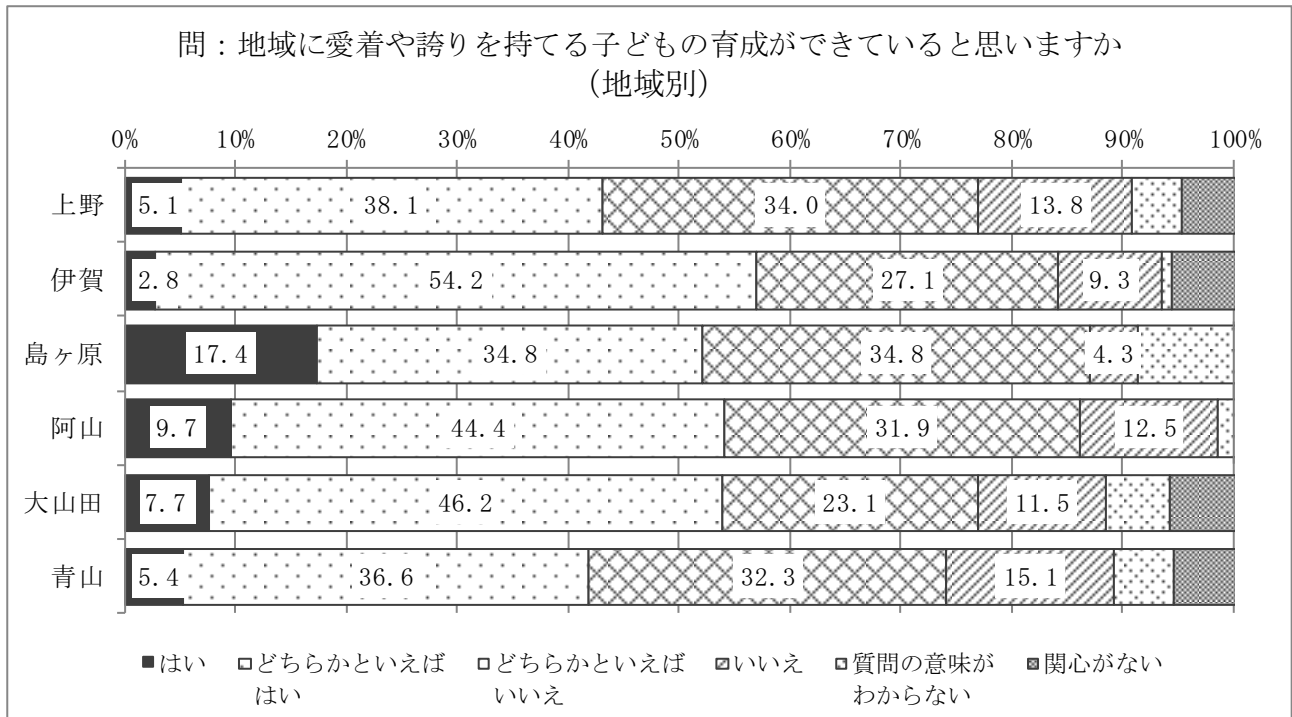
子育て世代への支援が充実し、郷土愛を持つ子どもが育成できているかどうかについては、「はい」(5.4%)、「どちらかといえばはい」(39.1%)と答えた人の割合は、44.5%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(30.4%)、「いいえ」(12.6%)と答えた人の割合は、43.0%となっており、子育て世代への支援が充実し、郷土愛を持つ子どもが育成できていると思う人と思っていない人の割合はほぼ同率となっています。



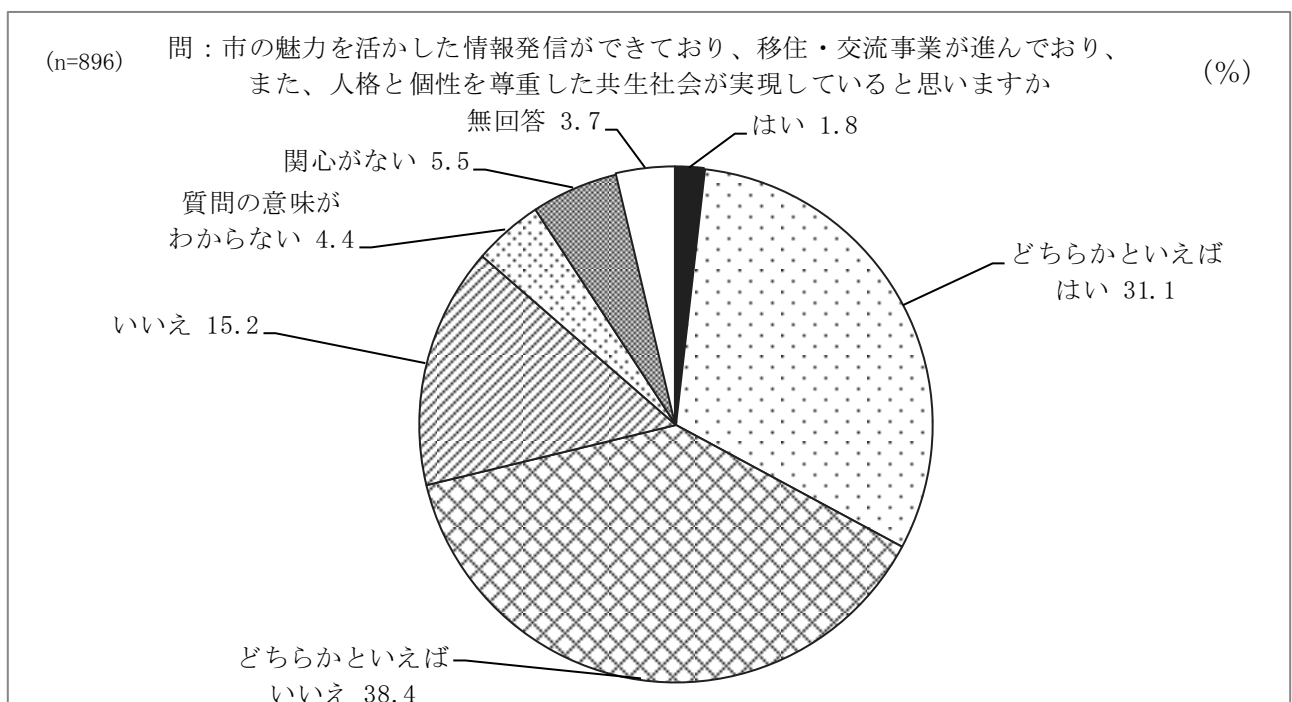
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「18～29歳」(63.6%)と高くなっています。一方、「50～59歳」(40.5%)、「60～69歳」(40.4%)ではおおよそ4割と低くなっています。



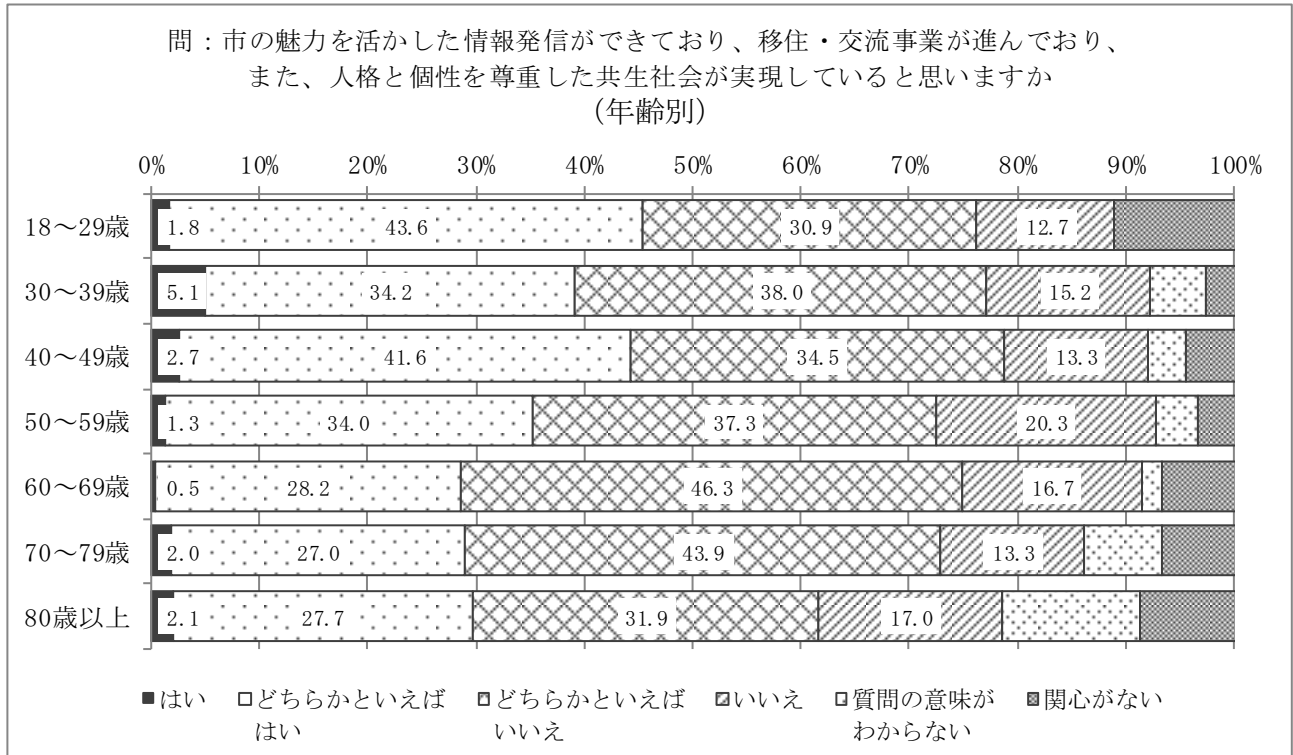
地域別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「伊賀」(57.0%)、「阿山」(54.1%)、「大山田」(53.9%)、「島ヶ原」(52.2%)で5割を上回っています。



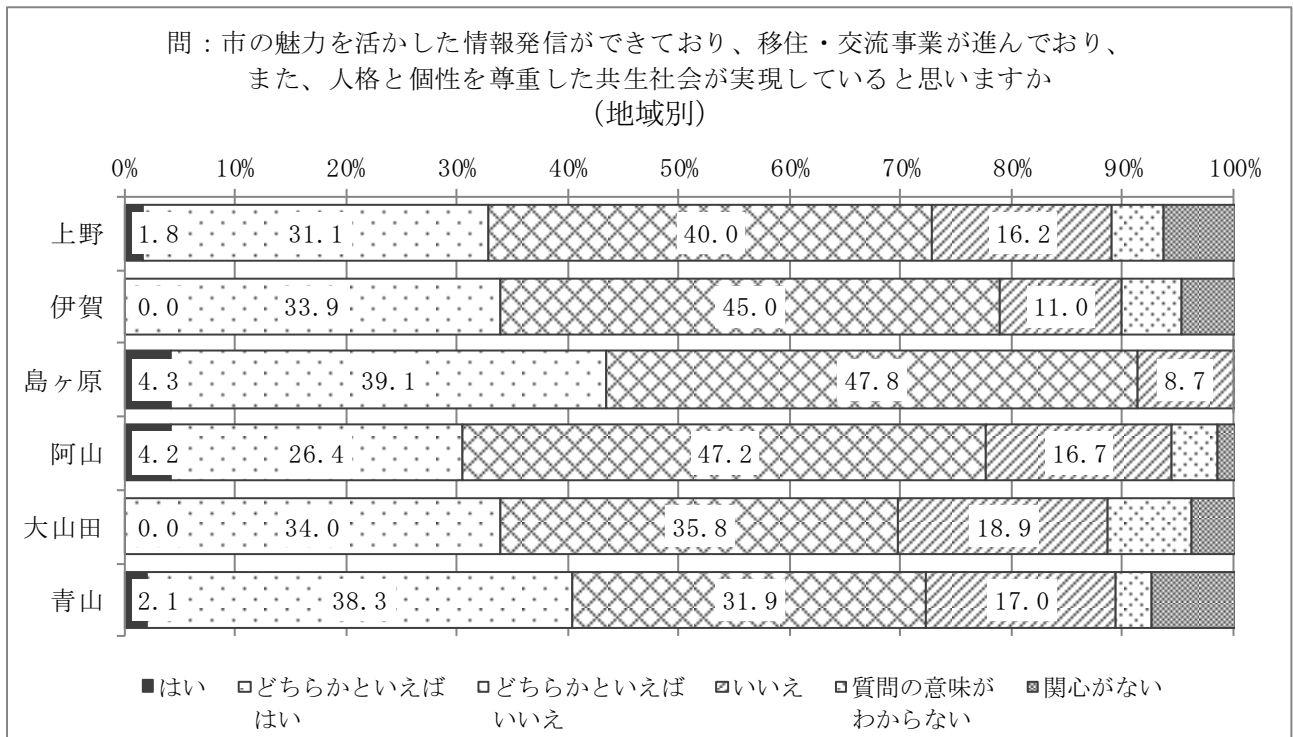
市の魅力を活かした情報発信により、移住・交流事業が進んでおり、また、人格と個性を尊重した共生社会が実現しているかどうかについては、「はい」(1.8%)、「どちらかといえばはい」(31.1%)と答えた人の割合は、32.9%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(38.4%)、「いいえ」(15.2%)と答えた人の割合は、53.6%となっており、移住・交流事業の進展や人格と個性を尊重した共生社会が実現していると思う人が思っていない人の割合を大きく下回っています。



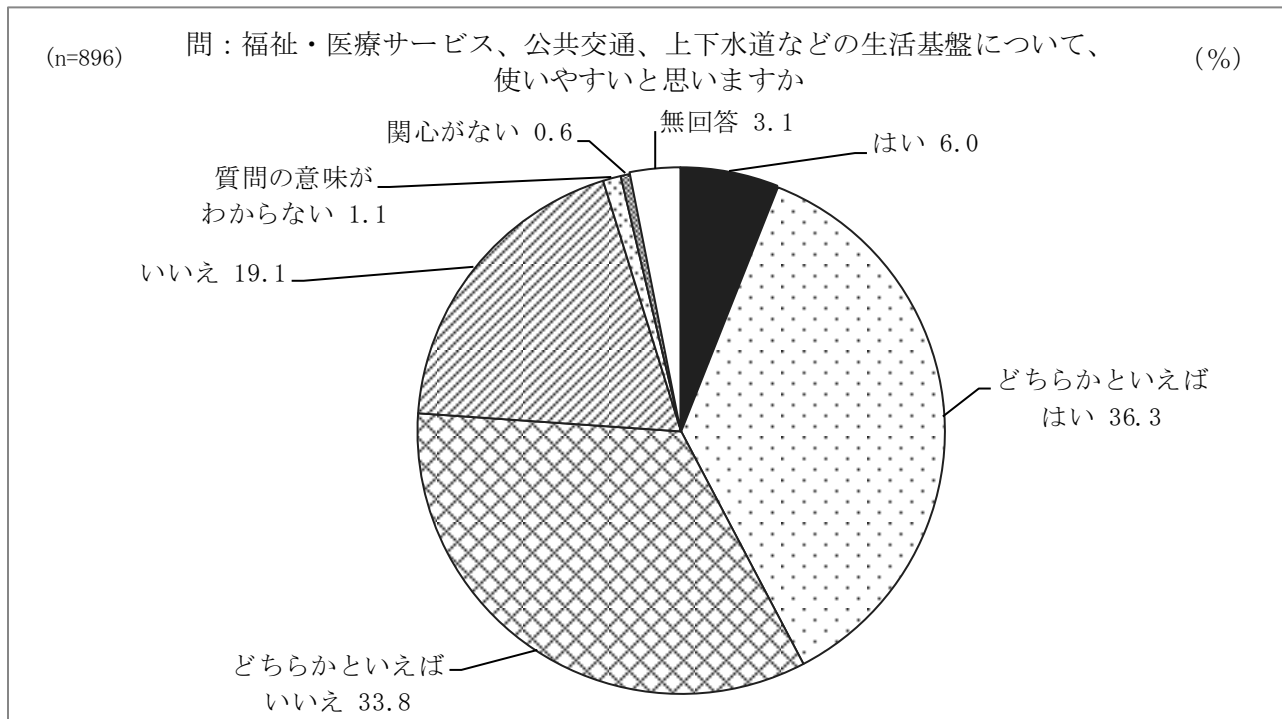
年齢別では、「18～29 歳」及び「40～49 歳」の年齢層で「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、4割を上回っています。一方、「60～69 歳」の年齢層で「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合は、6割を上回っています。



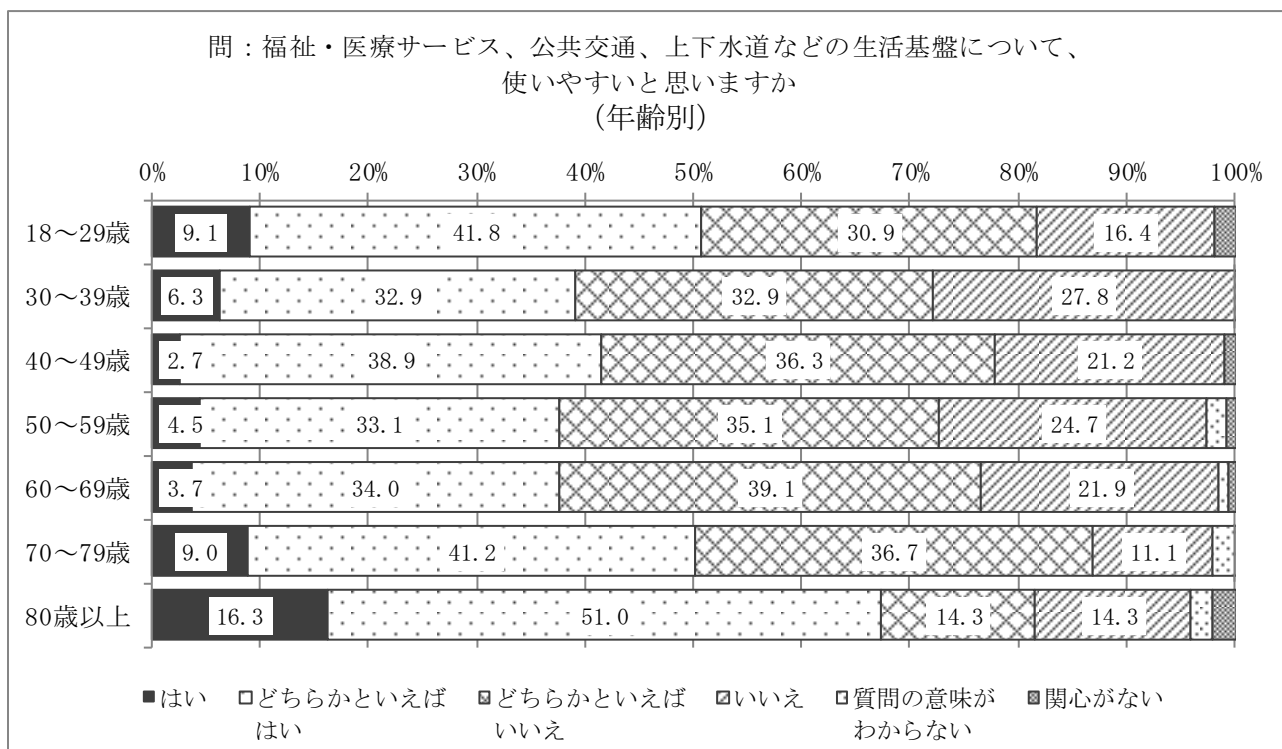
地域別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「島ヶ原」(43.4%)、「青山」(40.4%)と高くなっています。



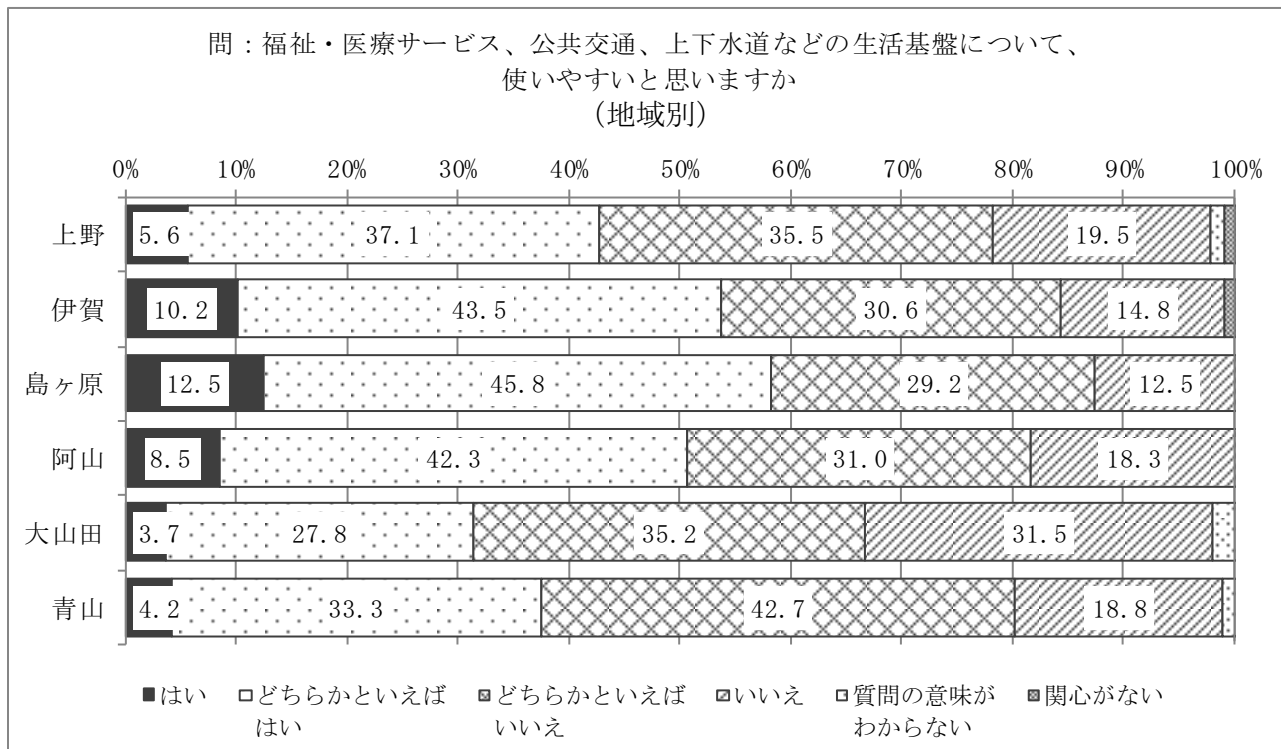
いくつになっても安心して暮らせるよう福祉・医療サービスや公共交通、上下水道などの生活基盤が充実しているかどうかについては、「はい」(6.0%)、「どちらかといえばはい」(36.3%)と答えた人の割合は、42.3%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(33.8%)、「いいえ」(19.1%)と答えた人の割合は、52.9%となっており、生活基盤が充実していると思う人が思っていない人の割合を下回っています。



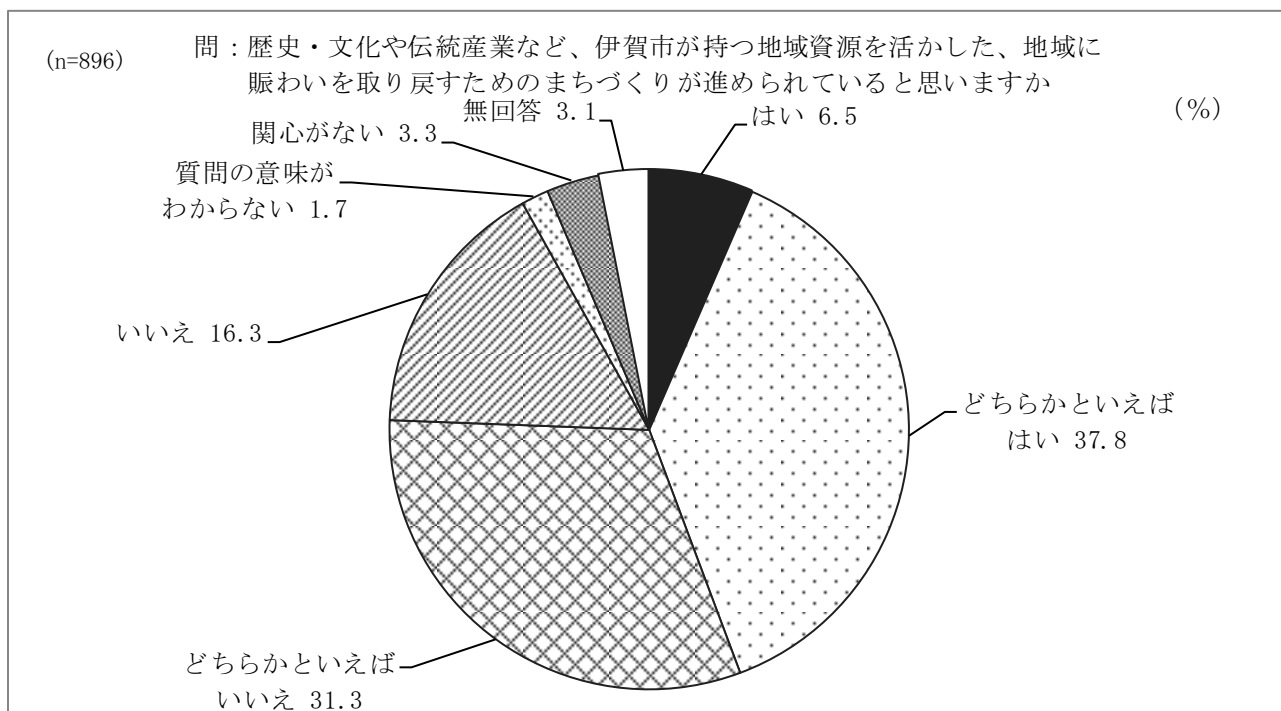
年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「18～29歳」(50.9%)、「70～79歳」(50.2%)、「80歳以上」(67.3%)で、5割を上回っています。



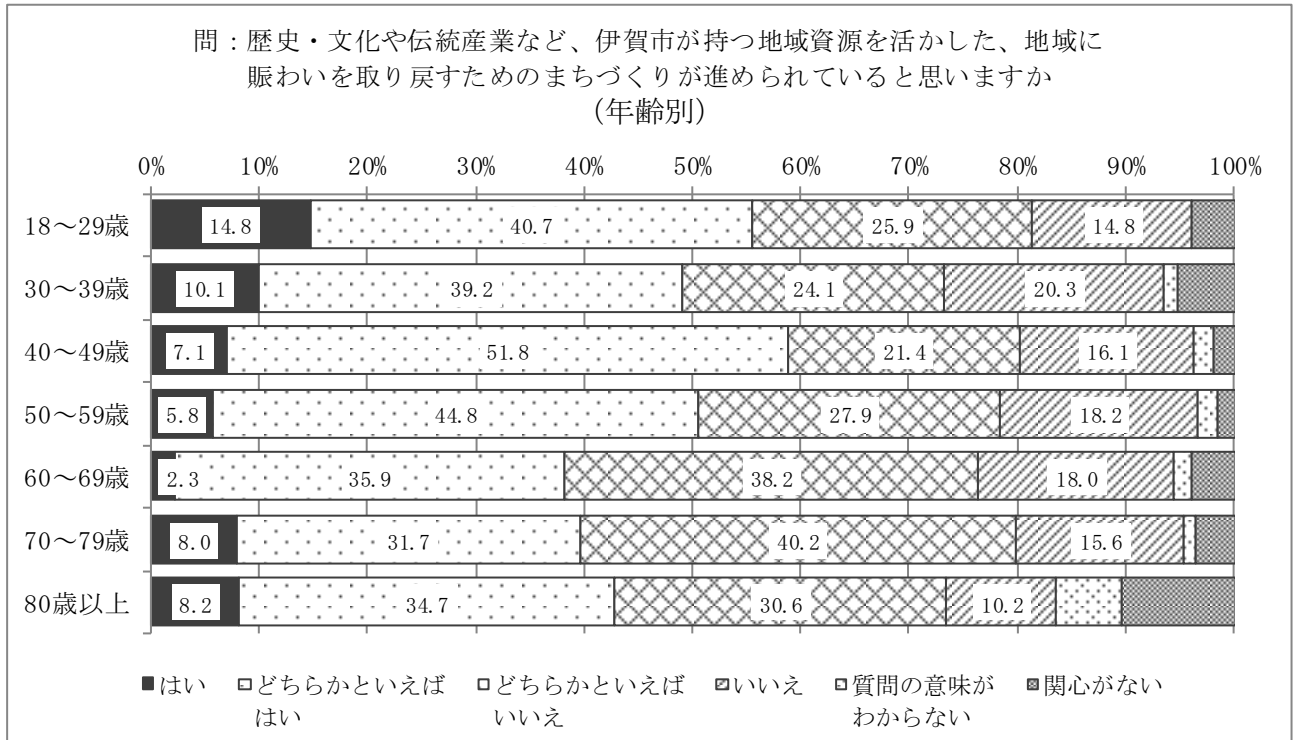
地域別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「伊賀」(53.7%)、「島ヶ原」(58.3%)、「阿山」(50.8%)と5割を上回っています。



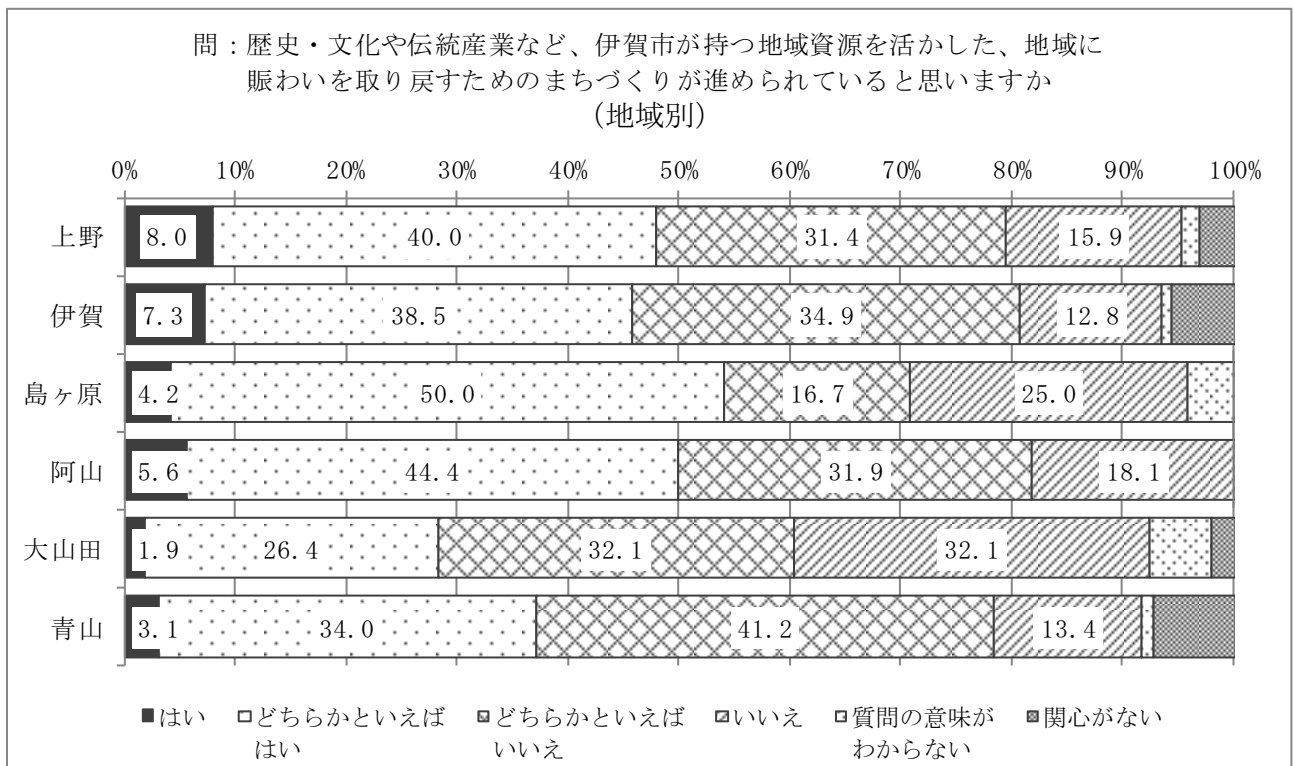
歴史・文化や伝統産業など、市が持つ地域資源を活かした、地域に賑わいを取り戻すためのまちづくりが進められているかどうかについては、「はい」(6.5%)、「どちらかといえばはい」(37.8%)と答えた人の割合は、44.3%となっています。一方、「どちらかといえばいいえ」(31.3%)、「いいえ」(16.3%)と答えた人の割合は、47.6%となっています。



年齢別では、「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合は、「18～29歳」(55.5%)、「40～49歳」(58.9%)と高くなっています。一方、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合は、「60～69歳」(56.2%)、「70～79歳」(55.8%)と高くなっています。



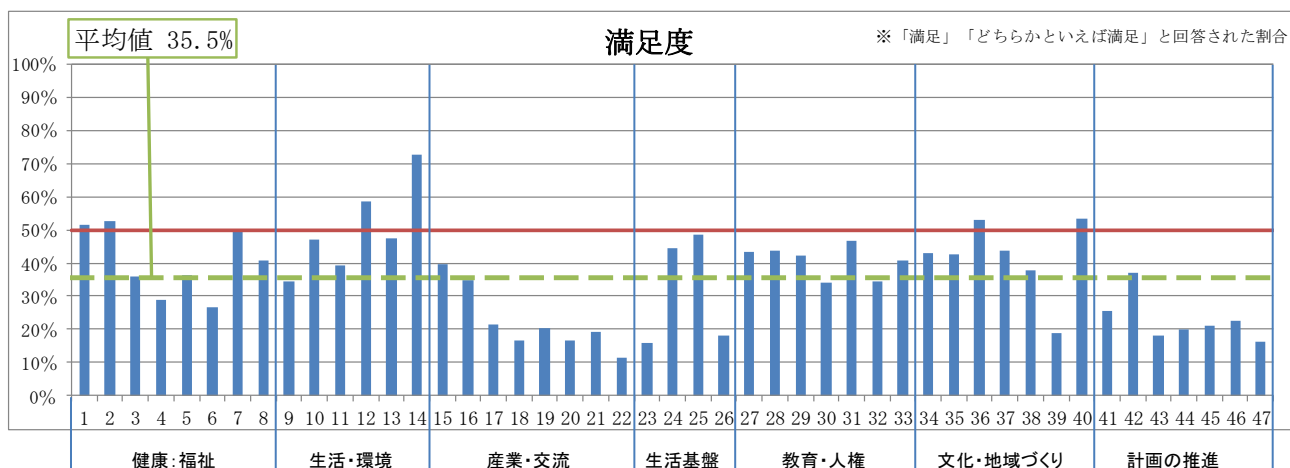
地域別では、「大山田」、「青山」が「はい」、「どちらかといえばはい」と答えた人の割合を、「どちらかといえばいいえ」、「いいえ」と答えた人の割合が他の地域と比較して大幅に上回っています。



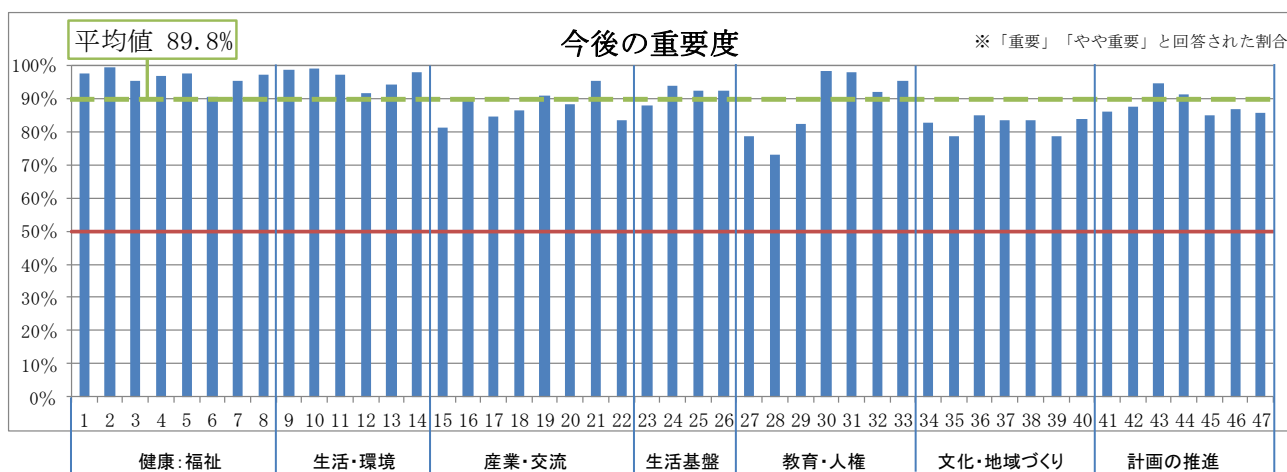
各分野別施策の状況

（ 問 8 ～ 9 関係 ）

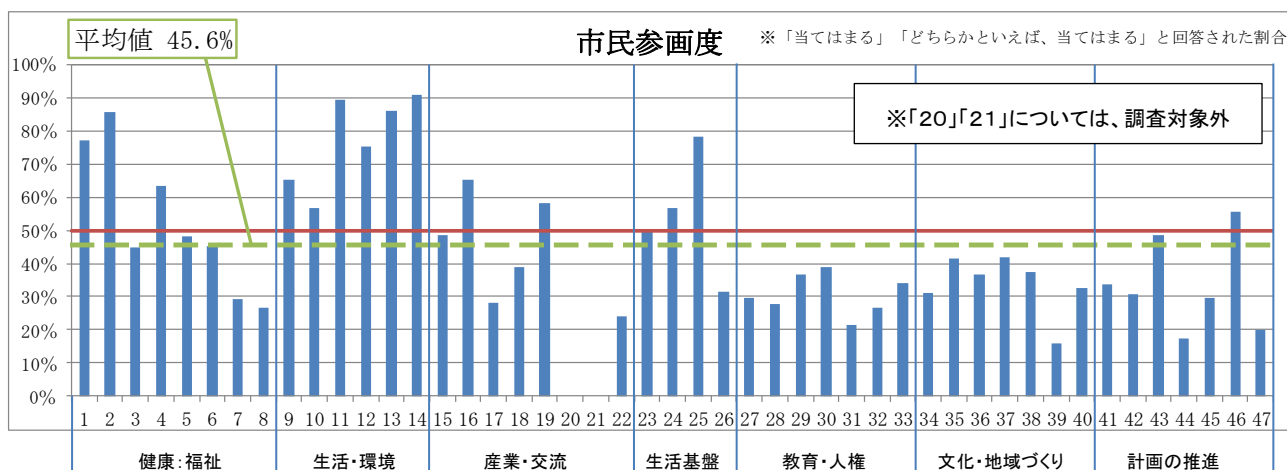
	分野名	主な施策	ページ
分 野 別 計 画	健康・福祉	1健康づくり、2医療、3福祉総合相談、4障がい者支援、5高齢者支援、6生活支援、7社会福祉・地域福祉、8子育て・少子化対策	41
	生活・環境	9危機管理、10消防・救急、11事故・犯罪防止、12環境保全、13一般廃棄物、14上下水道	59
	産業・交流	15観光、16農業、17森林保全・林業、18中心市街地活性化、19商工業、20産業立地、21雇用・就業、22起業支援	73
	生活基盤	23都市政策、24住環境整備、25道路、26公共交通	89
	教育・人権	27人権尊重・非核平和、28同和問題、29男女共同参画、30学校教育、31教育環境、32生涯学習、33青少年育成	99
	文化・地域づくり	34多文化共生、35文化・芸術、36歴史・文化遺産、37スポーツ、38市民活動、39域学連携、40住民自治	115
	計画の推進	41地域内分権、42広聴広報、43財政運営、44組織・人事、45広域連携、46情報化、47進行管理・行政マネジメント	131



「生活・環境」分野で比較的高い結果となっています。一方、「産業・交流」「計画の推進」の分野で低い結果となっています。



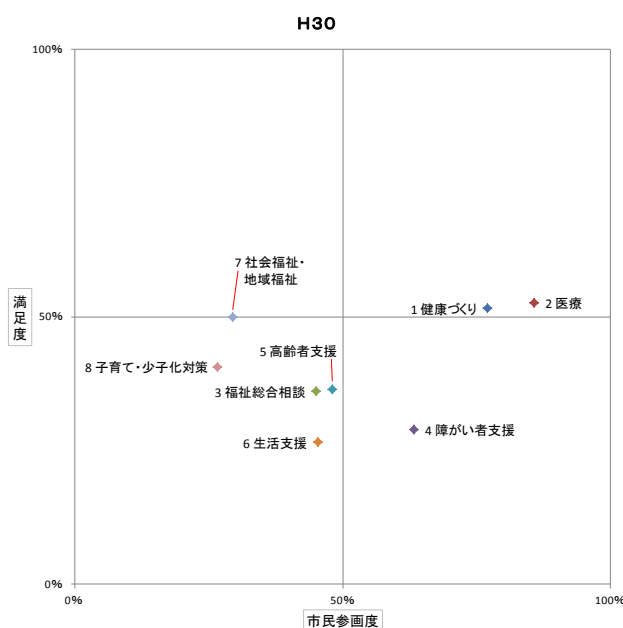
すべての分野で高い結果となっています。



「生活・環境」分野で高い結果となっています。一方、「教育・人権」「文化・地域づくり」「計画の推進」の分野で低い結果となっています。

1. 健康・福祉の分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(1)健康づくり 生涯を通じ、健康に暮らすことができる	72.9%	1	95.1%	3	71.5%	6	51.6%	6	97.3%	8	77.0%	6
(2)医療 身近なところで安心して医療を受けることができる	56.0%	9	96.1%	1	83.3%	3	52.7%	5	99.5%	1	85.7%	4
(3)福祉総合相談 さまざまな困りごとを総合的に支援し、解決する	38.3%	28	91.2%	18	52.2%	15	36.1%	26	95.3%	13	45.0%	20
(4)障がい者支援 障がい者が、自分らしく安心して暮らすことができる	36.1%	30	92.0%	15	62.0%	8	28.9%	31	96.8%	11	63.3%	10
(5)高齢者支援 高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる	40.3%	25	92.6%	12	54.0%	12	36.4%	25	97.4%	7	48.1%	18
(6)生活支援 生活困窮者を支援し、自立を助ける	33.7%	31	92.5%	13	47.0%	16	26.5%	32	90.4%	25	45.3%	19
(7)社会福祉・地域福祉 助け合いや支え合いにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らす	59.4%	5	93.1%	9	34.8%	25	50.0%	7	95.1%	15	29.4%	36
(8)子育て・少子化対策 子どもを安心して産み、育てることができる	46.7%	16	92.7%	11	36.0%	23	40.7%	20	97.3%	9	26.6%	40



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【健康・福祉】

施策1 「健康づくり」生涯を通じ、健康に暮らすことができる。

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	72.9	51.6	-21.3	—	—
	(順位)	(1)	(6)	(-5)	—	—
市民参画度	%	71.5	77.0	5.5	—	—
	(順位)	(6)	(6)	(0)	—	—

今後の重要度	%	95.1	97.3	2.2	—	—
	(順位)	(3)	(8)	(-5)	—	—

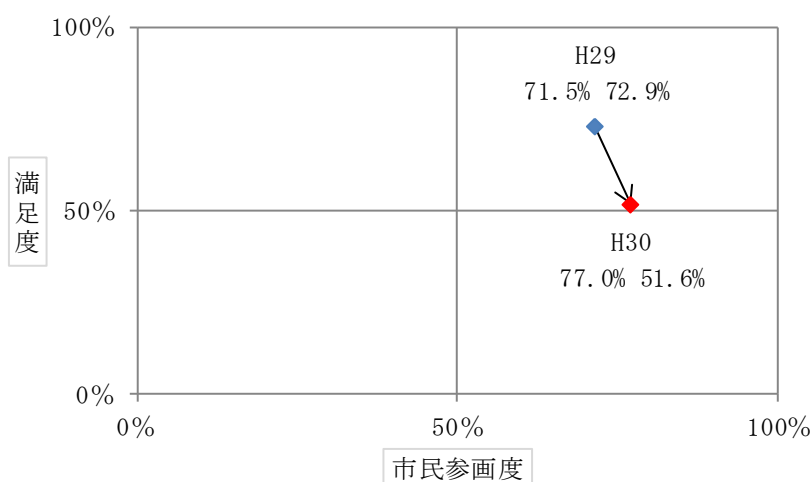
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

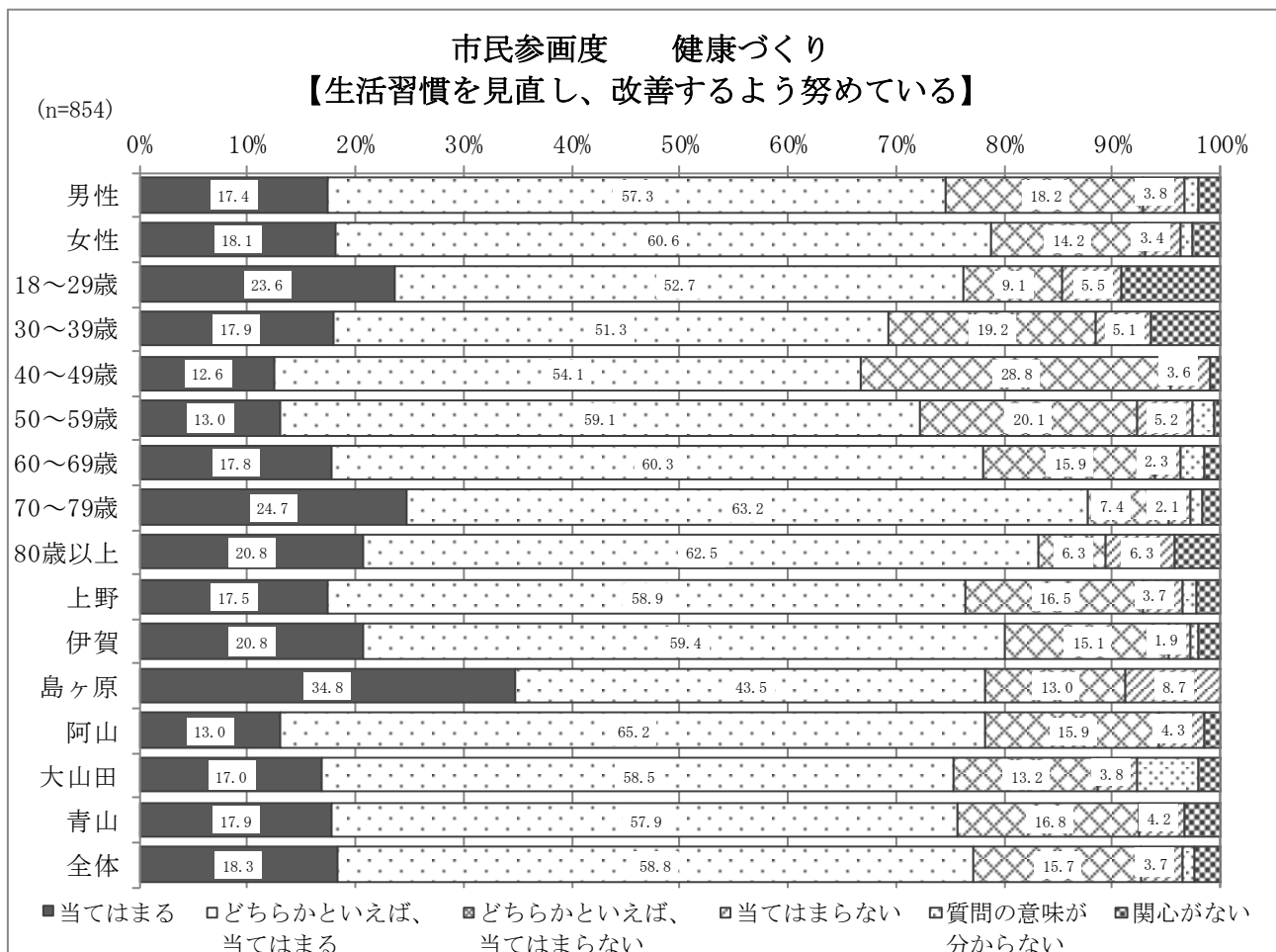
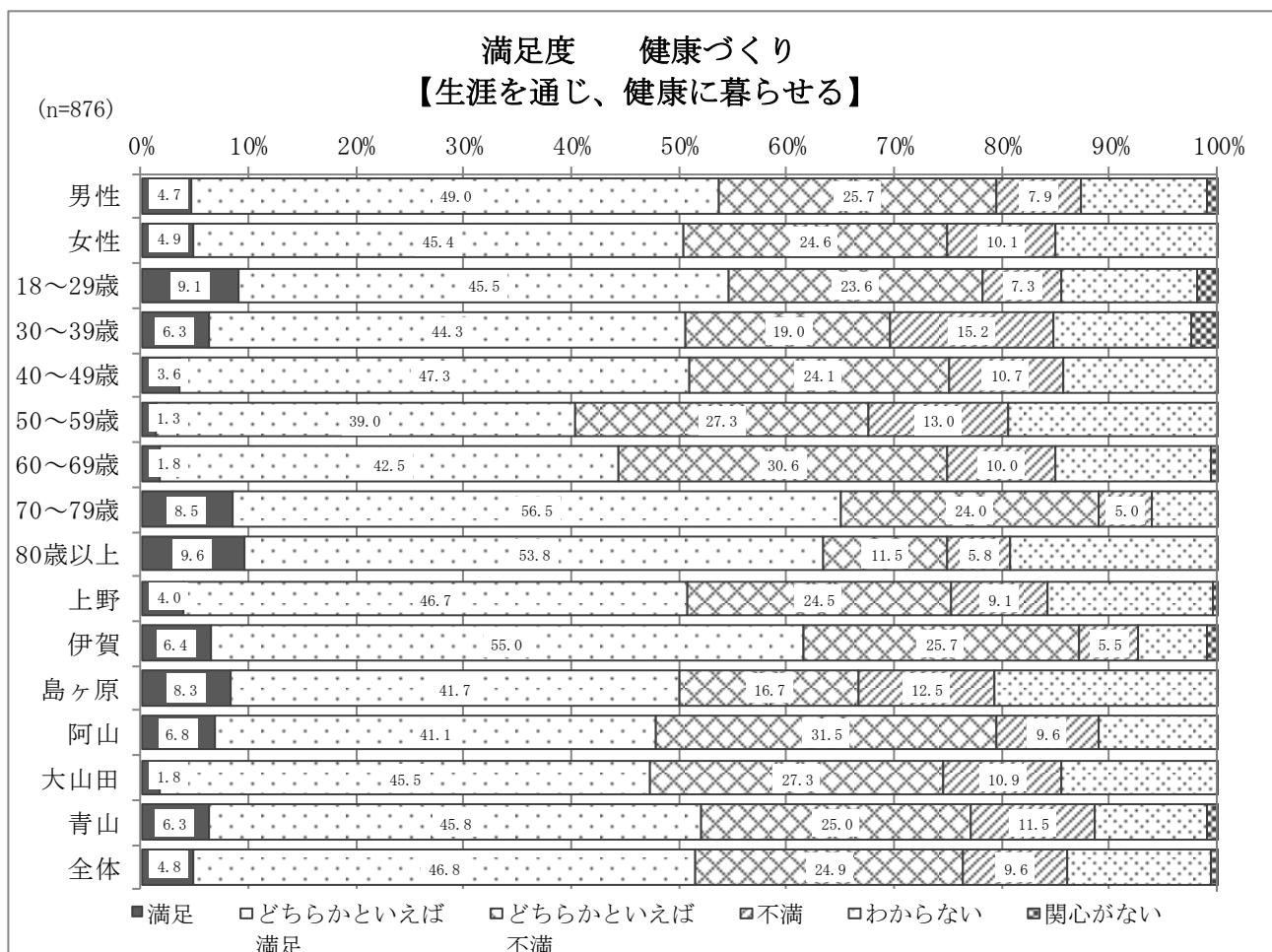
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『生涯を通じ、健康に暮らせる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	185	20.1%	42	4.8%	-143	-15.3p
2. どちらかといえば満足	487	52.8%	410	46.8%	-77	-6.0p
3. どちらかといえば不満	136	14.8%	218	24.9%	82	10.1p
4. 不満	48	5.2%	84	9.6%	36	4.4p
5. わからない	28	3.0%	118	13.5%	90	10.5p
6. 関心がない	9	1.0%	4	0.5%	-5	-0.5p
7. 無回答	29	3.1%	(20)	—	(-9)	—
N値	922	100.0%	876	100.0%	-46	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『生活習慣を見直し、改善するよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	148	16.1%	156	18.3%	8	2.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	511	55.4%	502	58.8%	-9	3.4p
3. どちらかといえば、当てはまらない	142	15.4%	134	15.7%	-8	0.3p
4. 当てはまらない	49	5.3%	32	3.7%	-17	-1.6p
5. 質問の意味が分からない	1	0.1%	10	1.2%	9	1.1p
6. 関心がない	15	1.6%	20	2.3%	5	0.7p
7. 無回答	56	6.1%	(42)	—	(-14)	—
N値	922	100.0%	854	100.0%	-68	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策2 「医療」 身近なところで安心して医療を受けることができる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	56.0	52.7	-3.3	—	—
	(順位)	(9)	(5)	(4)	—	—
市民参画度	%	83.3	85.7	2.4	—	—
	(順位)	(3)	(4)	(-1)	—	—

今後の重要度	%	96.1	99.5	3.4	—	—
	(順位)	(1)	(1)	(0)	—	—

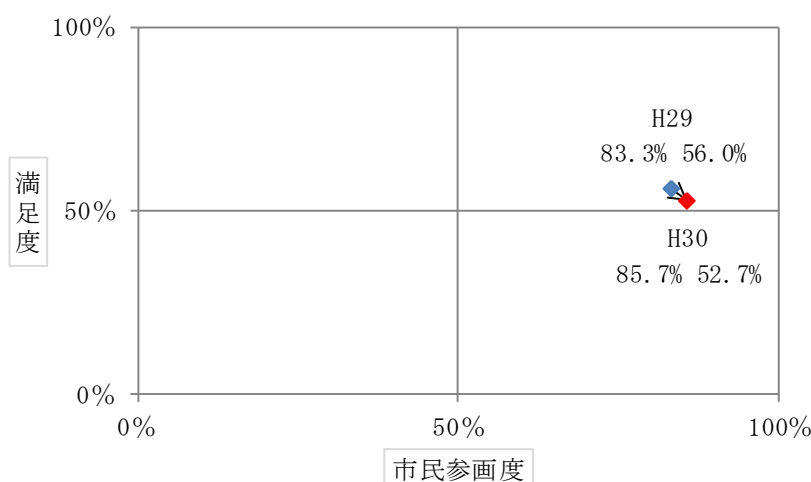
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

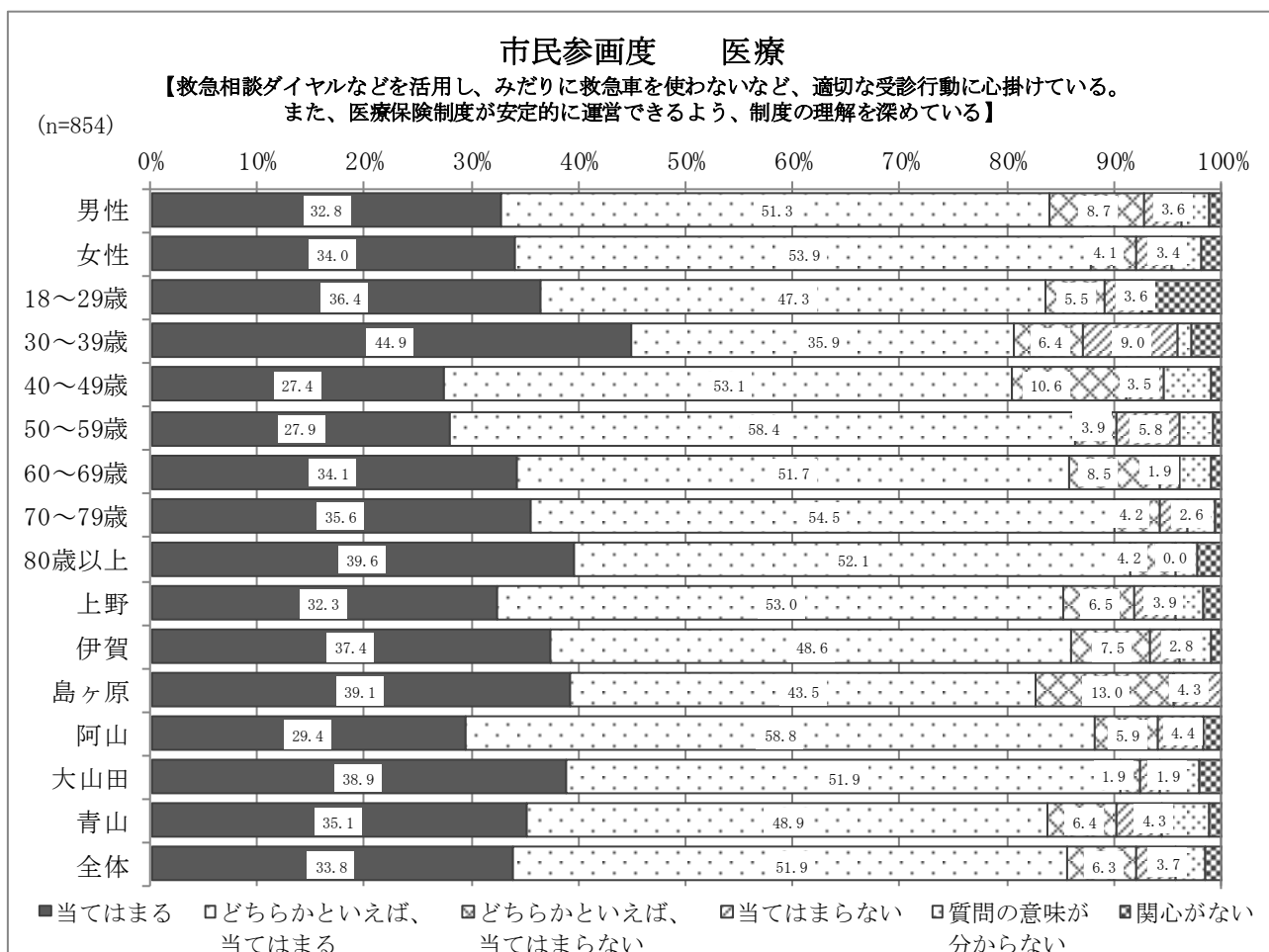
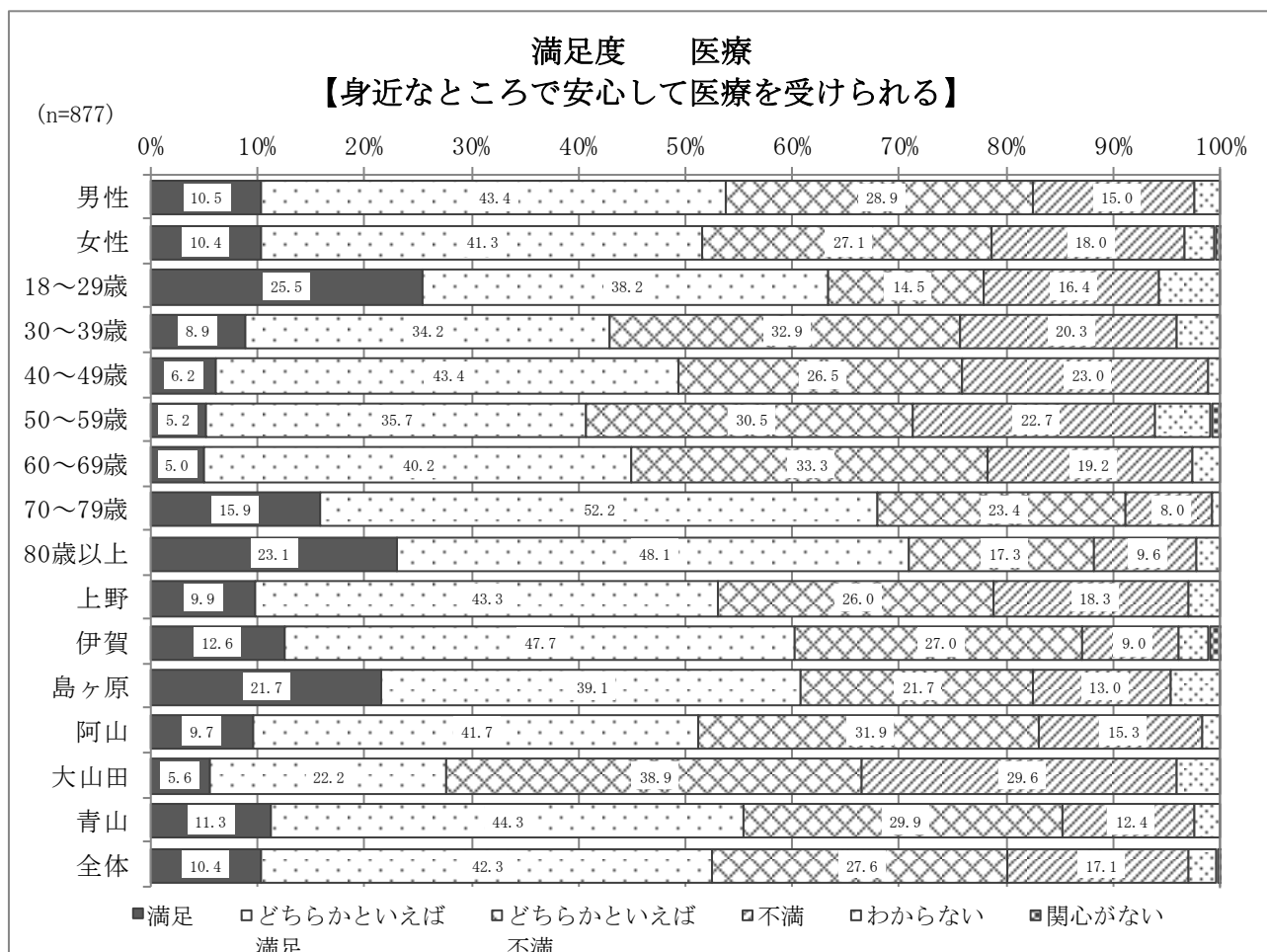
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『身近なところで安心して医療を受けられる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	174	18.9%	91	10.4%	-83	-8.5p
2. どちらかといえば満足	342	37.1%	371	42.3%	29	5.2p
3. どちらかといえば不満	227	24.6%	242	27.6%	15	3.0p
4. 不満	146	15.8%	150	17.1%	4	1.3p
5. わからない	1	0.1%	22	2.5%	21	2.4p
6. 関心がない	6	0.7%	1	0.1%	-5	-0.6p
7. 無回答	26	2.8%	(19)	—	(-7)	—
N値	922	100.0%	877	100.0%	-45	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『救急相談ダイヤルなどを活用し、みだりに救急車を使わないなど、適切な受診行動に心掛けている。また、医療保険制度が安定的に運営できるよう、制度の理解を深めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	356	38.6%	289	33.8%	-67	-4.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	412	44.7%	443	51.9%	31	7.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	68	7.4%	54	6.3%	-14	-1.1p
4. 当てはまらない	19	2.1%	32	3.7%	13	1.6p
5. 質問の意味が分からない	0	0.0%	24	2.8%	24	2.8p
6. 関心がない	15	1.6%	12	1.4%	-3	-0.2p
7. 無回答	52	5.6%	(42)	—	(-10)	—
N値	922	100.0%	854	100.0%	-68	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策3 「福祉総合相談」 さまざまな困りごとを総合的に支援し、解決する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	38.3	36.1	-2.2	—	—
	(順位)	(28)	(26)	(2)	—	—
市民参画度	%	52.2	45.0	-7.2	—	—
	(順位)	(15)	(20)	(-5)	—	—

今後の重要度	%	91.2	95.3	4.1	—	—
	(順位)	(18)	(13)	(5)	—	—

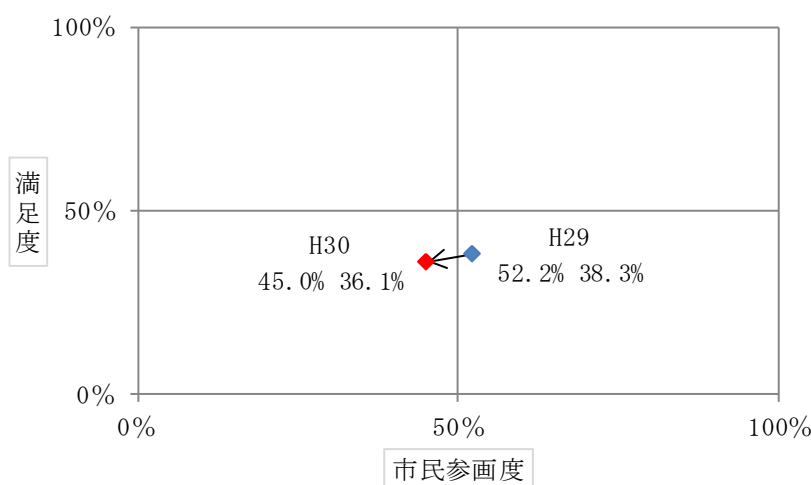
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『さまざまな困りごとを総合的に支援し、解決することができる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	52	5.6%	28	3.3%	-24	-2.3p
2. どちらかといえば満足	301	32.6%	280	32.8%	-21	0.2p
3. どちらかといえば不満	315	34.2%	238	27.9%	-77	-6.3p
4. 不満	144	15.6%	97	11.4%	-47	-4.2p
5. わからない	14	1.5%	202	23.7%	188	22.2p
6. 関心がない	42	4.6%	8	0.9%	-34	-3.7p
7. 無回答	54	5.9%	(43)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地域で困っている人に気づいたら声をかけ、話を聞き、必要なときには支援機関につなげている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	100	10.8%	88	10.3%	-12	-0.5p
2. どちらかといえば、当てはまる	381	41.3%	295	34.7%	-86	-6.6p
3. どちらかといえば、当てはまらない	272	29.5%	270	31.7%	-2	2.2p
4. 当てはまらない	85	9.2%	153	18.0%	68	8.8p
5. 質問の意味が分からない	3	0.3%	24	2.8%	21	2.5p
6. 関心がない	28	3.0%	21	2.5%	-7	-0.5p
7. 無回答	53	5.7%	(45)	—	(-8)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策4 「障がい者支援」 障がい者が、自分らしく安心して暮らすことができる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	36.1	28.9	-7.2	—	—
	(順位)	(30)	(31)	(-1)	—	—
市民参画度	%	62.0	63.3	1.3	—	—
	(順位)	(8)	(10)	(-2)	—	—

今後の重要度	%	92.0	96.8	4.8	—	—
	(順位)	(15)	(11)	(4)	—	—

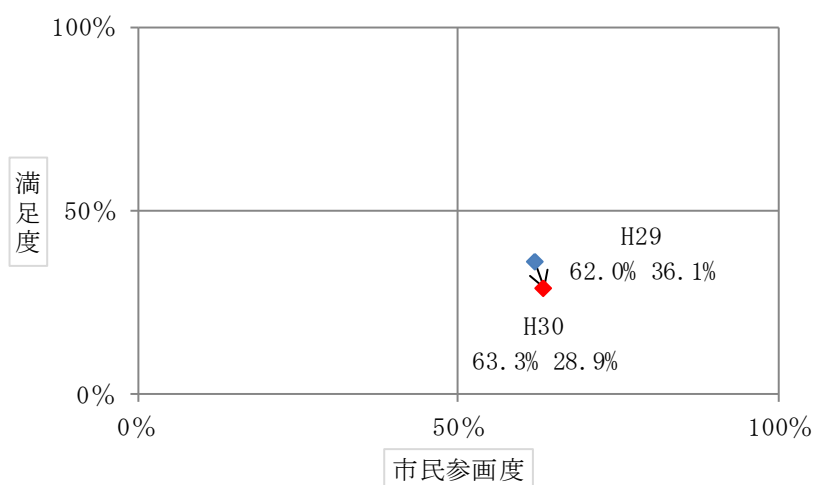
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

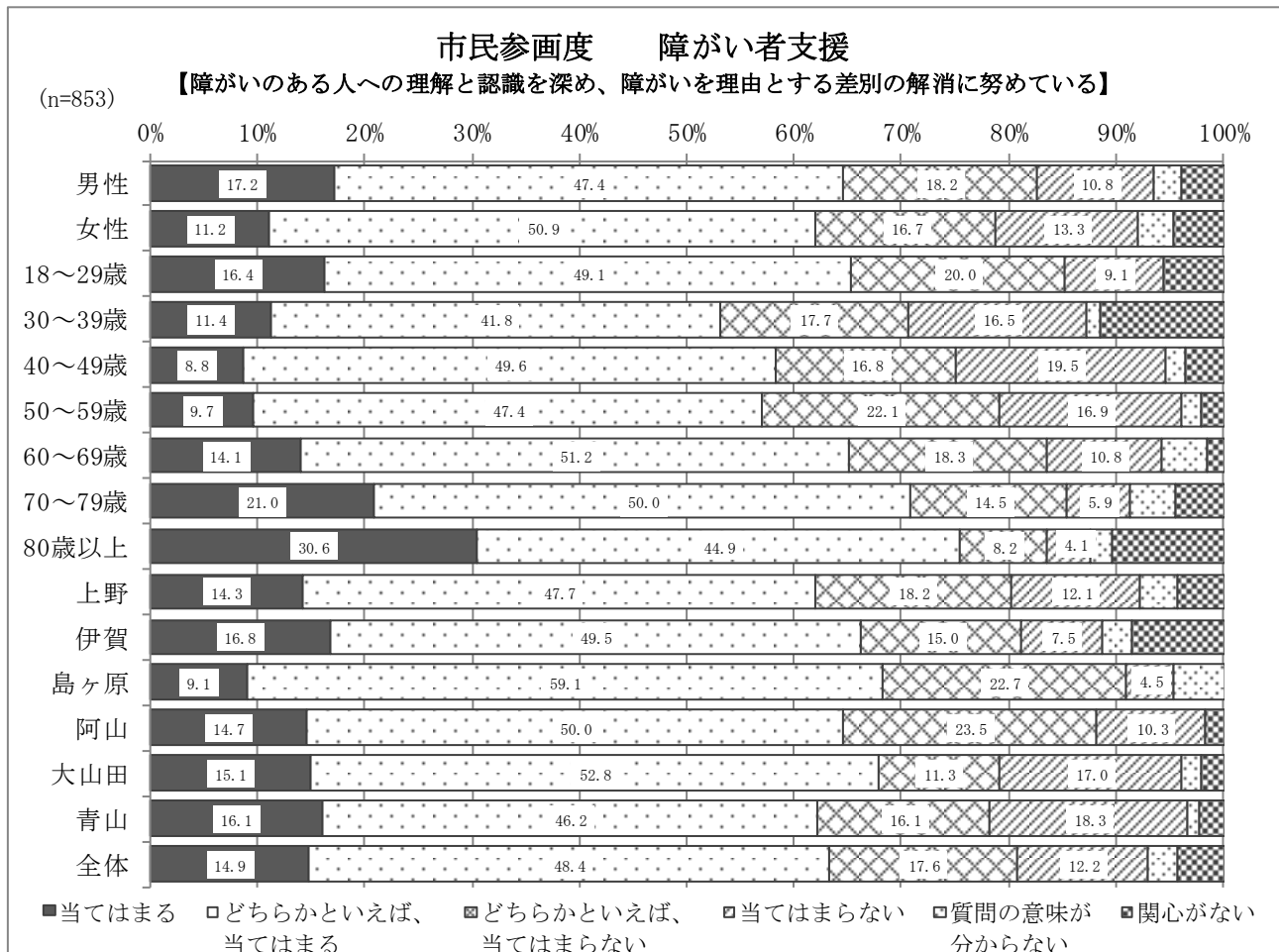
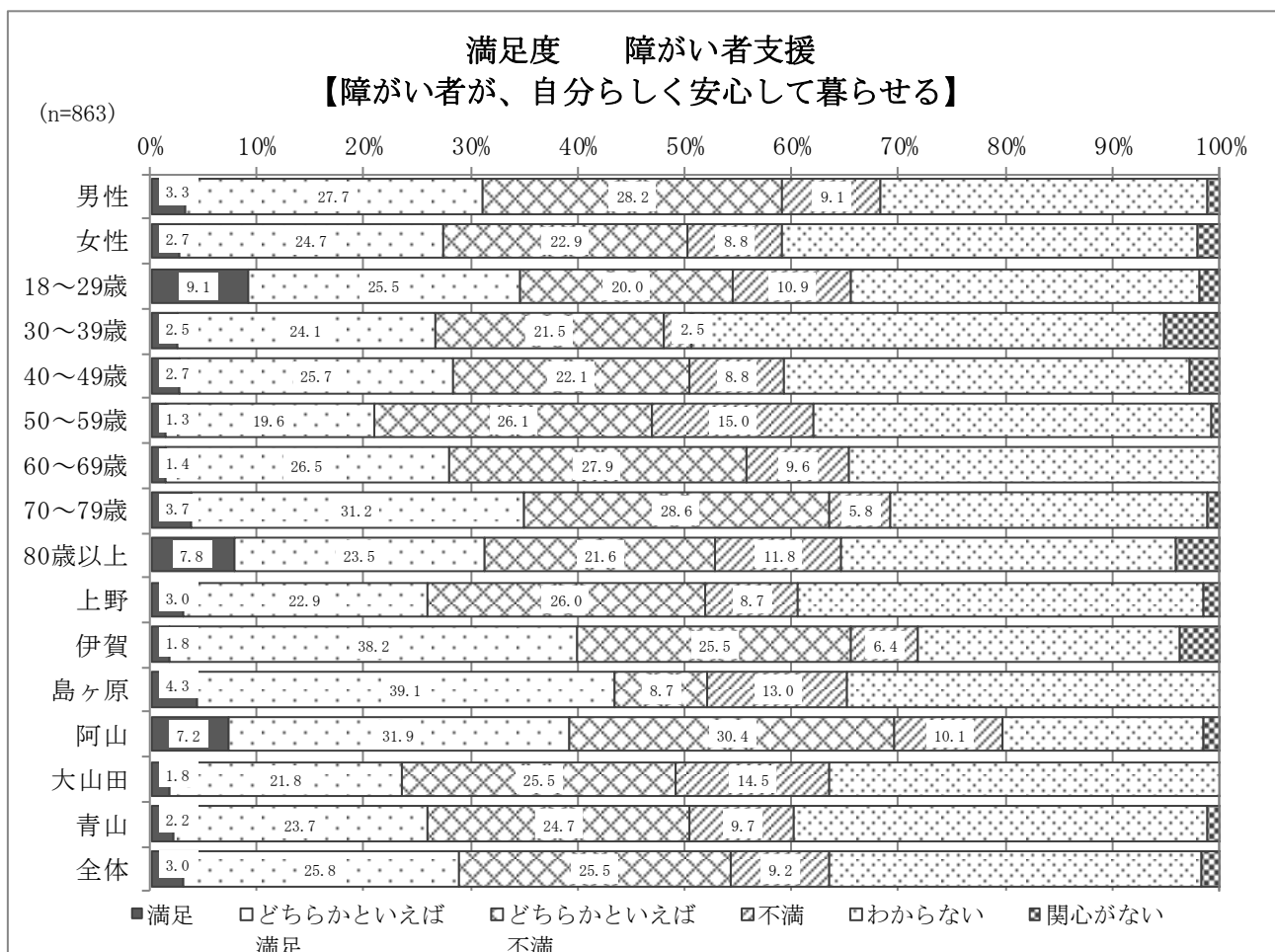
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『障がい者が、自分らしく安心して暮らせる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	45	4.9%	26	3.0%	-19	-1.9p
2. どちらかといえば満足	288	31.2%	223	25.8%	-65	-5.4p
3. どちらかといえば不満	303	32.9%	220	25.5%	-83	-7.4p
4. 不満	126	13.7%	79	9.2%	-47	-4.5p
5. わからない	25	2.7%	302	35.0%	277	32.3p
6. 関心がない	47	5.1%	13	1.5%	-34	-3.6p
7. 無回答	88	9.5%	(33)	—	(-55)	—
N値	922	100.0%	863	100.0%	-59	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『障がいのある人への理解と認識を深め、障がいを理由とする差別の解消に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	147	15.9%	127	14.9%	-20	-1.0p
2. どちらかといえば、当てはまる	425	46.1%	413	48.4%	-12	2.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	196	21.3%	150	17.6%	-46	-3.7p
4. 当てはまらない	61	6.6%	104	12.2%	43	5.6p
5. 質問の意味が分からない	3	0.3%	24	2.8%	21	2.5p
6. 関心がない	29	3.1%	35	4.1%	6	1.0p
7. 無回答	61	6.6%	(43)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策5 「高齢者支援」 高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らすことができる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	40.3	36.4	-3.9	—	—
	(順位)	(25)	(25)	(0)	—	—
市民参画度	%	54.0	48.1	-5.9	—	—
	(順位)	(12)	(18)	(-6)	—	—

今後の重要度	%	92.6	97.4	4.8	—	—
	(順位)	(12)	(7)	(5)	—	—

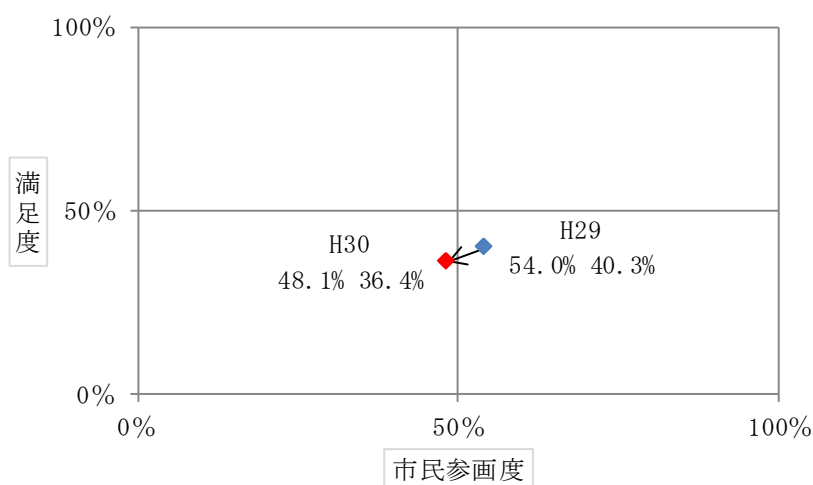
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

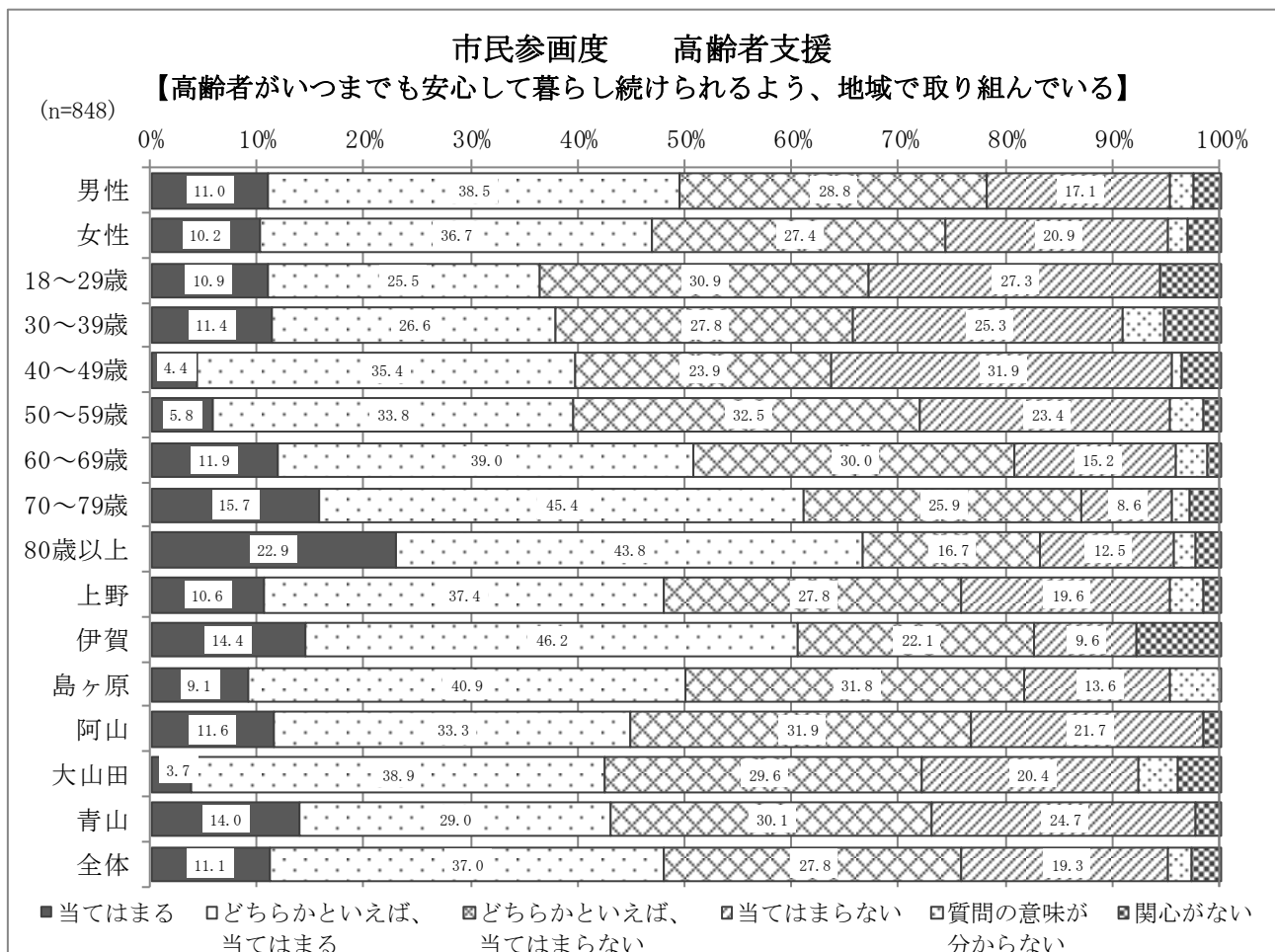
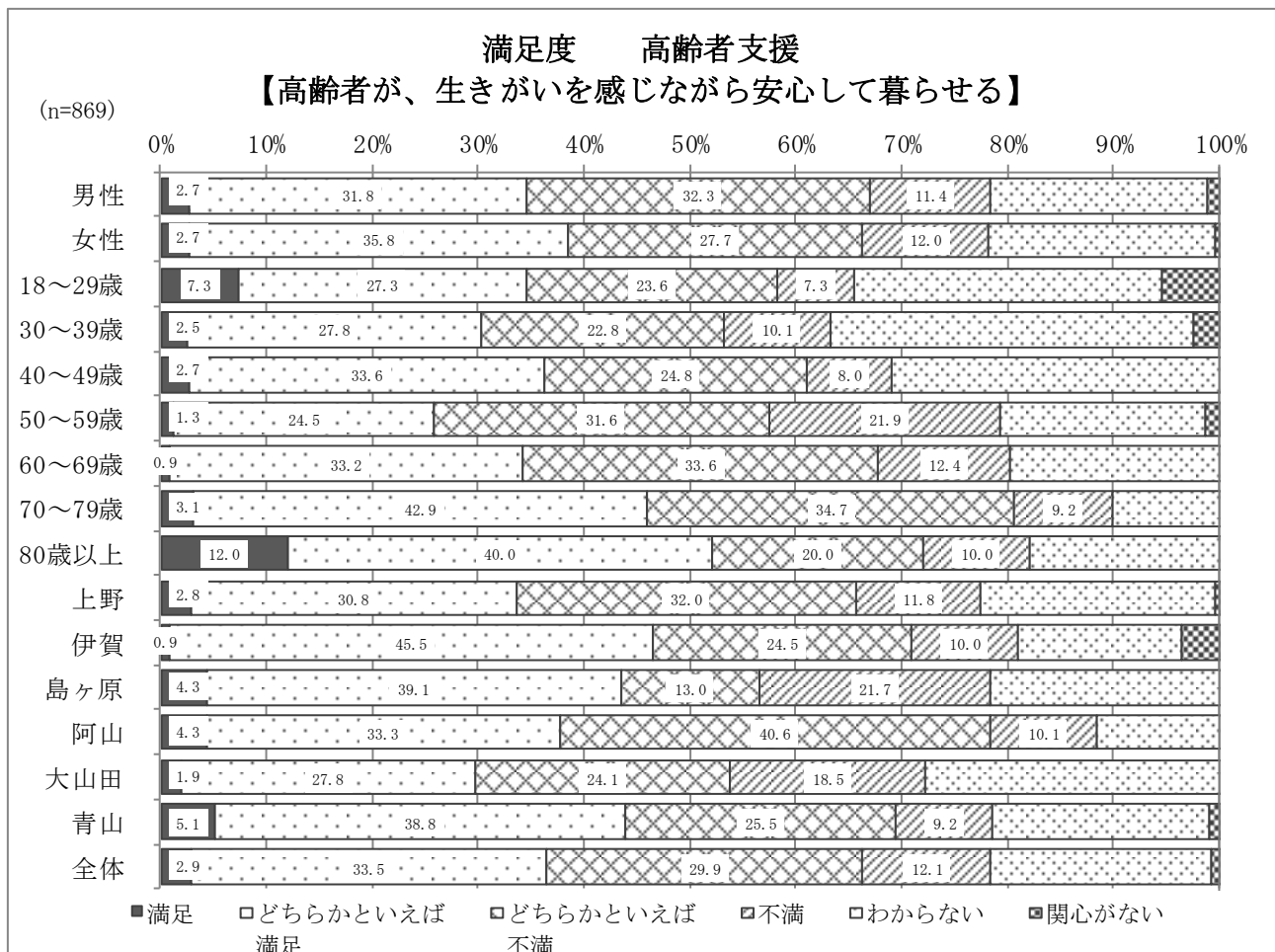
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らせる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	60	6.5%	25	2.9%	-35	-3.6p
2. どちらかといえば満足	312	33.8%	291	33.5%	-21	-0.3p
3. どちらかといえば不満	333	36.1%	260	29.9%	-73	-6.2p
4. 不満	137	14.9%	105	12.1%	-32	-2.8p
5. わからない	5	0.5%	181	20.8%	176	20.3p
6. 関心がない	30	3.3%	7	0.8%	-23	-2.5p
7. 無回答	45	4.9%	(27)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	869	100.0%	-53	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『高齢者がいつまでも安心して暮らし続けられるよう、地域で取り組んでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	115	12.5%	94	11.1%	-21	-1.4p
2. どちらかといえば、当てはまる	383	41.5%	314	37.0%	-69	-4.5p
3. どちらかといえば、当てはまらない	243	26.4%	236	27.8%	-7	1.4p
4. 当てはまらない	104	11.3%	164	19.3%	60	8.0p
5. 質問の意味が分からない	2	0.2%	19	2.2%	17	2.0p
6. 関心がない	26	2.8%	21	2.5%	-5	-0.3p
7. 無回答	49	5.3%	(48)	—	(-1)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策6 「生活支援」 生活困窮者を支援し、自立を助ける

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	33.7	26.5	-7.2	—	—
	(順位)	(31)	(32)	(-1)	—	—
市民参画度	%	47.0	45.3	-1.7	—	—
	(順位)	(16)	(19)	(-3)	—	—

今後の重要度	%	92.5	90.4	-2.1	—	—
	(順位)	(13)	(25)	(-12)	—	—

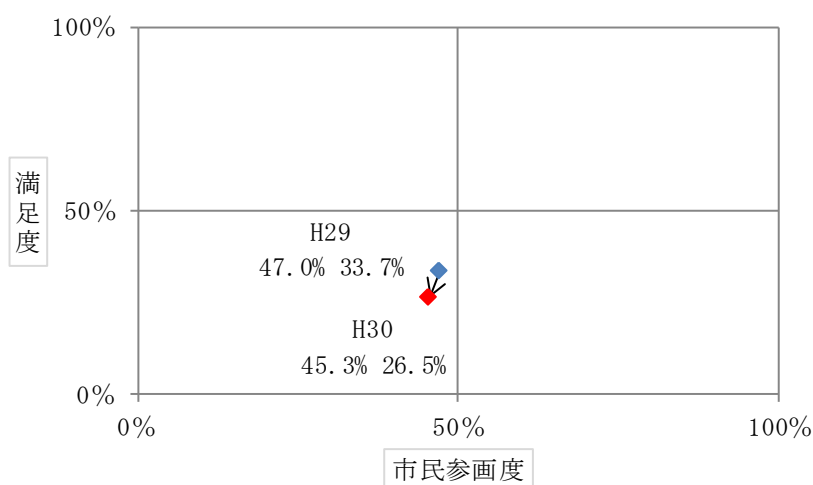
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

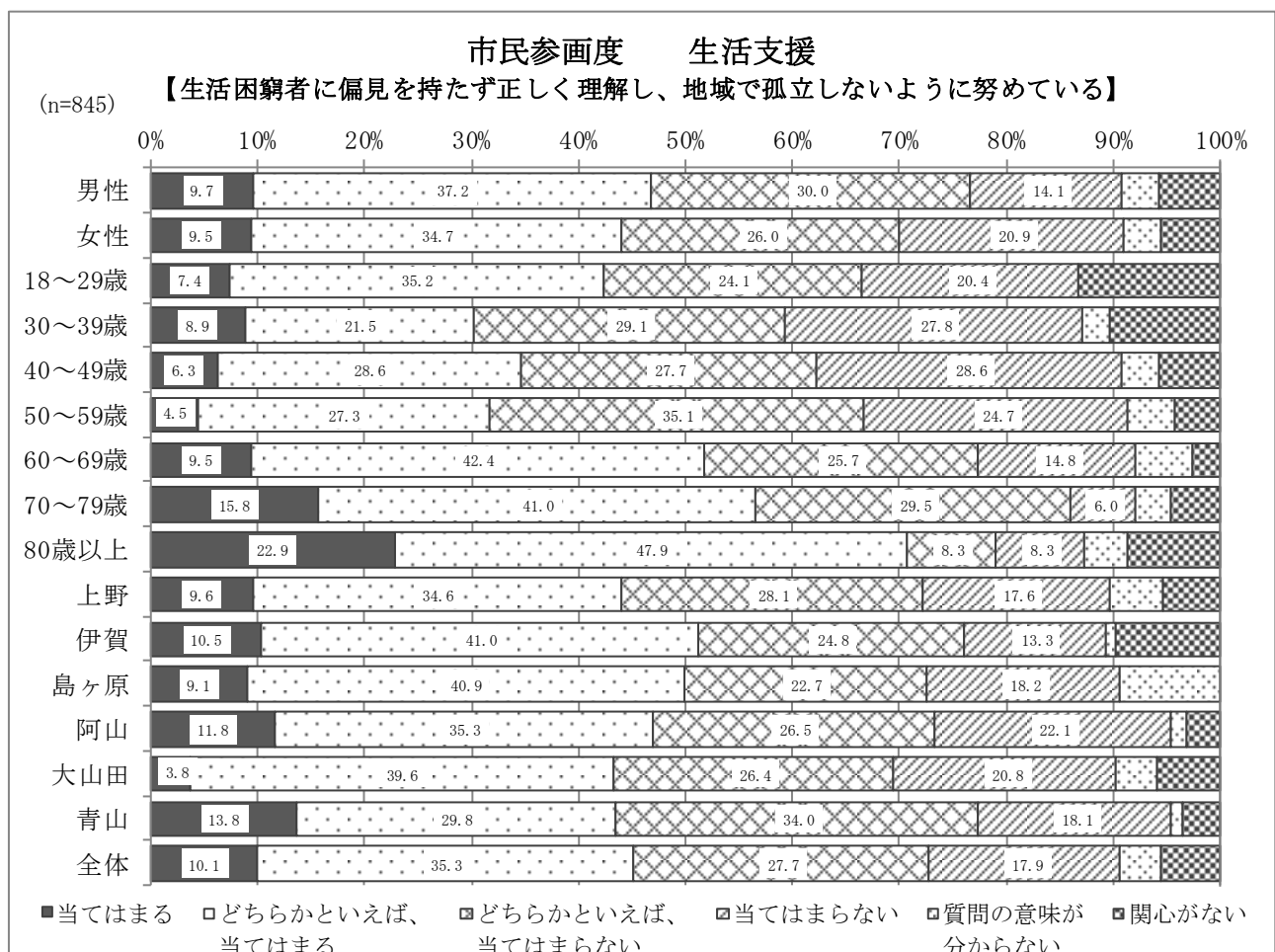
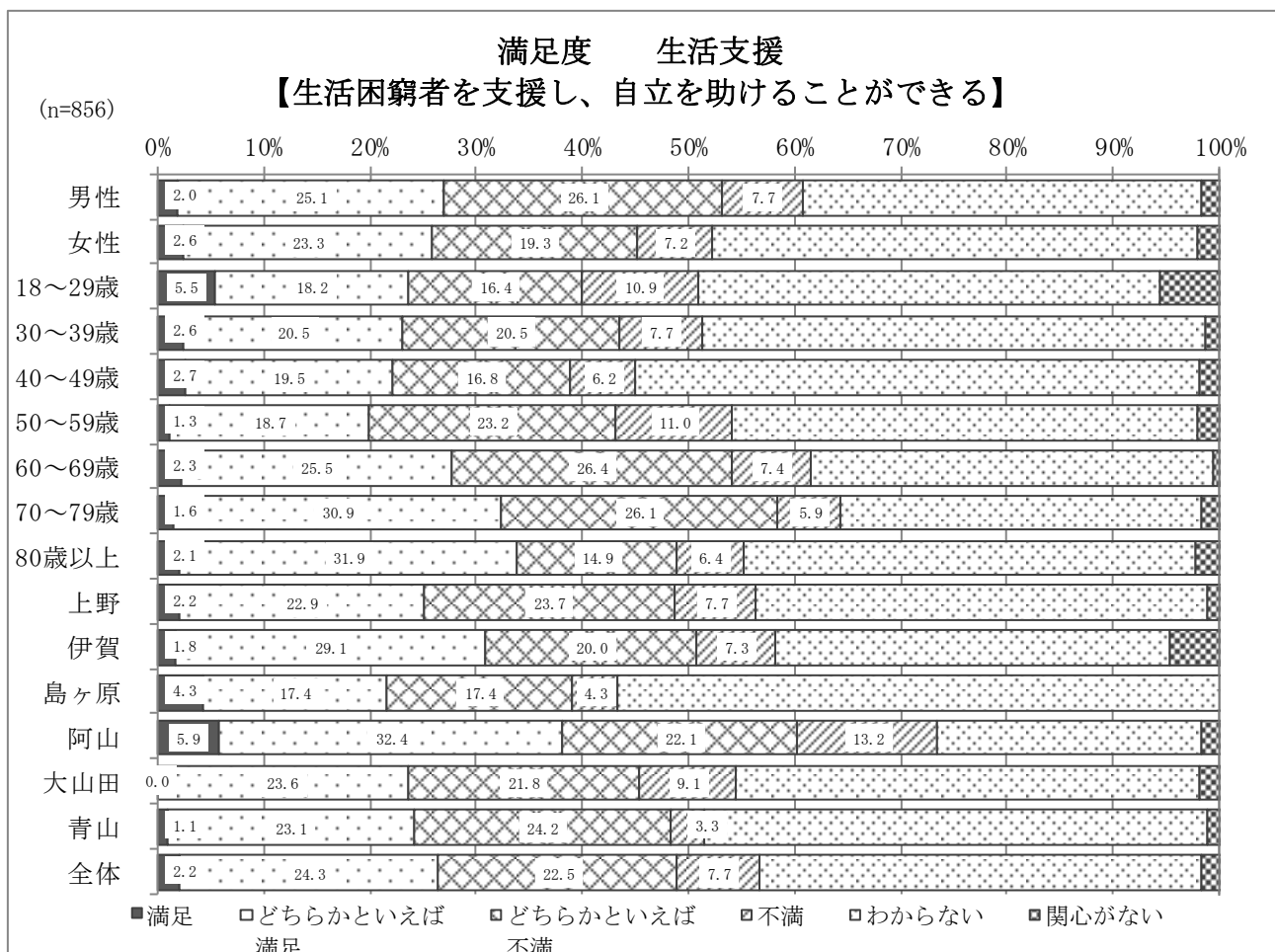
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『生活困窮者を支援し、自立を助けることができる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	39	4.2%	19	2.2%	-20	-2.0p
2. どちらかといえば満足	272	29.5%	208	24.3%	-64	-5.2p
3. どちらかといえば不満	318	34.5%	193	22.5%	-125	-12.0p
4. 不満	138	15.0%	66	7.7%	-72	-7.3p
5. わからない	21	2.3%	356	41.6%	335	39.3p
6. 関心がない	52	5.6%	14	1.6%	-38	-4.0p
7. 無回答	82	8.9%	(40)	—	(-42)	—
N値	922	100.0%	856	100.0%	-66	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『生活困窮者に偏見を持たず正しく理解し、地域で孤立しないように努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	72	7.8%	85	10.1%	13	2.3p
2. どちらかといえば、当てはまる	361	39.2%	298	35.3%	-63	-3.9p
3. どちらかといえば、当てはまらない	290	31.5%	234	27.7%	-56	-3.8p
4. 当てはまらない	105	11.4%	151	17.9%	46	6.5p
5. 質問の意味が分からない	6	0.7%	33	3.9%	27	3.2p
6. 関心がない	31	3.4%	44	5.2%	13	1.8p
7. 無回答	57	6.2%	(51)	—	(-6)	—
N値	922	100.0%	845	100.0%	-77	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策7 「社会福祉・地域福祉」 助け合いや支え合いにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らす

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	59.4	50.0	-9.4	—	—
	(順位)	(5)	(7)	(-2)	—	—
市民参画度	%	34.8	29.4	-5.4	—	—
	(順位)	(25)	(36)	(-11)	—	—

今後の重要度	%	93.1	95.1	2.0	—	—
	(順位)	(9)	(15)	(-6)	—	—

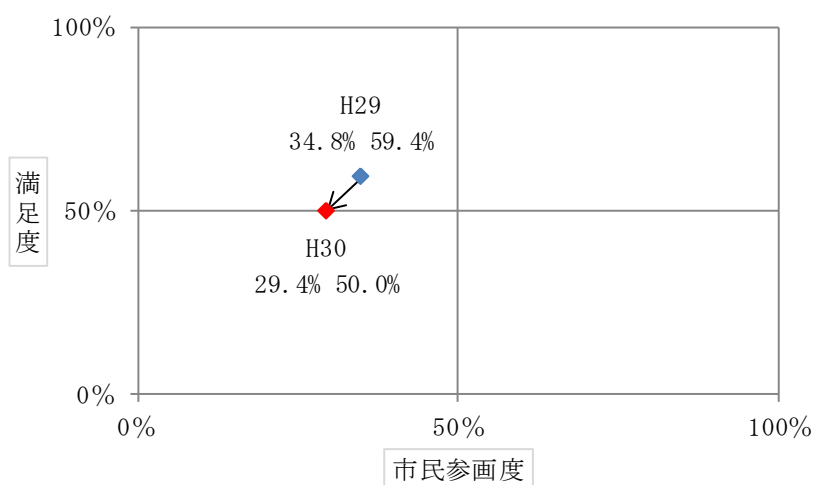
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

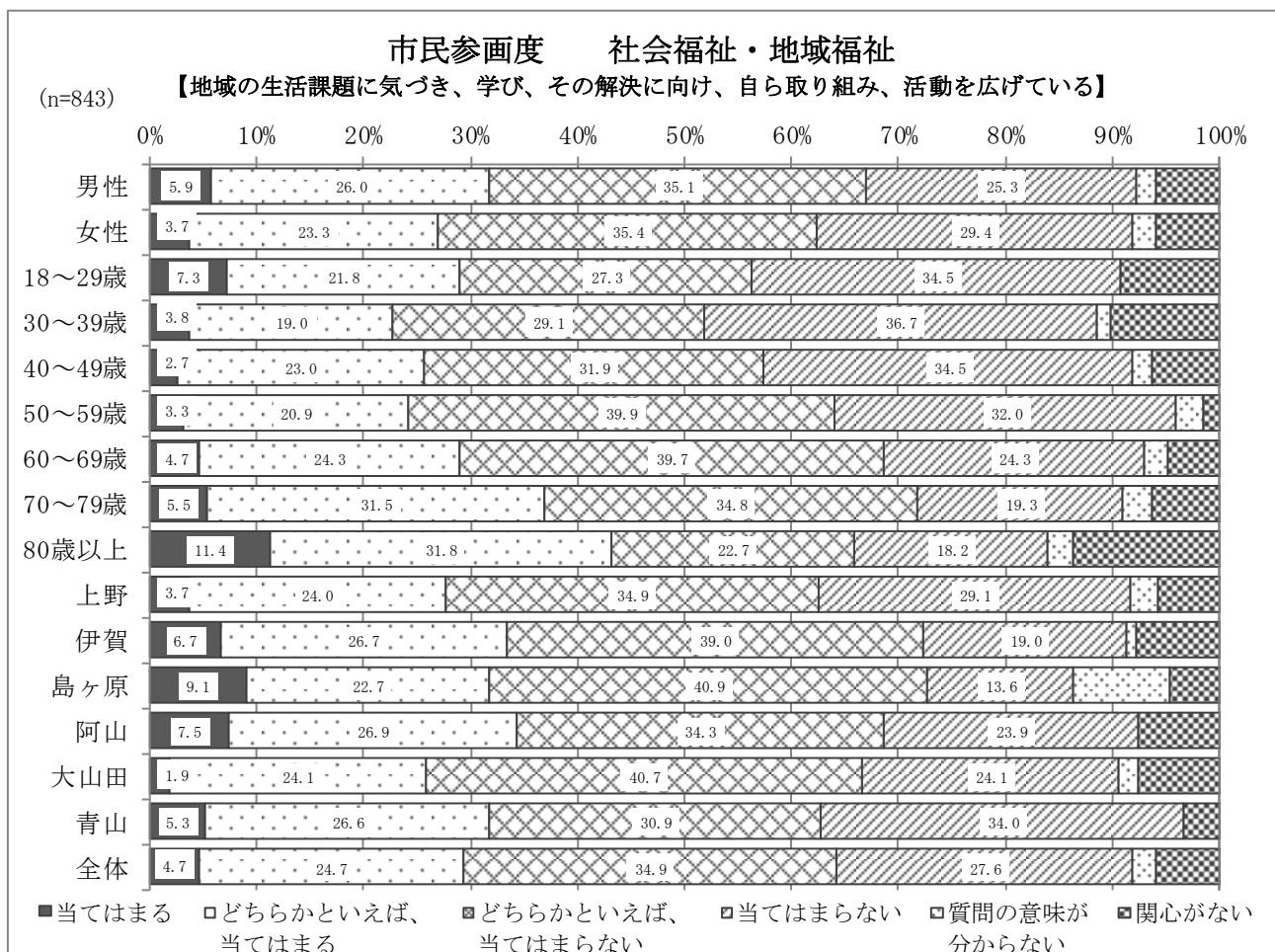
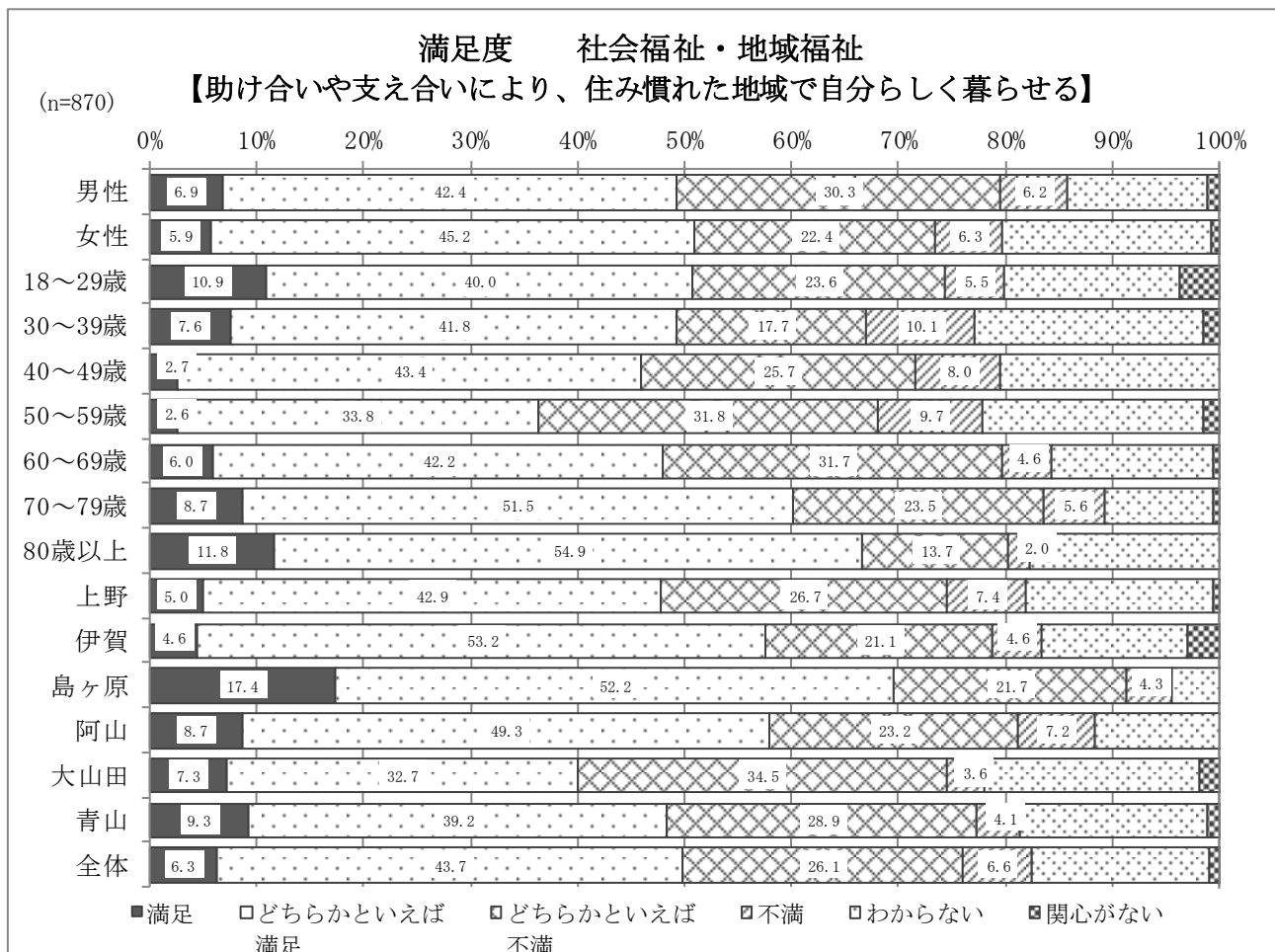
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『助け合いや支え合いにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	113	12.3%	55	6.3%	-58	-6.0p
2. どちらかといえば満足	435	47.2%	380	43.7%	-55	-3.5p
3. どちらかといえば不満	226	24.5%	227	26.1%	1	1.6p
4. 不満	82	8.9%	57	6.6%	-25	-2.3p
5. わからない	5	0.5%	144	16.6%	139	16.1p
6. 関心がない	20	2.2%	7	0.8%	-13	-1.4p
7. 無回答	41	4.4%	(26)	—	(-15)	—
N値	922	100.0%	870	100.0%	-52	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地域の生活課題に気づき、学び、その解決に向け、自ら取り組み、活動を広げている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	49	5.3%	40	4.7%	-9	-0.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	272	29.5%	208	24.7%	-64	-4.8p
3. どちらかといえば、当てはまらない	342	37.1%	294	34.9%	-48	-2.2p
4. 当てはまらない	158	17.1%	233	27.6%	75	10.5p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	19	2.3%	15	1.9p
6. 関心がない	40	4.3%	49	5.8%	9	1.5p
7. 無回答	57	6.2%	(53)	—	(-4)	—
N値	922	100.0%	843	100.0%	-79	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【健康・福祉】

施策8 「子育て・少子化対策」 子どもを安心して産み、育てることができる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	46.7	40.7	-6.0	—	—
	(順位)	(16)	(20)	(-4)	—	—
市民参画度	%	36.0	26.6	-9.4	—	—
	(順位)	(23)	(40)	(-17)	—	—

今後の重要度	%	92.7	97.3	4.6	—	—
	(順位)	(11)	(9)	(2)	—	—

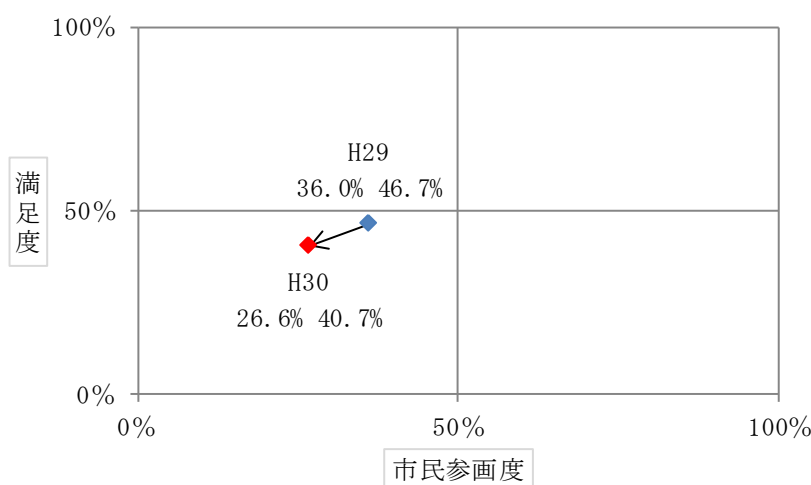
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

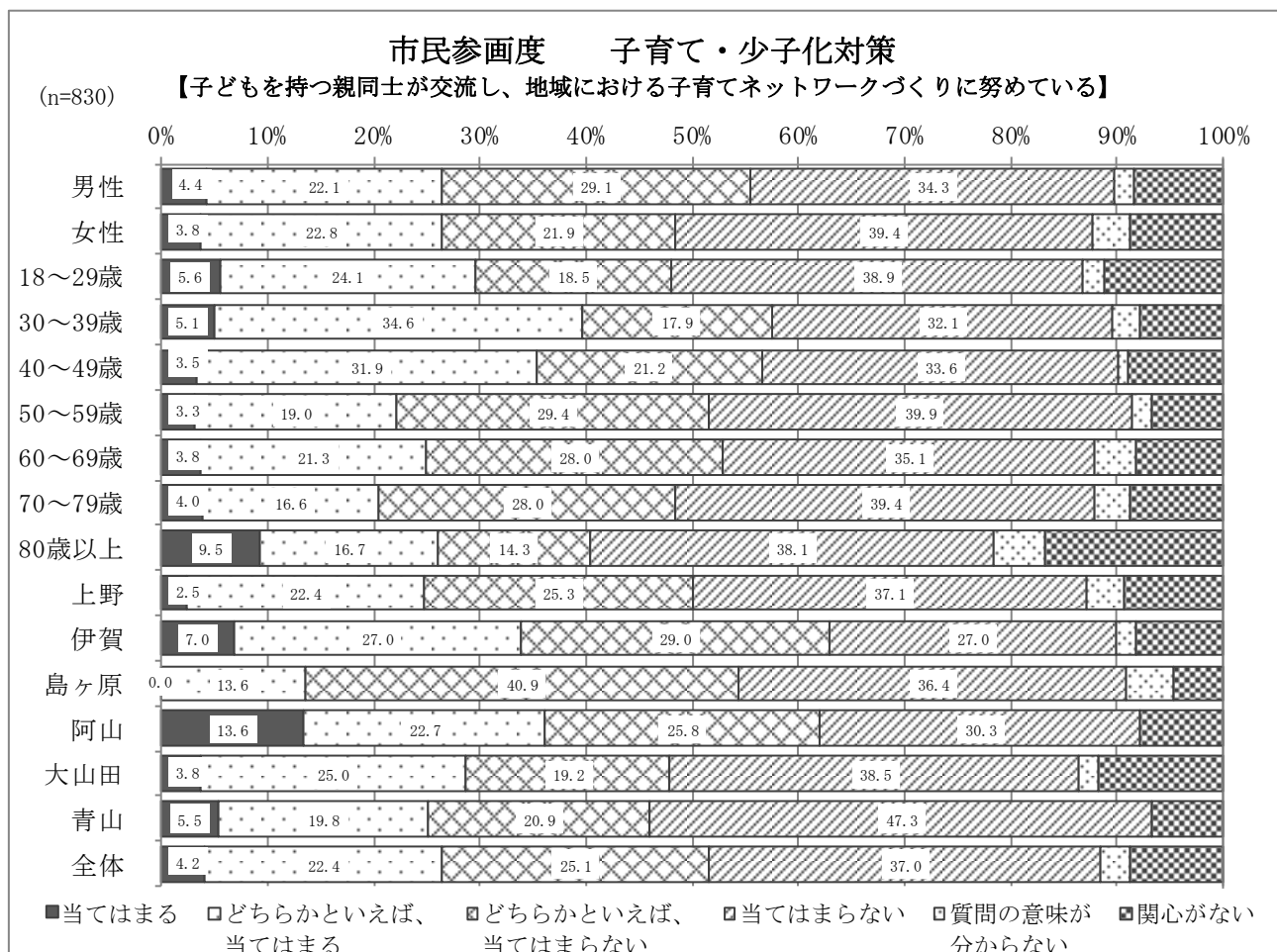
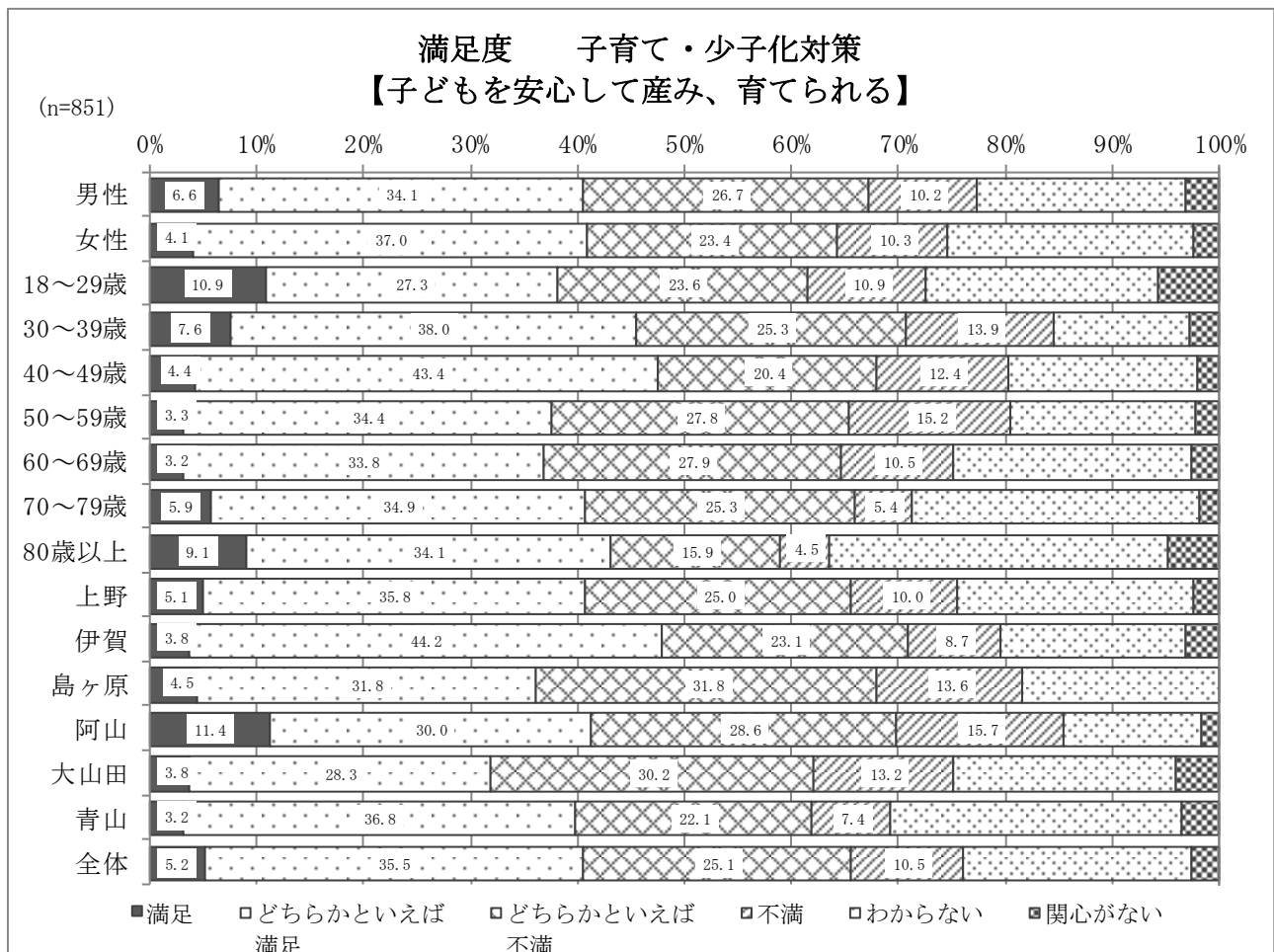
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもを安心して産み、育てられる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	83	9.0%	44	5.2%	-39	-3.8p
2. どちらかといえば満足	348	37.7%	302	35.5%	-46	-2.2p
3. どちらかといえば不満	242	26.2%	214	25.1%	-28	-1.1p
4. 不満	106	11.5%	89	10.5%	-17	-1.0p
5. わからない	7	0.8%	182	21.4%	175	20.6p
6. 関心がない	48	5.2%	20	2.4%	-28	-2.8p
7. 無回答	88	9.5%	(45)	—	(-43)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもを持つ親同士が交流し、地域における子育てネットワークづくりに努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	56	6.1%	35	4.2%	-21	-1.9p
2. どちらかといえば、当てはまる	276	29.9%	186	22.4%	-90	-7.5p
3. どちらかといえば、当てはまらない	287	31.1%	208	25.1%	-79	-6.0p
4. 当てはまらない	186	20.2%	307	37.0%	121	16.8p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	23	2.8%	19	2.4p
6. 関心がない	41	4.4%	71	8.6%	30	4.2p
7. 無回答	72	7.8%	(66)	—	(-6)	—
N値	922	100.0%	830	100.0%	-92	0.0p

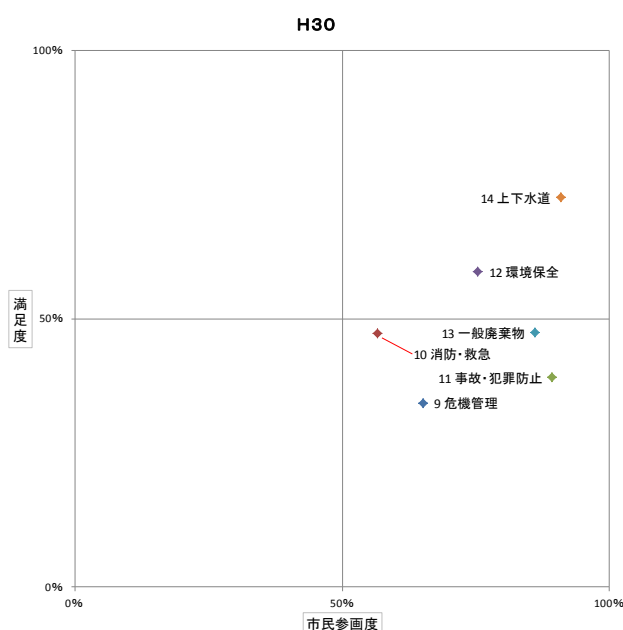


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



2. 生活・環境の分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(9)危機管理 災害などの危機に強くなる	40.3%	25	93.7%	7	62.3%	7	34.3%	29	98.4%	3	65.2%	8
(10)消防・救急 火災や急病などで人命が失われないようにする	56.8%	7	95.6%	2	60.5%	10	47.2%	10	99.1%	2	56.7%	12
(11)事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護） 犯罪や消費者被害を未然に防ぐ	51.8%	12	94.4%	5	87.1%	1	39.1%	22	97.2%	10	89.2%	2
(12)環境保全 豊かな自然環境を守る	66.4%	3	91.4%	16	72.8%	5	58.7%	2	91.6%	22	75.4%	7
(13)一般廃棄物 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する	57.2%	6	92.8%	10	82.3%	4	47.5%	9	94.3%	17	86.1%	3
(14)上下水道 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る	71.9%	2	89.8%	20	85.7%	2	72.6%	1	97.8%	6	90.9%	1



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【生活・環境】

施策9 「危機管理」 災害などの危機に強くなる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	40.3	34.3	-6.0	—	—
	(順位)	(25)	(29)	(-4)	—	—
市民参画度	%	62.3	65.2	2.9	—	—
	(順位)	(7)	(8)	(-1)	—	—

今後の重要度	%	93.7	98.4	4.7	—	—
	(順位)	(7)	(3)	(4)	—	—

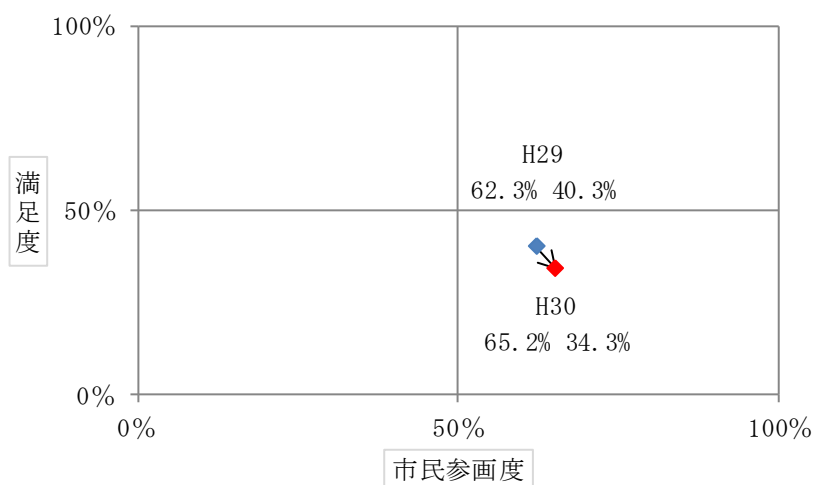
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

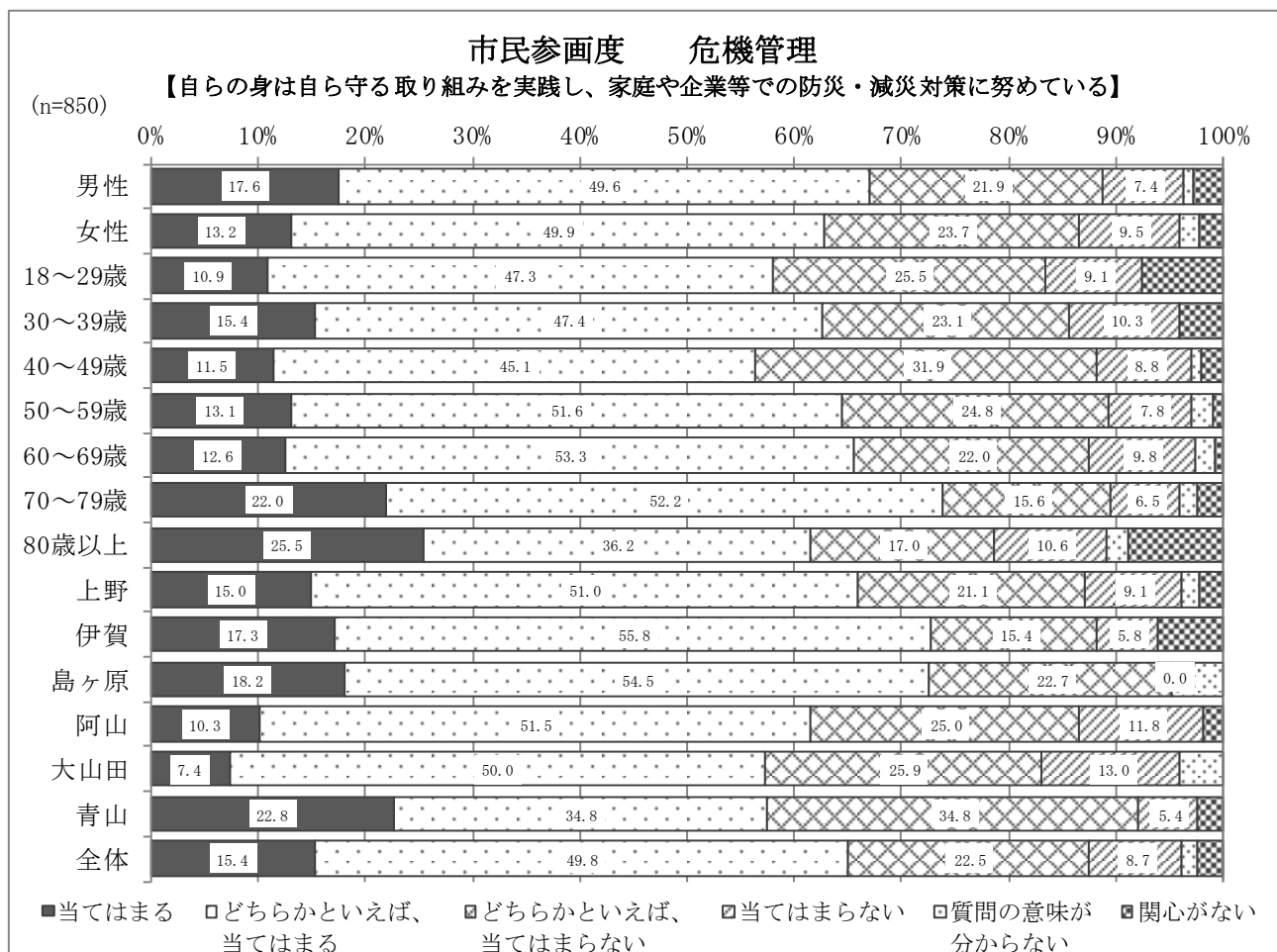
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『災害などの危機に強い』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	54	5.9%	26	3.0%	-28	-2.9p
2. どちらかといえば満足	318	34.5%	268	31.3%	-50	-3.2p
3. どちらかといえば不満	341	37.0%	241	28.1%	-100	-8.9p
4. 不満	134	14.5%	96	11.2%	-38	-3.3p
5. わからない	5	0.5%	225	26.3%	220	25.8p
6. 関心がない	13	1.4%	1	0.1%	-12	-1.3p
7. 無回答	57	6.2%	(39)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	857	100.0%	-65	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『自らの身は自ら守る取り組みを実践し、家庭や企業等での防災・減災対策に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	145	15.7%	131	15.4%	-14	-0.3p
2. どちらかといえば、当てはまる	429	46.5%	423	49.8%	-6	3.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	187	20.3%	191	22.5%	4	2.2p
4. 当てはまらない	59	6.4%	74	8.7%	15	2.3p
5. 質問の意味が分からない	3	0.3%	12	1.4%	9	1.1p
6. 関心がない	15	1.6%	19	2.2%	4	0.6p
7. 無回答	84	9.1%	(46)	—	(-38)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活・環境】

施策10 「消防・救急」 火災や急病などで人命が失われないようにする

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	56.8	47.2	-9.6	—	—
	(順位)	(7)	(10)	(-3)	—	—
市民参画度	%	60.5	56.7	-3.8	—	—
	(順位)	(10)	(12)	(-2)	—	—

今後の重要度	%	95.6	99.1	3.5	—	—
	(順位)	(2)	(2)	(0)	—	—

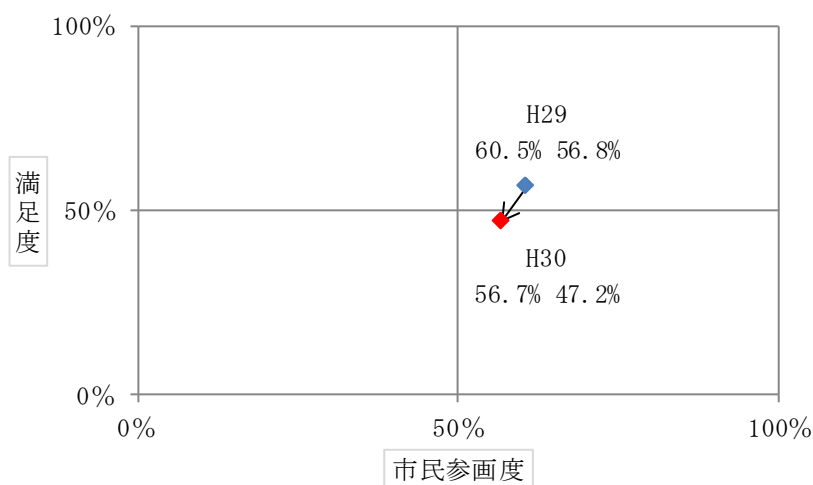
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

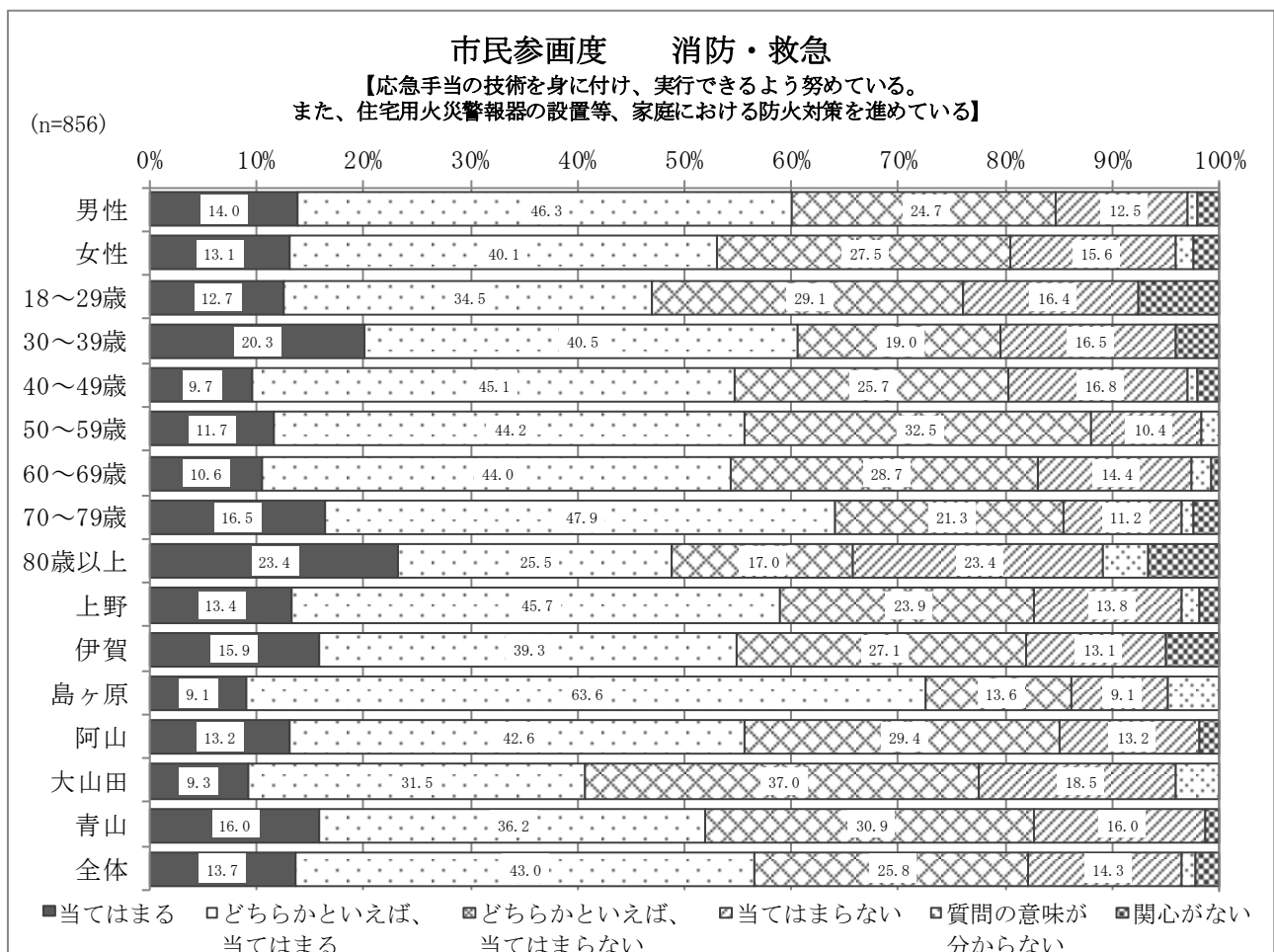
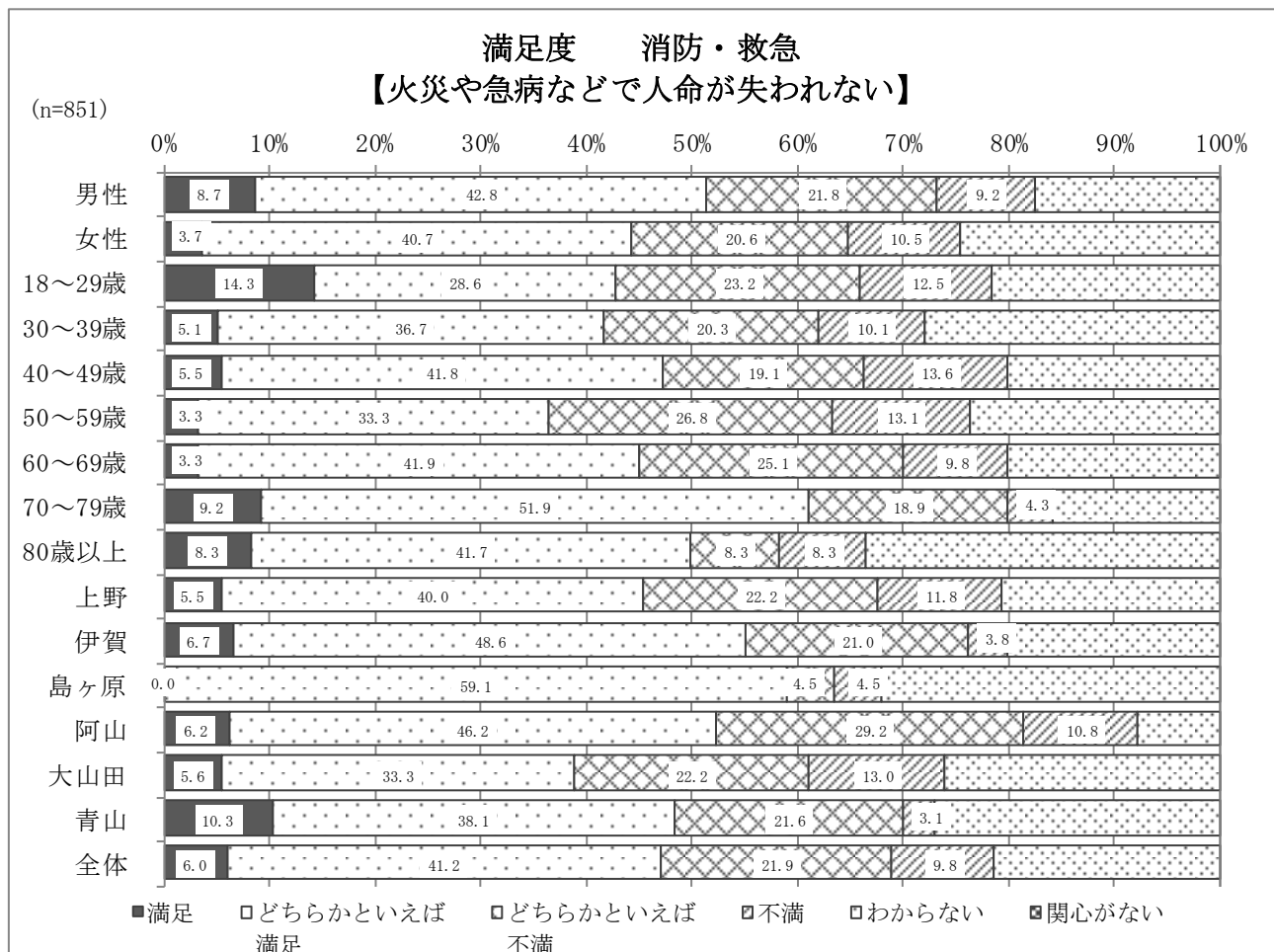
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『火災や急病などで人命が失われない』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	116	12.6%	51	6.0%	-65	-6.6p
2. どちらかといえば満足	408	44.3%	351	41.2%	-57	-3.1p
3. どちらかといえば不満	222	24.1%	186	21.9%	-36	-2.2p
4. 不満	78	8.5%	83	9.8%	5	1.3p
5. わからない	30	3.3%	180	21.2%	150	17.9p
6. 関心がない	18	2.0%	0	0.0%	-18	-2.0p
7. 無回答	50	5.4%	(45)	—	(-5)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『応急手当の技術を身に付け、実行できるよう努めている。また、住宅用火災警報器の設置等、家庭における防火対策を進めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	134	14.5%	117	13.7%	-17	-0.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	424	46.0%	368	43.0%	-56	-3.0p
3. どちらかといえば、当てはまらない	209	22.7%	221	25.8%	12	3.1p
4. 当てはまらない	87	9.4%	122	14.3%	35	4.9p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	11	1.3%	6	0.8p
6. 関心がない	15	1.6%	17	2.0%	2	0.4p
7. 無回答	48	5.2%	(40)	—	(-8)	—
N値	922	100.0%	856	100.0%	-66	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活・環境】

施策11 「事故・犯罪防止(交通安全・消費者保護)」 犯罪や消費者被害を未然に防ぐ

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	51.8	39.1	-12.7	—	—
	(順位)	(12)	(22)	(-10)	—	—
市民参画度	%	87.1	89.2	2.1	—	—
	(順位)	(1)	(2)	(-1)	—	—

今後の重要度	%	94.4	97.2	2.8	—	—
	(順位)	(5)	(10)	(-5)	—	—

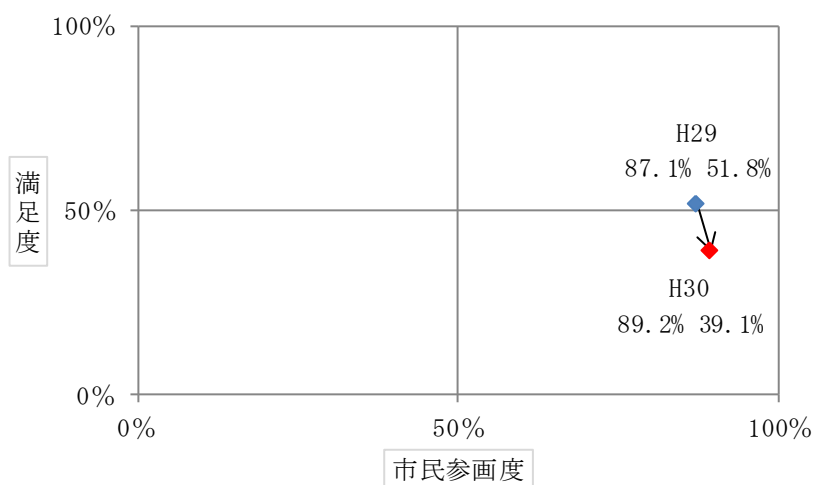
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

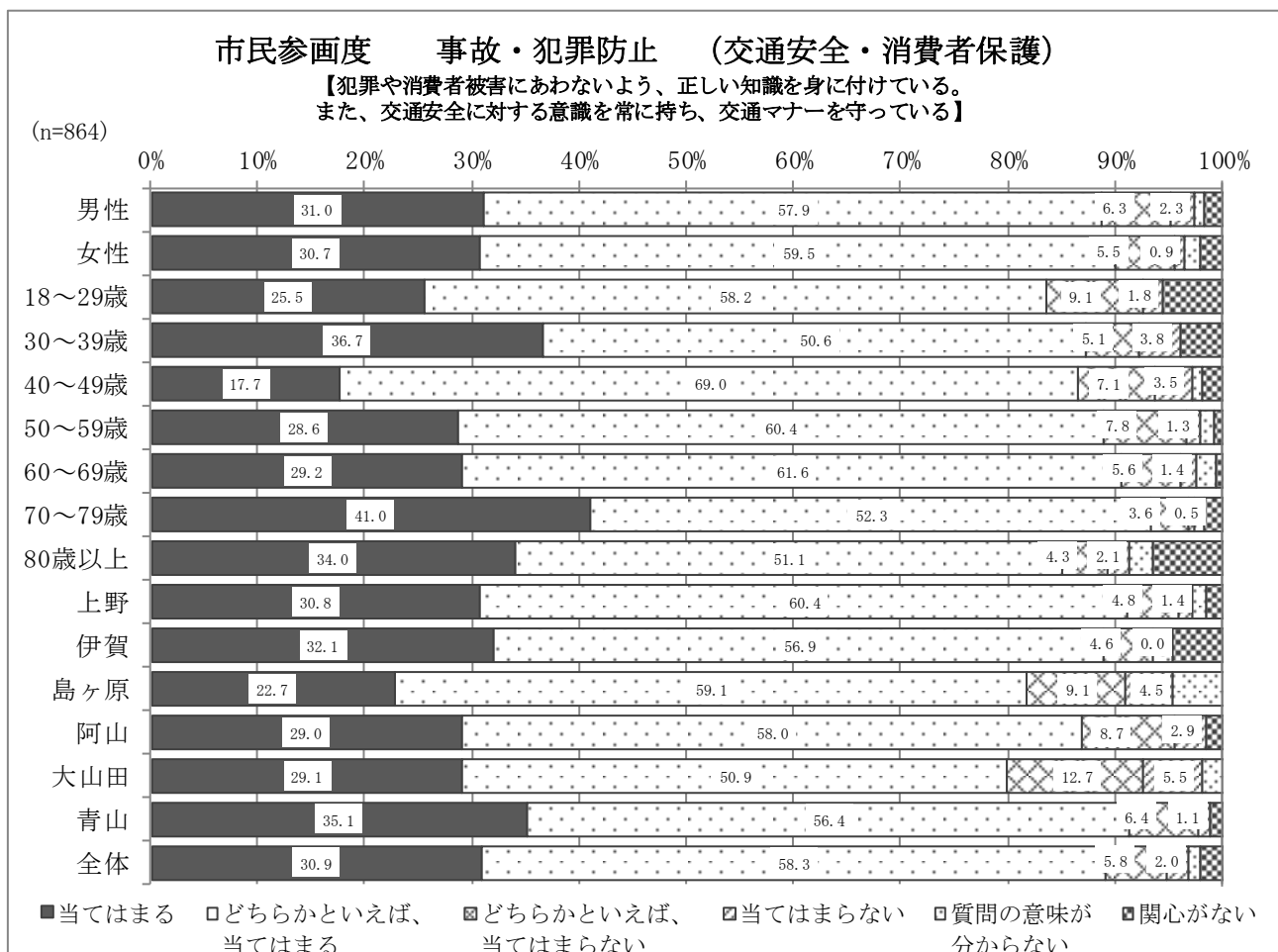
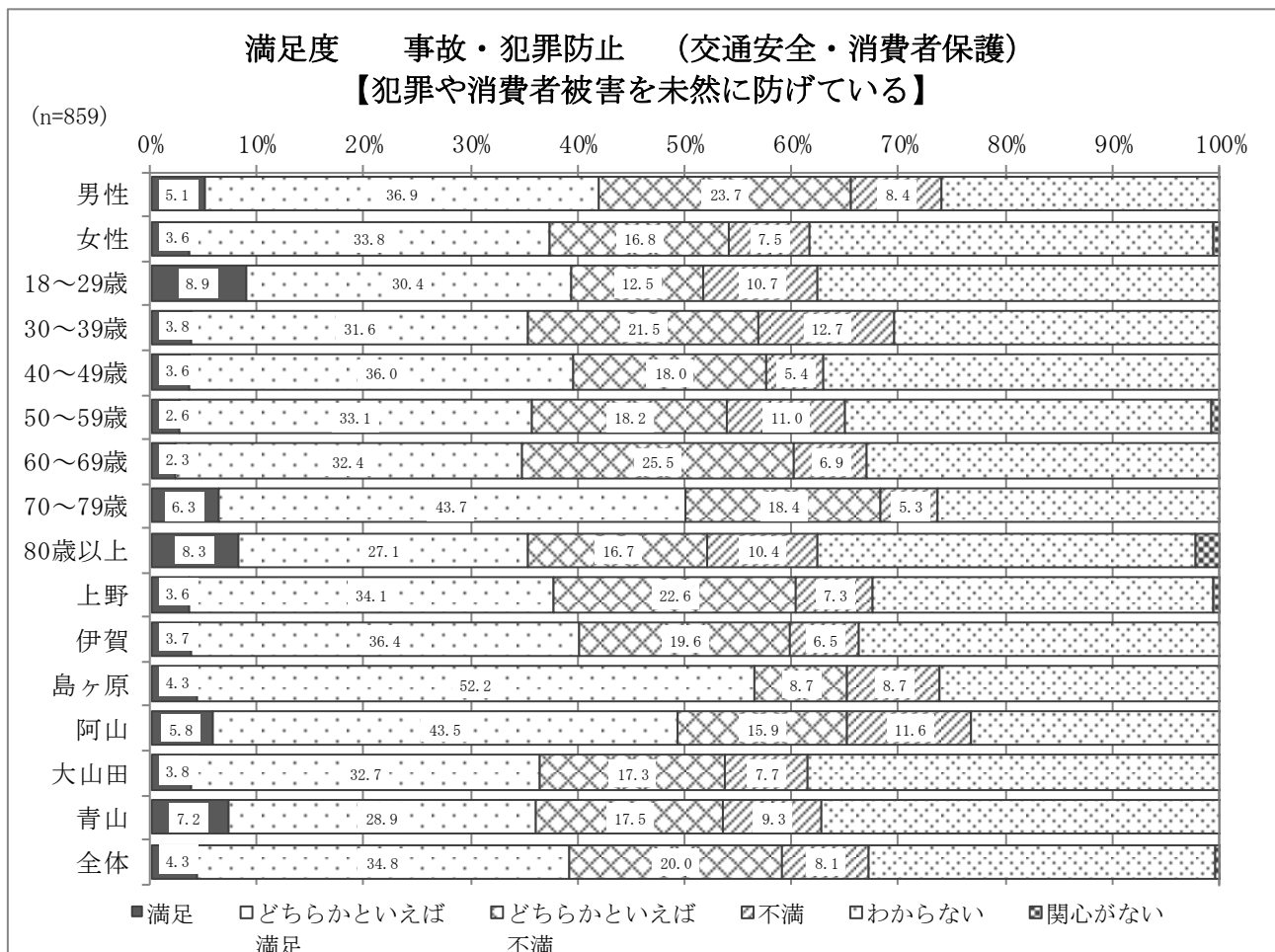
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『犯罪や消費者被害を未然に防げている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	71	7.7%	37	4.3%	-34	-3.4p
2. どちらかといえば満足	407	44.1%	299	34.8%	-108	-9.3p
3. どちらかといえば不満	284	30.8%	172	20.0%	-112	-10.8p
4. 不満	73	7.9%	70	8.1%	-3	0.2p
5. わからない	16	1.7%	279	32.5%	263	30.8p
6. 関心がない	20	2.2%	2	0.2%	-18	-2.0p
7. 無回答	51	5.5%	(37)	—	(-14)	—
N値	922	100.0%	859	100.0%	-63	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『犯罪や消費者被害にあわないよう、正しい知識を身に付けている。また、交通安全に対する意識を常持ち、交通マナーを守っている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	272	29.5%	267	30.9%	-5	1.4p
2. どちらかといえば、当てはまる	531	57.6%	504	58.3%	-27	0.7p
3. どちらかといえば、当てはまらない	46	5.0%	50	5.8%	4	0.8p
4. 当てはまらない	13	1.4%	17	2.0%	4	0.6p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	10	1.2%	5	0.7p
6. 関心がない	12	1.3%	16	1.9%	4	0.6p
7. 無回答	43	4.7%	(32)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	864	100.0%	-58	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活・環境】

施策12 「環境保全」 豊かな自然環境を守る

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	66.4	58.7	-7.7	—	—
	(順位)	(3)	(2)	(1)	—	—
市民参画度	%	72.8	75.4	2.6	—	—
	(順位)	(5)	(7)	(-2)	—	—

今後の重要度	%	91.4	91.6	0.2	—	—
	(順位)	(16)	(22)	(-6)	—	—

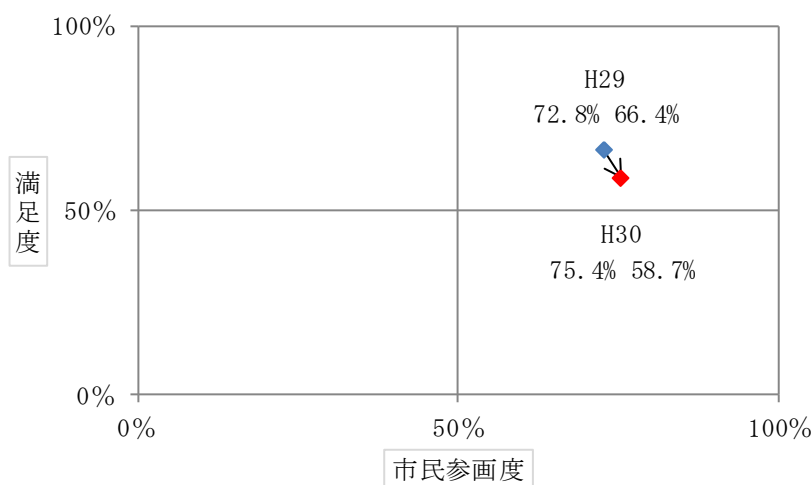
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

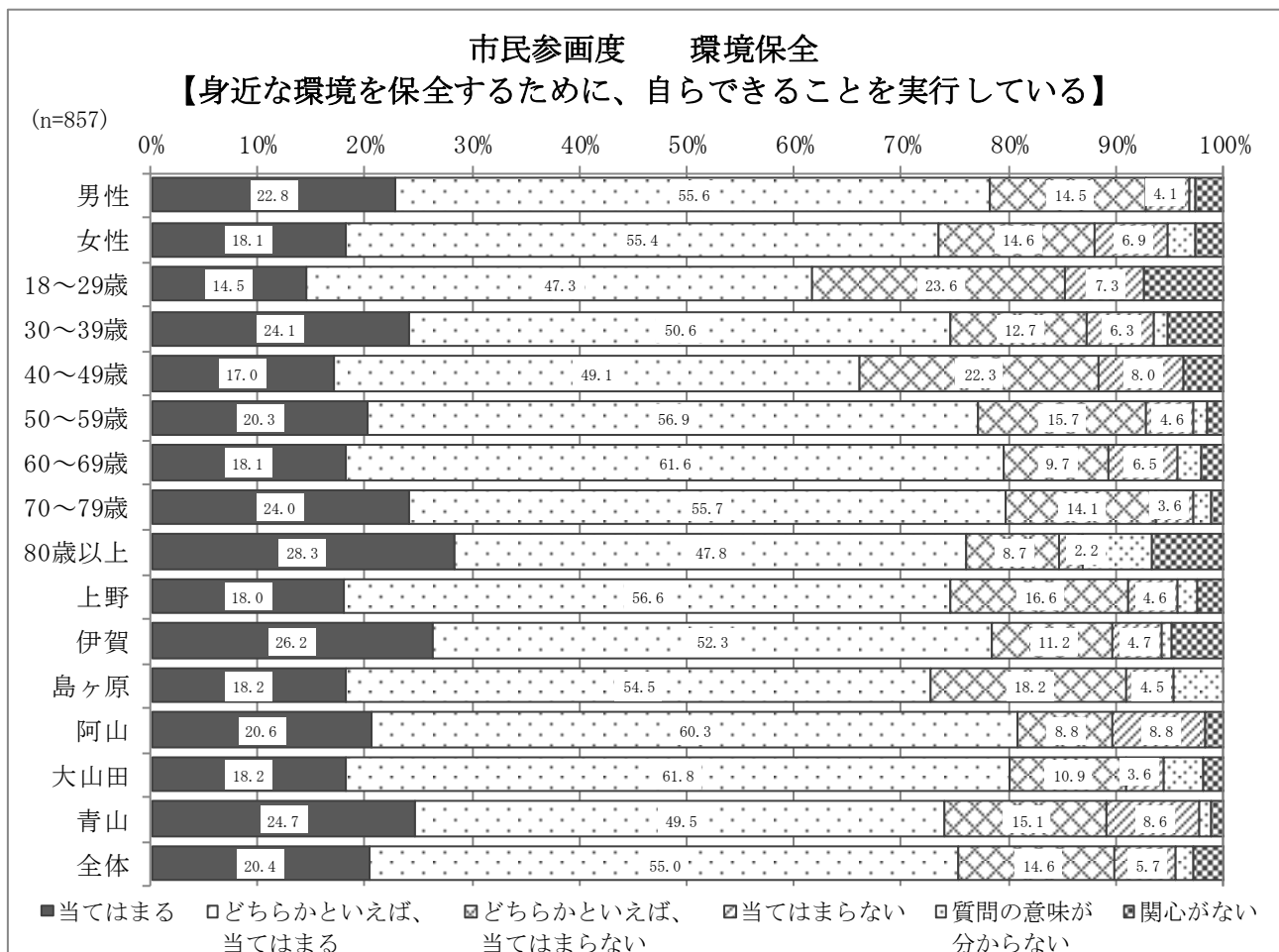
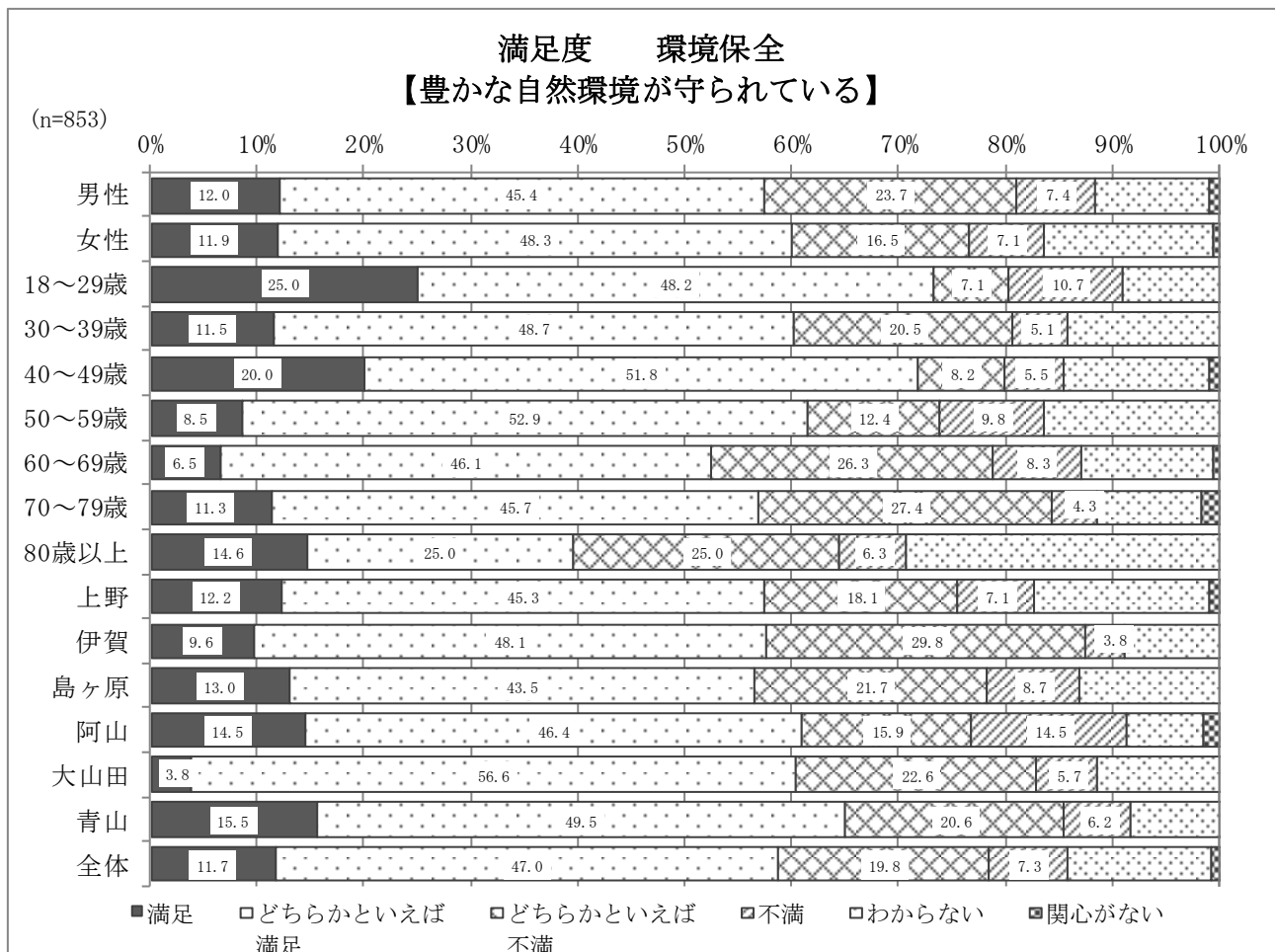
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『豊かな自然環境が守られている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	157	17.0%	100	11.7%	-57	-5.3p
2. どちらかといえば満足	455	49.3%	401	47.0%	-54	-2.3p
3. どちらかといえば不満	196	21.3%	169	19.8%	-27	-1.5p
4. 不満	58	6.3%	62	7.3%	4	1.0p
5. わからない	5	0.5%	116	13.6%	111	13.1p
6. 関心がない	4	0.4%	5	0.6%	1	0.2p
7. 無回答	47	5.1%	(43)	—	(-4)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『身近な環境を保全するために、自らできることを実行している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	189	20.5%	175	20.4%	-14	-0.1p
2. どちらかといえば、当てはまる	482	52.3%	471	55.0%	-11	2.7p
3. どちらかといえば、当てはまらない	144	15.6%	125	14.6%	-19	-1.0p
4. 当てはまらない	35	3.8%	49	5.7%	14	1.9p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	14	1.6%	9	1.1p
6. 関心がない	16	1.7%	23	2.7%	7	1.0p
7. 無回答	51	5.5%	(39)	—	(-12)	—
N値	922	100.0%	857	100.0%	-65	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活・環境】

施策13 「一般廃棄物」 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	57.2	47.5	-9.7	—	—
	(順位)	(6)	(9)	(-3)	—	—
市民参画度	%	82.3	86.1	3.8	—	—
	(順位)	(4)	(3)	(1)	—	—

今後の重要度	%	92.8	94.3	1.5	—	—
	(順位)	(10)	(17)	(-7)	—	—

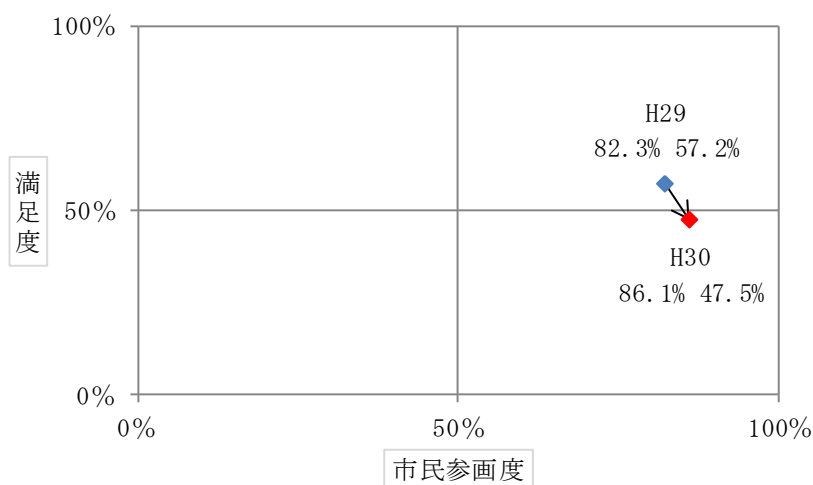
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

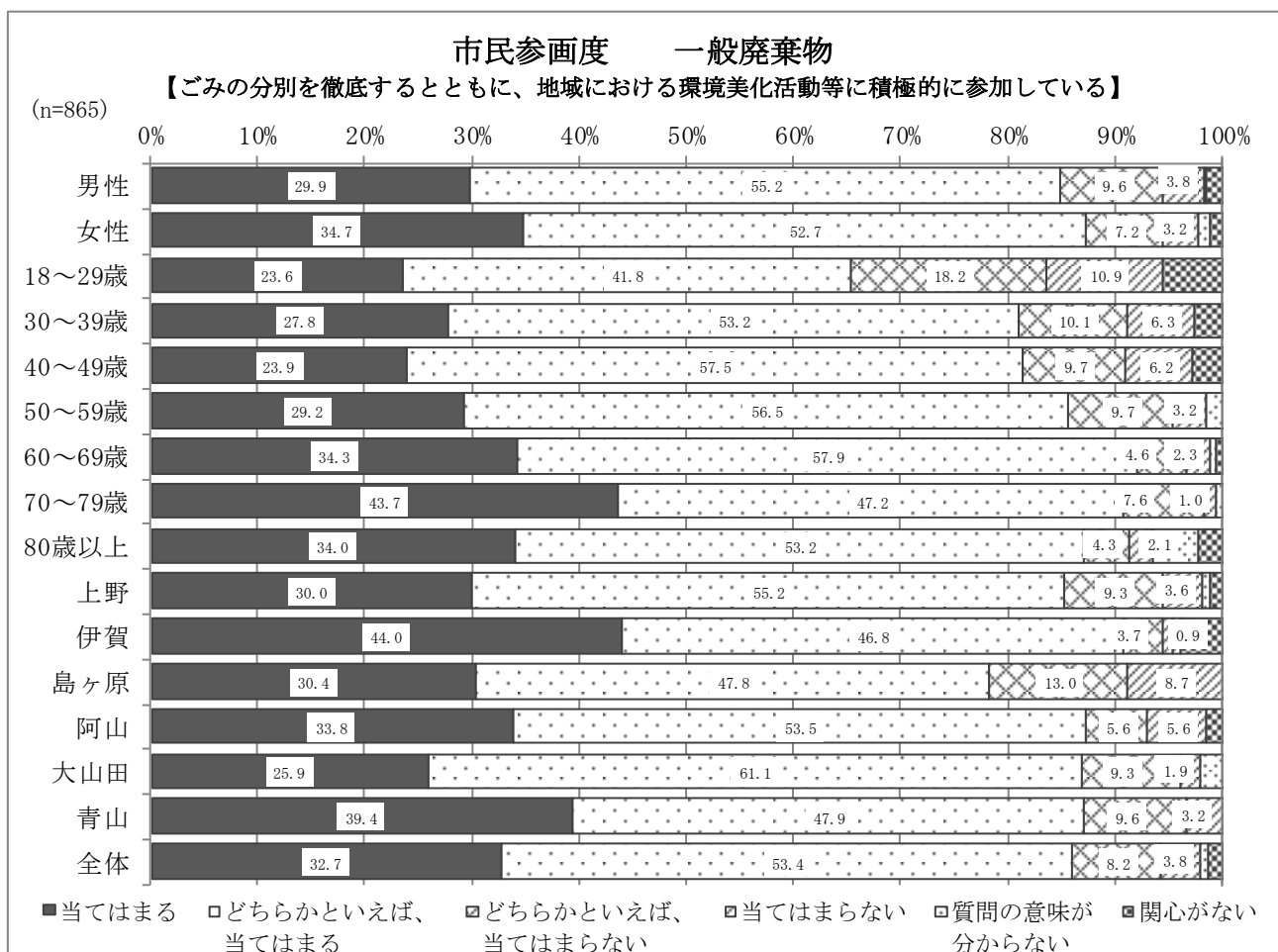
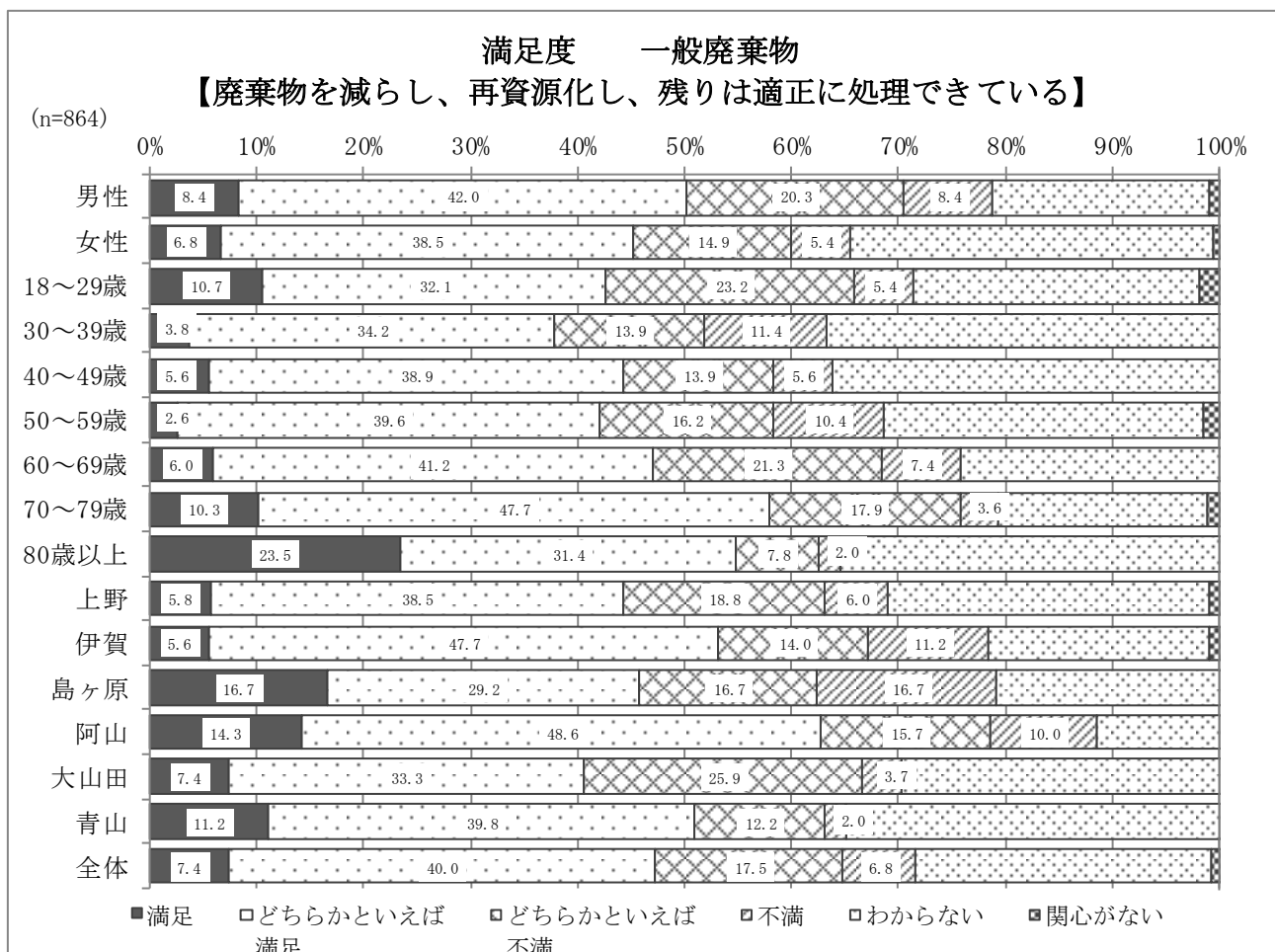
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理できている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	112	12.1%	64	7.4%	-48	-4.7p
2. どちらかといえば満足	415	45.0%	346	40.0%	-69	-5.0p
3. どちらかといえば不満	236	25.6%	151	17.5%	-85	-8.1p
4. 不満	81	8.8%	59	6.8%	-22	-2.0p
5. わからない	15	1.6%	239	27.7%	224	26.1p
6. 関心がない	18	2.0%	5	0.6%	-13	-1.4p
7. 無回答	45	4.9%	(32)	—	(-13)	—
N値	922	100.0%	864	100.0%	-58	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『ごみの分別を徹底するとともに地域における環境美化活動等に積極的に参加している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	305	33.1%	283	32.7%	-22	-0.4p
2. どちらかといえば、当てはまる	454	49.2%	462	53.4%	8	4.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	83	9.0%	71	8.2%	-12	-0.8p
4. 当てはまらない	24	2.6%	33	3.8%	9	1.2p
5. 質問の意味が分からない	3	0.3%	6	0.7%	3	0.4p
6. 関心がない	11	1.2%	10	1.2%	-1	0.0p
7. 無回答	42	4.6%	(31)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	865	100.0%	-57	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活・環境】

施策14 「上下水道」 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	71.9	72.6	0.7	—	—
	(順位)	(2)	(1)	(1)	—	—
市民参画度	%	85.7	90.9	5.2	—	—
	(順位)	(2)	(1)	(1)	—	—

今後の重要度	%	89.8	97.8	8.0	—	—
	(順位)	(20)	(6)	(14)	—	—

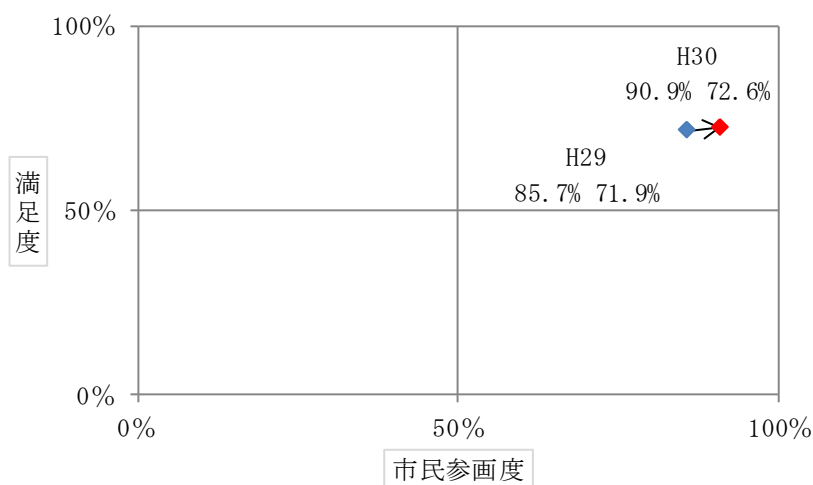
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

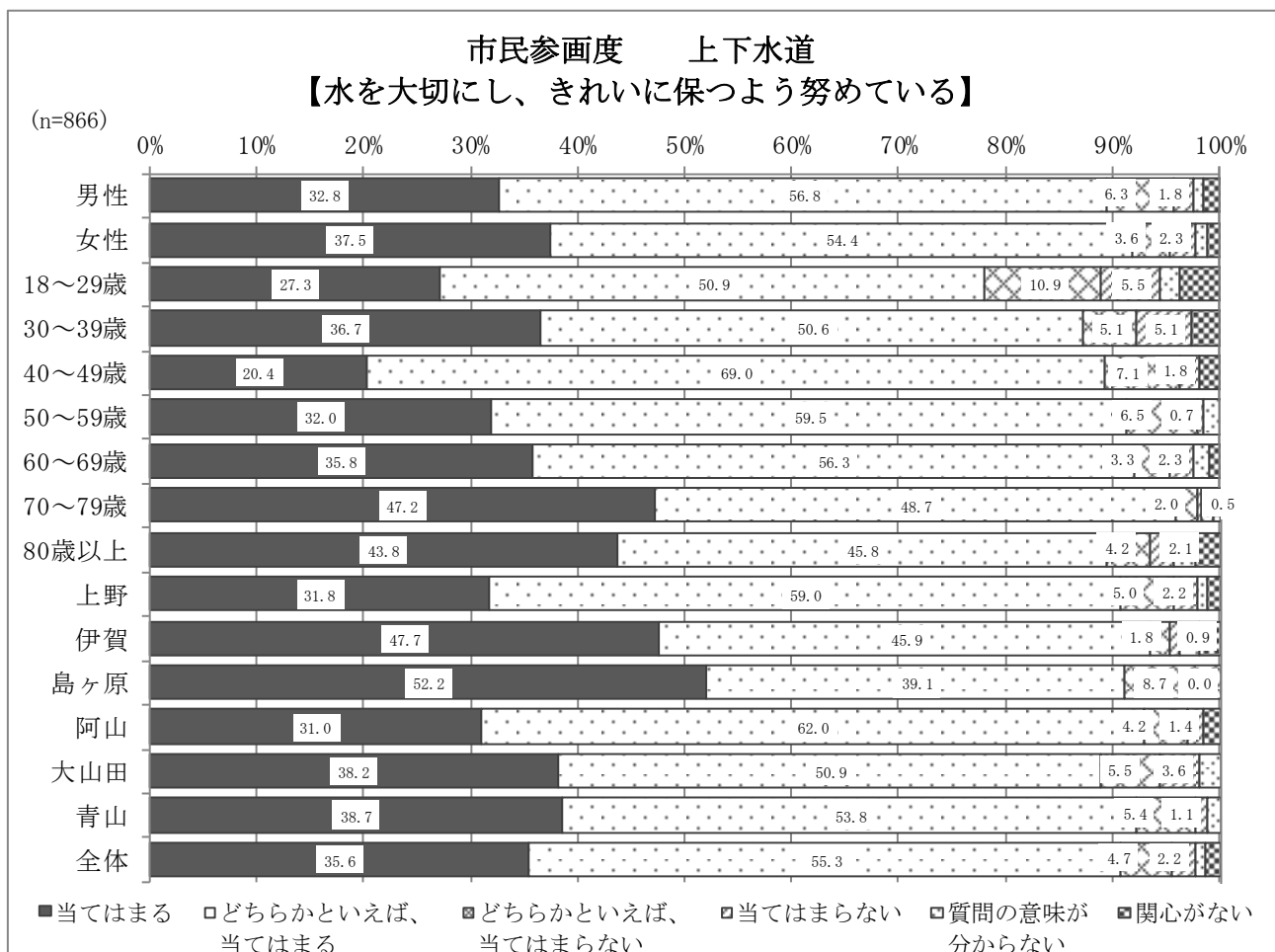
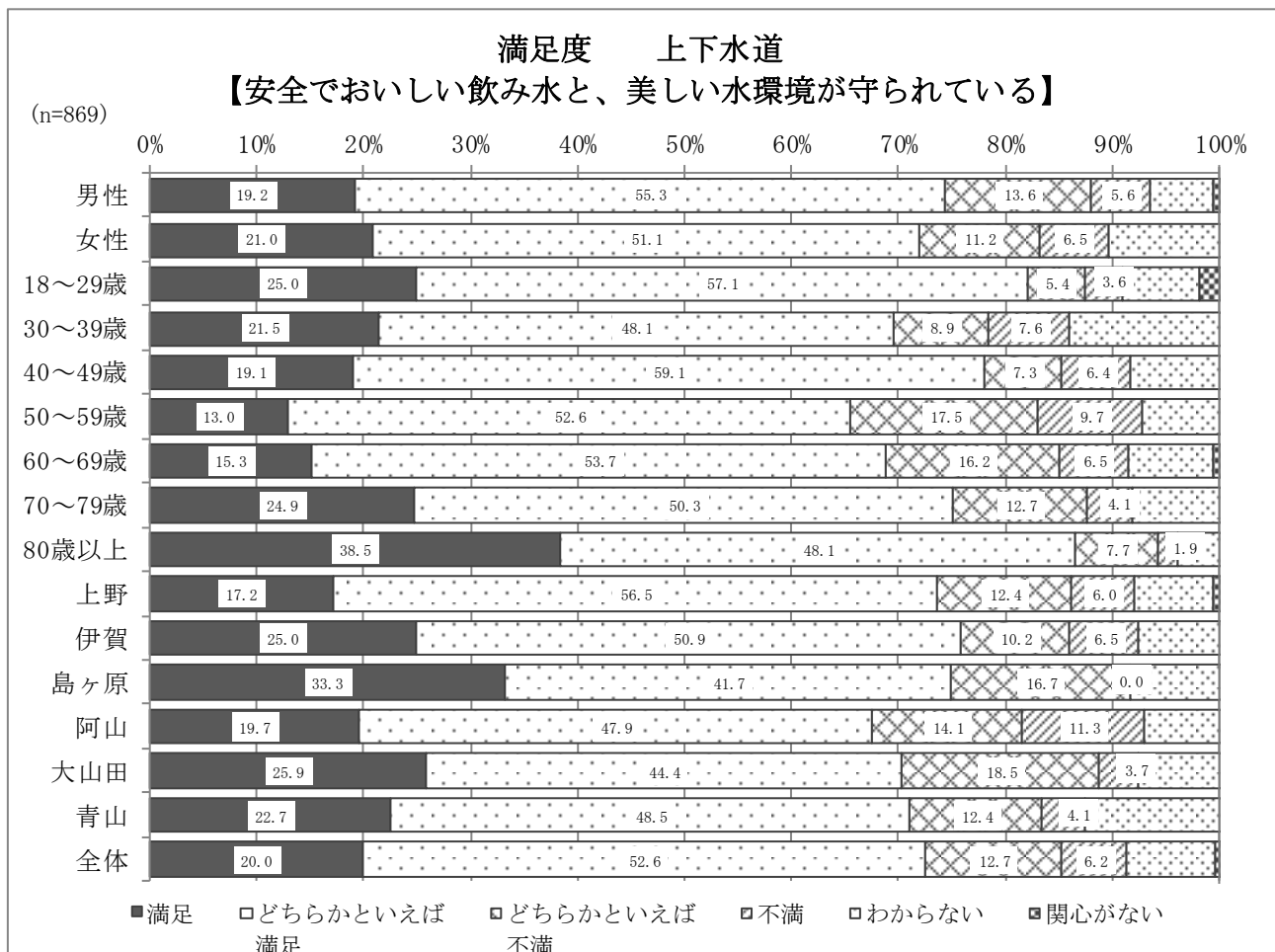
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『安全でおいしい飲み水と、美しい水環境が守られている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	221	24.0%	174	20.0%	-47	-4.0p
2. どちらかといえば満足	442	47.9%	457	52.6%	15	4.7p
3. どちらかといえば不満	148	16.1%	110	12.7%	-38	-3.4p
4. 不満	73	7.9%	54	6.2%	-19	-1.7p
5. わからない	5	0.5%	72	8.3%	67	7.8p
6. 関心がない	6	0.7%	2	0.2%	-4	-0.5p
7. 無回答	27	2.9%	(27)	—	(0)	—
N値	922	100.0%	869	100.0%	-53	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『水を大切にし、きれいに保つよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	343	37.2%	308	35.6%	-35	-1.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	447	48.5%	479	55.3%	32	6.8p
3. どちらかといえば、当てはまらない	61	6.6%	41	4.7%	-20	-1.9p
4. 当てはまらない	10	1.1%	19	2.2%	9	1.1p
5. 質問の意味が分からない	6	0.7%	9	1.0%	3	0.3p
6. 関心がない	12	1.3%	10	1.2%	-2	-0.1p
7. 無回答	43	4.7%	(30)	—	(-13)	—
N値	922	100.0%	866	100.0%	-56	0.0p

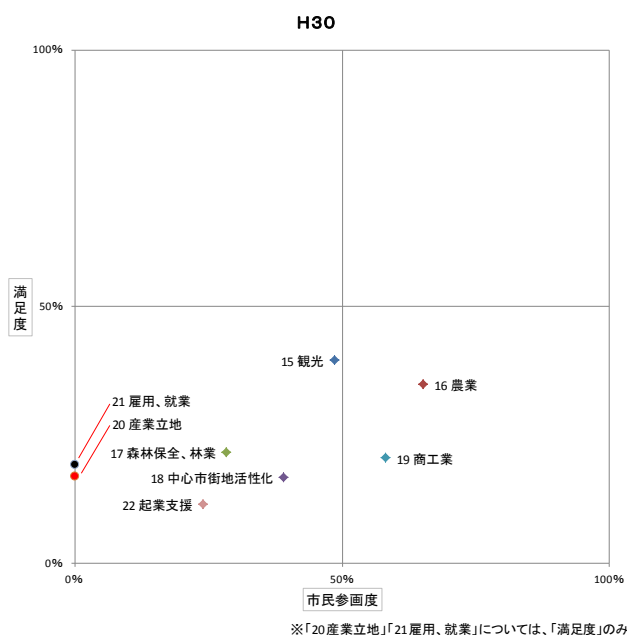


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



3. 産業・交流の分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(15)観光 観光客を呼び込み、もてなす	47.0%	15	79.9%	41	46.6%	17	39.5%	21	81.2%	43	48.6%	16
(16)農業 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする	43.2%	18	88.3%	23	60.8%	9	34.8%	27	90.0%	26	65.1%	9
(17)森林保全、林業 森林や里山を大切にし、林業を元気にする	25.5%	33	85.9%	28	31.5%	30	21.6%	35	84.5%	36	28.3%	37
(18)中心市街地活性化 中心市街地の賑わいをつくる	13.2%	45	82.2%	36	40.9%	21	16.8%	44	86.3%	31	39.0%	24
(19)商工業 商工業活動を盛んにする	17.9%	42	86.7%	24	58.8%	11	20.5%	37	90.8%	24	58.1%	11
(20)産業立地 地域の特性を生かした新たな産業を創出する	17.7%	43	85.8%	29	－	－	16.8%	43	88.2%	27	－	－
(21)雇用、就業 働く人の意欲に応え、能力が発揮できる	20.8%	39	91.4%	16	－	－	19.1%	39	95.2%	14	－	－
(22)起業支援 事業性、継続性のあるビジネスを創出できる	11.9%	47	85.0%	30	28.7%	33	11.4%	47	83.3%	39	23.9%	41



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【産業・交流】

施策15 「観光」 観光客を呼び込み、もてなす

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	47.0	39.5	-7.5	—	—
	(順位)	(15)	(21)	(-6)	—	—
市民参画度	%	46.6	48.6	2.0	—	—
	(順位)	(17)	(16)	(1)	—	—

今後の重要度	%	79.9	81.2	1.3	—	—
	(順位)	(41)	(43)	(-2)	—	—

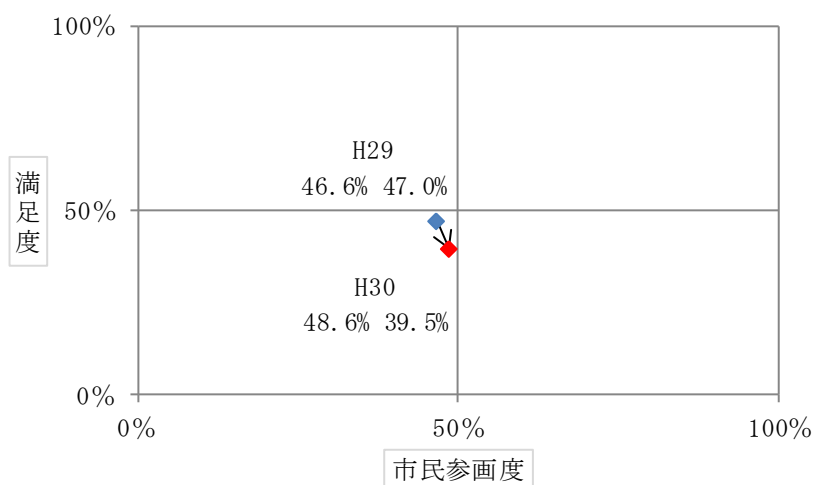
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

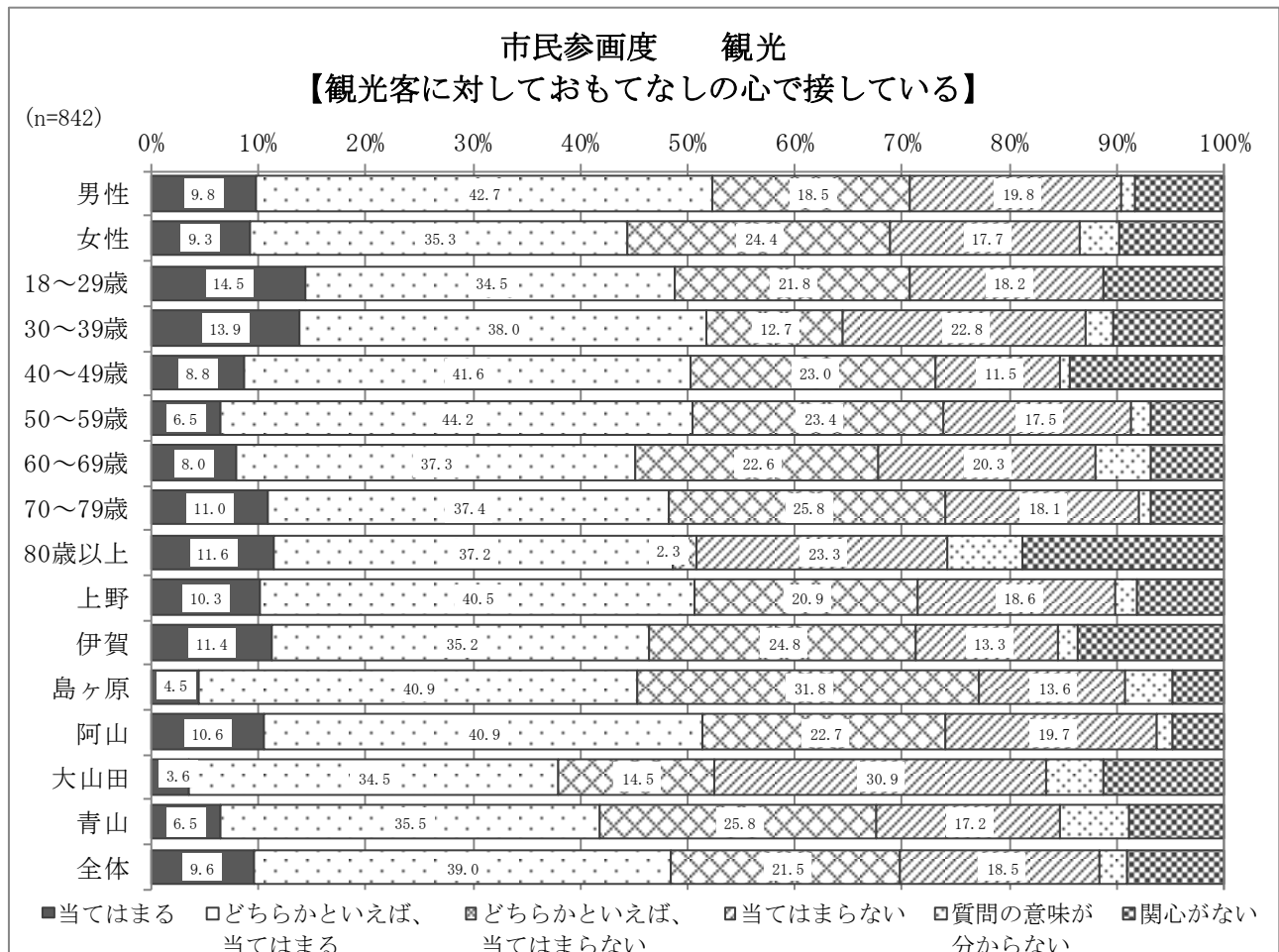
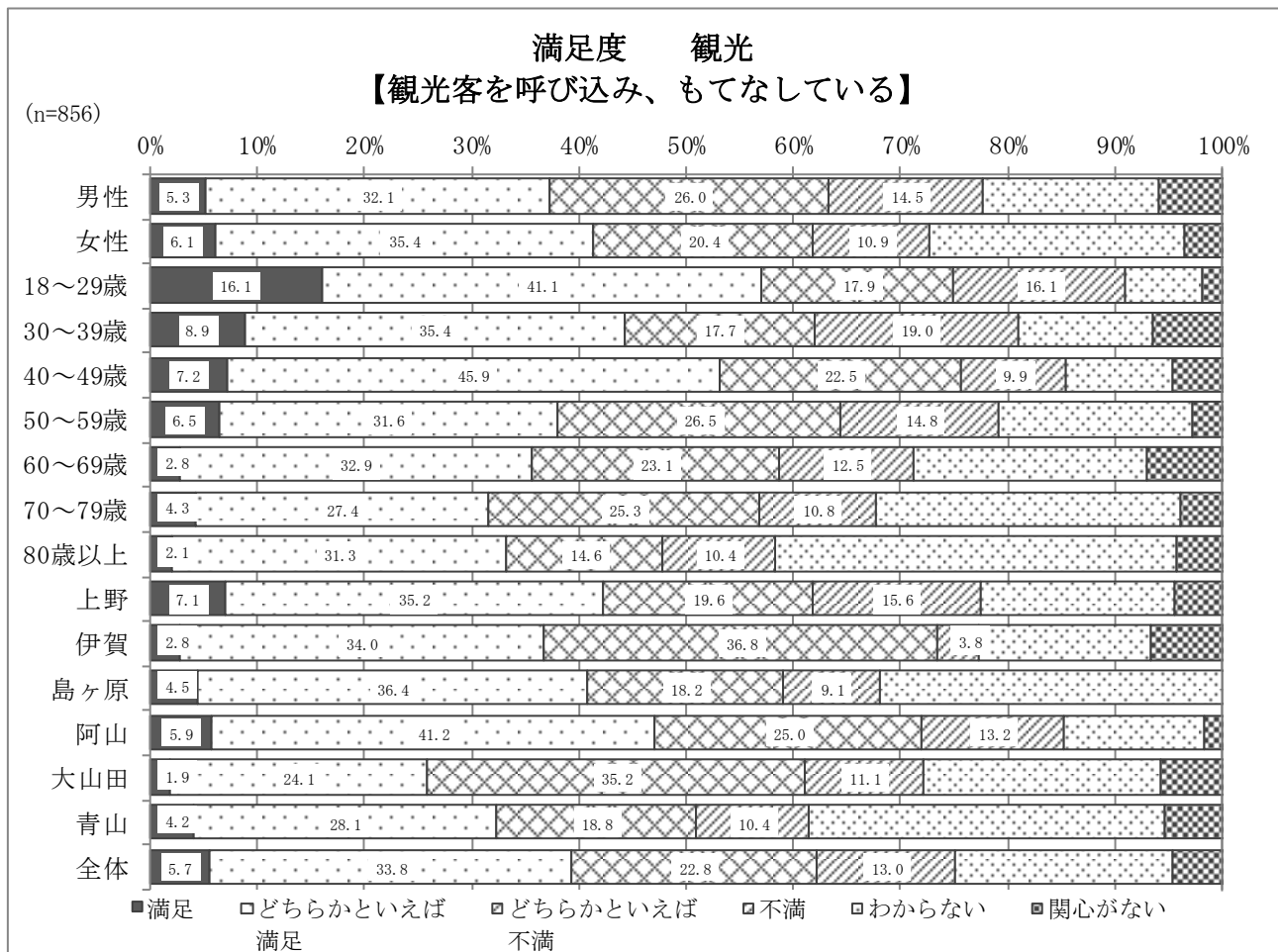
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『観光客を呼び込み、もてなしている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	93	10.1%	49	5.7%	-44	-4.4p
2. どちらかといえば満足	340	36.9%	289	33.8%	-51	-3.1p
3. どちらかといえば不満	268	29.1%	195	22.8%	-73	-6.3p
4. 不満	118	12.8%	111	13.0%	-7	0.2p
5. わからない	11	1.2%	173	20.2%	162	19.0p
6. 関心がない	47	5.1%	39	4.6%	-8	-0.5p
7. 無回答	45	4.9%	(40)	—	(-5)	—
N値	922	100.0%	856	100.0%	-66	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『観光客に対しておもてなしの心で接している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	84	9.1%	81	9.6%	-3	0.5p
2. どちらかといえば、当てはまる	346	37.5%	328	39.0%	-18	1.5p
3. どちらかといえば、当てはまらない	245	26.6%	181	21.5%	-64	-5.1p
4. 当てはまらない	107	11.6%	156	18.5%	49	6.9p
5. 質問の意味が分からない	14	1.5%	22	2.6%	8	1.1p
6. 関心がない	61	6.6%	74	8.8%	13	2.2p
7. 無回答	65	7.0%	(54)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	842	100.0%	-80	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策16 「農業」 自然と共存し、人と人がつながる農業を元気にする

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	43.2	34.8	-8.4	—	—
	(順位)	(18)	(27)	(-9)	—	—
市民参画度	%	60.8	65.1	4.3	—	—
	(順位)	(9)	(9)	(0)	—	—

今後の重要度	%	88.3	90.0	1.7	—	—
	(順位)	(23)	(26)	(-3)	—	—

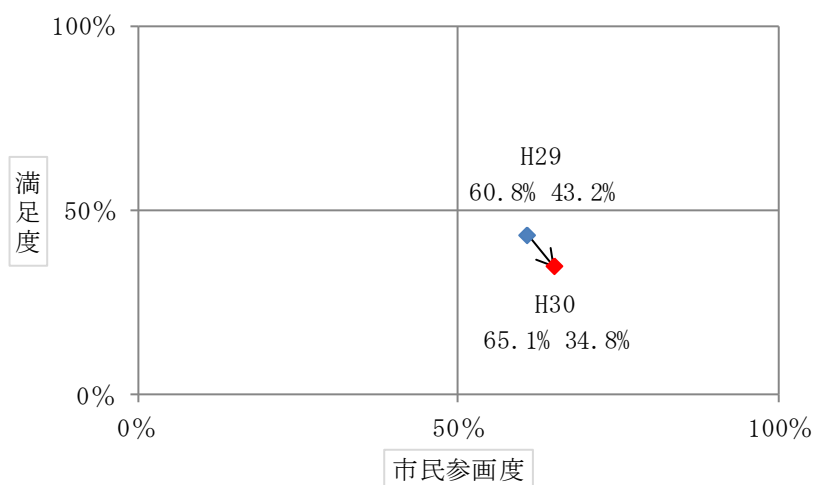
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

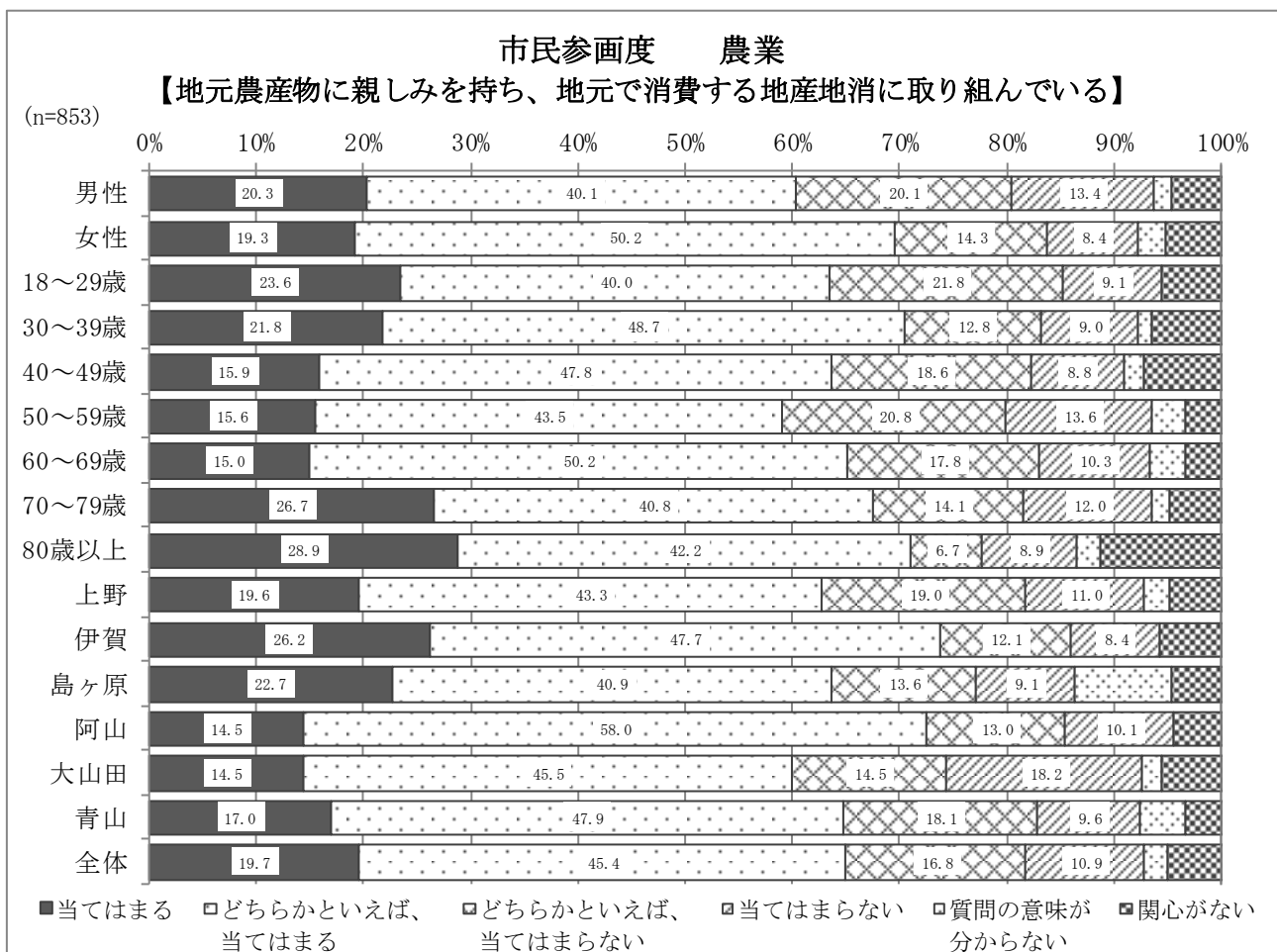
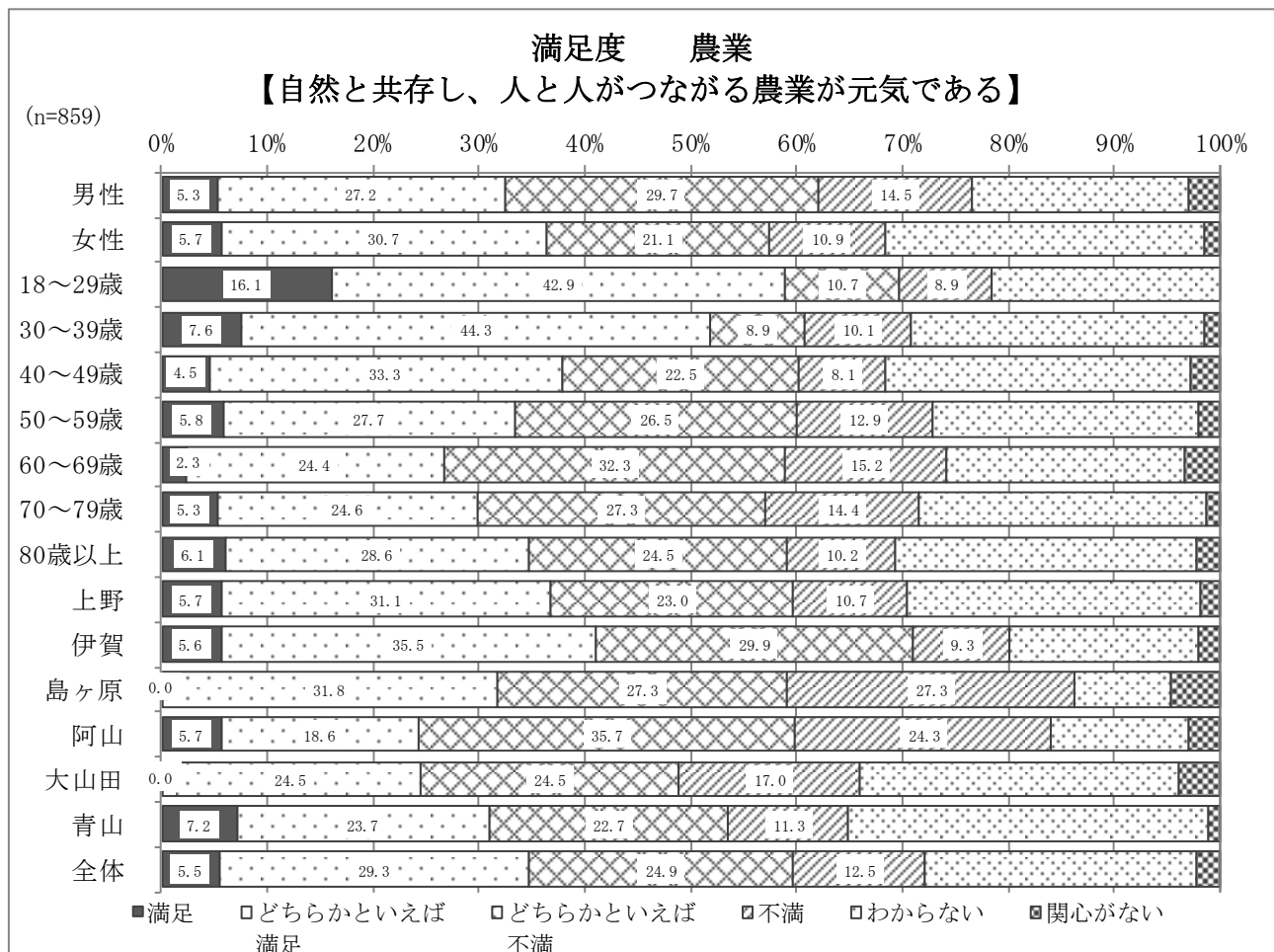
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『自然と共存し、人と人がつながる農業が元気である』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	79	8.6%	47	5.5%	-32	-3.1p
2. どちらかといえば満足	319	34.6%	252	29.3%	-67	-5.3p
3. どちらかといえば不満	275	29.8%	214	24.9%	-61	-4.9p
4. 不満	138	15.0%	107	12.5%	-31	-2.5p
5. わからない	15	1.6%	222	25.8%	207	24.2p
6. 関心がない	37	4.0%	17	2.0%	-20	-2.0p
7. 無回答	59	6.4%	(37)	—	(-22)	—
N値	922	100.0%	859	100.0%	-63	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地元農産物に親しみを持ち、地元で消費する地産地消に取り組んでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	168	18.2%	168	19.7%	0	1.5p
2. どちらかといえば、当てはまる	393	42.6%	387	45.4%	-6	2.8p
3. どちらかといえば、当てはまらない	176	19.1%	143	16.8%	-33	-2.3p
4. 当てはまらない	79	8.6%	93	10.9%	14	2.3p
5. 質問の意味が分からない	7	0.8%	20	2.3%	13	1.5p
6. 関心がない	37	4.0%	42	4.9%	5	0.9p
7. 無回答	62	6.7%	(43)	—	(-19)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策17 「森林保全・林業」 森林や里山を大切にし、林業を元気にする

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	25.5	21.6	-3.9	—	—
	(順位)	(33)	(35)	(-2)	—	—
市民参画度	%	31.5	28.3	-3.2	—	—
	(順位)	(30)	(37)	(-7)	—	—

今後の重要度	%	85.9	84.5	-1.4	—	—
	(順位)	(28)	(36)	(-8)	—	—

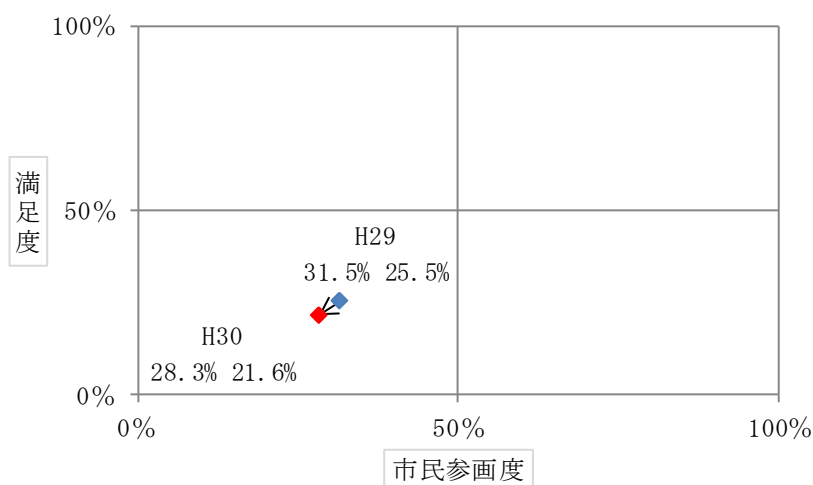
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

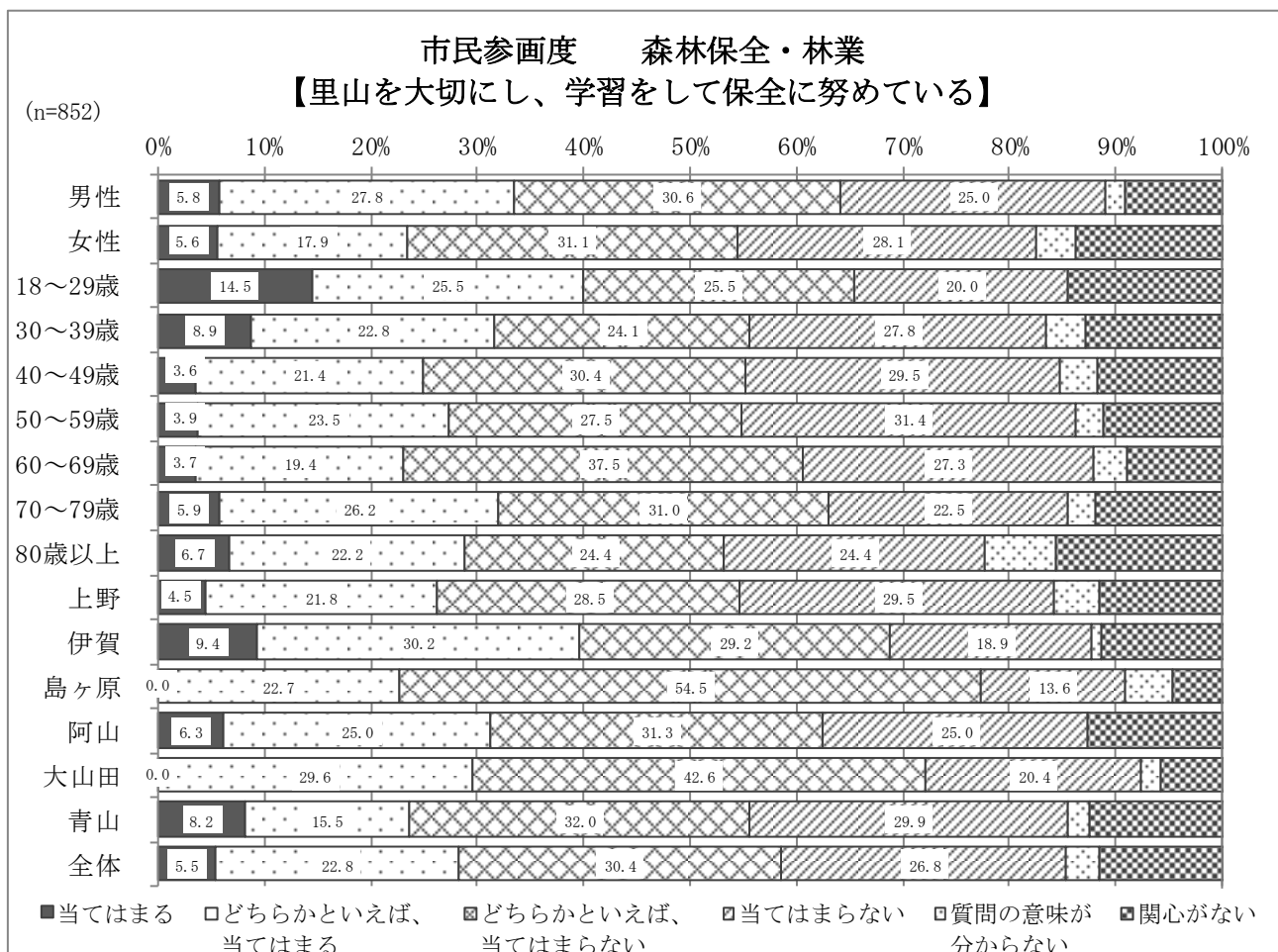
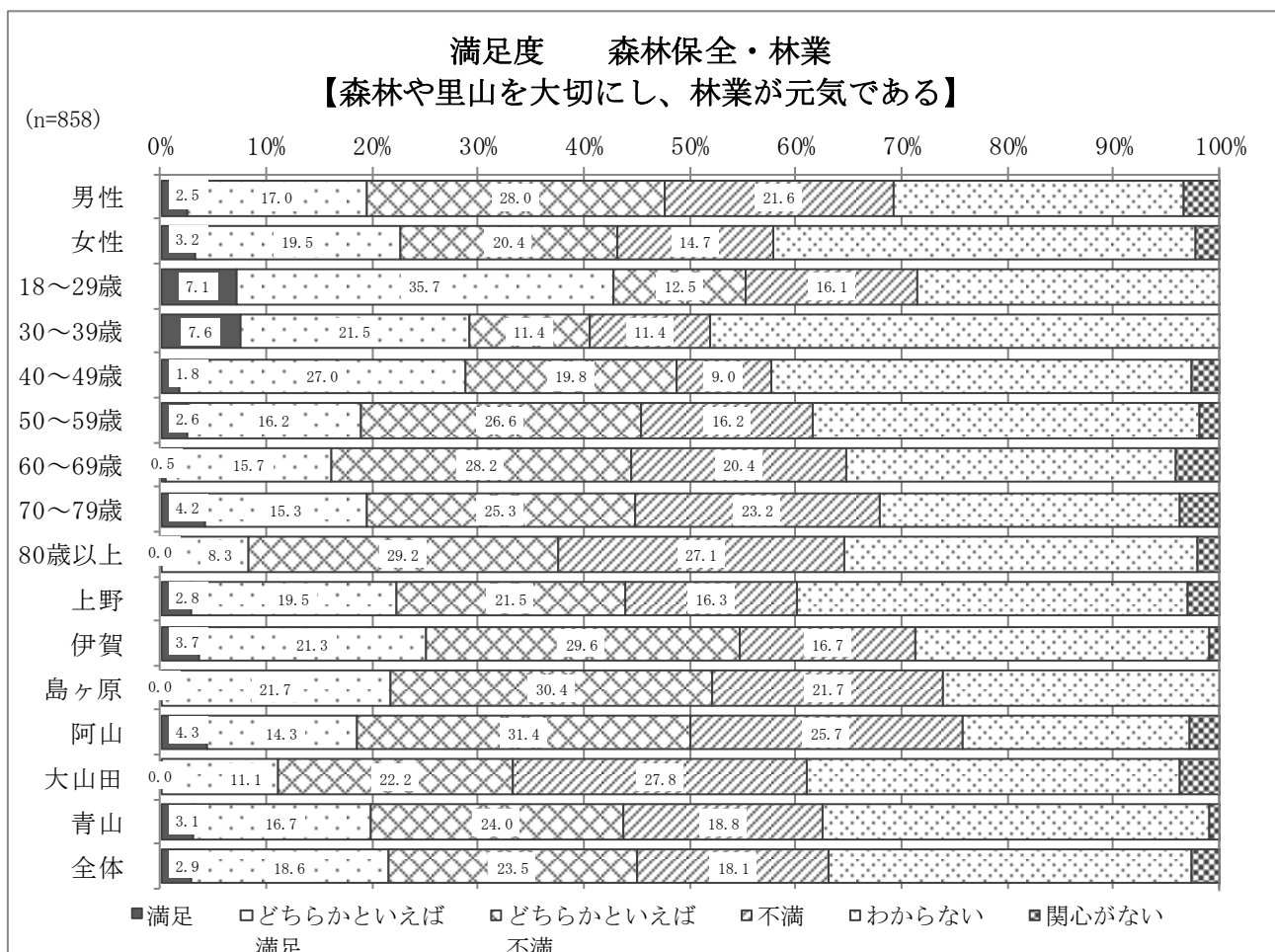
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『森林や里山を大切にし、林業が元気である』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	44	4.8%	25	2.9%	-19	-1.9p
2. どちらかといえば満足	191	20.7%	160	18.6%	-31	-2.1p
3. どちらかといえば不満	317	34.4%	202	23.5%	-115	-10.9p
4. 不満	241	26.1%	155	18.1%	-86	-8.0p
5. わからない	18	2.0%	293	34.1%	275	32.1p
6. 関心がない	49	5.3%	23	2.7%	-26	-2.6p
7. 無回答	62	6.7%	(38)	—	(-24)	—
N値	922	100.0%	858	100.0%	-64	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『里山を大切にし、学習をして保全に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	56	6.1%	47	5.5%	-9	-0.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	234	25.4%	194	22.8%	-40	-2.6p
3. どちらかといえば、当てはまらない	323	35.0%	259	30.4%	-64	-4.6p
4. 当てはまらない	172	18.7%	228	26.8%	56	8.1p
5. 質問の意味が分からない	11	1.2%	27	3.2%	16	2.0p
6. 関心がない	55	6.0%	97	11.4%	42	5.4p
7. 無回答	71	7.7%	(44)	—	(-27)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策18 「中心市街地活性化」 中心市街地の賑わいをつくる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	13.2	16.8	3.6	—	—
	(順位)	(45)	(44)	(1)	—	—
市民参画度	%	40.9	39.0	-1.9	—	—
	(順位)	(21)	(24)	(-3)	—	—

今後の重要度	%	82.2	86.3	4.1	—	—
	(順位)	(36)	(31)	(5)	—	—

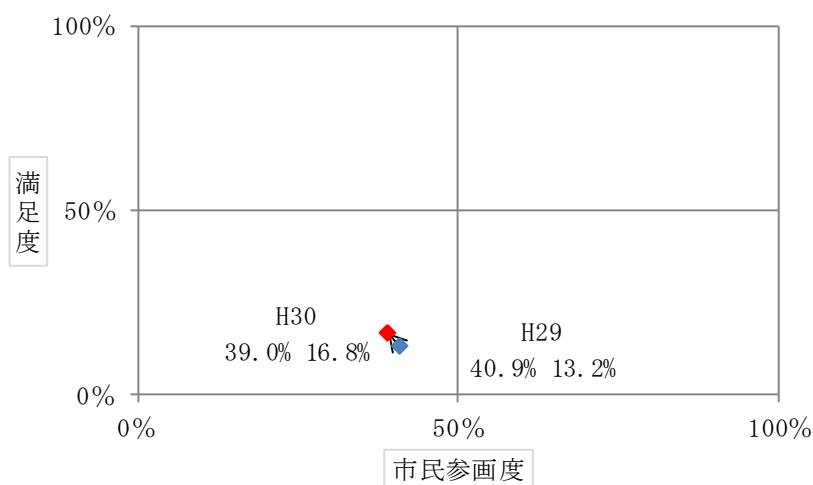
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

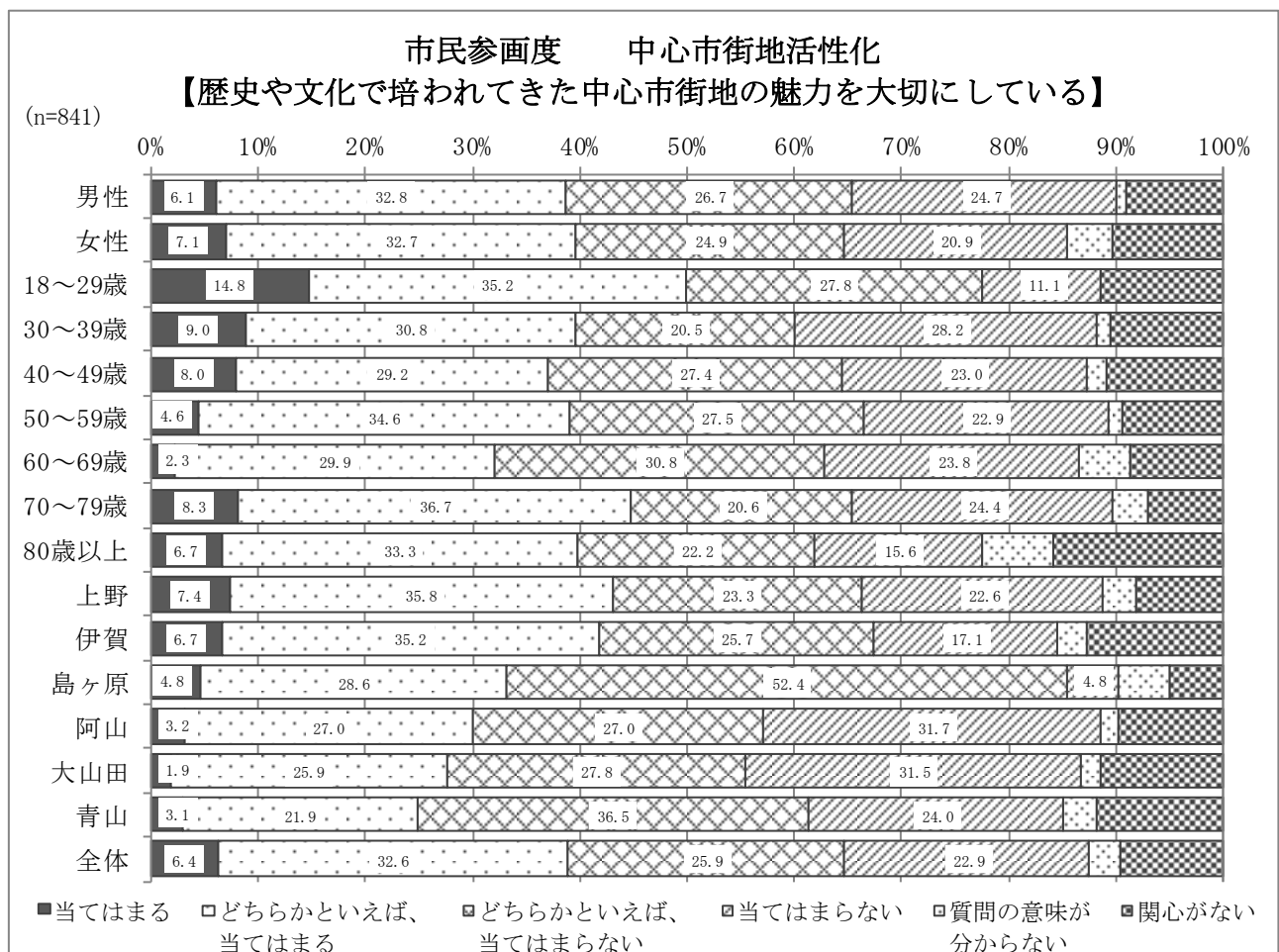
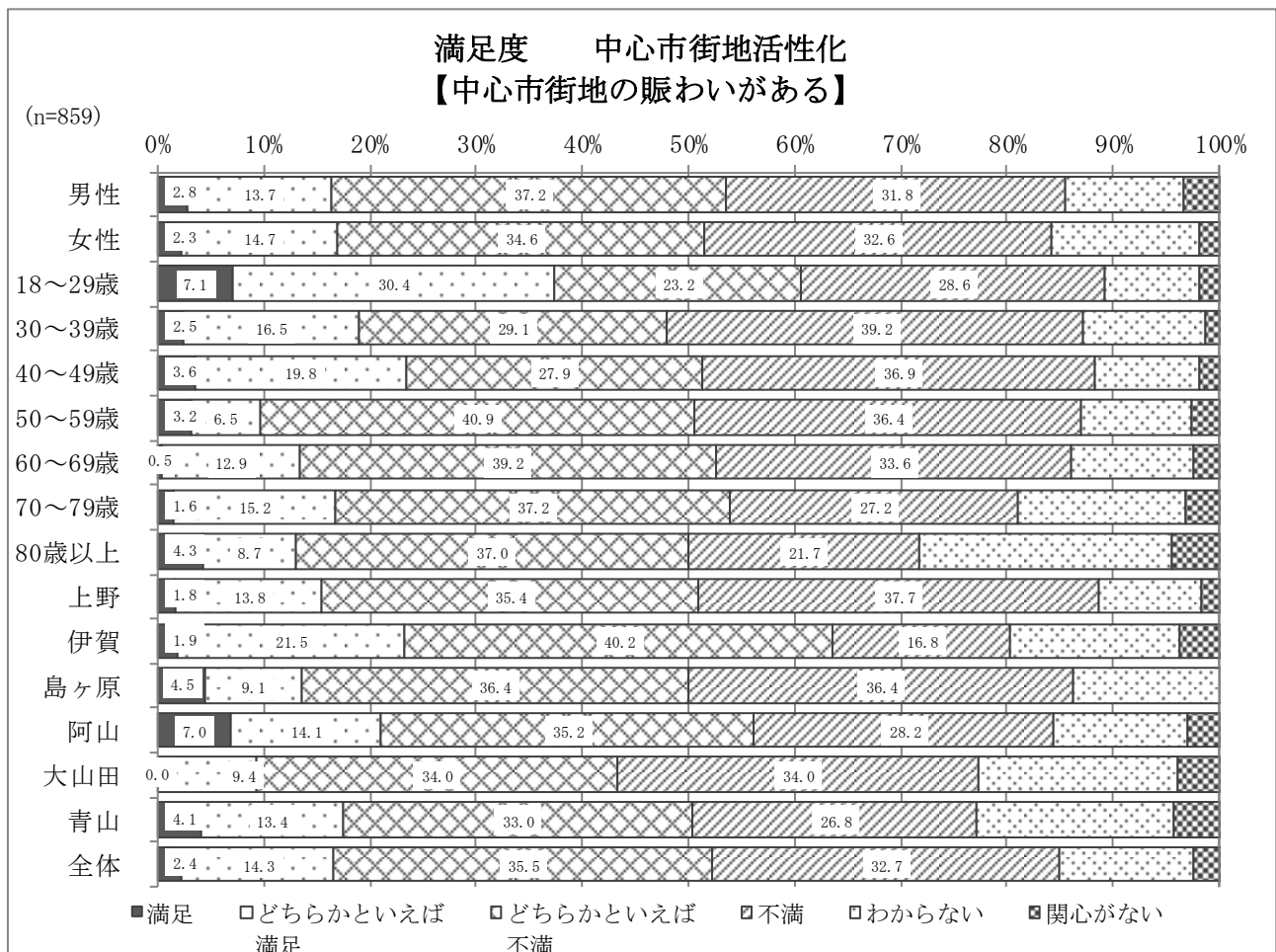
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『中心市街地の賑わいがある』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	22	2.4%	21	2.4%	-1	0.0p
2. どちらかといえば満足	100	10.8%	123	14.3%	23	3.5p
3. どちらかといえば不満	370	40.1%	305	35.5%	-65	-4.6p
4. 不満	353	38.3%	281	32.7%	-72	-5.6p
5. わからない	4	0.4%	108	12.6%	104	12.2p
6. 関心がない	23	2.5%	21	2.4%	-2	-0.1p
7. 無回答	50	5.4%	(37)	—	(-13)	—
N値	922	100.0%	859	100.0%	-63	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『歴史や文化で培われてきた中心市街地の魅力を大切にしている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	63	6.8%	54	6.4%	-9	-0.4p
2. どちらかといえば、当てはまる	314	34.1%	274	32.6%	-40	-1.5p
3. どちらかといえば、当てはまらない	280	30.4%	218	25.9%	-62	-4.5p
4. 当てはまらない	126	13.7%	193	22.9%	67	9.2p
5. 質問の意味が分からない	13	1.4%	24	2.9%	11	1.5p
6. 関心がない	51	5.5%	78	9.3%	27	3.8p
7. 無回答	75	8.1%	(55)	—	(-20)	—
N値	922	100.0%	841	100.0%	-81	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策19 「商工業」 商工業活動を盛んにする

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	17.9	20.5	2.6	—	—
	(順位)	(42)	(37)	(5)	—	—
市民参画度	%	58.8	58.1	-0.7	—	—
	(順位)	(11)	(11)	(0)	—	—

今後の重要度	%	86.7	90.8	4.1	—	—
	(順位)	(24)	(24)	(0)	—	—

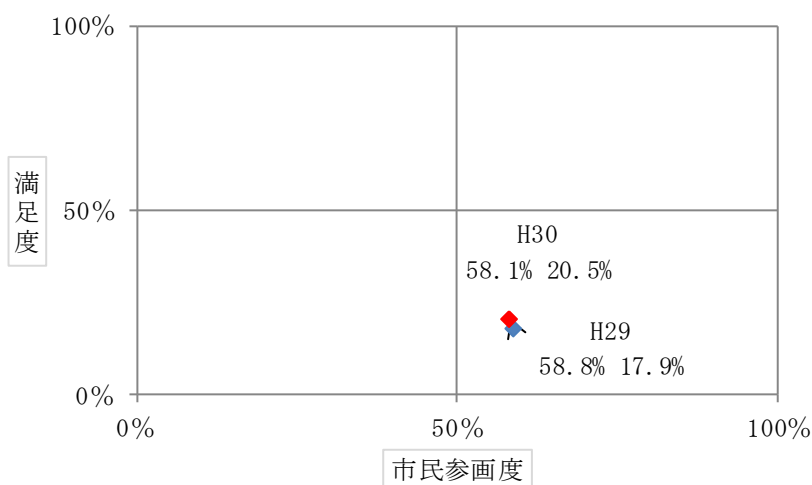
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

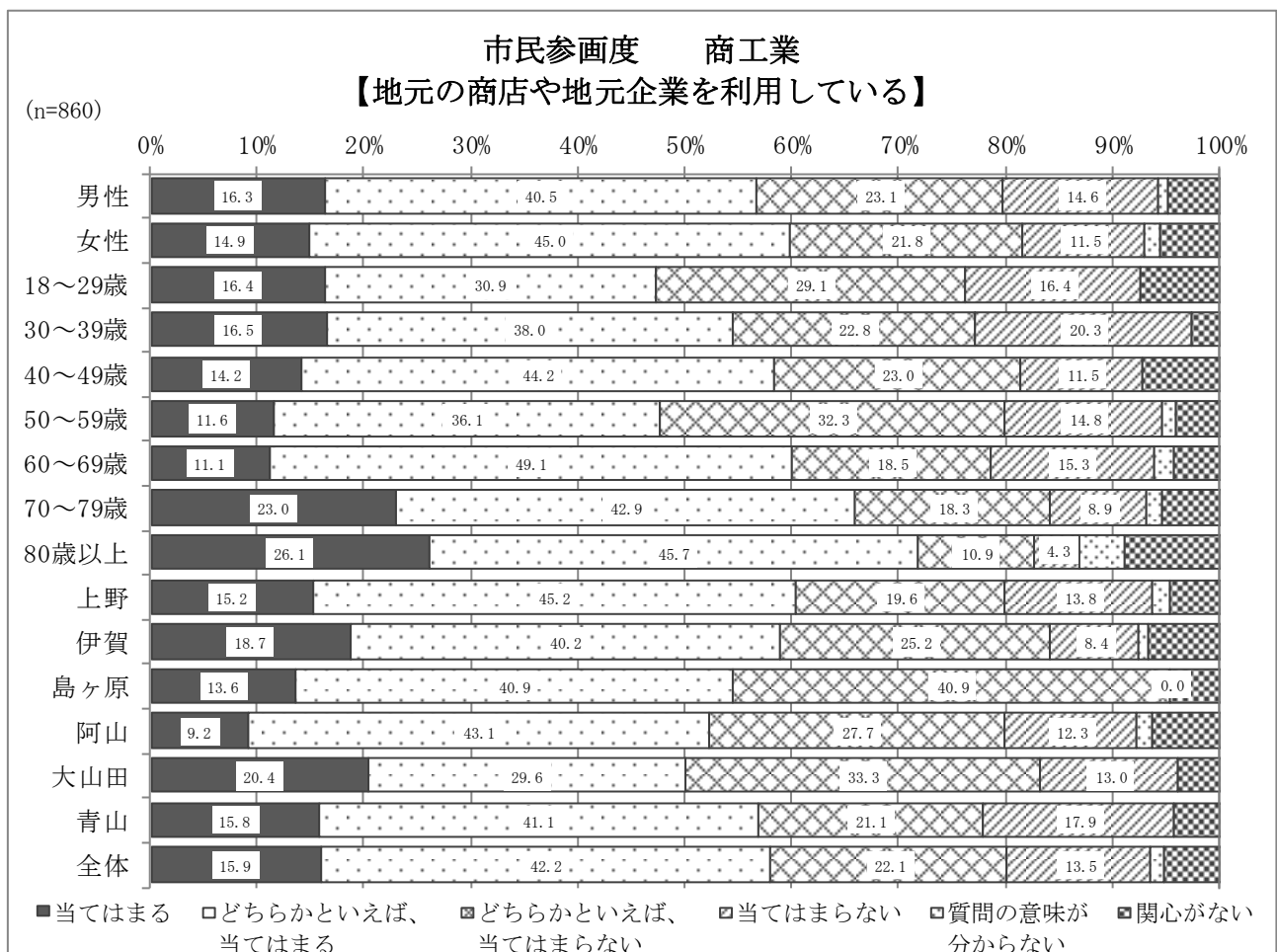
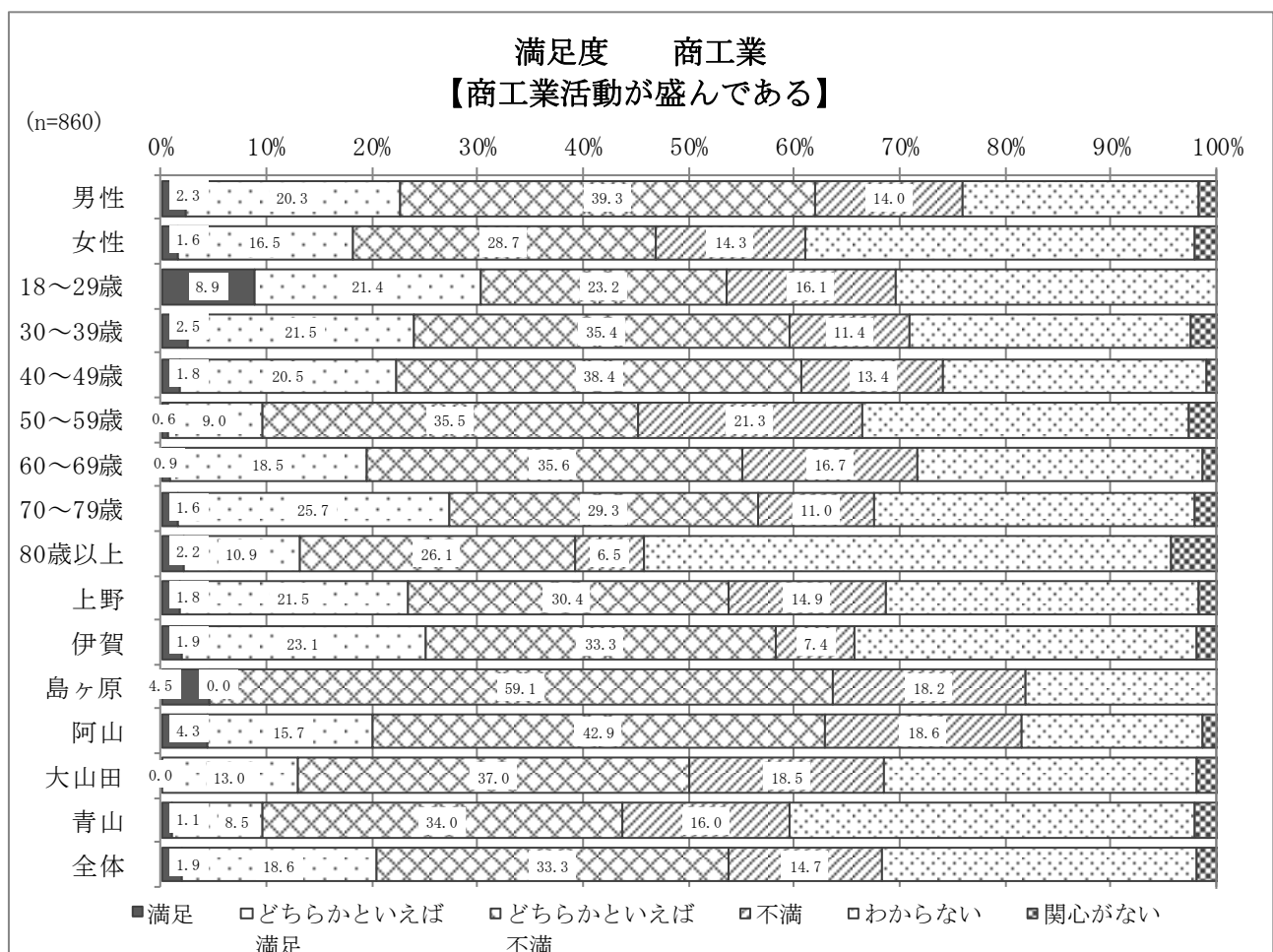
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『商工業活動が盛んである』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	15	1.6%	16	1.9%	1	0.3p
2. どちらかといえば満足	150	16.3%	160	18.6%	10	2.3p
3. どちらかといえば不満	383	41.5%	286	33.3%	-97	-8.2p
4. 不満	272	29.5%	126	14.7%	-146	-14.8p
5. わからない	8	0.9%	256	29.8%	248	28.9p
6. 関心がない	37	4.0%	16	1.9%	-21	-2.1p
7. 無回答	57	6.2%	(36)	—	(-21)	—
N値	922	100.0%	860	100.0%	-62	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地元の商店や地元企業を利用している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	144	15.6%	137	15.9%	-7	0.3p
2. どちらかといえば、当てはまる	398	43.2%	363	42.2%	-35	-1.0p
3. どちらかといえば、当てはまらない	201	21.8%	190	22.1%	-11	0.3p
4. 当てはまらない	82	8.9%	116	13.5%	34	4.6p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	11	1.3%	7	0.9p
6. 関心がない	30	3.3%	43	5.0%	13	1.7p
7. 無回答	63	6.8%	(36)	—	(-27)	—
N値	922	100.0%	860	100.0%	-62	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策20 「産業立地」 地域の特性を活かした新たな産業を創出する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	17.7	16.8	-0.9	—	—
	(順位)	(43)	(43)	(0)	—	—
市民参画度	%	—	—	—	—	—
	(順位)	(—)	(—)	(—)	—	—

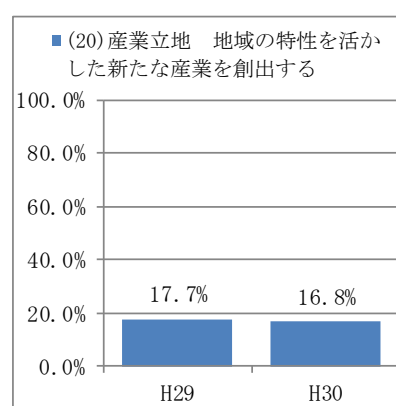
今後の重要度	%	85.8	88.2	2.4	—	—
	(順位)	(29)	(27)	(2)	—	—

この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

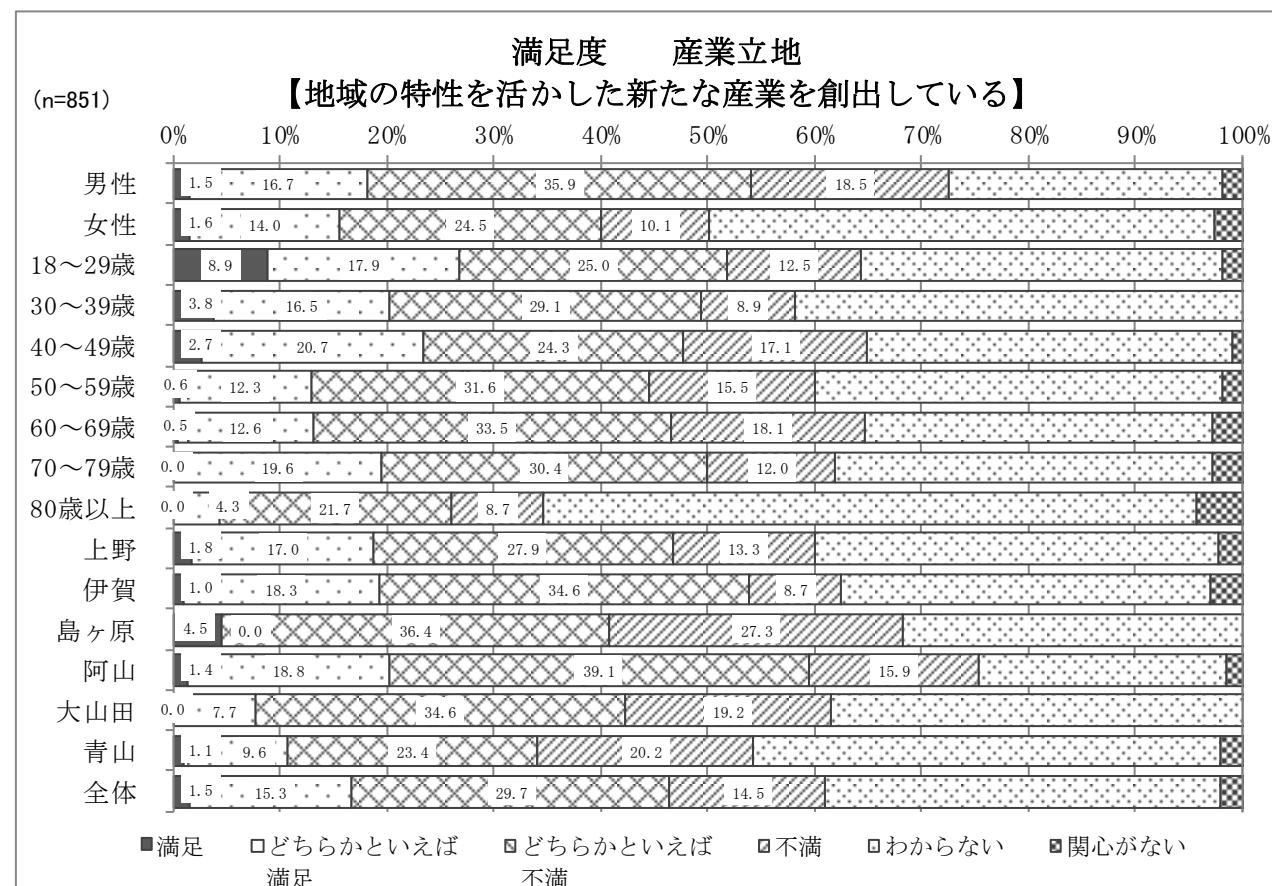
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『地域の特性を活かした新たな産業を創出している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	24	2.6%	13	1.5%	-11	-1.1p
2. どちらかといえば満足	139	15.1%	130	15.3%	-9	0.2p
3. どちらかといえば不満	385	41.8%	253	29.7%	-132	-12.1p
4. 不満	251	27.2%	123	14.5%	-128	-12.7p
5. わからない	11	1.2%	314	36.9%	303	35.7p
6. 関心がない	48	5.2%	18	2.1%	-30	-3.1p
7. 無回答	64	6.9%	(45)	—	(-19)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p



・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。

・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策21 「雇用・就業」 働く人の意欲に応え、能力が発揮できる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	20.8	19.1	-1.7	—	—
	(順位)	(39)	(39)	(0)	—	—
市民参画度	%	—	—	—	—	—
	(順位)	(-)	(-)	(-)	—	—

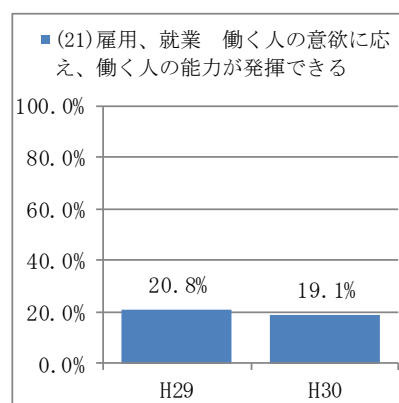
今後の重要度	%	91.4	95.2	3.8	—	—
	(順位)	(16)	(14)	(2)	—	—

この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用・就業」施策を除く45施策中)の順位です。

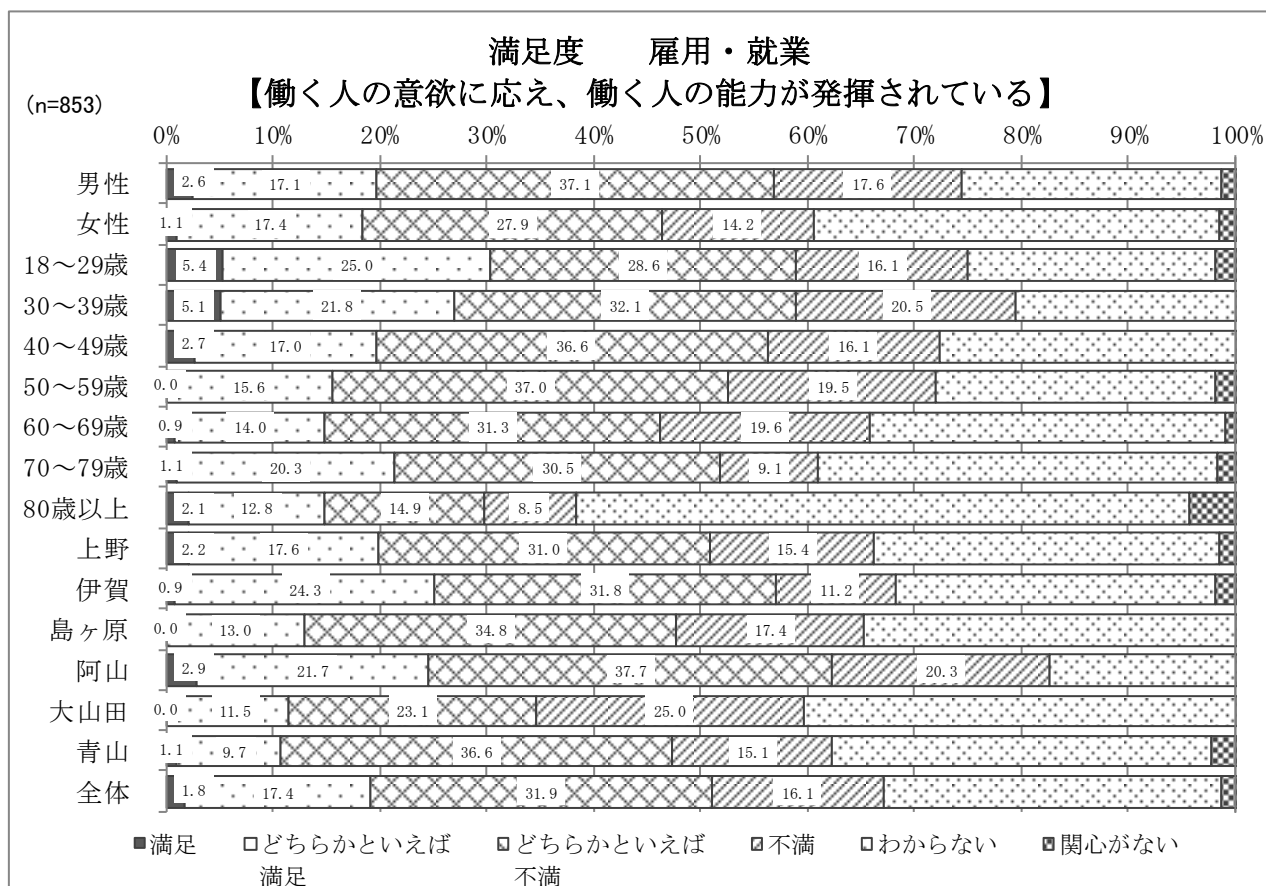
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『働く人の意欲に応え、働く人の能力が発揮されている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	18	2.0%	15	1.8%	-3	-0.2p
2. どちらかといえば満足	174	18.9%	148	17.4%	-26	-1.5p
3. どちらかといえば不満	406	44.0%	272	31.9%	-134	-12.1p
4. 不満	203	22.0%	137	16.1%	-66	-5.9p
5. わからない	20	2.2%	270	31.7%	250	29.5p
6. 関心がない	39	4.2%	11	1.3%	-28	-2.9p
7. 無回答	62	6.7%	(43)	—	(-19)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p



・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。

・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。



【産業・交流】

施策22 「起業支援」 事業性、継続性のあるビジネスが創出できる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	11.9	11.4	-0.5	—	—
	(順位)	(47)	(47)	(0)	—	—
市民参画度	%	28.7	23.9	-4.8	—	—
	(順位)	(33)	(41)	(-8)	—	—

今後の重要度	%	85.0	83.3	-1.7	—	—
	(順位)	(30)	(39)	(-9)	—	—

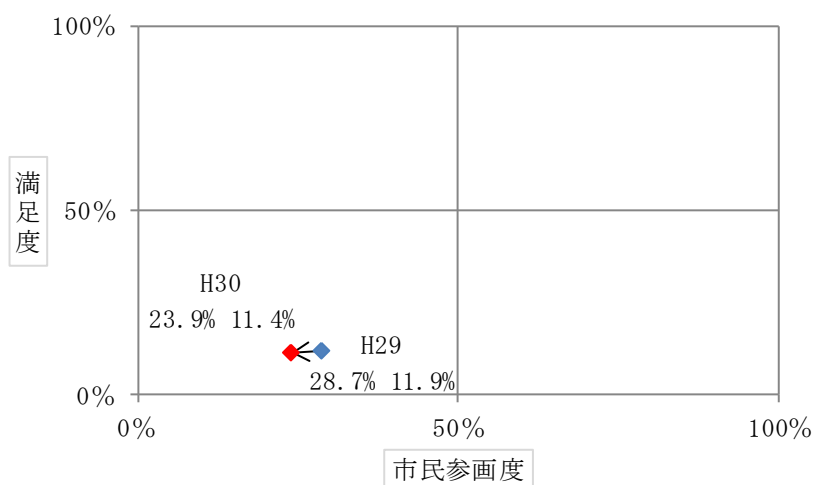
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

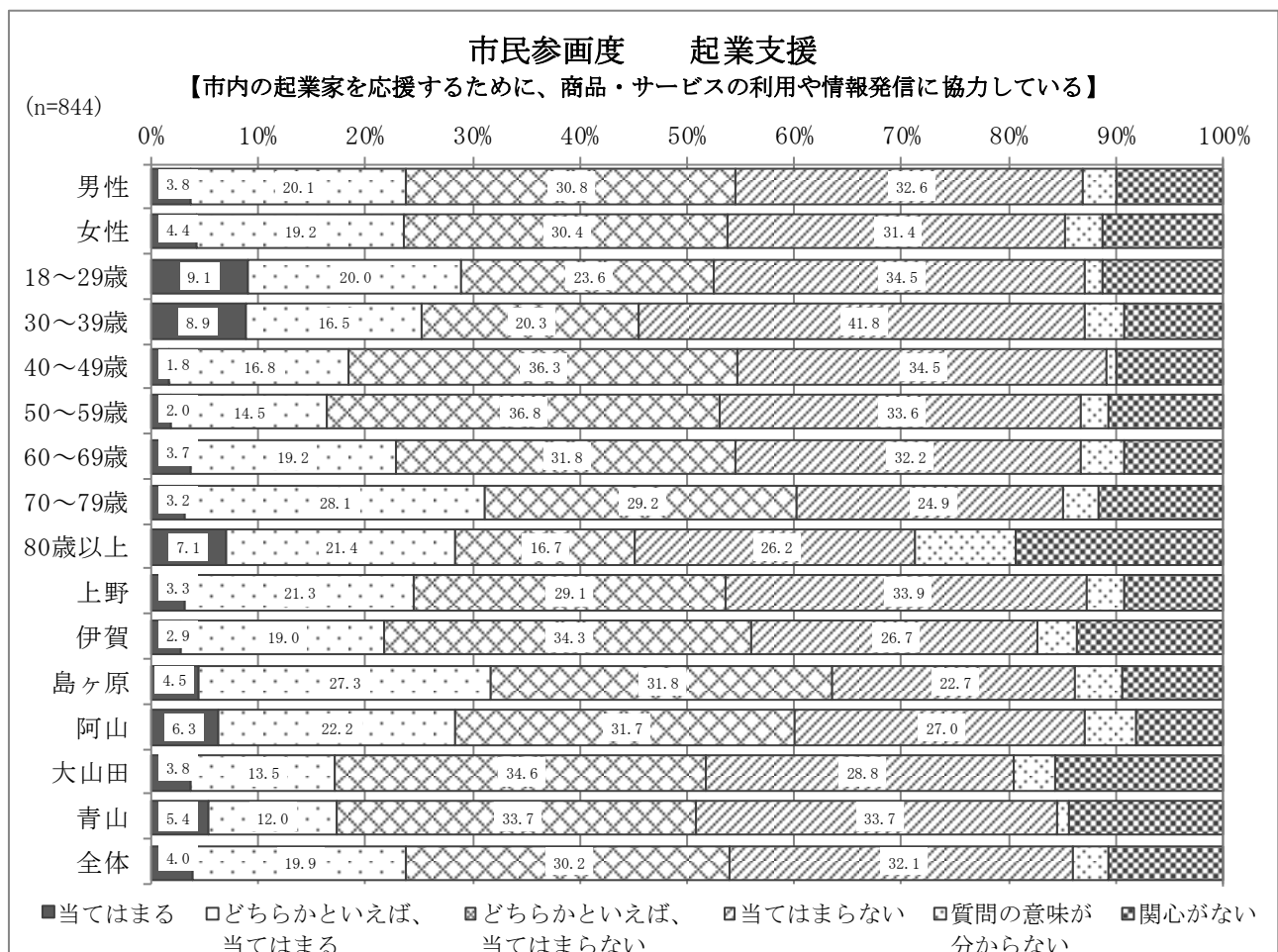
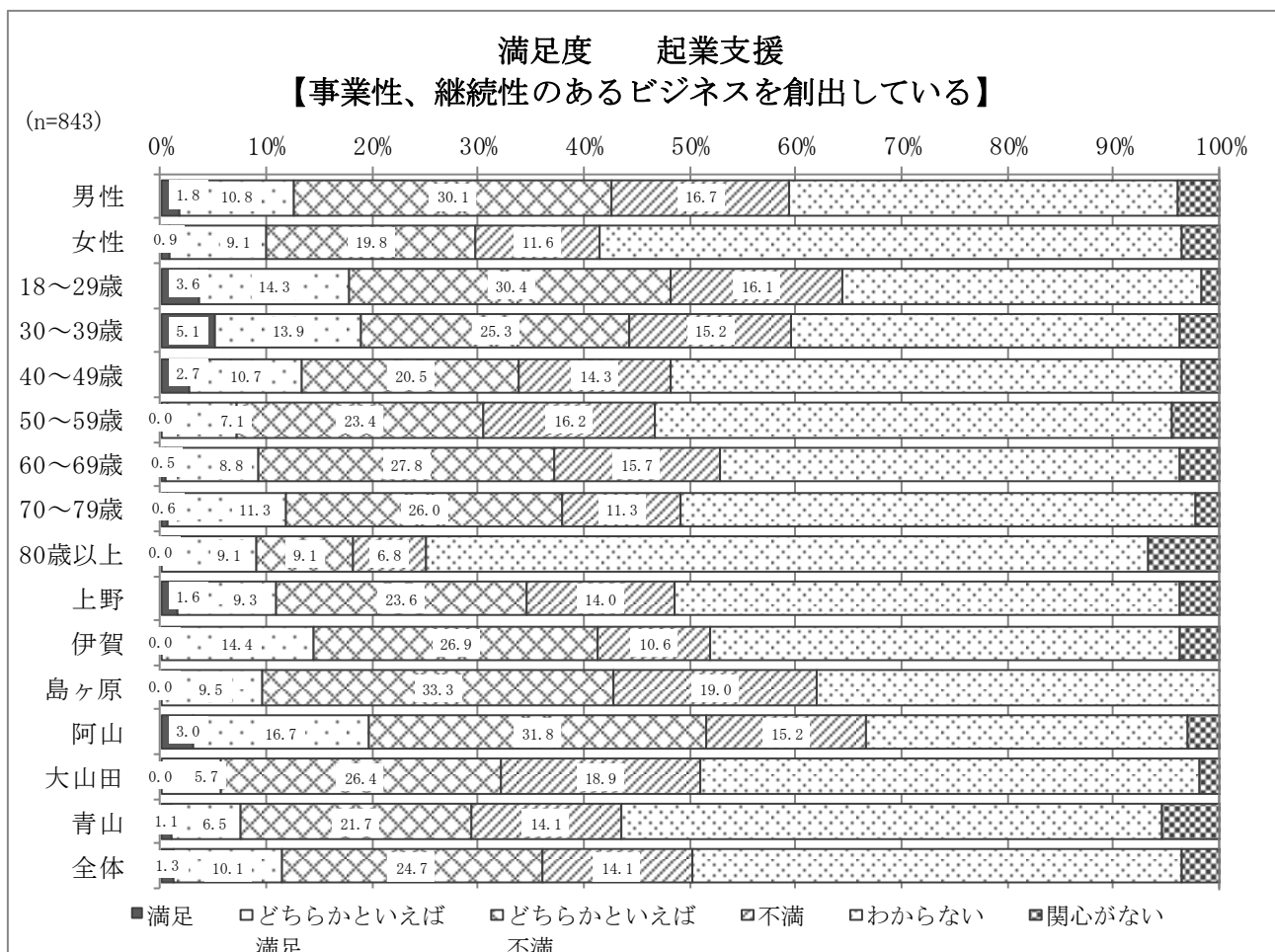
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『事業性、継続性のあるビジネスを創出している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	7	0.8%	11	1.3%	4	0.5p
2. どちらかといえば満足	103	11.2%	85	10.1%	-18	-1.1p
3. どちらかといえば不満	408	44.3%	208	24.7%	-200	-19.6p
4. 不満	225	24.4%	119	14.1%	-106	-10.3p
5. わからない	25	2.7%	390	46.3%	365	43.6p
6. 関心がない	84	9.1%	30	3.6%	-54	-5.5p
7. 無回答	70	7.6%	(53)	—	(-17)	—
N値	922	100.0%	843	100.0%	-79	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『市内の起業家を応援するために、商品・サービスの利用や情報発信に協力している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	44	4.8%	34	4.0%	-10	-0.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	221	24.0%	168	19.9%	-53	-4.1p
3. どちらかといえば、当てはまらない	338	36.7%	255	30.2%	-83	-6.5p
4. 当てはまらない	184	20.0%	271	32.1%	87	12.1p
5. 質問の意味が分からない	13	1.4%	28	3.3%	15	1.9p
6. 関心がない	50	5.4%	88	10.4%	38	5.0p
7. 無回答	72	7.8%	(52)	—	(-20)	—
N値	922	100.0%	844	100.0%	-78	0.0p

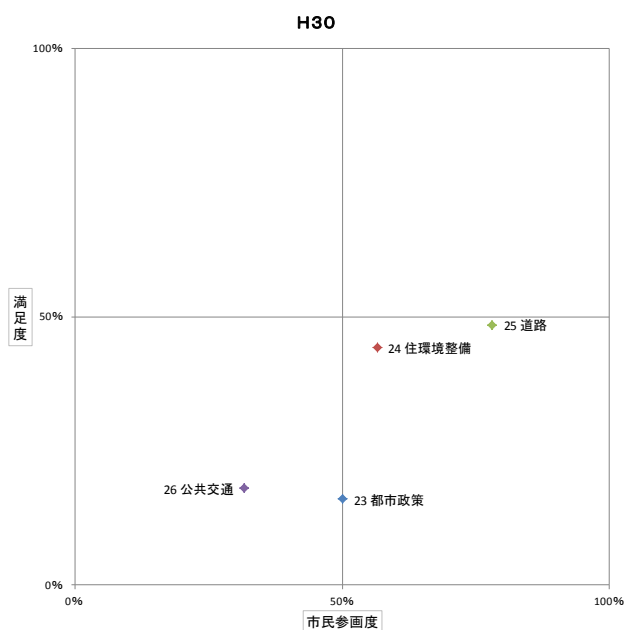


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



4. 生活基盤の分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(23)都市政策 適正な土地利用により、まちの魅力を高める	13.1%	46	86.3%	26	53.0%	13	16.0%	46	87.8%	28	50.1%	15
(24)住環境整備 だれもが安心な住まいで暮らせる	41.6%	24	94.0%	6	52.7%	14	44.3%	12	93.8%	18	56.6%	13
(25)道路 道路ネットワークによって移動がしやすい	42.5%	21	91.2%	18	43.6%	20	48.5%	8	92.3%	19	78.0%	5
(26)公共交通 身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える	19.1%	41	89.0%	21	31.8%	27	18.1%	41	92.2%	20	31.7%	31



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【生活基盤】

施策23 「都市政策」 適正な土地利用によりまちの魅力を高める

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	13.1	16.0	2.9	—	—
	(順位)	(46)	(46)	(0)	—	—
市民参画度	%	53.0	50.1	-2.9	—	—
	(順位)	(13)	(15)	(-2)	—	—

今後の重要度	%	86.3	87.8	1.5	—	—
	(順位)	(26)	(28)	(-2)	—	—

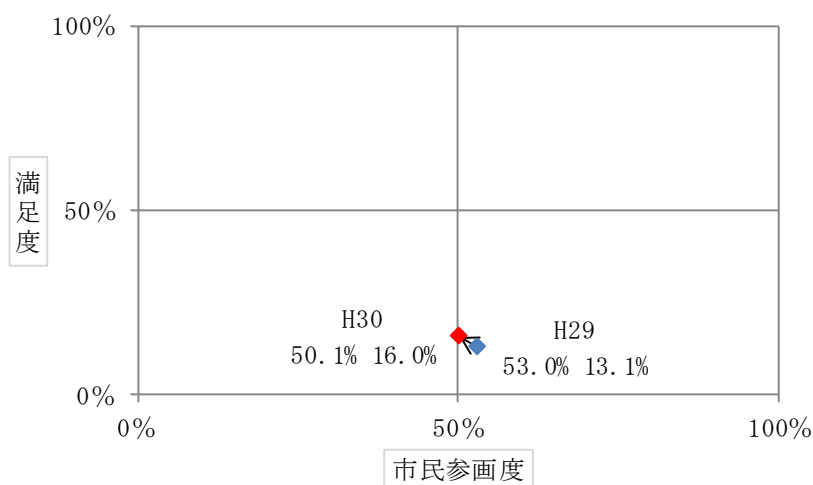
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

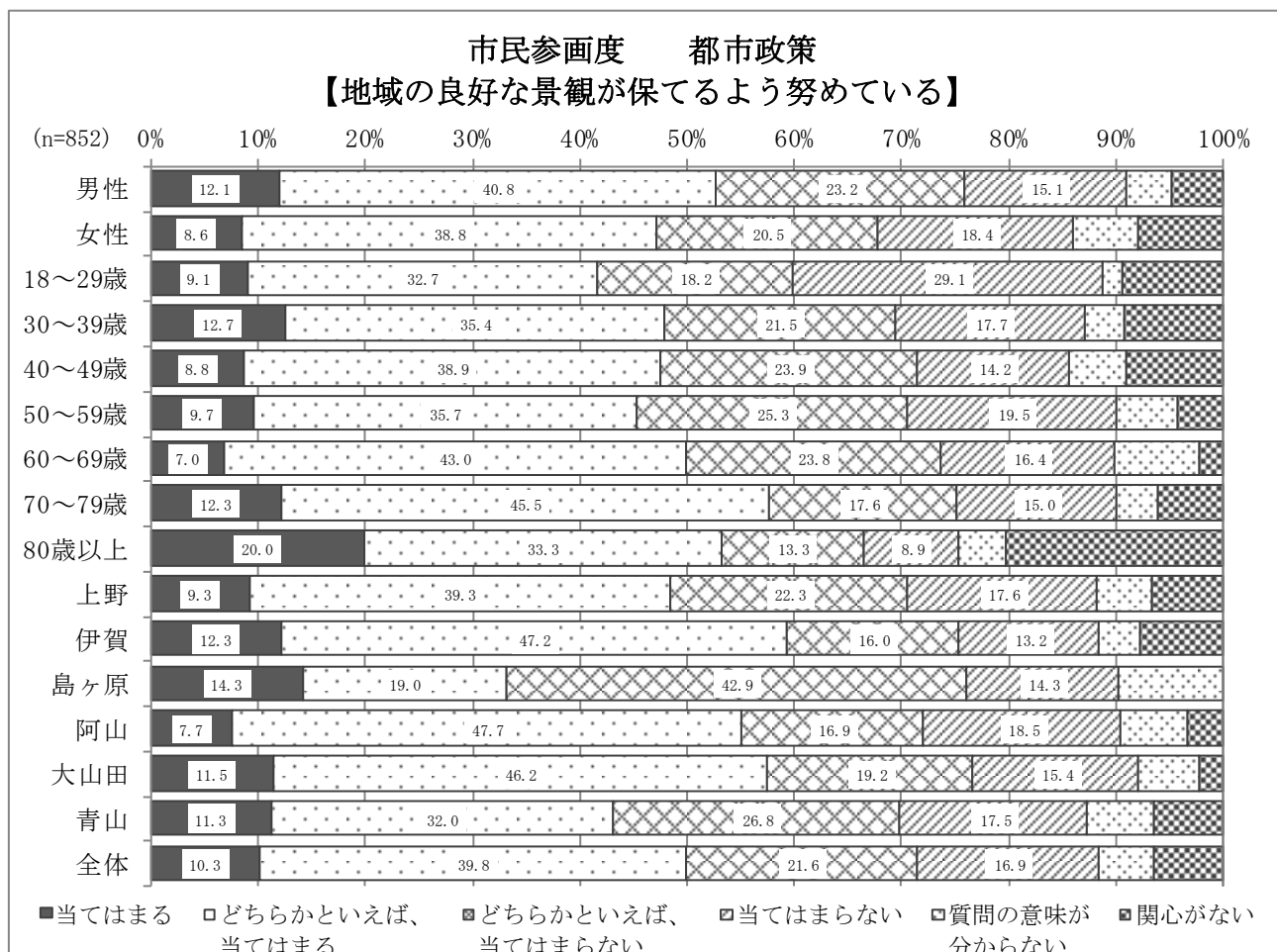
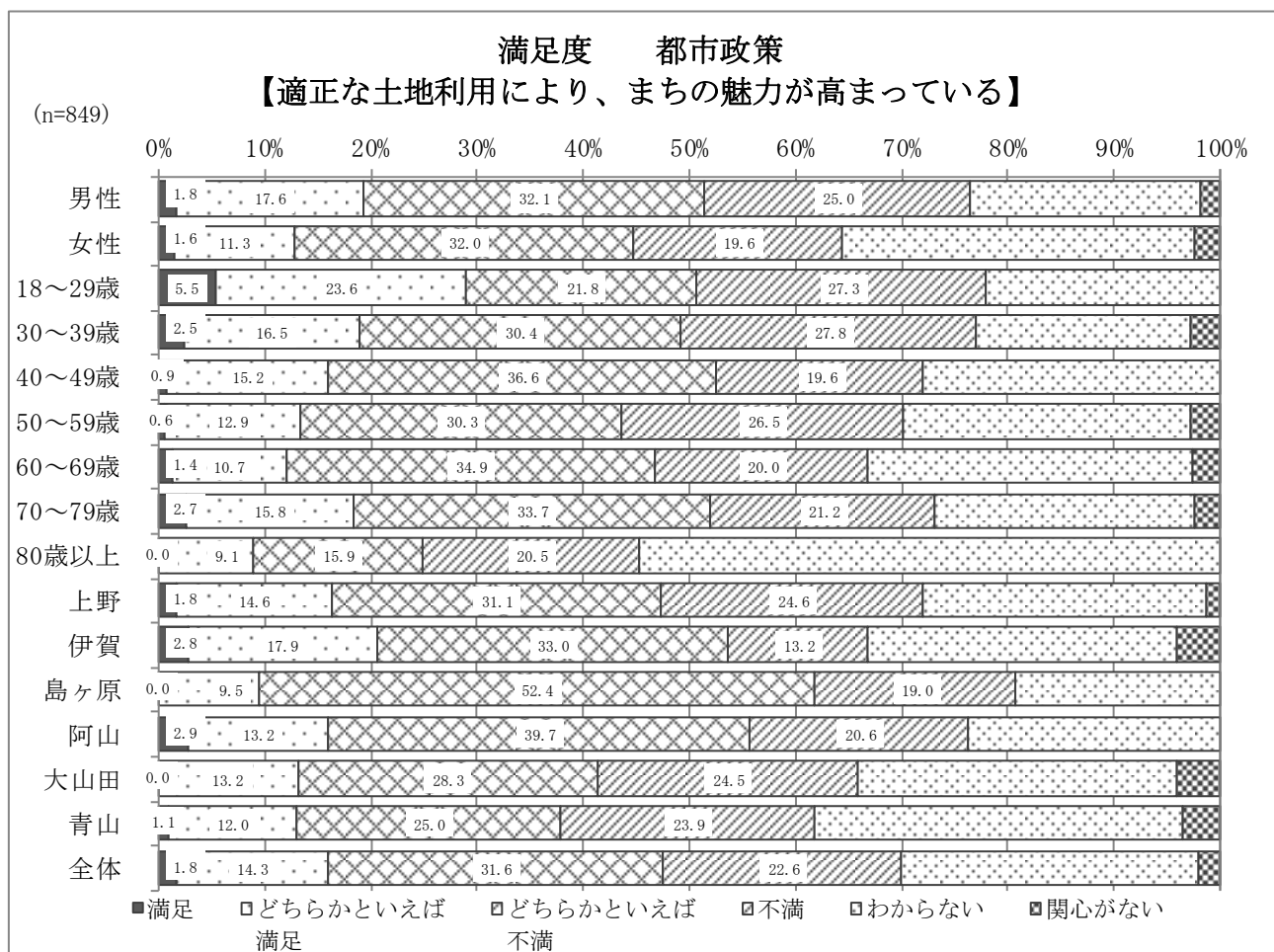
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『適正な土地利用により、まちの魅力が高まっている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	11	1.2%	15	1.8%	4	0.6p
2. どちらかといえば満足	110	11.9%	121	14.3%	11	2.4p
3. どちらかといえば不満	426	46.2%	268	31.6%	-158	-14.6p
4. 不満	283	30.7%	192	22.6%	-91	-8.1p
5. わからない	9	1.0%	238	28.0%	229	27.0p
6. 関心がない	29	3.1%	15	1.8%	-14	-1.3p
7. 無回答	54	5.9%	(47)	—	(-7)	—
N値	922	100.0%	849	100.0%	-73	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地域の良好な景観が保てるよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	110	11.9%	88	10.3%	-22	-1.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	379	41.1%	339	39.8%	-40	-1.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	214	23.2%	184	21.6%	-30	-1.6p
4. 当てはまらない	92	10.0%	144	16.9%	52	6.9p
5. 質問の意味が分からない	14	1.5%	45	5.3%	31	3.8p
6. 関心がない	46	5.0%	52	6.1%	6	1.1p
7. 無回答	67	7.3%	(44)	—	(-23)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活基盤】

施策24 「住環境整備」 だれもが安心な住まいで暮らせる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	41.6	44.3	2.7	—	—
	(順位)	(24)	(12)	(12)	—	—
市民参画度	%	52.7	56.6	3.9	—	—
	(順位)	(14)	(13)	(1)	—	—

今後の重要度	%	94.0	93.8	-0.2	—	—
	(順位)	(6)	(18)	(-12)	—	—

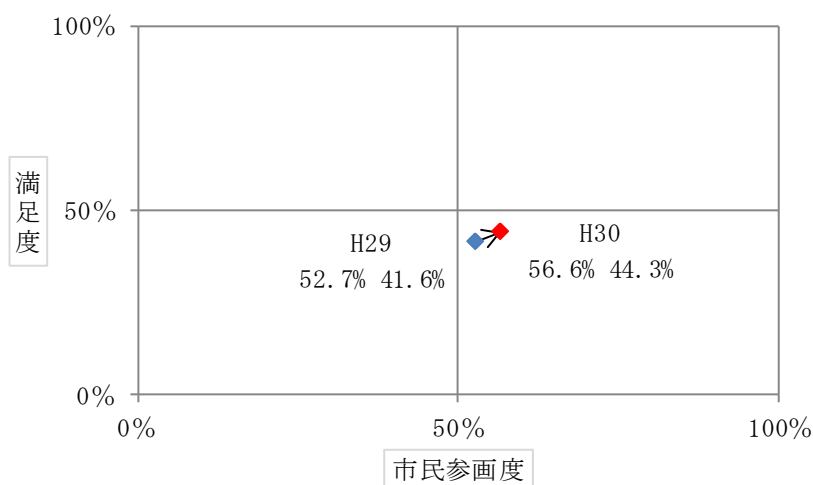
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

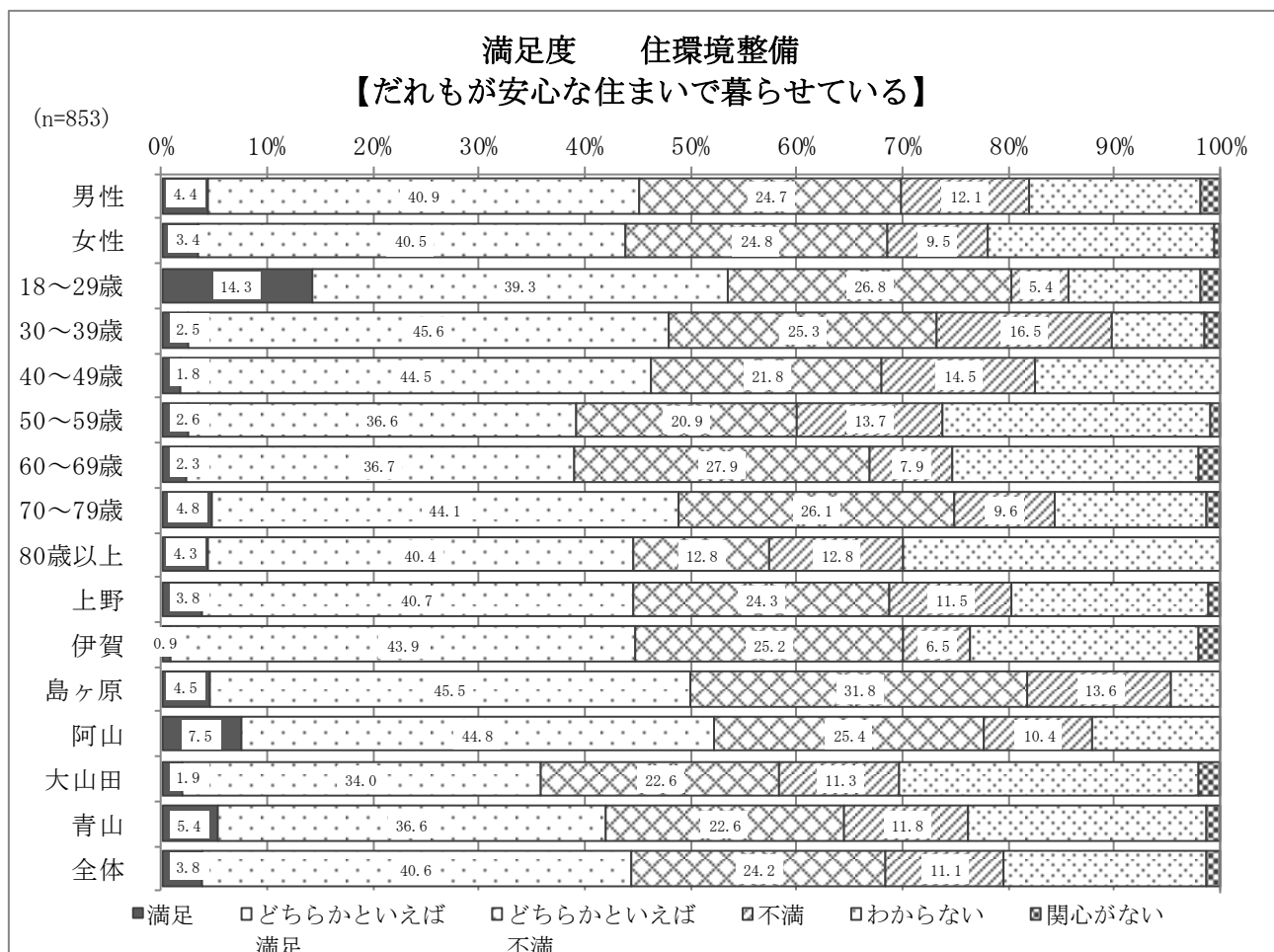
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『だれもが安心な住まいで暮らせている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	40	4.3%	32	3.8%	-8	-0.5p
2. どちらかといえば満足	344	37.3%	346	40.6%	2	3.3p
3. どちらかといえば不満	317	34.4%	206	24.2%	-111	-10.2p
4. 不満	135	14.6%	95	11.1%	-40	-3.5p
5. わからない	10	1.1%	165	19.3%	155	18.2p
6. 関心がない	18	2.0%	9	1.1%	-9	-0.9p
7. 無回答	58	6.3%	(43)	—	(-15)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『所有する建物の耐震化等、適正な管理に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	106	11.5%	123	14.5%	17	3.0p
2. どちらかといえば、当てはまる	380	41.2%	358	42.1%	-22	0.9p
3. どちらかといえば、当てはまらない	230	24.9%	200	23.5%	-30	-1.4p
4. 当てはまらない	102	11.1%	118	13.9%	16	2.8p
5. 質問の意味が分からない	9	1.0%	19	2.2%	10	1.2p
6. 関心がない	31	3.4%	32	3.8%	1	0.4p
7. 無回答	64	6.9%	(46)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活基盤】

施策25 「道路」 道路ネットワークによって移動がしやすい

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	42.5	48.5	6.0	—	—
	(順位)	(21)	(8)	(13)	—	—
市民参画度	%	43.6	78.0	34.4	—	—
	(順位)	(20)	(5)	(15)	—	—

今後の重要度	%	91.2	92.3	1.1	—	—
	(順位)	(18)	(19)	(-1)	—	—

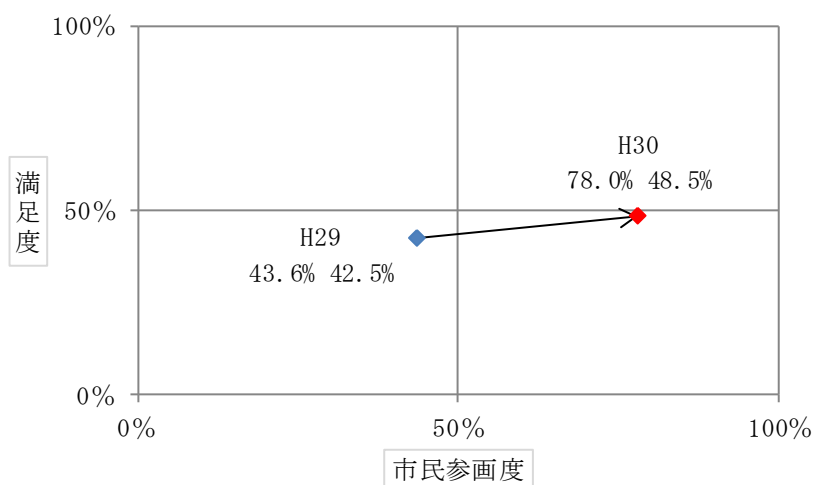
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

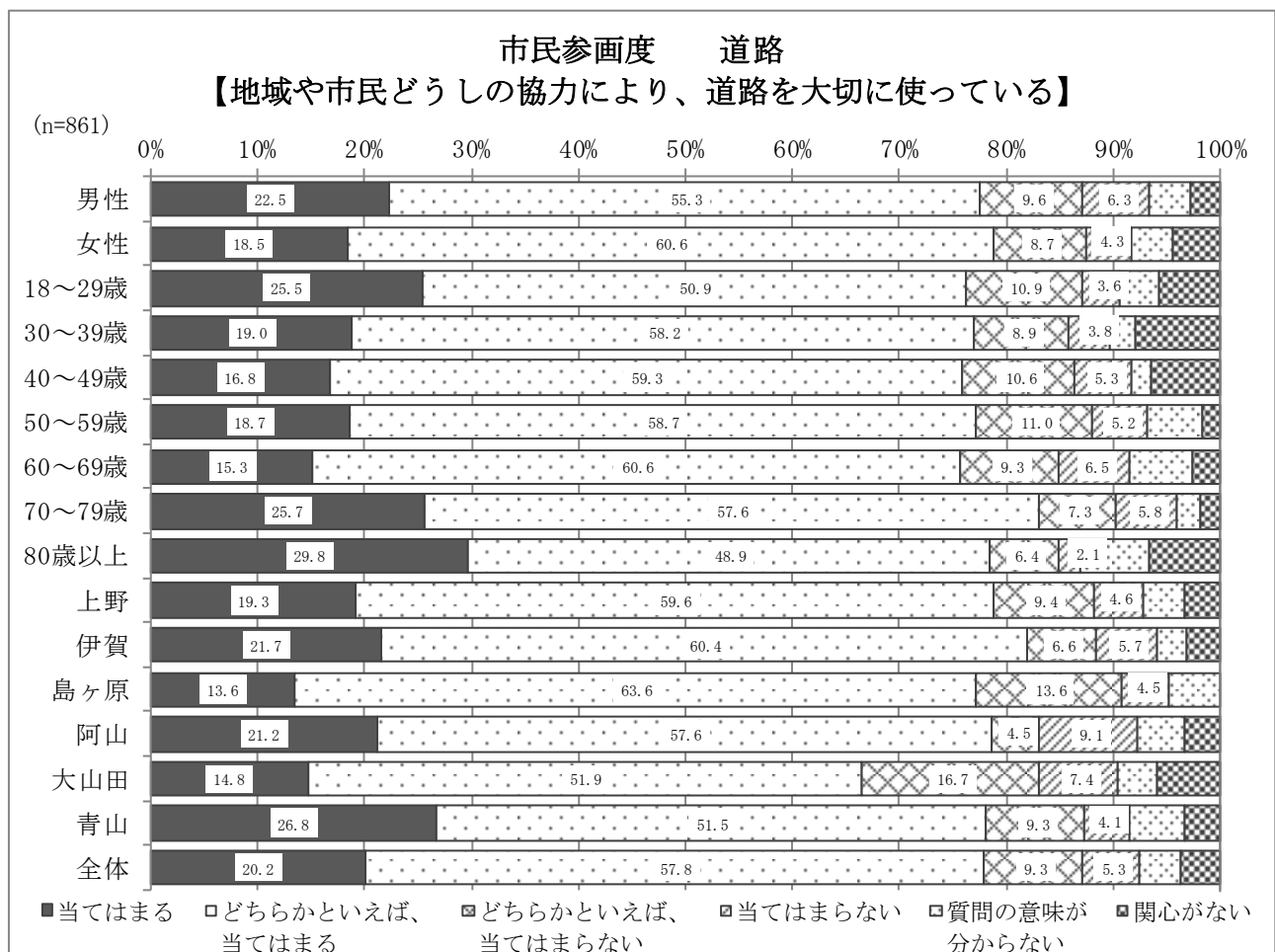
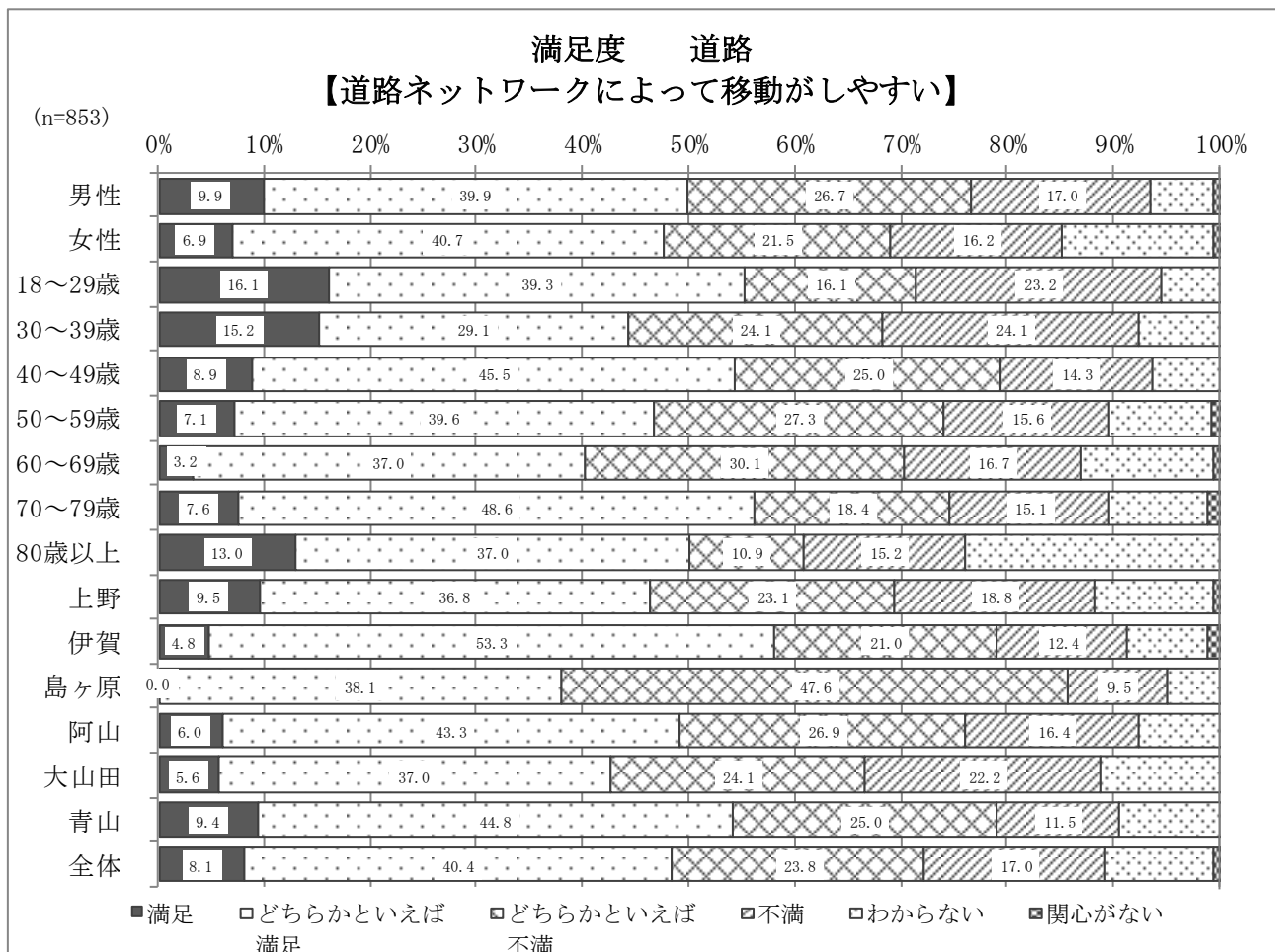
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『道路ネットワークによって移動がしやすい』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	68	7.4%	69	8.1%	1	0.7p
2. どちらかといえば満足	324	35.1%	345	40.4%	21	5.3p
3. どちらかといえば不満	260	28.2%	203	23.8%	-57	-4.4p
4. 不満	196	21.3%	145	17.0%	-51	-4.3p
5. わからない	3	0.3%	87	10.2%	84	9.9p
6. 関心がない	22	2.4%	4	0.5%	-18	-1.9p
7. 無回答	49	5.3%	(43)	—	(-6)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『地域や市民どうしの協力により、道路を大切に使っている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	82	8.9%	174	20.2%	92	11.3p
2. どちらかといえば、当てはまる	320	34.7%	498	57.8%	178	23.1p
3. どちらかといえば、当てはまらない	276	29.9%	80	9.3%	-196	-20.6p
4. 当てはまらない	132	14.3%	46	5.3%	-86	-9.0p
5. 質問の意味が分からない	11	1.2%	34	3.9%	23	2.7p
6. 関心がない	39	4.2%	29	3.4%	-10	-0.8p
7. 無回答	62	6.7%	(35)	—	(-27)	—
N値	922	100.0%	861	100.0%	-61	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【生活基盤】

施策26 「公共交通」 身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支える

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	19.1	18.1	-1.0	—	—
	(順位)	(41)	(41)	(0)	—	—
市民参画度	%	31.8	31.7	-0.1	—	—
	(順位)	(27)	(31)	(-4)	—	—

今後の重要度	%	89.0	92.2	3.2	—	—
	(順位)	(21)	(20)	(1)	—	—

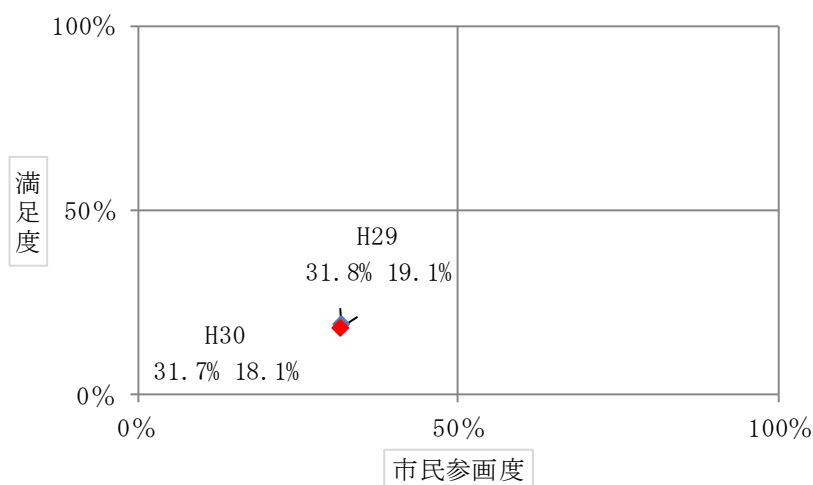
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

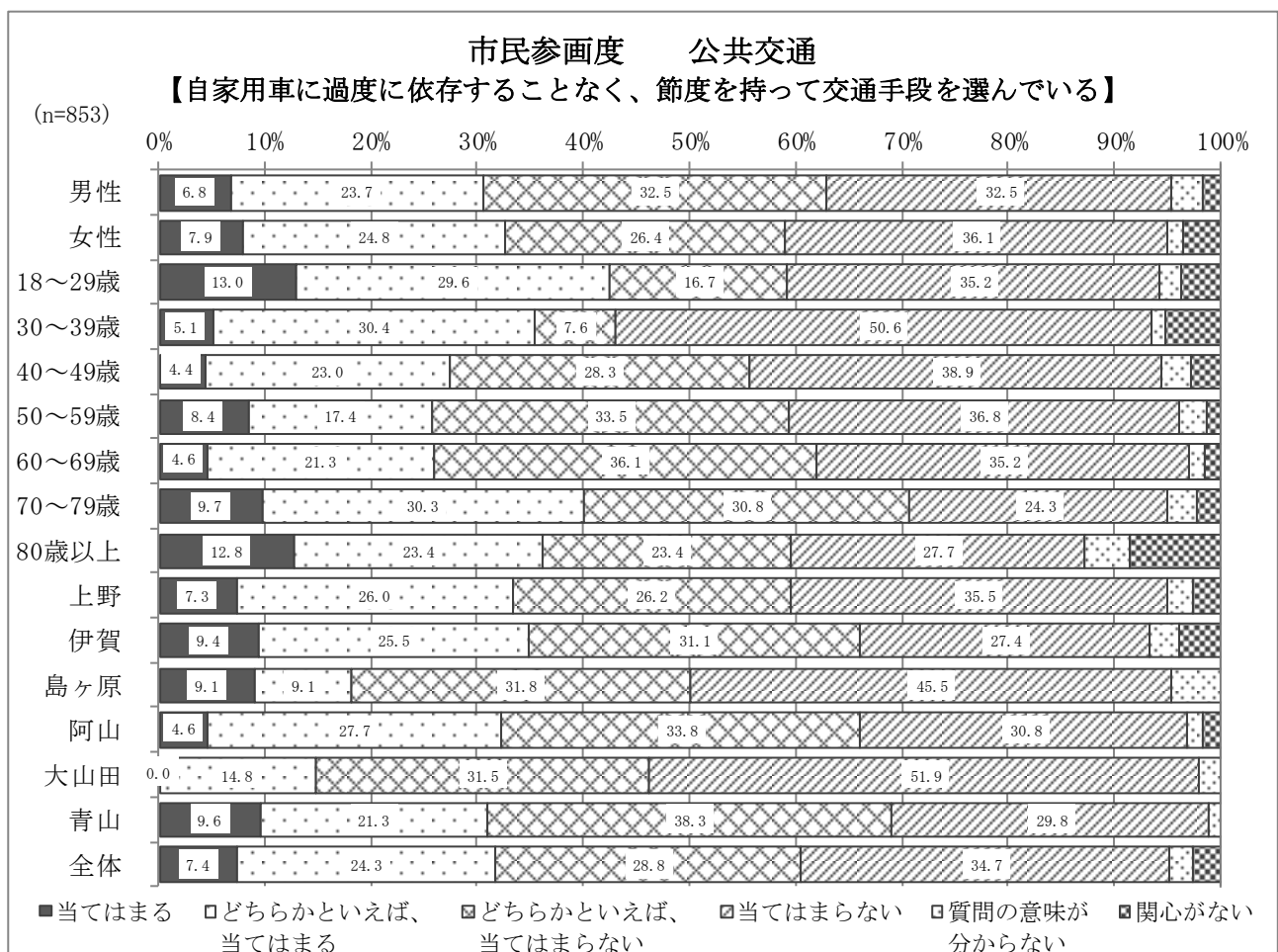
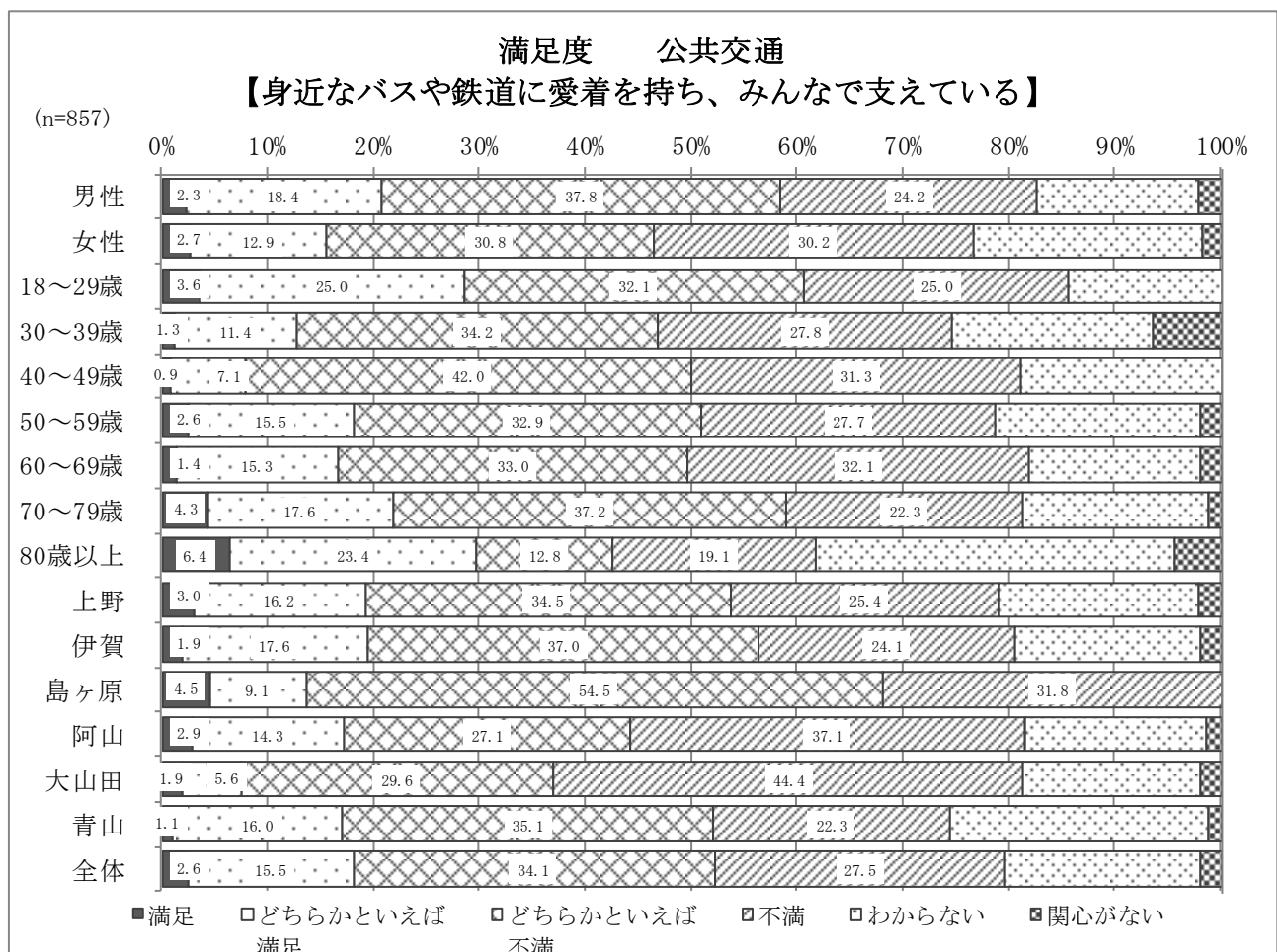
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支えている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	29	3.1%	22	2.6%	-7	-0.5p
2. どちらかといえば満足	147	15.9%	133	15.5%	-14	-0.4p
3. どちらかといえば不満	340	36.9%	292	34.1%	-48	-2.8p
4. 不満	328	35.6%	236	27.5%	-92	-8.1p
5. わからない	7	0.8%	158	18.4%	151	17.6p
6. 関心がない	22	2.4%	16	1.9%	-6	-0.5p
7. 無回答	49	5.3%	(39)	—	(-10)	—
N値	922	100.0%	857	100.0%	-65	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『自家用車に過度に依存することなく、節度を持って交通手段を選んでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	85	9.2%	63	7.4%	-22	-1.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	208	22.6%	207	24.3%	-1	1.7p
3. どちらかといえば、当てはまらない	287	31.1%	246	28.8%	-41	-2.3p
4. 当てはまらない	246	26.7%	296	34.7%	50	8.0p
5. 質問の意味が分からない	6	0.7%	19	2.2%	13	1.5p
6. 関心がない	19	2.1%	22	2.6%	3	0.5p
7. 無回答	71	7.7%	(43)	—	(-28)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

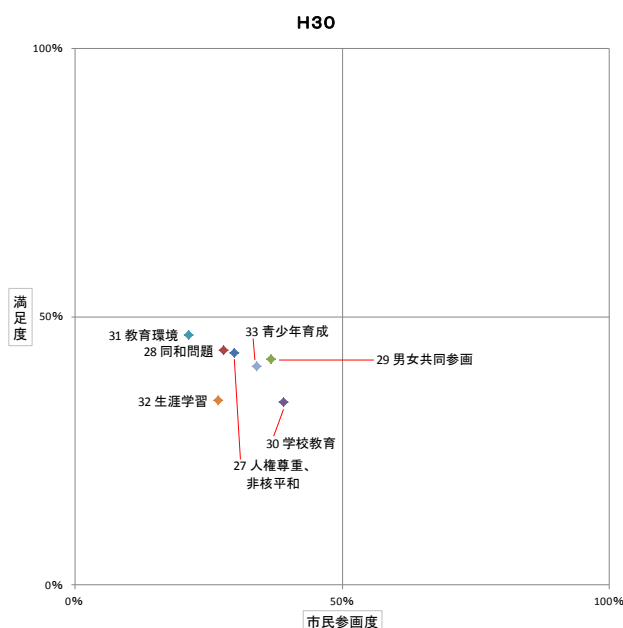


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



5. 教育・人権の分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(27)人権尊重、非核平和 人権に対する正しい知識を習得する	44.0%	17	84.4%	32	28.0%	34	43.3%	15	78.6%	46	29.8%	34
(28)同和問題 部落差別をなくす	41.8%	23	79.0%	44	26.9%	35	43.8%	14	73.1%	47	27.9%	38
(29)男女共同参画 性別による分け隔てをなくす	42.4%	22	83.4%	33	31.6%	28	42.2%	18	82.3%	42	36.7%	26
(30)学校教育 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	39.9%	27	93.7%	7	35.0%	24	34.1%	30	98.0%	4	39.0%	23
(31)教育環境 子どもたちが、安心して学べる	56.8%	7	94.6%	4	20.3%	42	46.7%	11	98.0%	5	21.3%	42
(32)生涯学習 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	36.9%	29	86.1%	27	25.4%	36	34.4%	28	91.9%	21	26.8%	39
(33)青少年育成 子どもや若者が、健やかに成長する	53.7%	10	92.4%	14	30.3%	32	40.8%	19	95.4%	12	33.9%	28



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【教育・人権】

施策27 「人権尊重・非核平和」 人権に対する正しい知識を習得する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	44.0	43.3	-0.7	—	—
	(順位)	(17)	(15)	(2)	—	—
市民参画度	%	28.0	29.8	1.8	—	—
	(順位)	(34)	(34)	(0)	—	—

今後の重要度	%	84.4	78.6	-5.8	—	—
	(順位)	(32)	(46)	(-14)	—	—

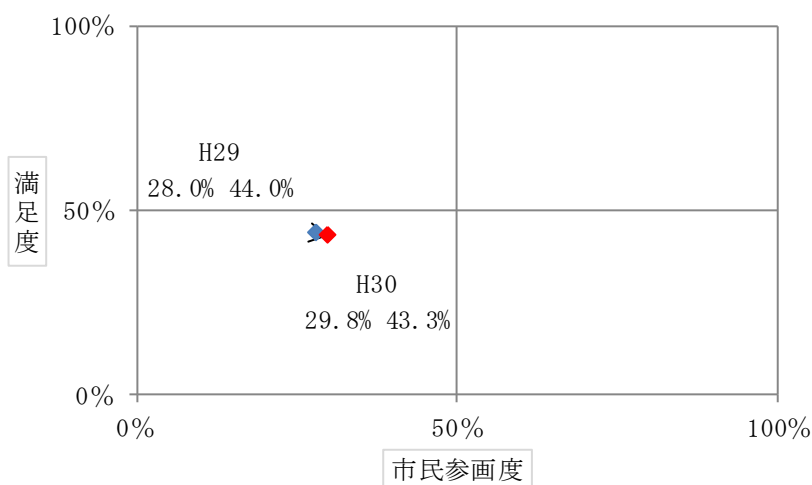
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

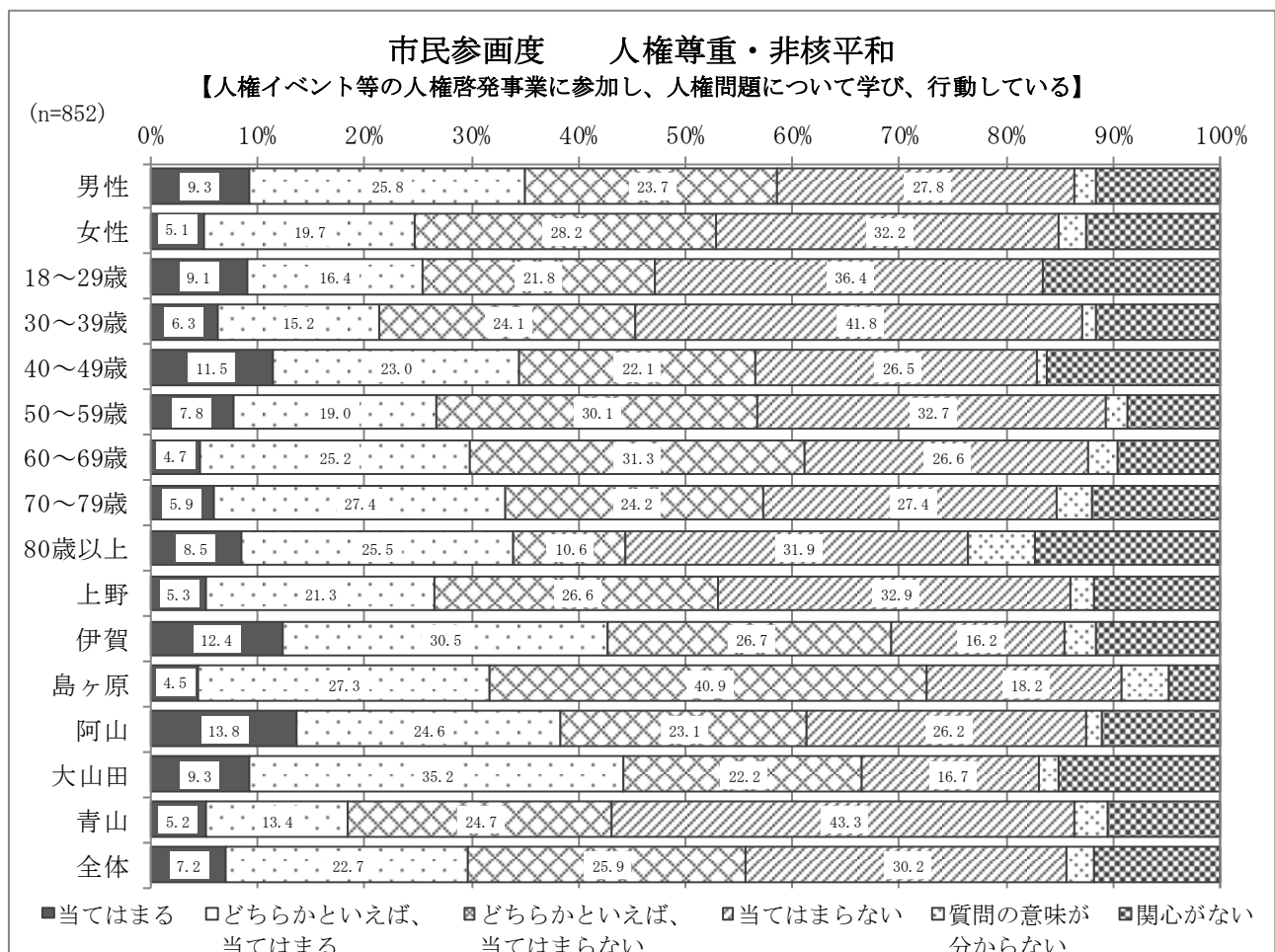
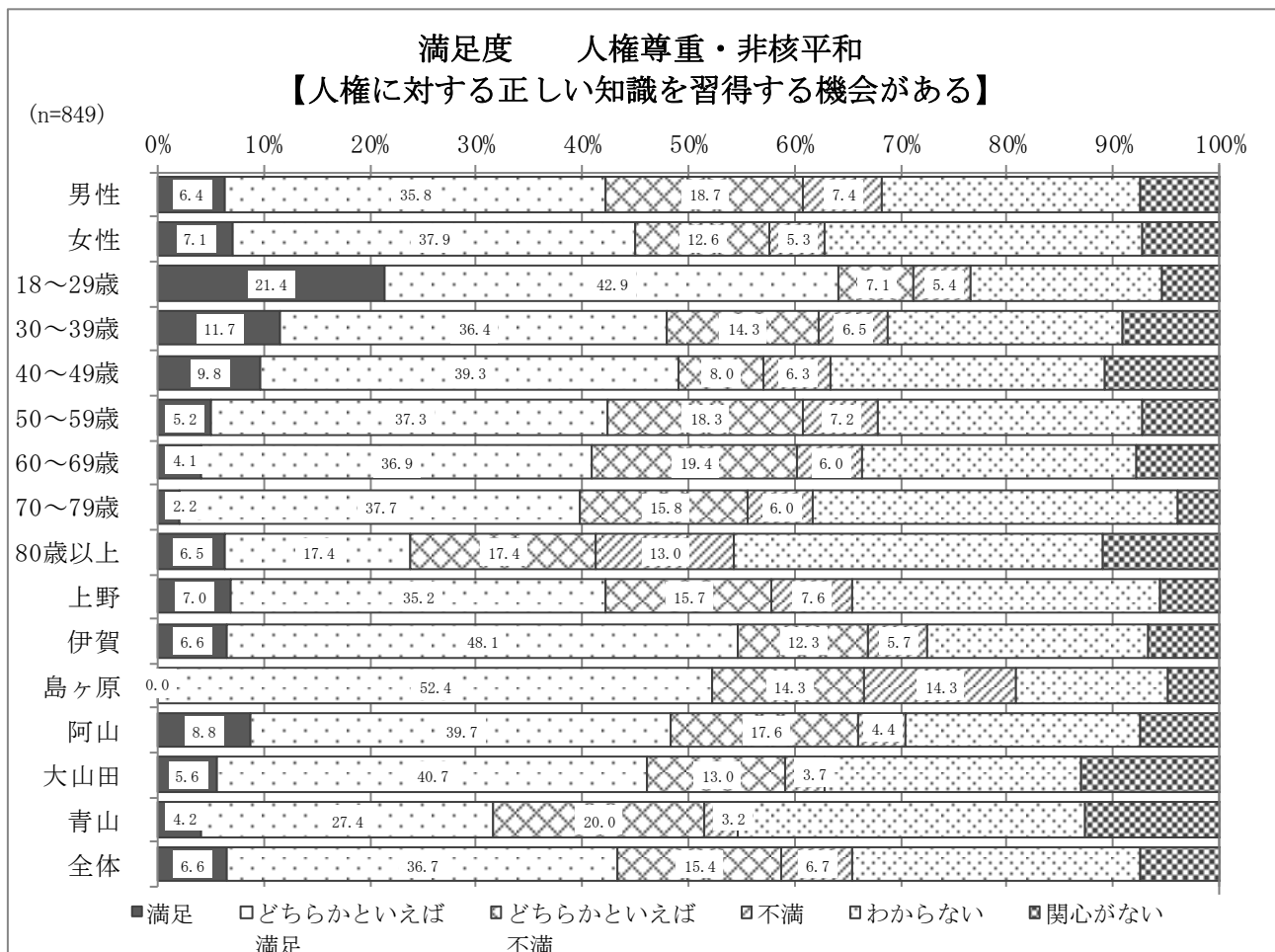
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『人権に対する正しい知識を習得する機会がある』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	62	6.7%	56	6.6%	-6	-0.1p
2. どちらかといえば満足	344	37.3%	312	36.7%	-32	-0.6p
3. どちらかといえば不満	295	32.0%	131	15.4%	-164	-16.6p
4. 不満	93	10.1%	57	6.7%	-36	-3.4p
5. わからない	20	2.2%	230	27.1%	210	24.9p
6. 関心がない	53	5.7%	63	7.4%	10	1.7p
7. 無回答	55	6.0%	(47)	—	(-8)	—
N値	922	100.0%	849	100.0%	-73	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『人権イベント等の人権啓発事業に参加し、人権問題について学び、行動している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	61	6.6%	61	7.2%	0	0.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	197	21.4%	193	22.7%	-4	1.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	284	30.8%	221	25.9%	-63	-4.9p
4. 当てはまらない	236	25.6%	257	30.2%	21	4.6p
5. 質問の意味が分からない	7	0.8%	21	2.5%	14	1.7p
6. 関心がない	70	7.6%	99	11.6%	29	4.0p
7. 無回答	67	7.3%	(44)	—	(-23)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策28 「同和問題」 部落差別をなくす

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	41.8	43.8	2.0	—	—
	(順位)	(23)	(14)	(9)	—	—
市民参画度	%	26.9	27.9	1.0	—	—
	(順位)	(35)	(38)	(-3)	—	—

今後の重要度	%	79.0	73.1	-5.9	—	—
	(順位)	(44)	(47)	(-3)	—	—

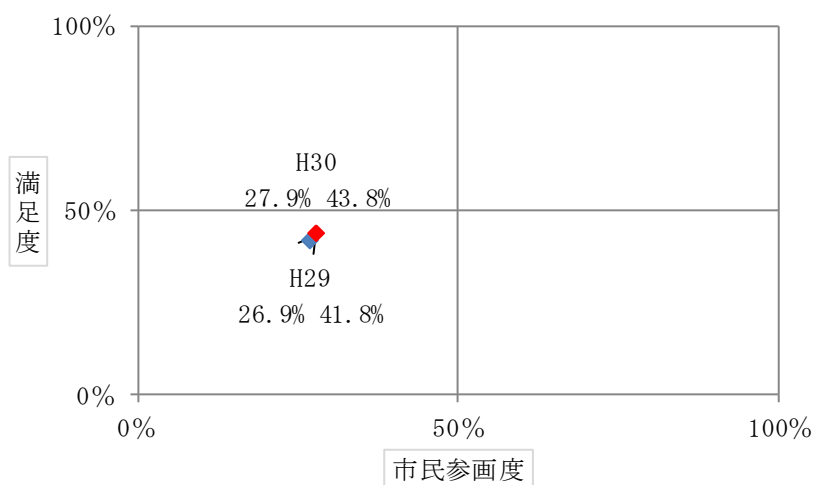
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

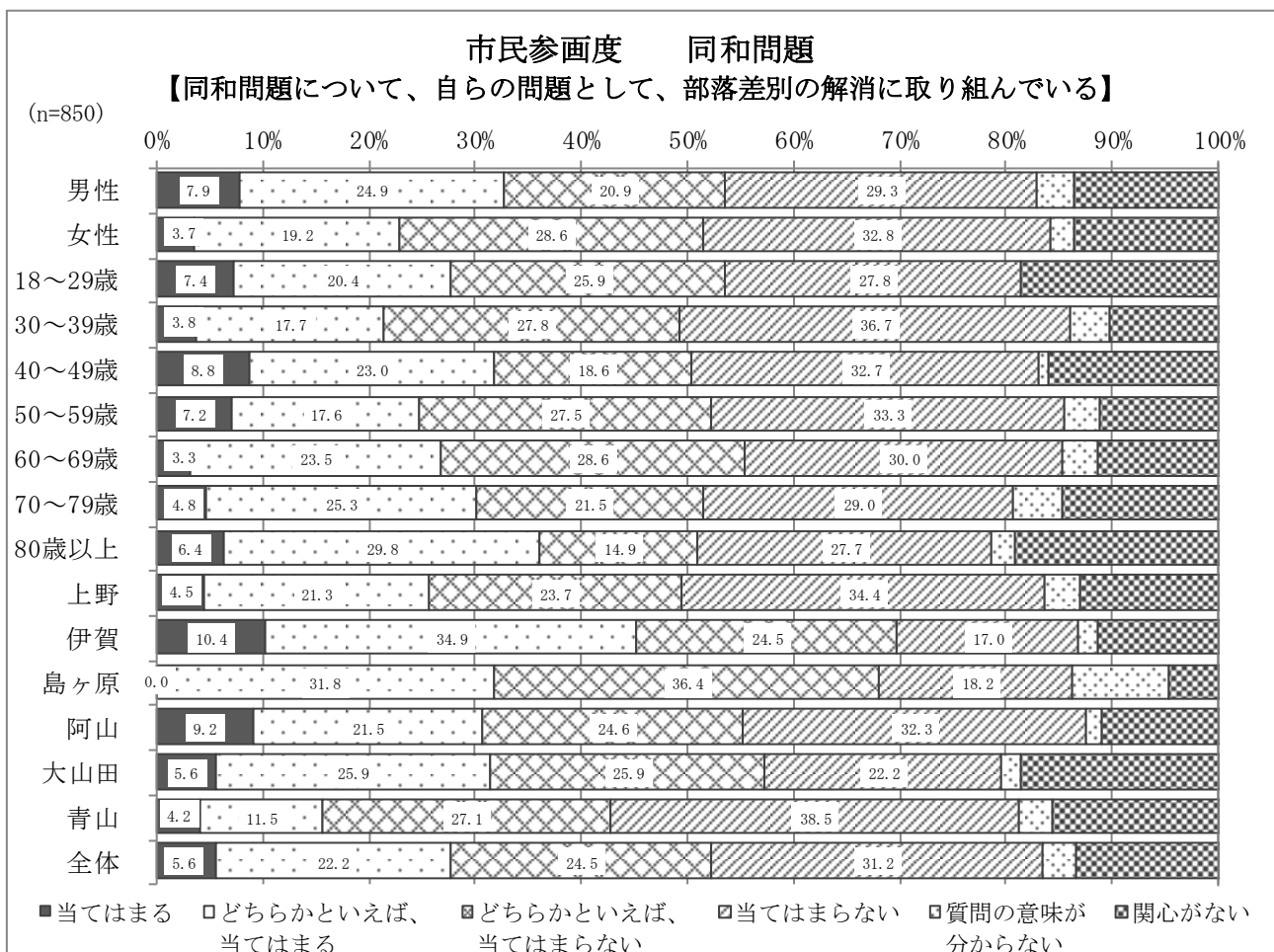
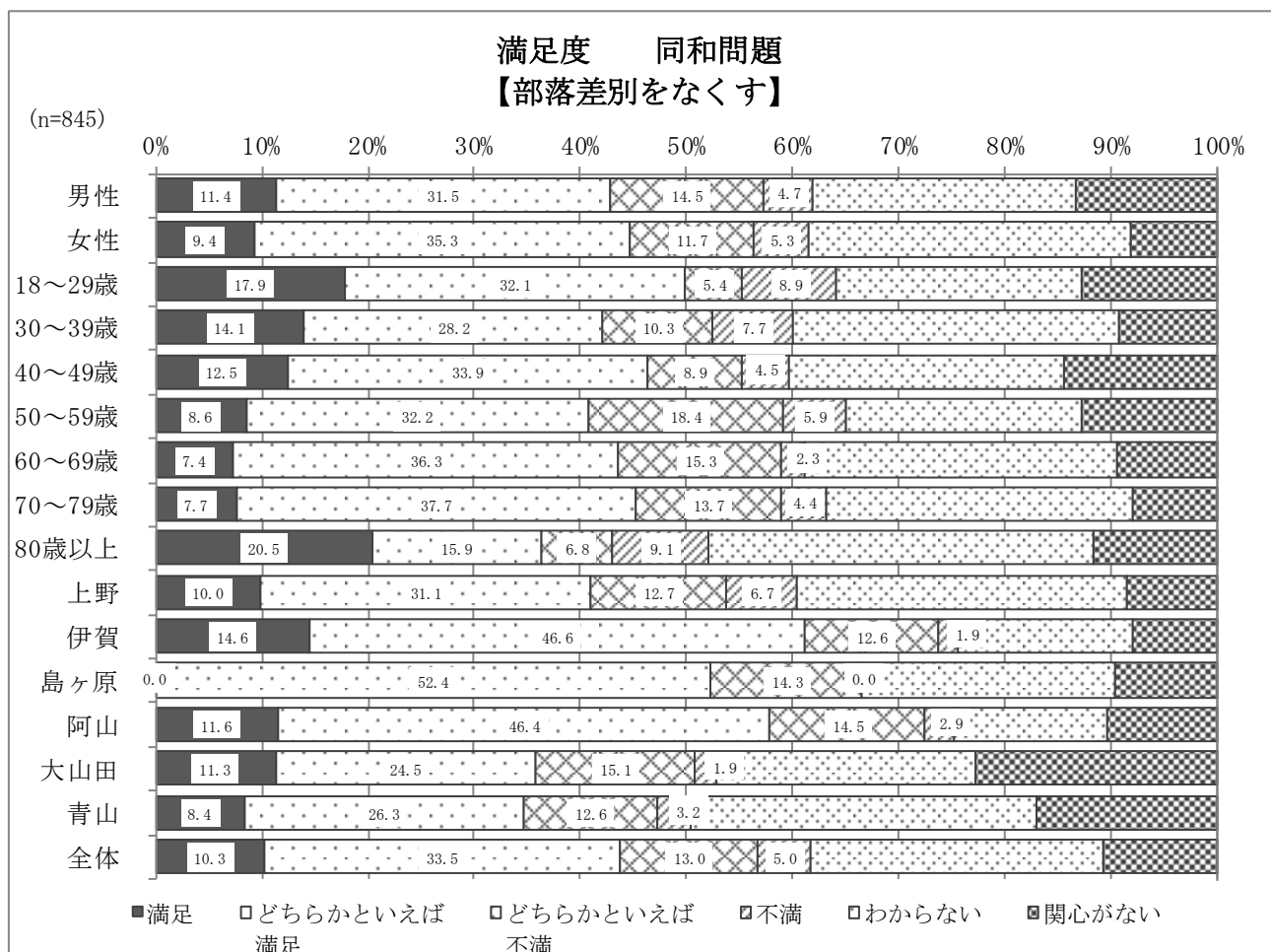
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『部落差別をなくす』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	94	10.2%	87	10.3%	-7	0.1p
2. どちらかといえば満足	291	31.6%	283	33.5%	-8	1.9p
3. どちらかといえば不満	255	27.7%	110	13.0%	-145	-14.7p
4. 不満	145	15.7%	42	5.0%	-103	-10.7p
5. わからない	16	1.7%	234	27.7%	218	26.0p
6. 関心がない	69	7.5%	89	10.5%	20	3.0p
7. 無回答	52	5.6%	(51)	—	(-1)	—
N値	922	100.0%	845	100.0%	-77	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『同和問題について、自らの問題として、部落差別の解消に取り組んでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	58	6.3%	48	5.6%	-10	-0.7p
2. どちらかといえば、当てはまる	190	20.6%	189	22.2%	-1	1.6p
3. どちらかといえば、当てはまらない	277	30.0%	208	24.5%	-69	-5.5p
4. 当てはまらない	245	26.6%	265	31.2%	20	4.6p
5. 質問の意味が分からない	8	0.9%	27	3.2%	19	2.3p
6. 関心がない	83	9.0%	113	13.3%	30	4.3p
7. 無回答	61	6.6%	(46)	—	(-15)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策29 「男女共同参画」 性別による分け隔てをなくす

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	42.4	42.2	-0.2	—	—
	(順位)	(22)	(18)	(4)	—	—
市民参画度	%	31.6	36.7	5.1	—	—
	(順位)	(28)	(26)	(2)	—	—

今後の重要度	%	83.4	82.3	-1.1	—	—
	(順位)	(33)	(42)	(-9)	—	—

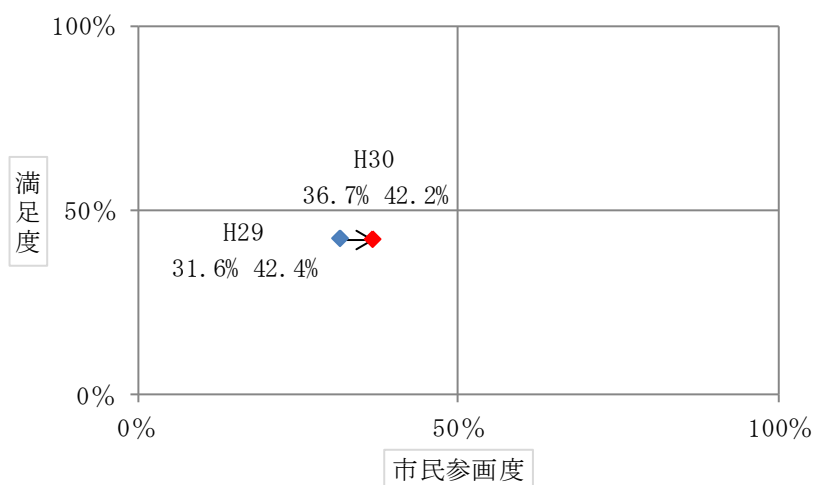
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

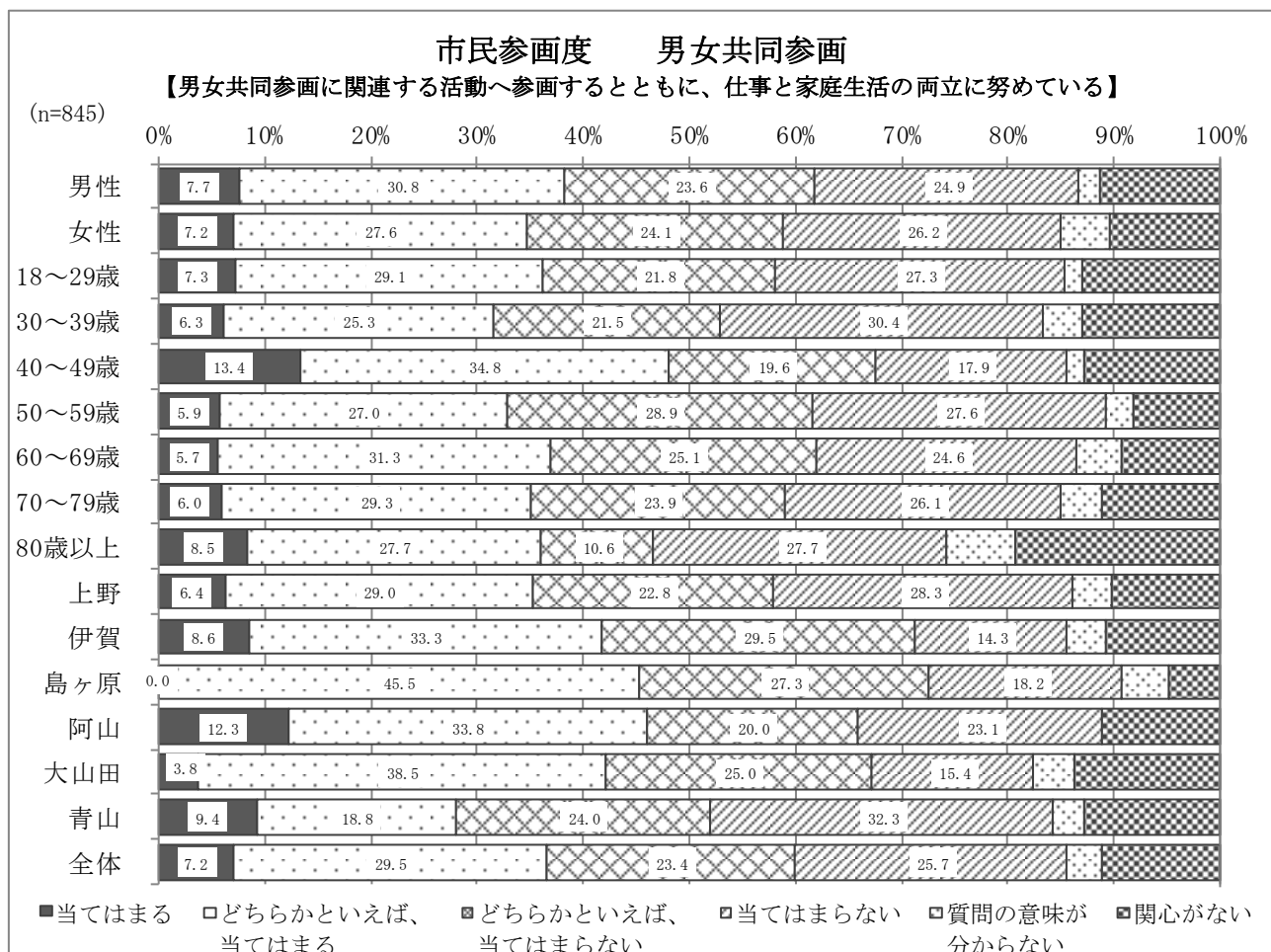
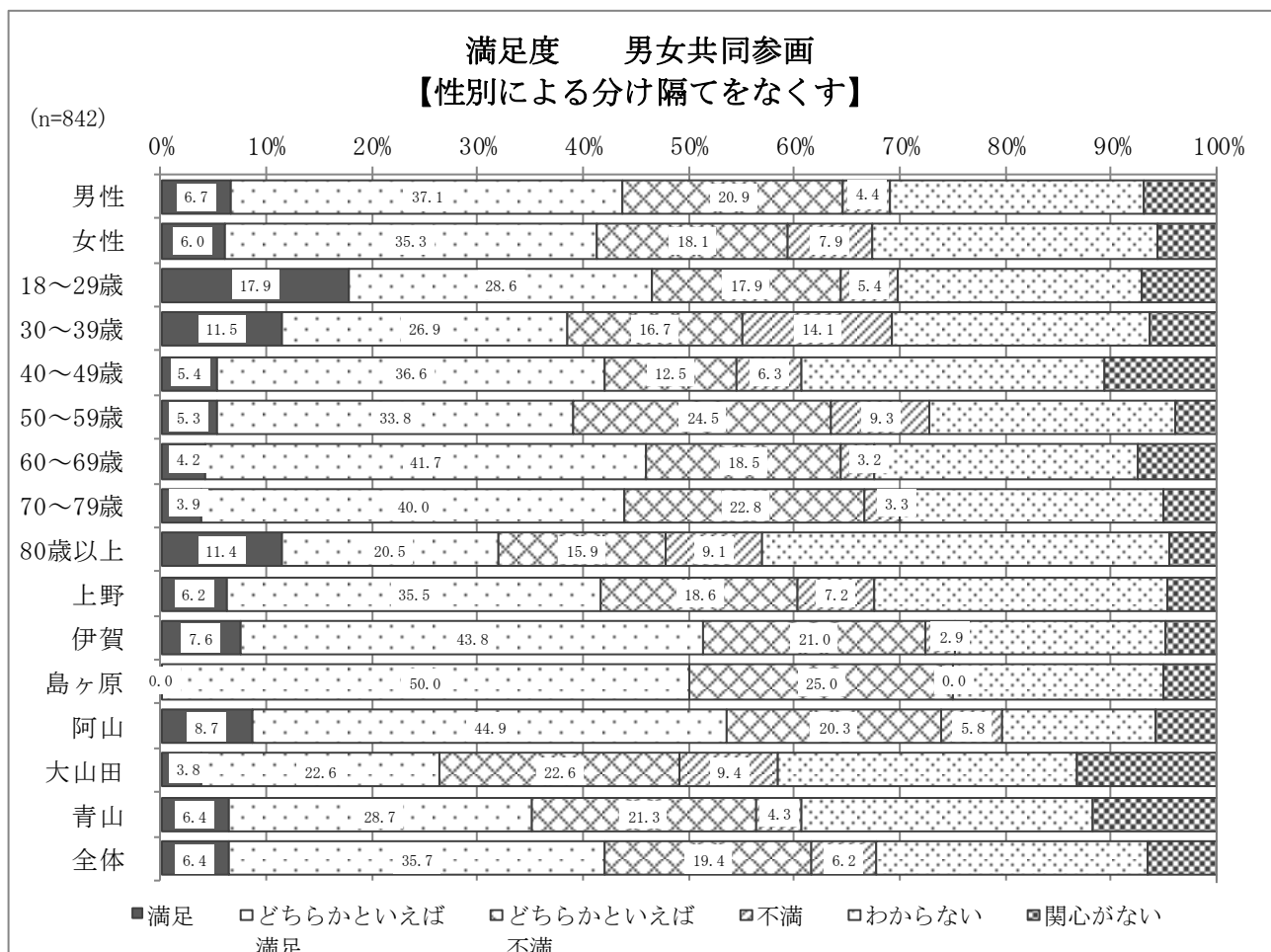
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『性別による分け隔てをなくす』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	72	7.8%	54	6.4%	-18	-1.4p
2. どちらかといえば満足	319	34.6%	301	35.7%	-18	1.1p
3. どちらかといえば不満	283	30.7%	163	19.4%	-120	-11.3p
4. 不満	123	13.3%	52	6.2%	-71	-7.1p
5. わからない	14	1.5%	217	25.8%	203	24.3p
6. 関心がない	59	6.4%	55	6.5%	-4	0.1p
7. 無回答	52	5.6%	(54)	—	(2)	—
N値	922	100.0%	842	100.0%	-80	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『男女共同参画に関連する活動へ参画するとともに、仕事と家庭生活の両立に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	65	7.0%	61	7.2%	-4	0.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	226	24.5%	249	29.5%	23	5.0p
3. どちらかといえば、当てはまらない	291	31.6%	198	23.4%	-93	-8.2p
4. 当てはまらない	206	22.3%	217	25.7%	11	3.4p
5. 質問の意味が分からない	10	1.1%	29	3.4%	19	2.3p
6. 関心がない	66	7.2%	91	10.8%	25	3.6p
7. 無回答	58	6.3%	(51)	—	(-7)	—
N値	922	100.0%	845	100.0%	-77	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策30 「学校教育」 子どもたちが、未来に夢や希望を持てる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	39.9	34.1	-5.8	—	—
	(順位)	(27)	(30)	(-3)	—	—
市民参画度	%	35.0	39.0	4.0	—	—
	(順位)	(24)	(23)	(1)	—	—

今後の重要度	%	93.7	98.0	4.3	—	—
	(順位)	(7)	(4)	(3)	—	—

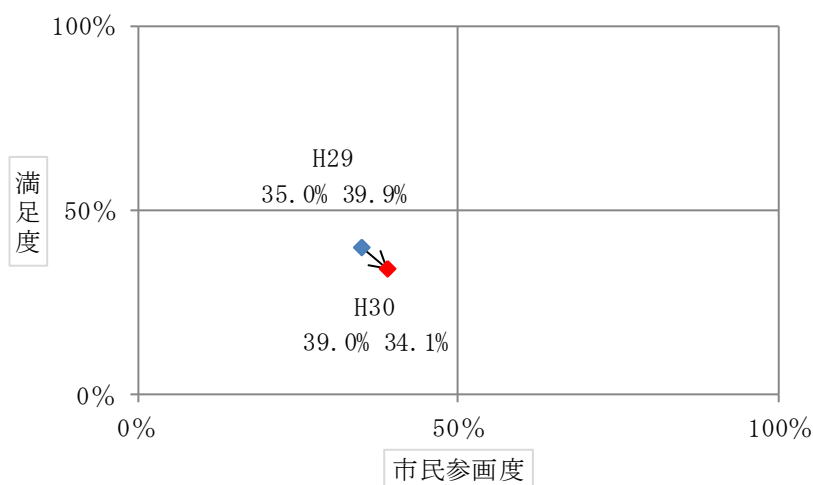
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

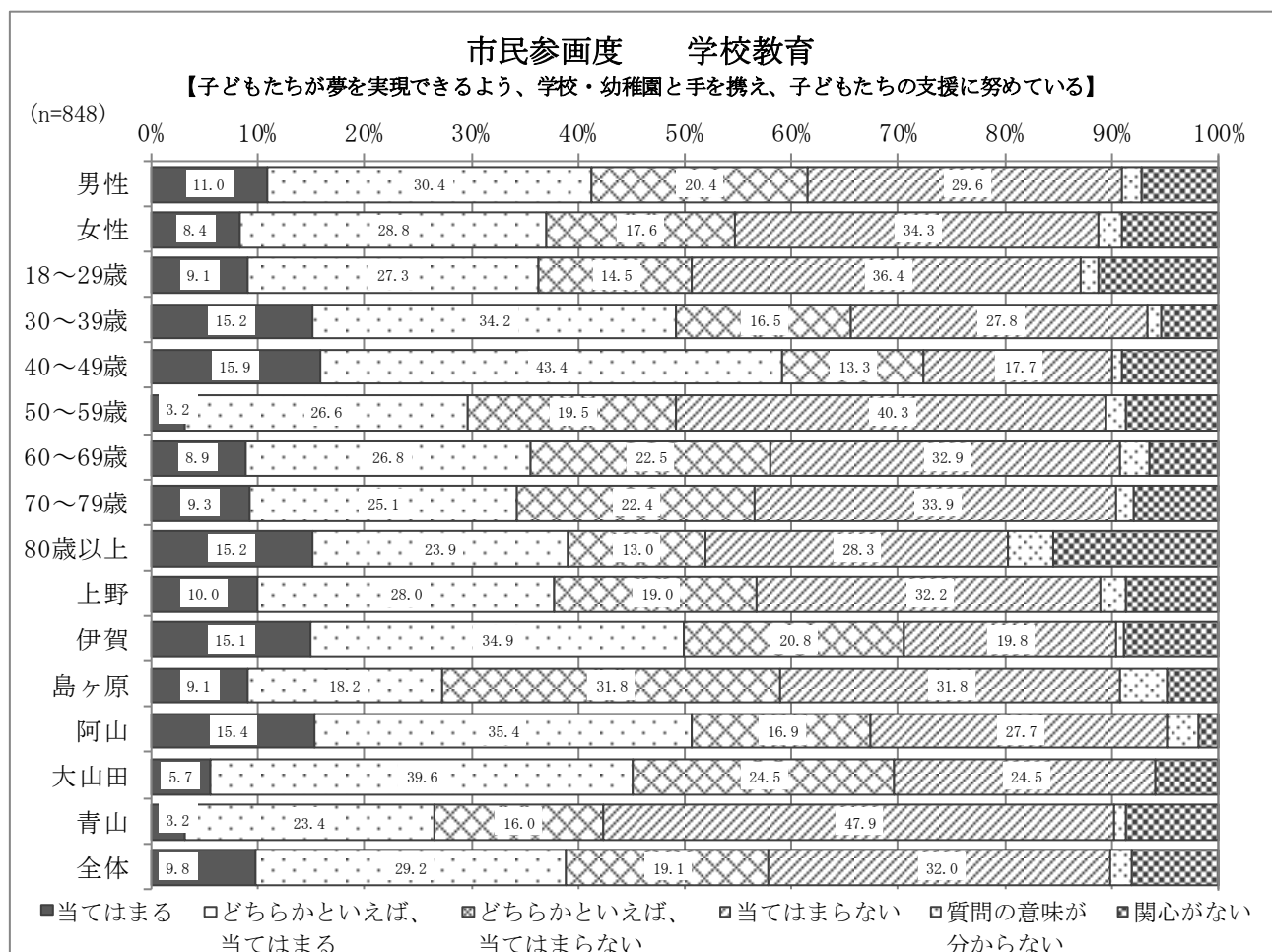
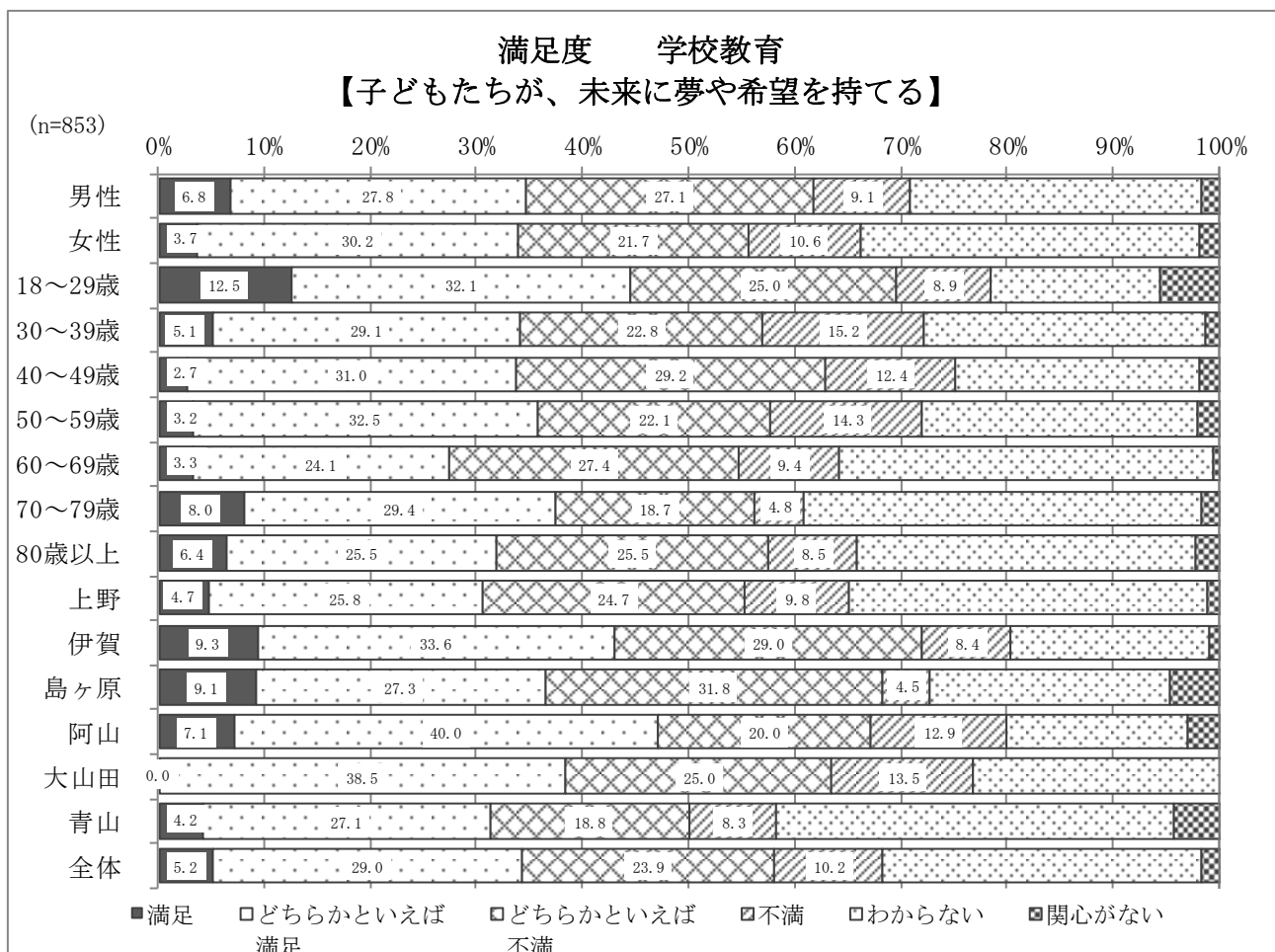
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもたちが、未来に夢や希望を持てる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	59	6.4%	44	5.2%	-15	-1.2p
2. どちらかといえば満足	309	33.5%	247	29.0%	-62	-4.5p
3. どちらかといえば不満	322	34.9%	204	23.9%	-118	-11.0p
4. 不満	110	11.9%	87	10.2%	-23	-1.7p
5. わからない	16	1.7%	257	30.1%	241	28.4p
6. 関心がない	40	4.3%	14	1.6%	-26	-2.7p
7. 無回答	66	7.2%	(43)	—	(-23)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもたちが夢を実現できるよう、学校・幼稚園と手を携え、子どもたちの支援に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	75	8.1%	83	9.8%	8	1.7p
2. どちらかといえば、当てはまる	248	26.9%	248	29.2%	0	2.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	257	27.9%	162	19.1%	-95	-8.8p
4. 当てはまらない	213	23.1%	271	32.0%	58	8.9p
5. 質問の意味が分からない	9	1.0%	17	2.0%	8	1.0p
6. 関心がない	54	5.9%	67	7.9%	13	2.0p
7. 無回答	66	7.2%	(48)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策31 「教育環境」 子どもたちが、安心して学べる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	56.8	46.7	-10.1	—	—
	(順位)	(7)	(11)	(-4)	—	—
市民参画度	%	20.3	21.3	1.0	—	—
	(順位)	(42)	(42)	(0)	—	—

今後の重要度	%	94.6	98.0	3.4	—	—
	(順位)	(4)	(5)	(-1)	—	—

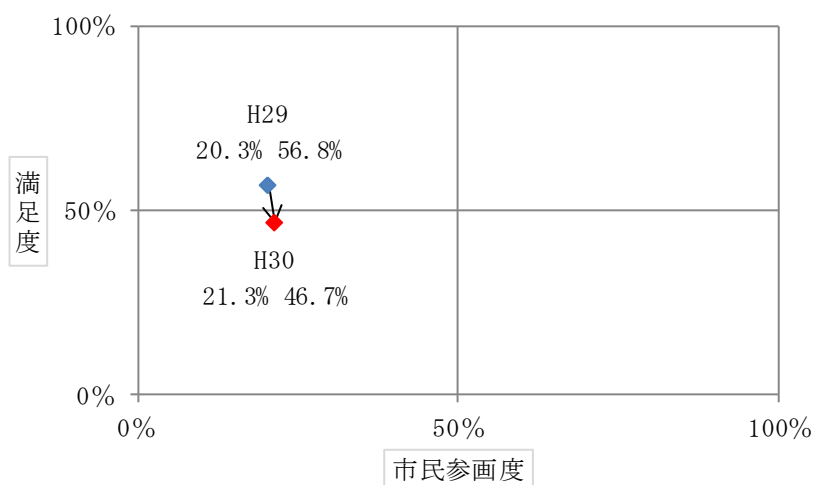
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

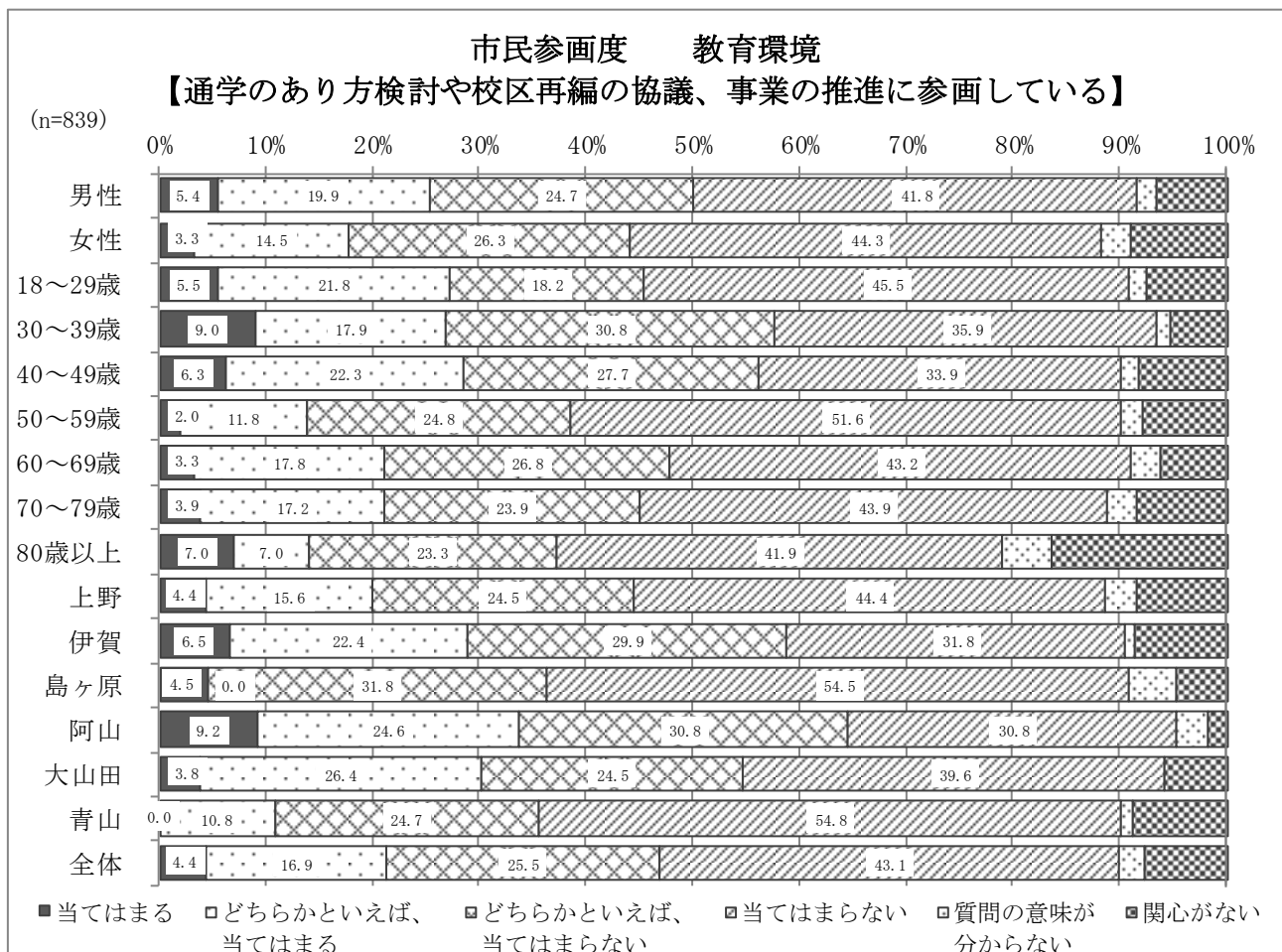
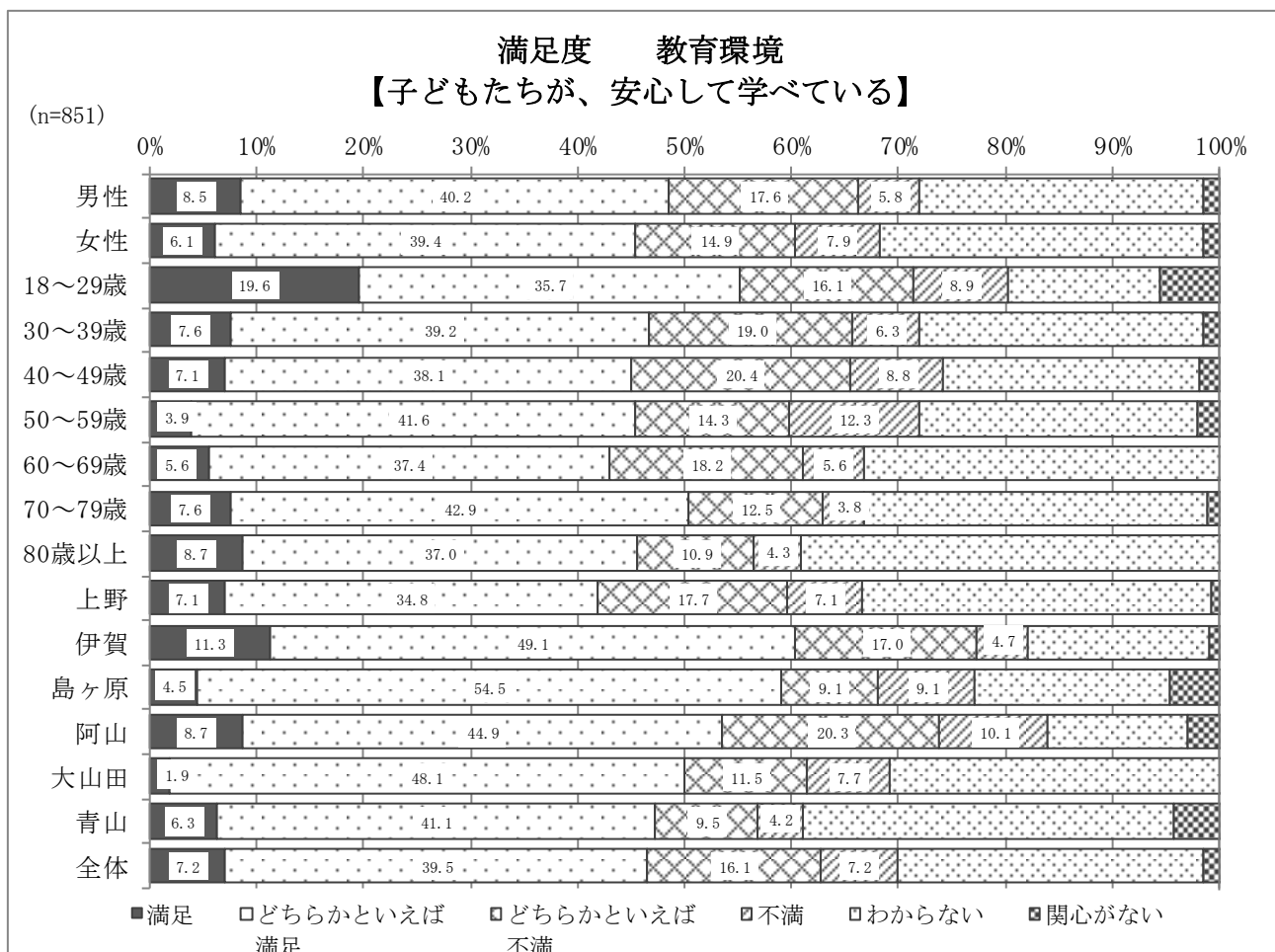
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもたちが、安心して学べている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	100	10.8%	61	7.2%	-39	-3.6p
2. どちらかといえば満足	424	46.0%	336	39.5%	-88	-6.5p
3. どちらかといえば不満	210	22.8%	137	16.1%	-73	-6.7p
4. 不満	75	8.1%	61	7.2%	-14	-0.9p
5. わからない	11	1.2%	245	28.8%	234	27.6p
6. 関心がない	44	4.8%	11	1.3%	-33	-3.5p
7. 無回答	58	6.3%	(45)	—	(-13)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『通学のあり方検討や校区再編の協議、事業の推進に参画している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	33	3.6%	37	4.4%	4	0.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	154	16.7%	142	16.9%	-12	0.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	308	33.4%	214	25.5%	-94	-7.9p
4. 当てはまらない	294	31.9%	362	43.1%	68	11.2p
5. 質問の意味が分からない	8	0.9%	20	2.4%	12	1.5p
6. 関心がない	57	6.2%	64	7.6%	7	1.4p
7. 無回答	68	7.4%	(57)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	839	100.0%	-83	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策32 「生涯学習」 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	36.9	34.4	-2.5	—	—
	(順位)	(29)	(28)	(1)	—	—
市民参画度	%	25.4	26.8	1.4	—	—
	(順位)	(36)	(39)	(-3)	—	—

今後の重要度	%	86.1	91.9	5.8	—	—
	(順位)	(27)	(21)	(6)	—	—

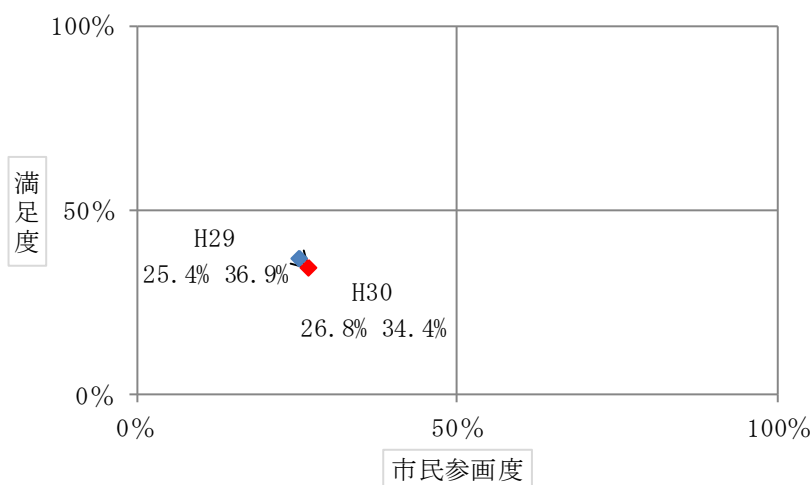
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

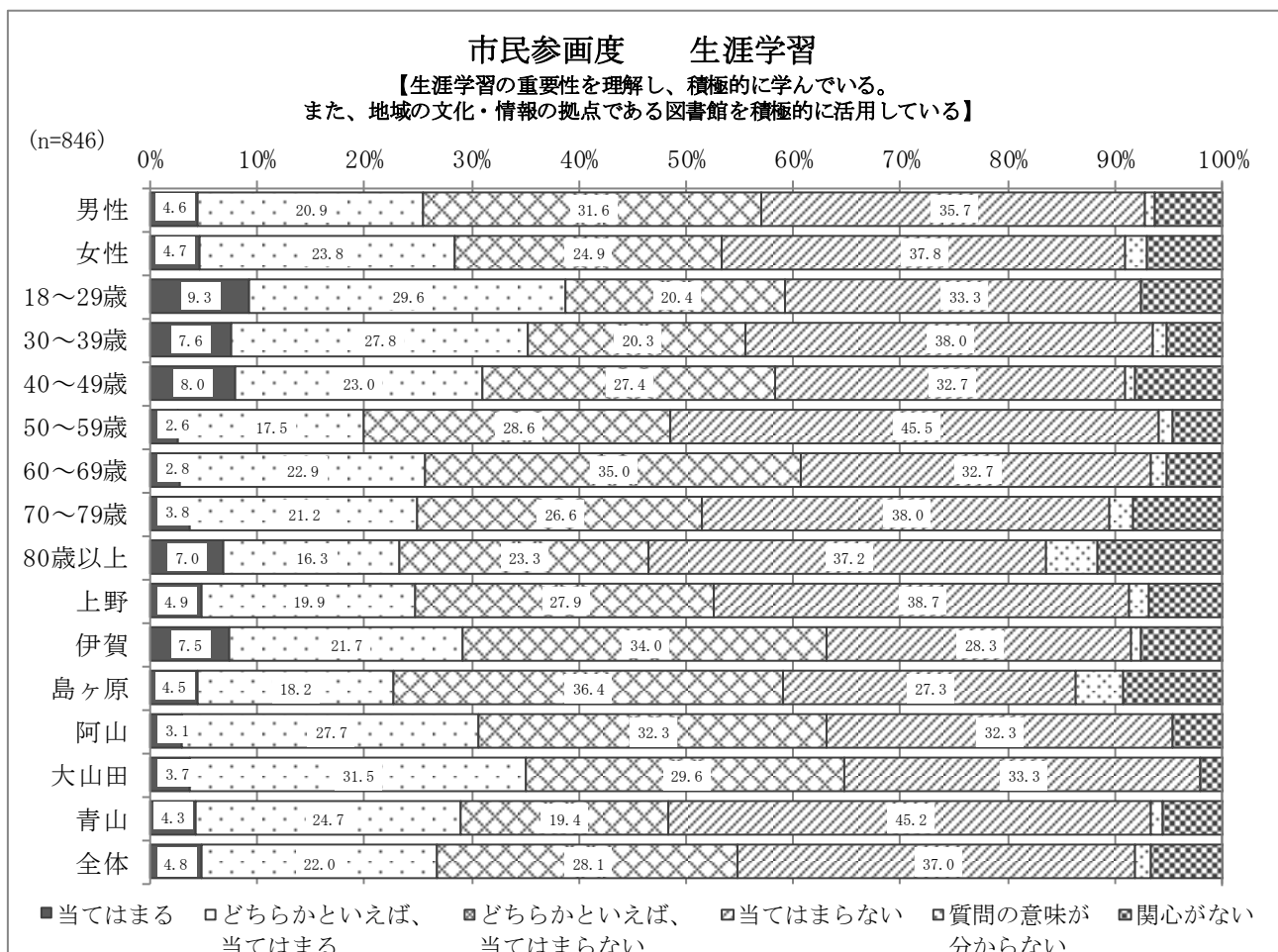
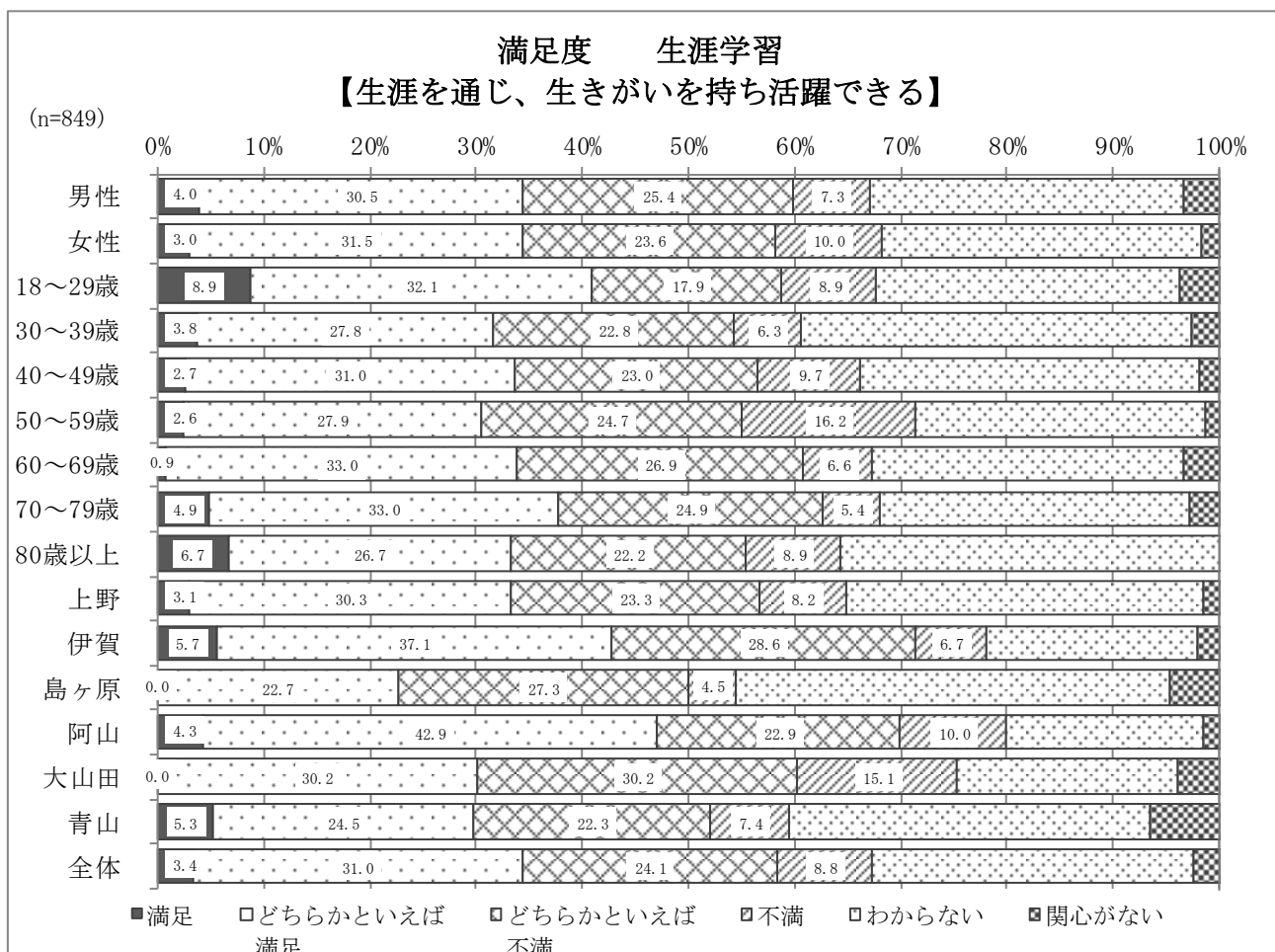
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	46	5.0%	29	3.4%	-17	-1.6p
2. どちらかといえば満足	294	31.9%	263	31.0%	-31	-0.9p
3. どちらかといえば不満	355	38.5%	205	24.1%	-150	-14.4p
4. 不満	110	11.9%	75	8.8%	-35	-3.1p
5. わからない	12	1.3%	257	30.3%	245	29.0p
6. 関心がない	47	5.1%	20	2.4%	-27	-2.7p
7. 無回答	58	6.3%	(47)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	849	100.0%	-73	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『生涯学習の重要性を理解し、積極的に学んでいる。また、地域の文化・情報の拠点である図書館を積極的に活用している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	54	5.9%	41	4.8%	-13	-1.1p
2. どちらかといえば、当てはまる	180	19.5%	186	22.0%	6	2.5p
3. どちらかといえば、当てはまらない	324	35.1%	238	28.1%	-86	-7.0p
4. 当てはまらない	248	26.9%	313	37.0%	65	10.1p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	13	1.5%	9	1.1p
6. 関心がない	53	5.7%	55	6.5%	2	0.8p
7. 無回答	59	6.4%	(50)	—	(-9)	—
N値	922	100.0%	846	100.0%	-76	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【教育・人権】

施策33 「青少年育成」 子どもや若者が、健やかに成長する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	53.7	40.8	-12.9	—	—
	(順位)	(10)	(19)	(-9)	—	—
市民参画度	%	30.3	33.9	3.6	—	—
	(順位)	(32)	(28)	(4)	—	—

今後の重要度	%	92.4	95.4	3.0	—	—
	(順位)	(14)	(12)	(2)	—	—

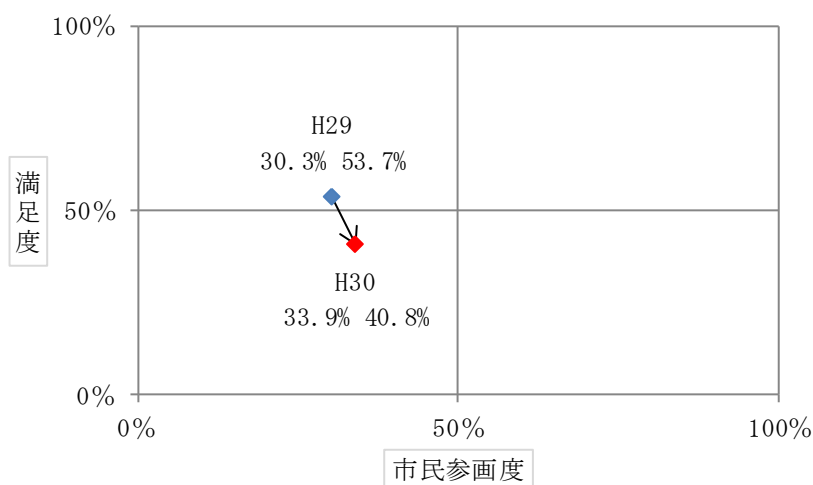
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

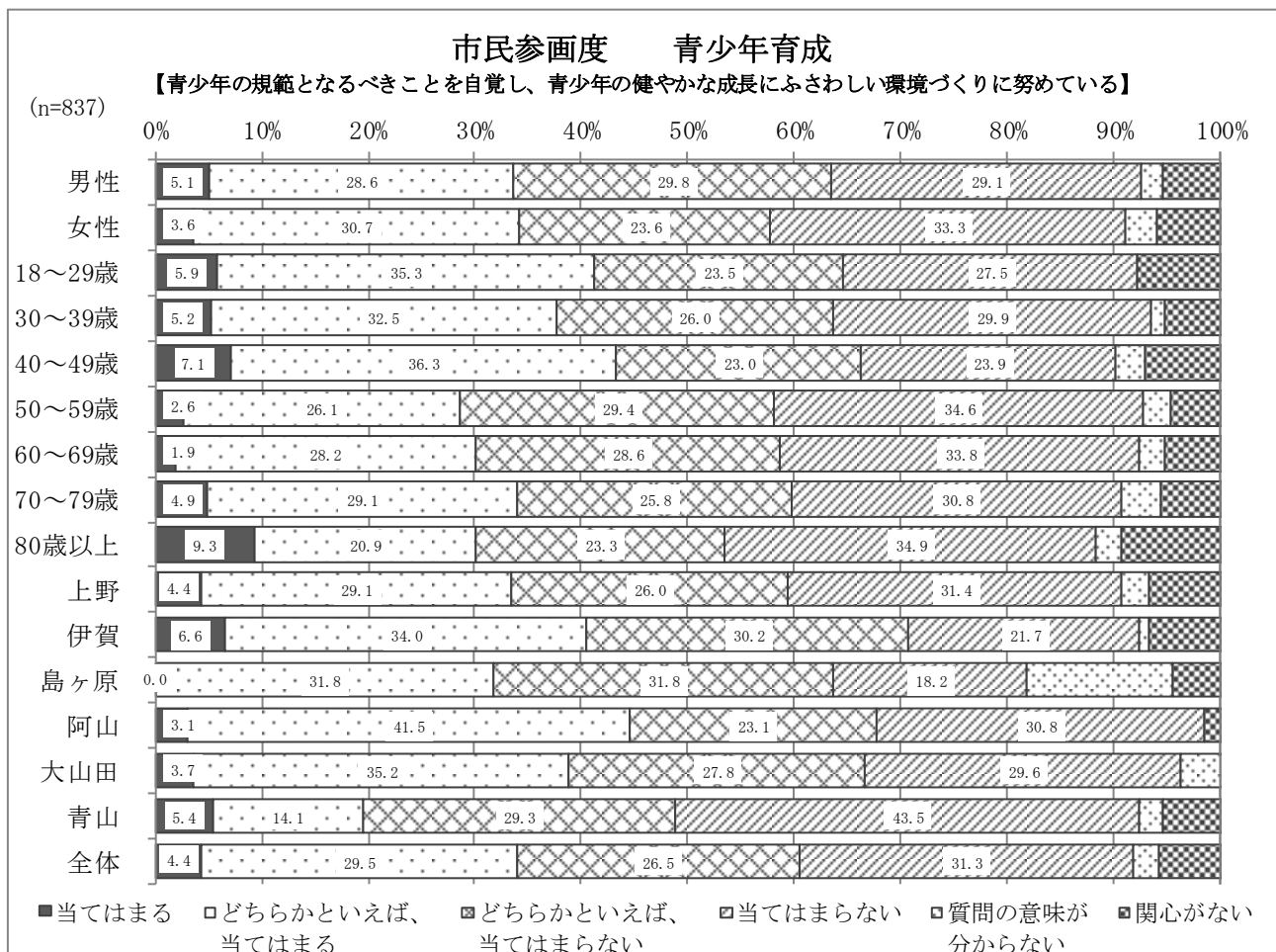
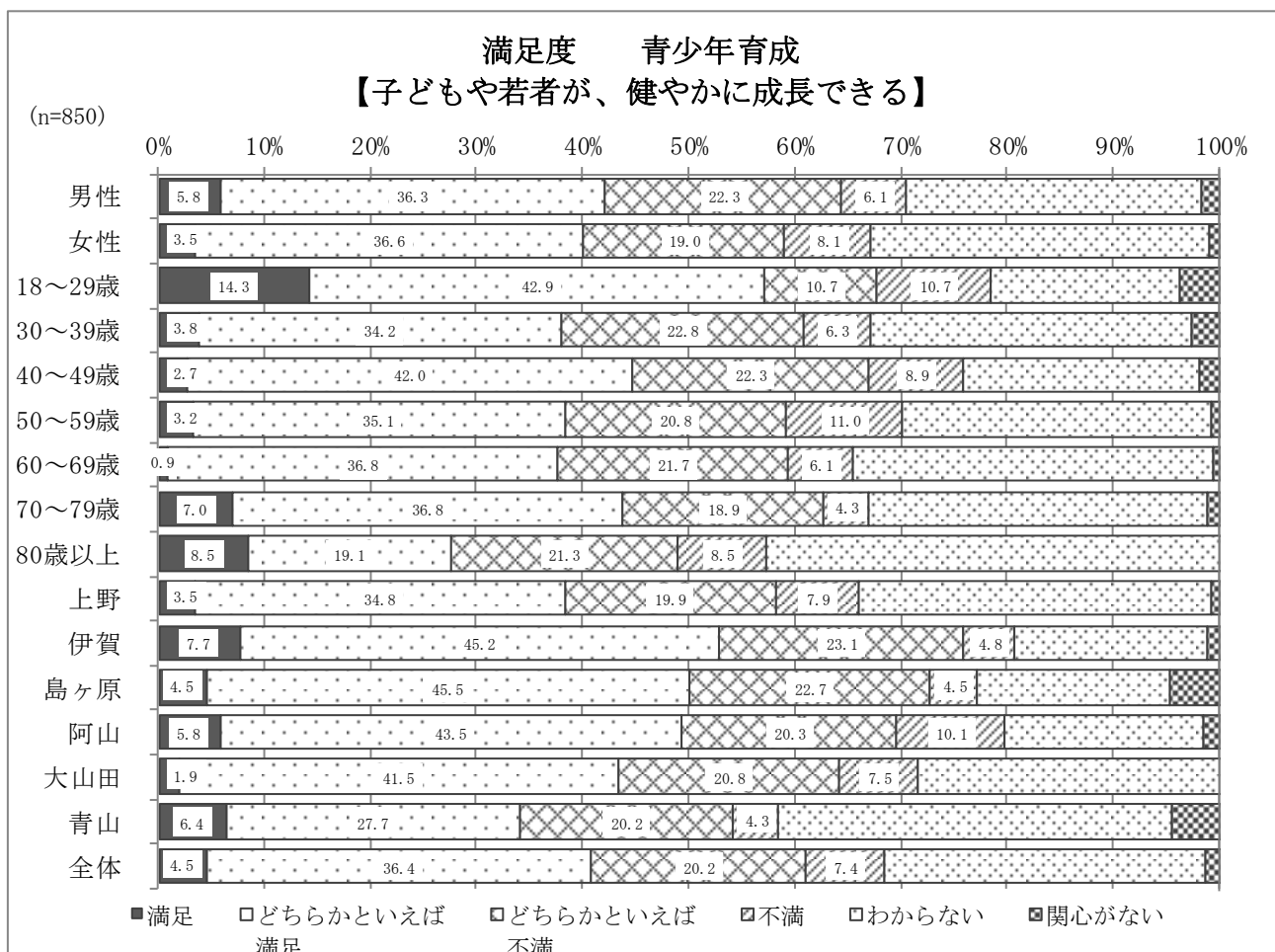
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『子どもや若者が、健やかに成長できる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	72	7.8%	38	4.5%	-34	-3.3p
2. どちらかといえば満足	423	45.9%	309	36.4%	-114	-9.5p
3. どちらかといえば不満	255	27.7%	172	20.2%	-83	-7.5p
4. 不満	80	8.7%	63	7.4%	-17	-1.3p
5. わからない	7	0.8%	258	30.4%	251	29.6p
6. 関心がない	29	3.1%	10	1.2%	-19	-1.9p
7. 無回答	56	6.1%	(46)	—	(-10)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『青少年の規範となるべきことを自覚し、青少年の健やかな成長にふさわしい環境づくりに努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	46	5.0%	37	4.4%	-9	-0.6p
2. どちらかといえば、当てはまる	233	25.3%	247	29.5%	14	4.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	313	33.9%	222	26.5%	-91	-7.4p
4. 当てはまらない	205	22.2%	262	31.3%	57	9.1p
5. 質問の意味が分からない	9	1.0%	21	2.5%	12	1.5p
6. 関心がない	51	5.5%	48	5.7%	-3	0.2p
7. 無回答	65	7.0%	(59)	—	(-6)	—
N値	922	100.0%	837	100.0%	-85	0.0p

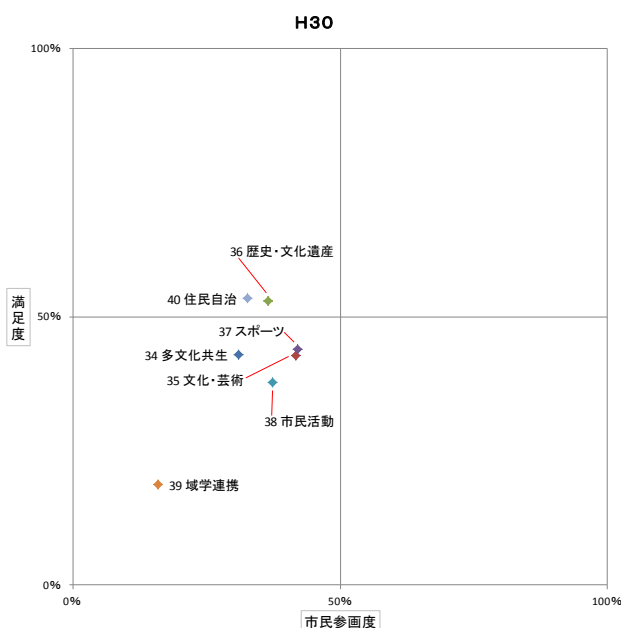


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



6. 文化・地域づくりの分野

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(34)多文化共生 国籍や文化の違いを認め、共生する	53.3%	11	79.3%	42	22.3%	41	43.0%	16	82.6%	41	31.0%	32
(35)文化・芸術 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ	42.6%	20	78.2%	45	25.4%	36	42.8%	17	78.8%	44	41.7%	22
(36)歴史・文化遺産 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	59.7%	4	84.5%	31	31.5%	29	53.0%	4	85.1%	34	36.5%	27
(37)スポーツ 気軽にスポーツを楽しむことができる	49.1%	14	80.8%	39	34.7%	26	43.9%	13	83.2%	40	42.0%	21
(38)市民活動 市民活動やボランティア活動が、活発に行われる	42.7%	19	82.9%	34	36.2%	22	37.9%	23	83.4%	38	37.3%	25
(39)域学連携 産学官連携により、地域課題を解決する	21.9%	37	75.6%	46	12.5%	45	18.7%	40	78.7%	45	15.9%	45
(40)住民自治 住民自治活動が、活発に行われる	51.8%	12	80.7%	40	30.5%	31	53.4%	3	83.6%	37	32.7%	30



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【文化・地域づくり】

施策34 「多文化共生」 国籍や文化の違いを認め、共生する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	53.3	43.0	-10.3	—	—
	(順位)	(11)	(16)	(-5)	—	—
市民参画度	%	22.3	31.0	8.7	—	—
	(順位)	(41)	(32)	(9)	—	—

今後の重要度	%	79.3	82.6	3.3	—	—
	(順位)	(42)	(41)	(1)	—	—

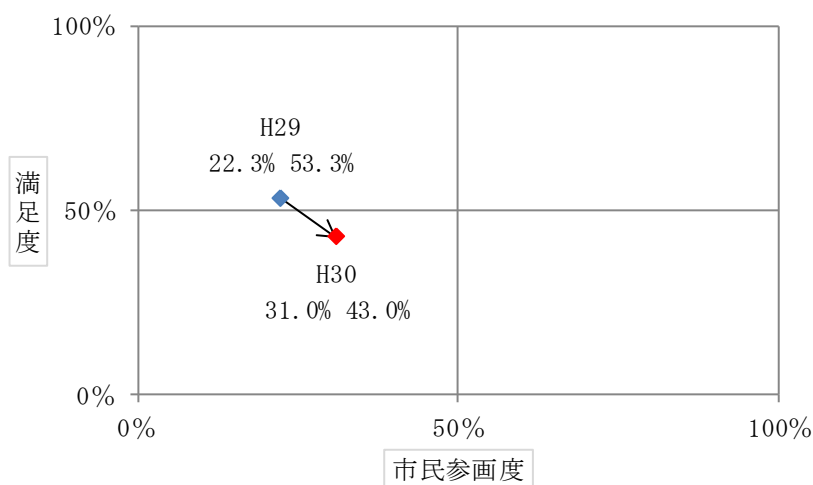
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

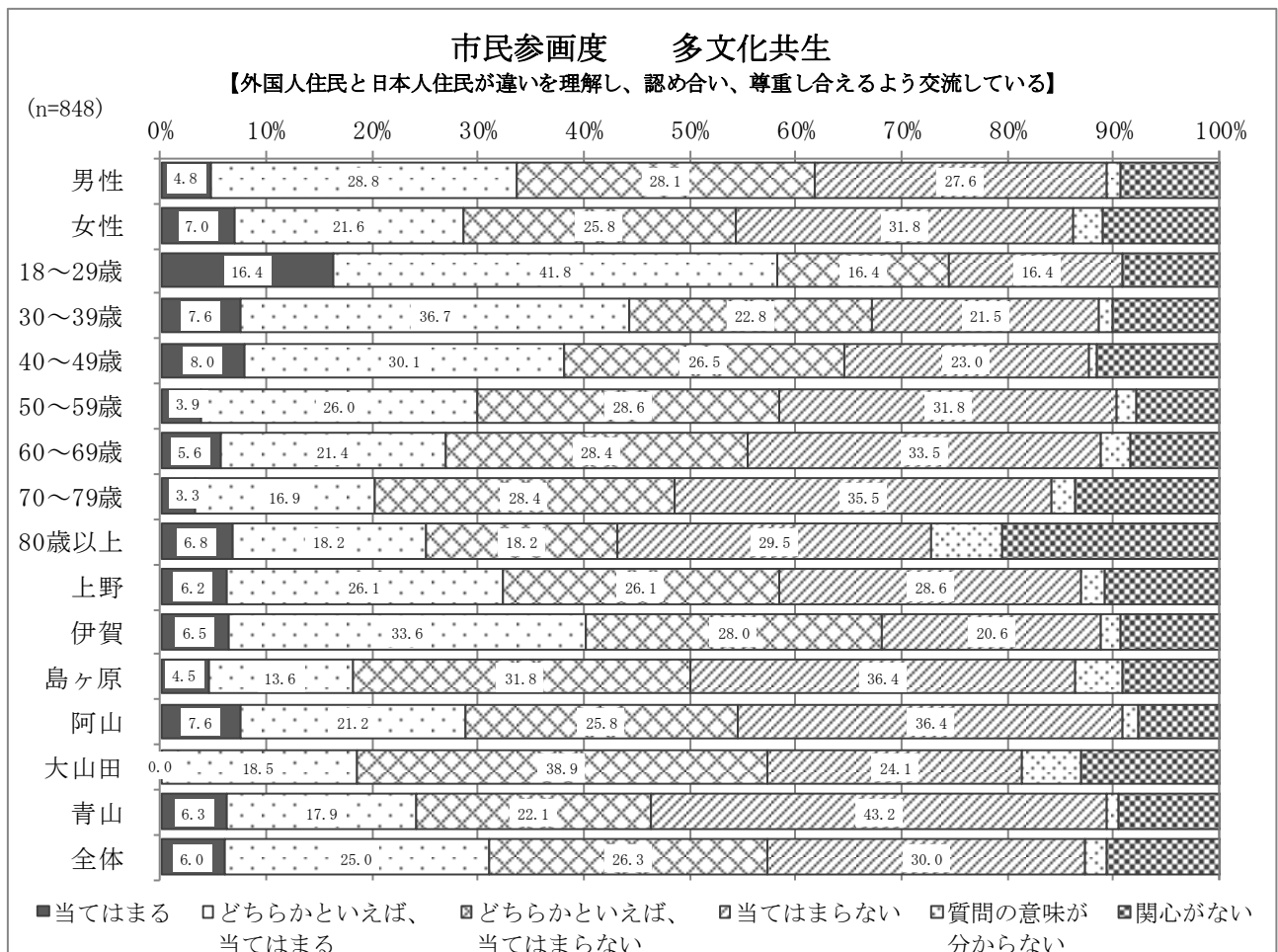
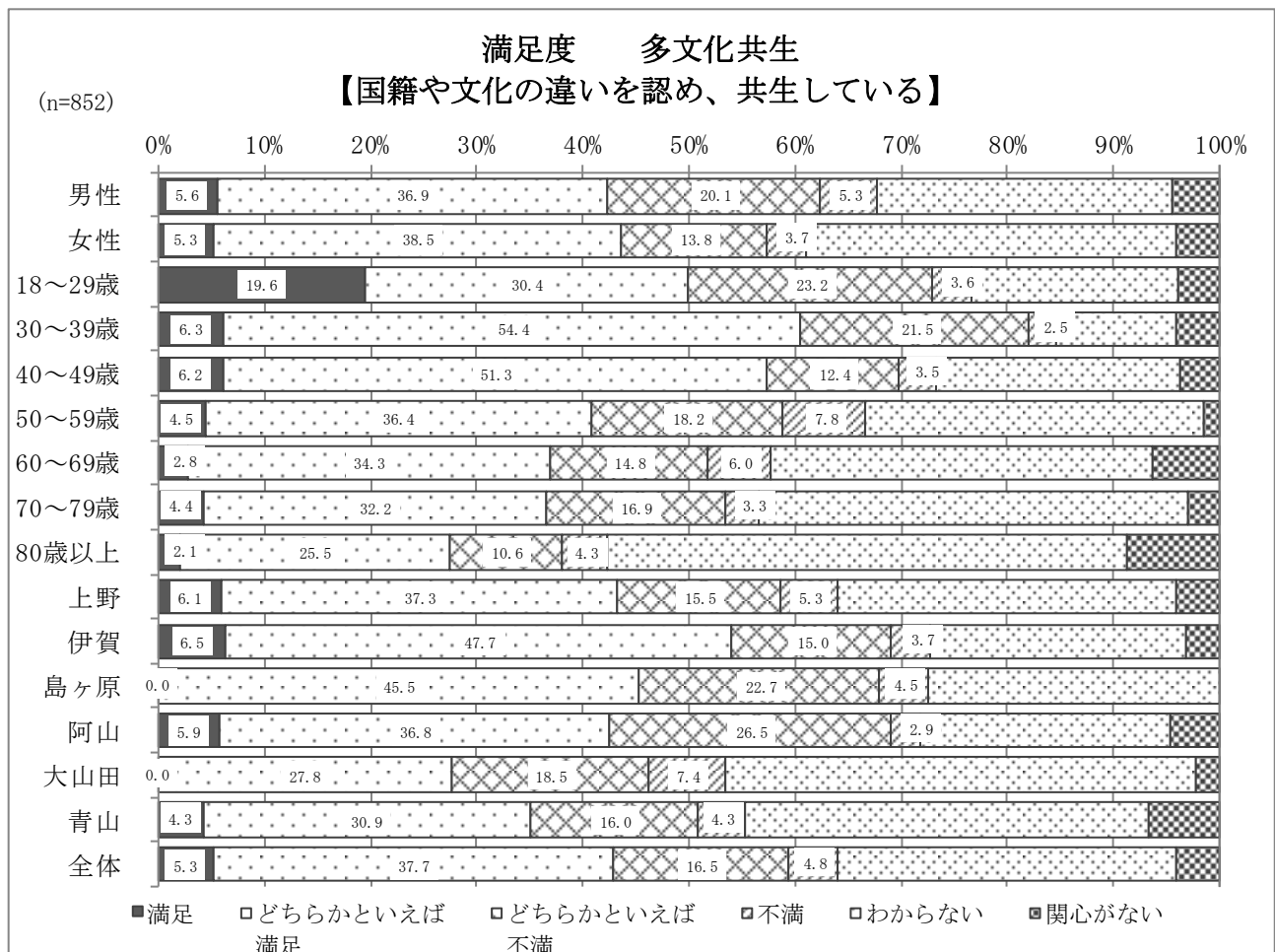
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『国籍や文化の違いを認め、共生している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	86	9.3%	45	5.3%	-41	-4.0p
2. どちらかといえば満足	405	43.9%	321	37.7%	-84	-6.2p
3. どちらかといえば不満	241	26.1%	141	16.5%	-100	-9.6p
4. 不満	60	6.5%	41	4.8%	-19	-1.7p
5. わからない	13	1.4%	271	31.8%	258	30.4p
6. 関心がない	60	6.5%	33	3.9%	-27	-2.6p
7. 無回答	57	6.2%	(44)	—	(-13)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『外国人住民と日本人住民が違いを理解し、認め合い、尊重し合えるよう交流している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	39	4.2%	51	6.0%	12	1.8p
2. どちらかといえば、当てはまる	167	18.1%	212	25.0%	45	6.9p
3. どちらかといえば、当てはまらない	323	35.0%	223	26.3%	-100	-8.7p
4. 当てはまらない	255	27.7%	254	30.0%	-1	2.3p
5. 質問の意味が分からない	8	0.9%	18	2.1%	10	1.2p
6. 関心がない	65	7.0%	90	10.6%	25	3.6p
7. 無回答	65	7.0%	(48)	—	(-17)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策35 「文化・芸術」 豊かな感性を育む文化・芸術に親しむ

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	42.6	42.8	0.2	—	—
	(順位)	(20)	(17)	(3)	—	—
市民参画度	%	25.4	41.7	16.3	—	—
	(順位)	(36)	(22)	(14)	—	—

今後の重要度	%	78.2	78.8	0.6	—	—
	(順位)	(45)	(44)	(1)	—	—

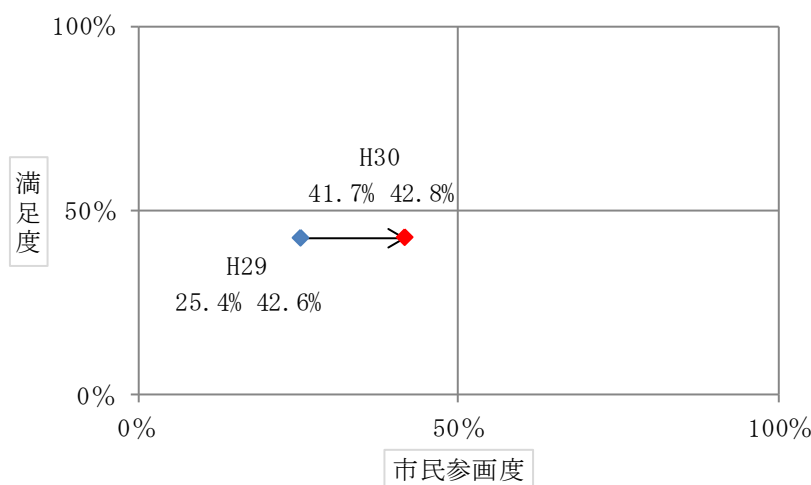
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

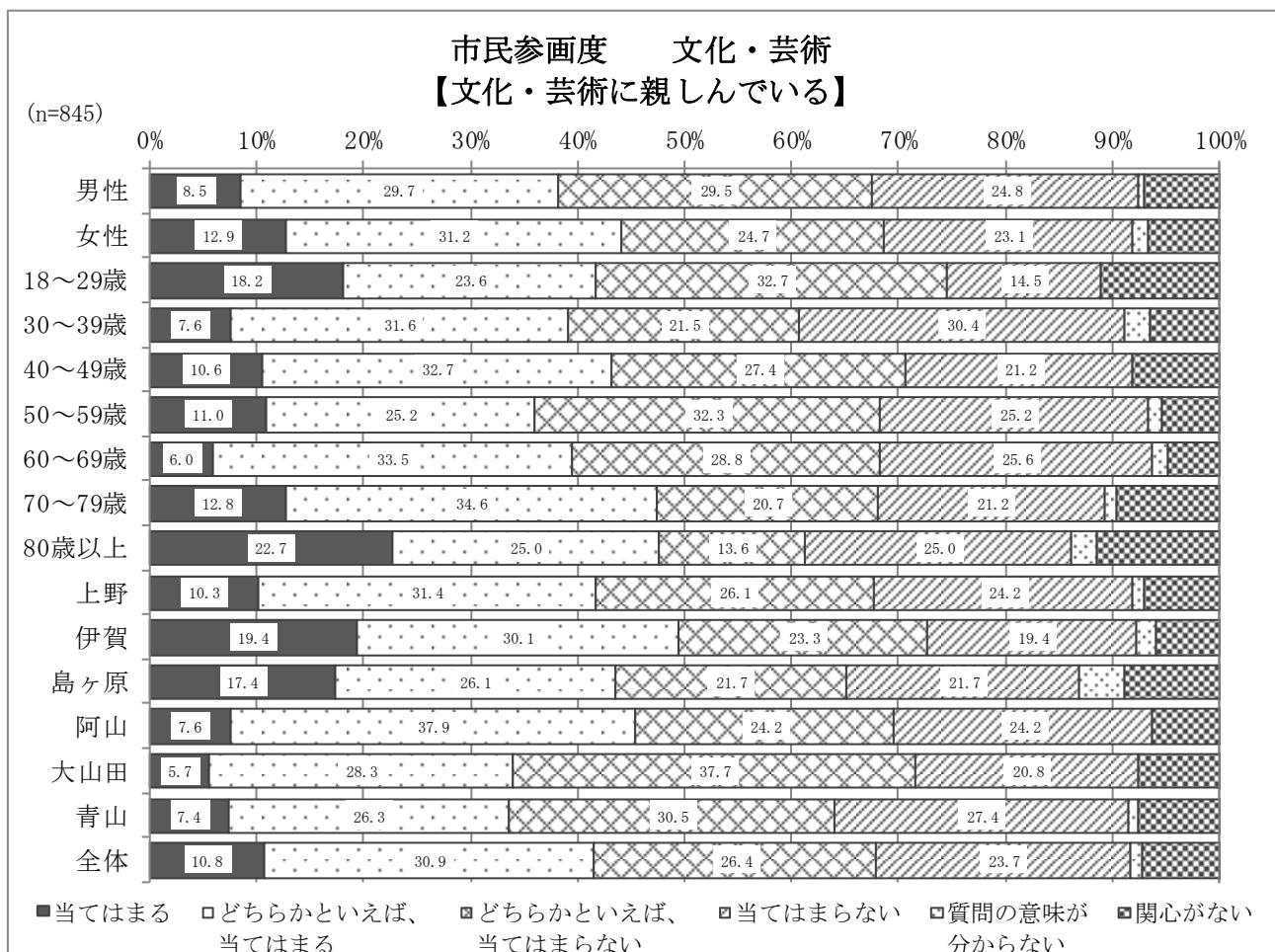
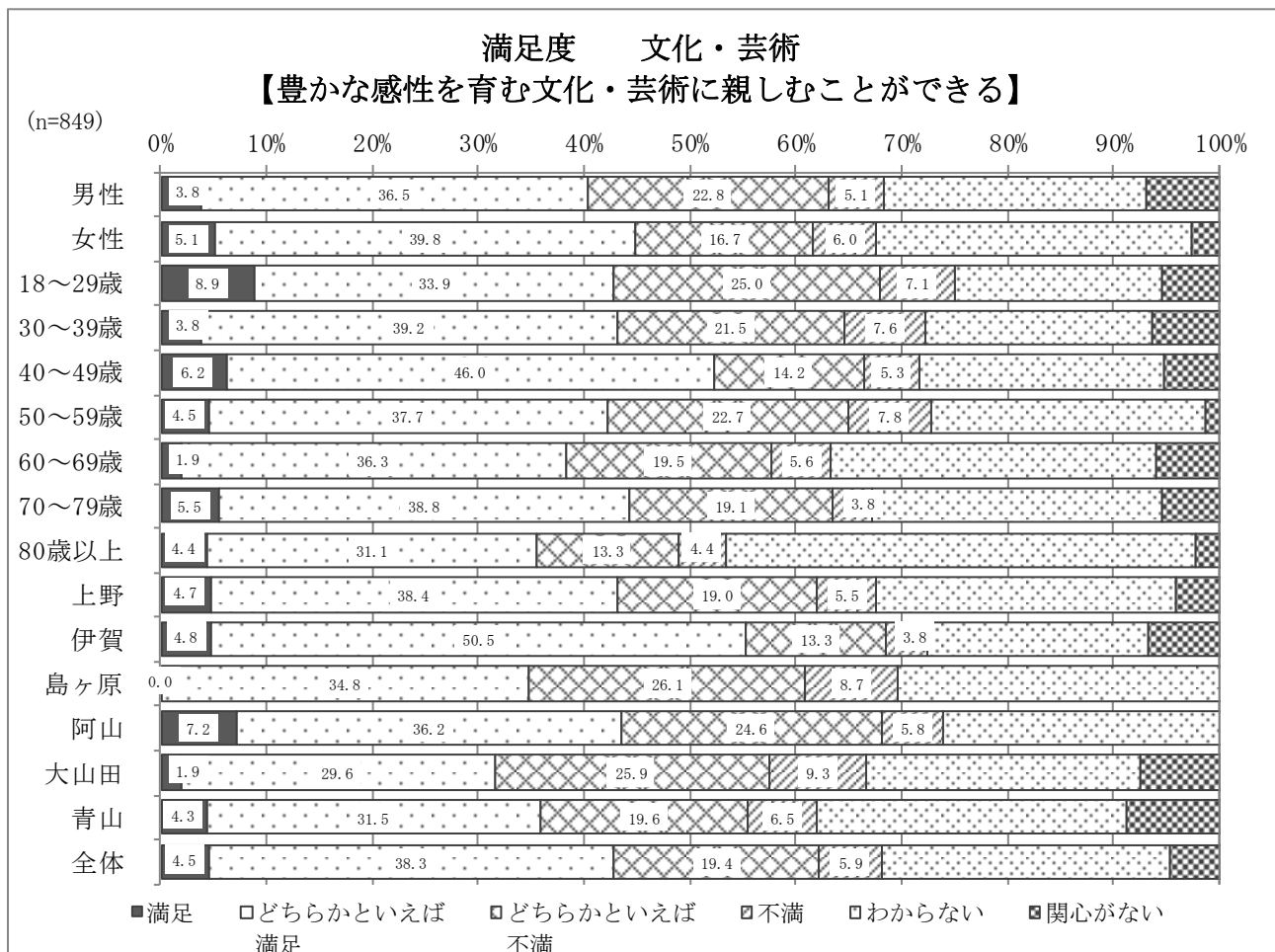
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『豊かな感性を育む文化・芸術に親しむことができる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	59	6.4%	38	4.5%	-21	-1.9p
2. どちらかといえば満足	334	36.2%	325	38.3%	-9	2.1p
3. どちらかといえば不満	325	35.2%	165	19.4%	-160	-15.8p
4. 不満	73	7.9%	50	5.9%	-23	-2.0p
5. わからない	12	1.3%	231	27.2%	219	25.9p
6. 関心がない	60	6.5%	40	4.7%	-20	-1.8p
7. 無回答	59	6.4%	(47)	—	(-12)	—
N値	922	100.0%	849	100.0%	-73	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『文化・芸術に親しんでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	44	4.8%	91	10.8%	47	6.0p
2. どちらかといえば、当てはまる	190	20.6%	261	30.9%	71	10.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	315	34.2%	223	26.4%	-92	-7.8p
4. 当てはまらない	242	26.2%	200	23.7%	-42	-2.5p
5. 質問の意味が分からない	8	0.9%	10	1.2%	2	0.3p
6. 関心がない	61	6.6%	60	7.1%	-1	0.5p
7. 無回答	62	6.7%	(51)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	845	100.0%	-77	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策36 「歴史・文化遺産」 歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	59.7	53.0	-6.7	—	—
	(順位)	(4)	(4)	(0)	—	—
市民参画度	%	31.5	36.5	5.0	—	—
	(順位)	(29)	(27)	(2)	—	—

今後の重要度	%	84.5	85.1	0.6	—	—
	(順位)	(31)	(34)	(-3)	—	—

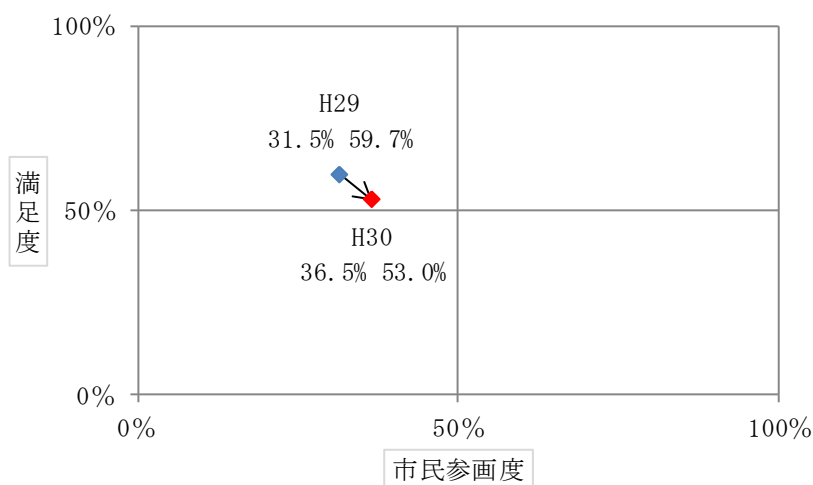
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

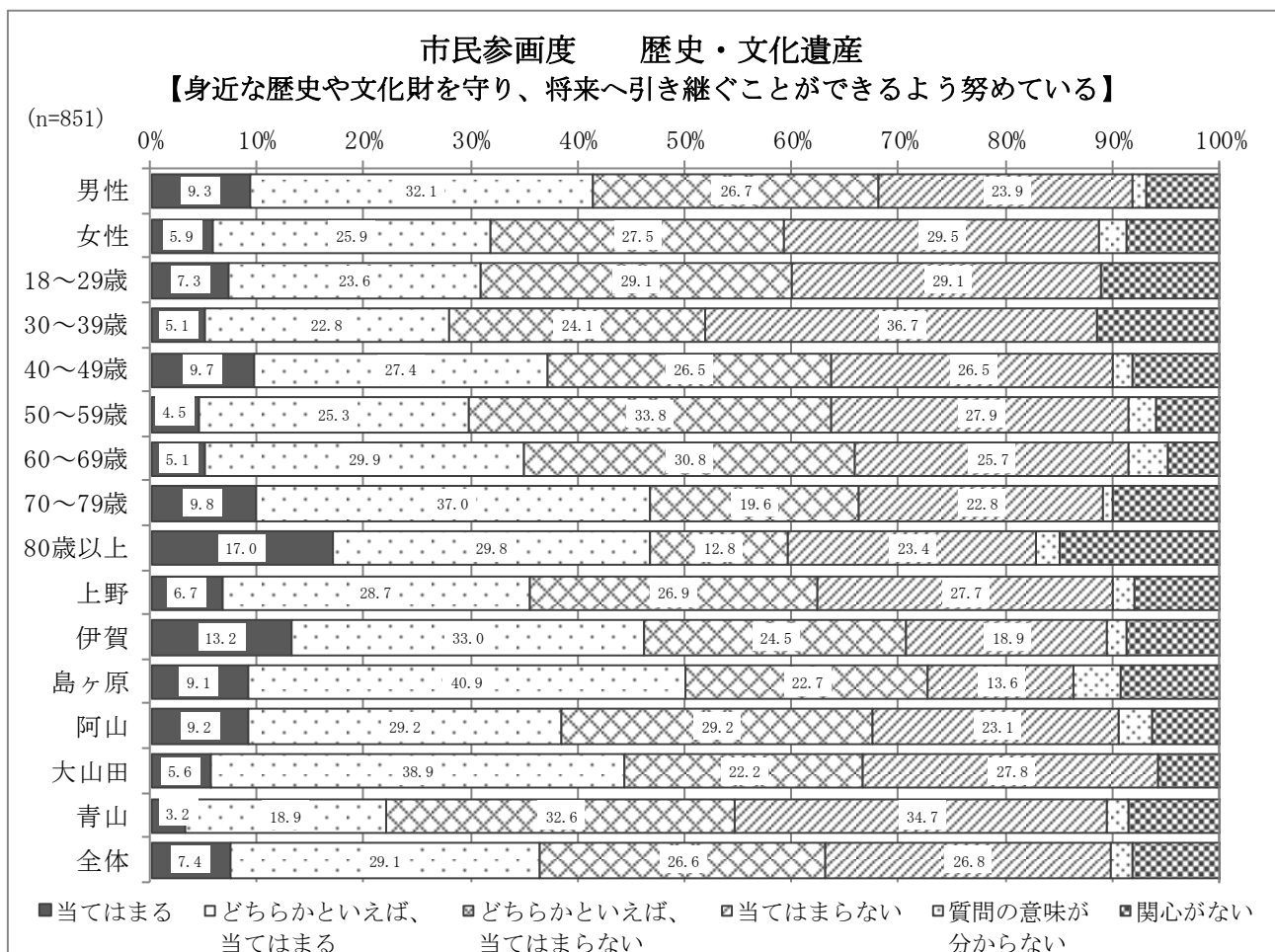
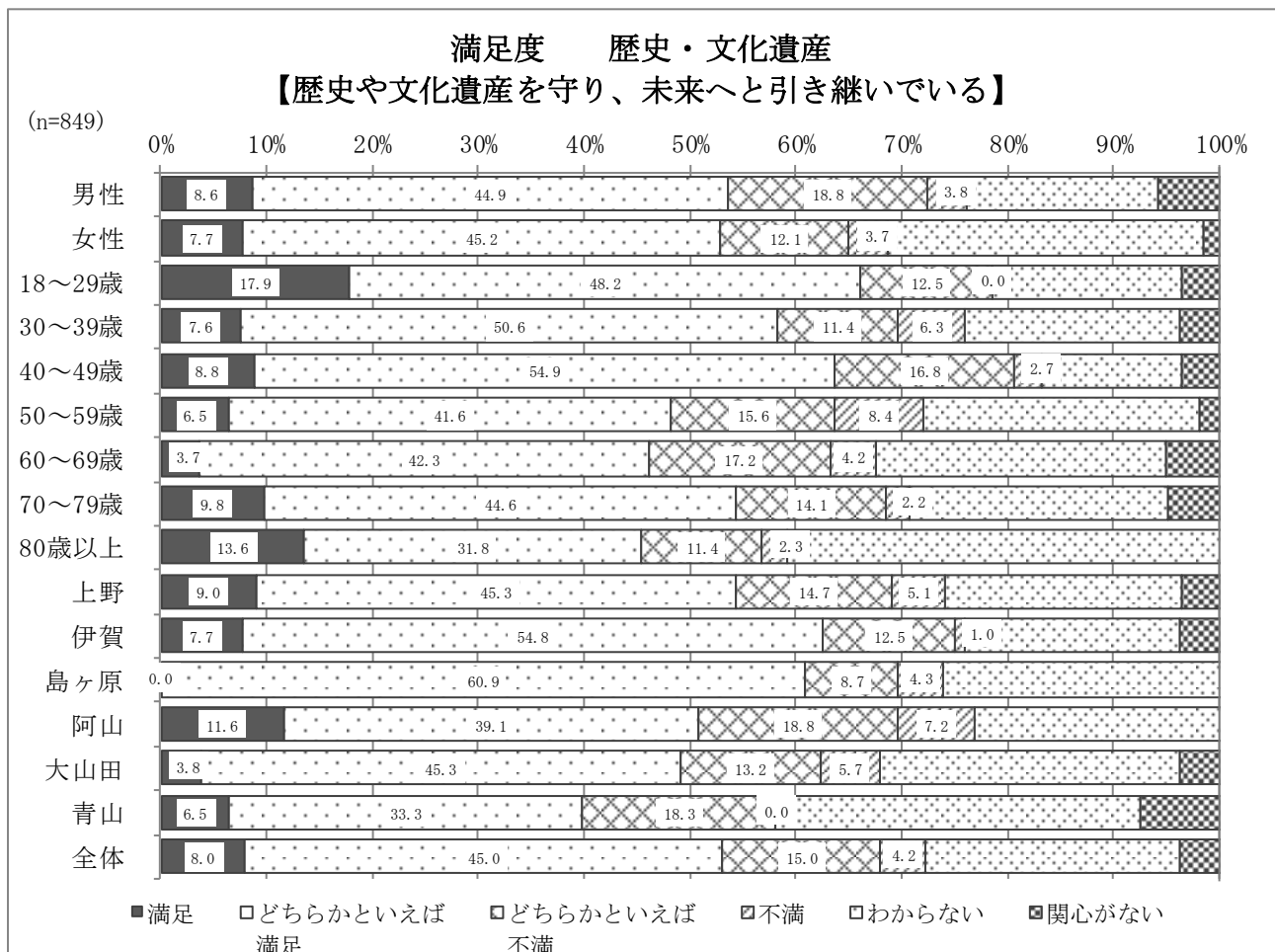
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継いでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	112	12.1%	68	8.0%	-44	-4.1p
2. どちらかといえば満足	438	47.5%	382	45.0%	-56	-2.5p
3. どちらかといえば不満	208	22.6%	127	15.0%	-81	-7.6p
4. 不満	54	5.9%	36	4.2%	-18	-1.7p
5. わからない	5	0.5%	204	24.0%	199	23.5p
6. 関心がない	47	5.1%	32	3.8%	-15	-1.3p
7. 無回答	58	6.3%	(47)	—	(-11)	—
N値	922	100.0%	849	100.0%	-73	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『身近な歴史や文化財を守り、将来へ引き継ぐことができるよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	49	5.3%	63	7.4%	14	2.1p
2. どちらかといえば、当てはまる	241	26.1%	248	29.1%	7	3.0p
3. どちらかといえば、当てはまらない	289	31.3%	226	26.6%	-63	-4.7p
4. 当てはまらない	221	24.0%	228	26.8%	7	2.8p
5. 質問の意味が分からない	6	0.7%	18	2.1%	12	1.4p
6. 関心がない	55	6.0%	68	8.0%	13	2.0p
7. 無回答	61	6.6%	(45)	—	(-16)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策37 「スポーツ」 気軽にスポーツを楽しむことができる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	49.1	43.9	-5.2	—	—
	(順位)	(14)	(13)	(1)	—	—
市民参画度	%	34.7	42.0	7.3	—	—
	(順位)	(26)	(21)	(5)	—	—

今後の重要度	%	80.8	83.2	2.4	—	—
	(順位)	(39)	(40)	(-1)	—	—

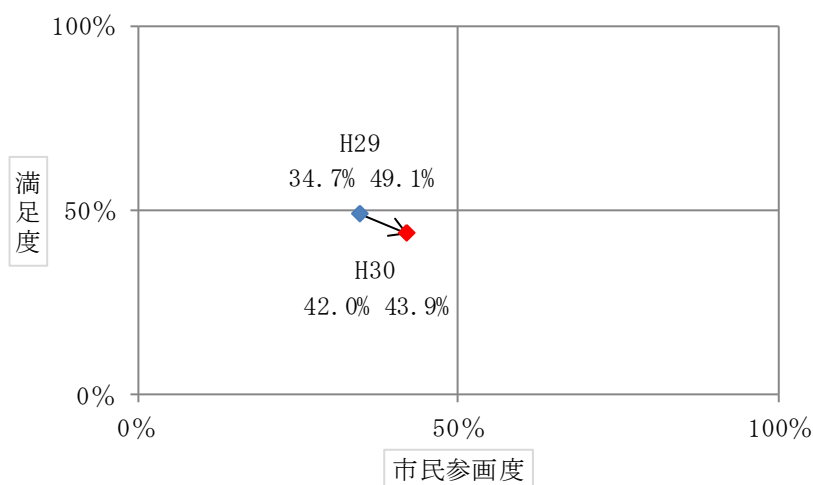
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

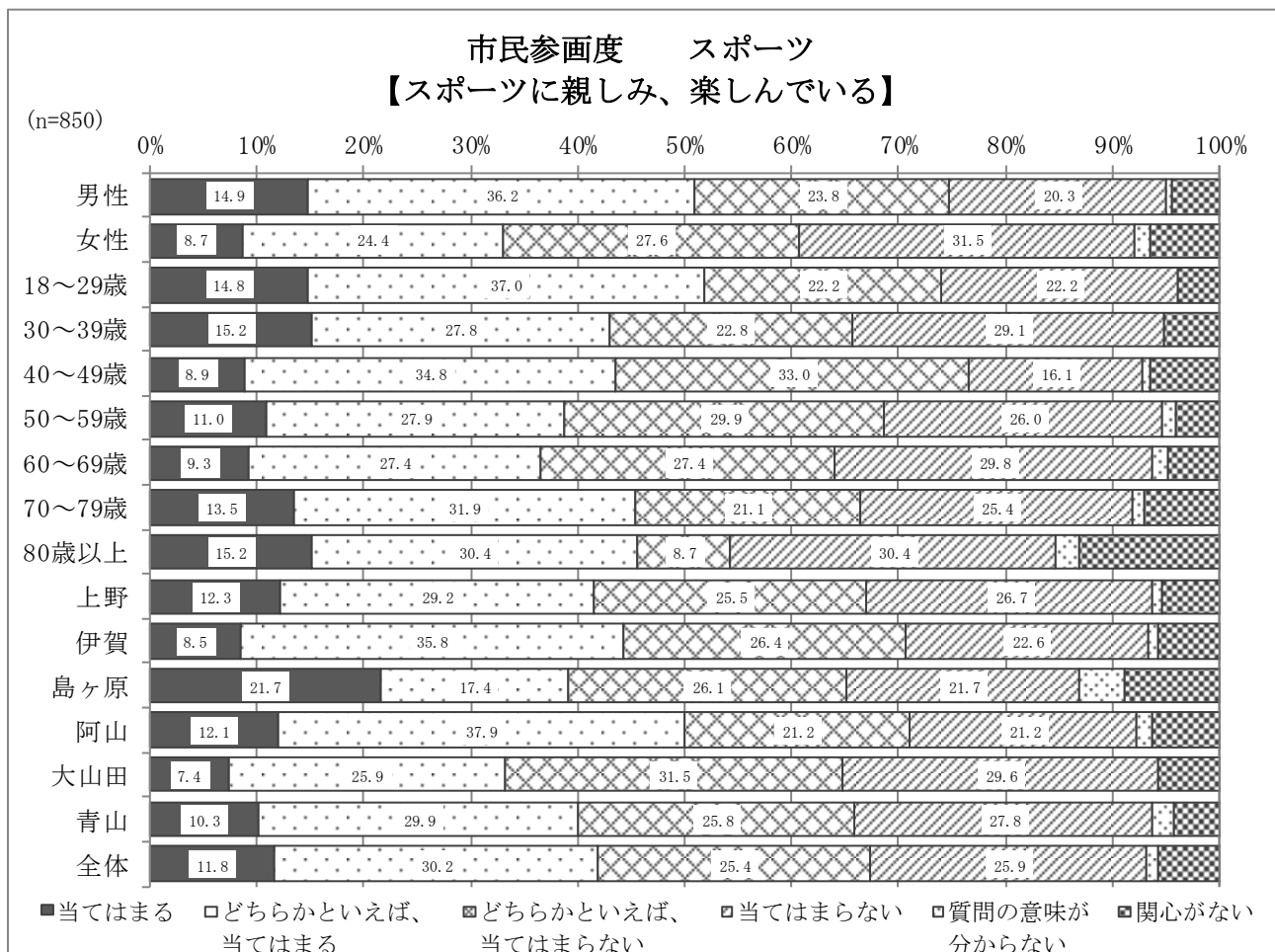
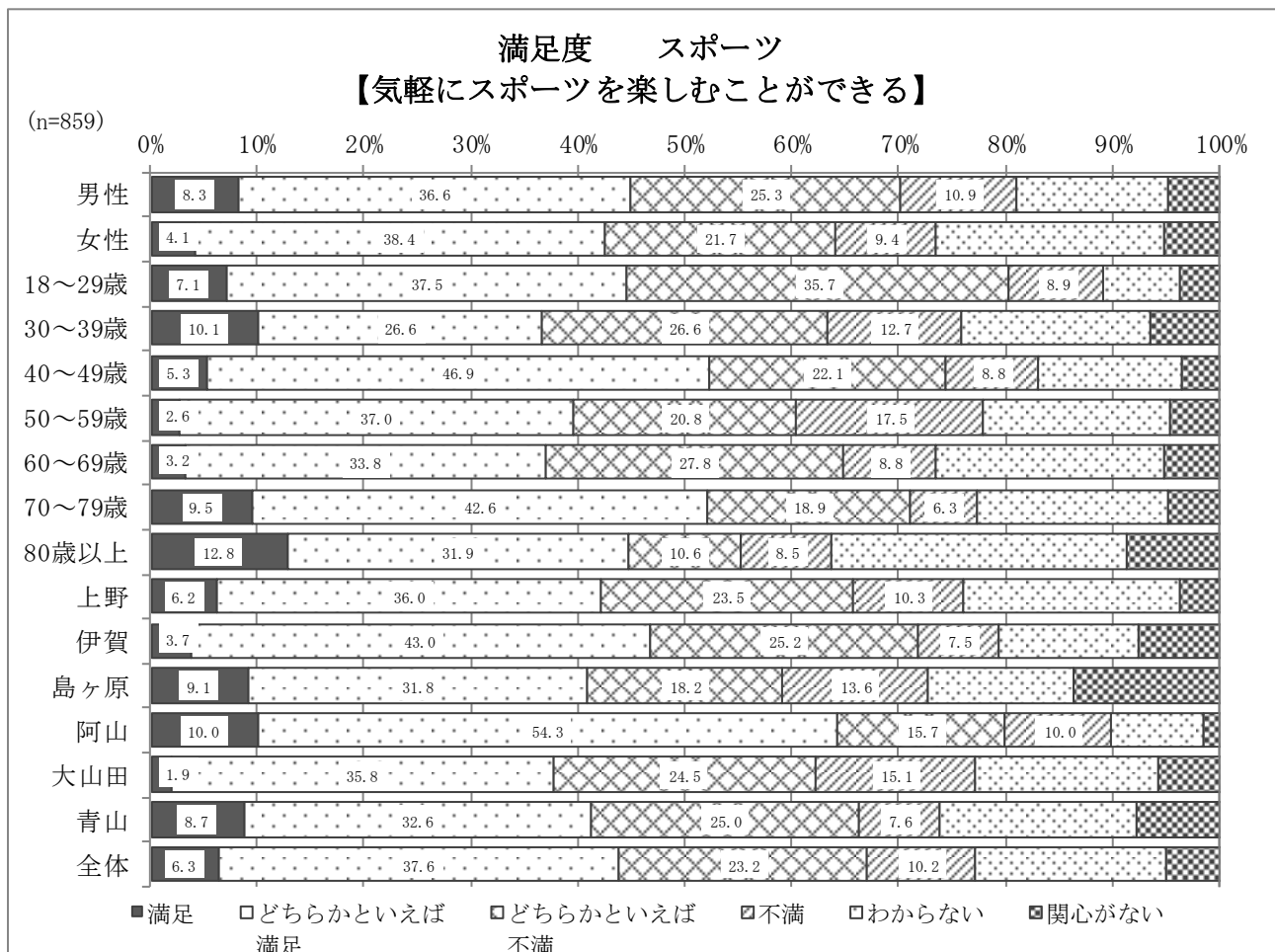
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『気軽にスポーツを楽しむことができる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	79	8.6%	54	6.3%	-25	-2.3p
2. どちらかといえば満足	374	40.6%	323	37.6%	-51	-3.0p
3. どちらかといえば不満	284	30.8%	199	23.2%	-85	-7.6p
4. 不満	73	7.9%	88	10.2%	15	2.3p
5. わからない	3	0.3%	153	17.8%	150	17.5p
6. 関心がない	54	5.9%	42	4.9%	-12	-1.0p
7. 無回答	55	6.0%	(37)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	859	100.0%	-63	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『スポーツに親しみ、楽しんでいる』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	79	8.6%	100	11.8%	21	3.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	241	26.1%	257	30.2%	16	4.1p
3. どちらかといえば、当てはまらない	280	30.4%	216	25.4%	-64	-5.0p
4. 当てはまらない	207	22.5%	220	25.9%	13	3.4p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	9	1.1%	5	0.7p
6. 関心がない	49	5.3%	48	5.6%	-1	0.3p
7. 無回答	62	6.7%	(46)	—	(-16)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策38 「市民活動」 市民活動やボランティア活動が、活発に行われている

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	42.7	37.9	-4.8	—	—
	(順位)	(19)	(23)	(-4)	—	—
市民参画度	%	36.2	37.3	1.1	—	—
	(順位)	(22)	(25)	(-3)	—	—

今後の重要度	%	82.9	83.4	0.5	—	—
	(順位)	(34)	(38)	(-4)	—	—

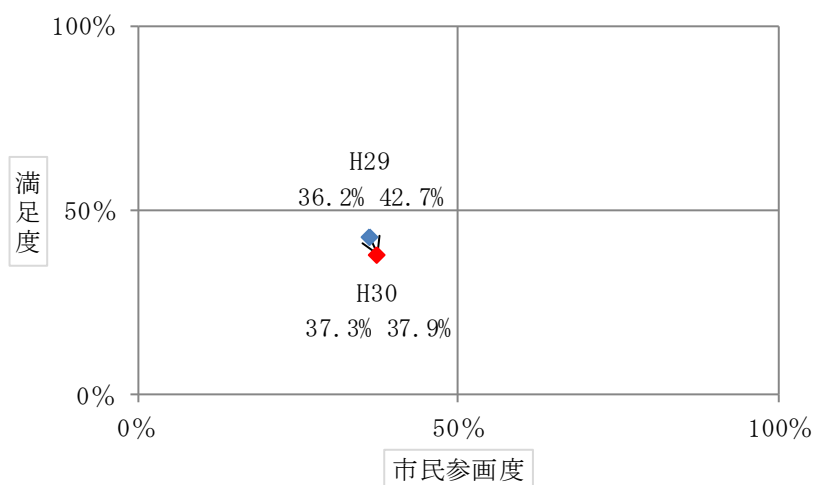
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

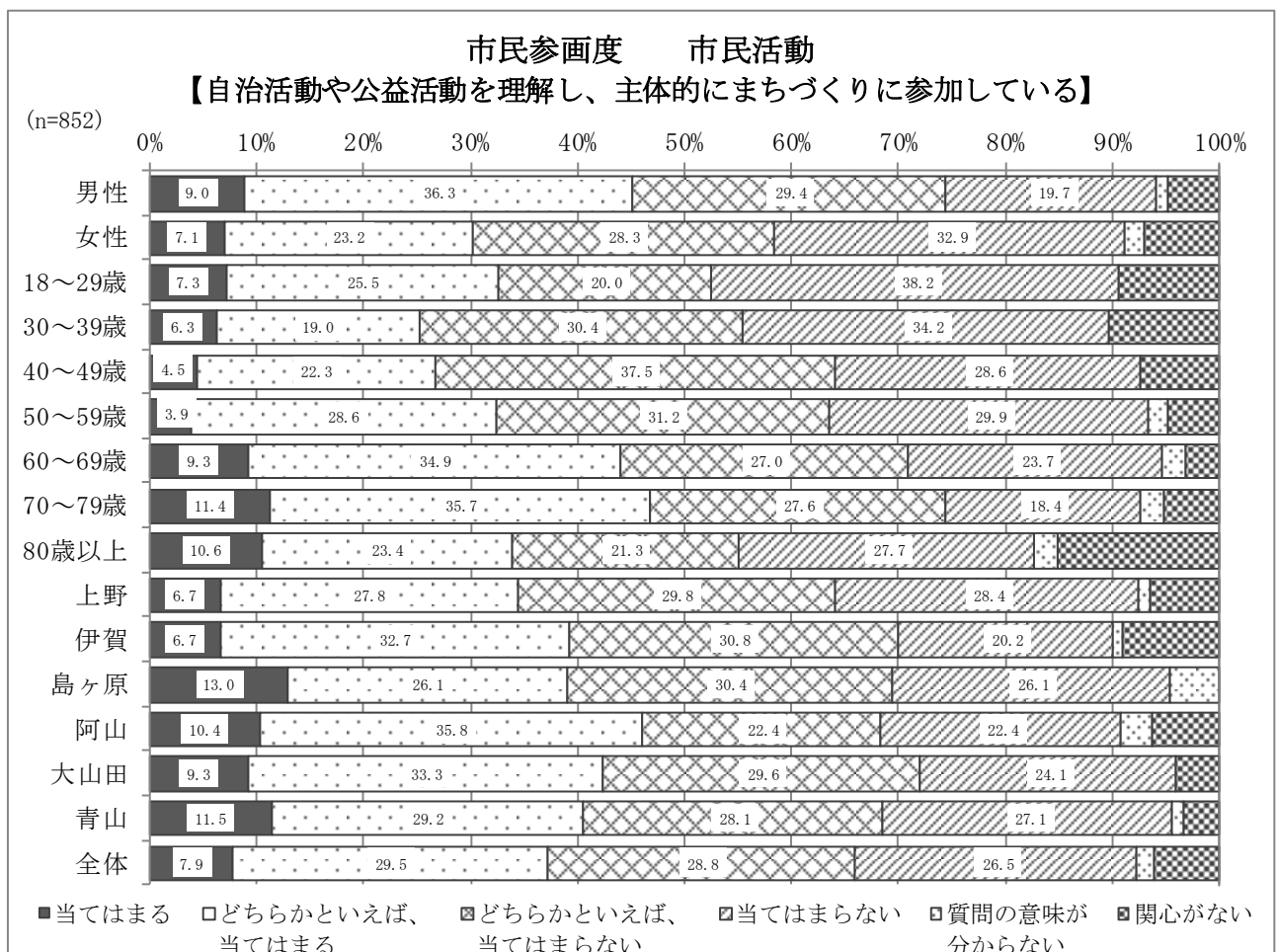
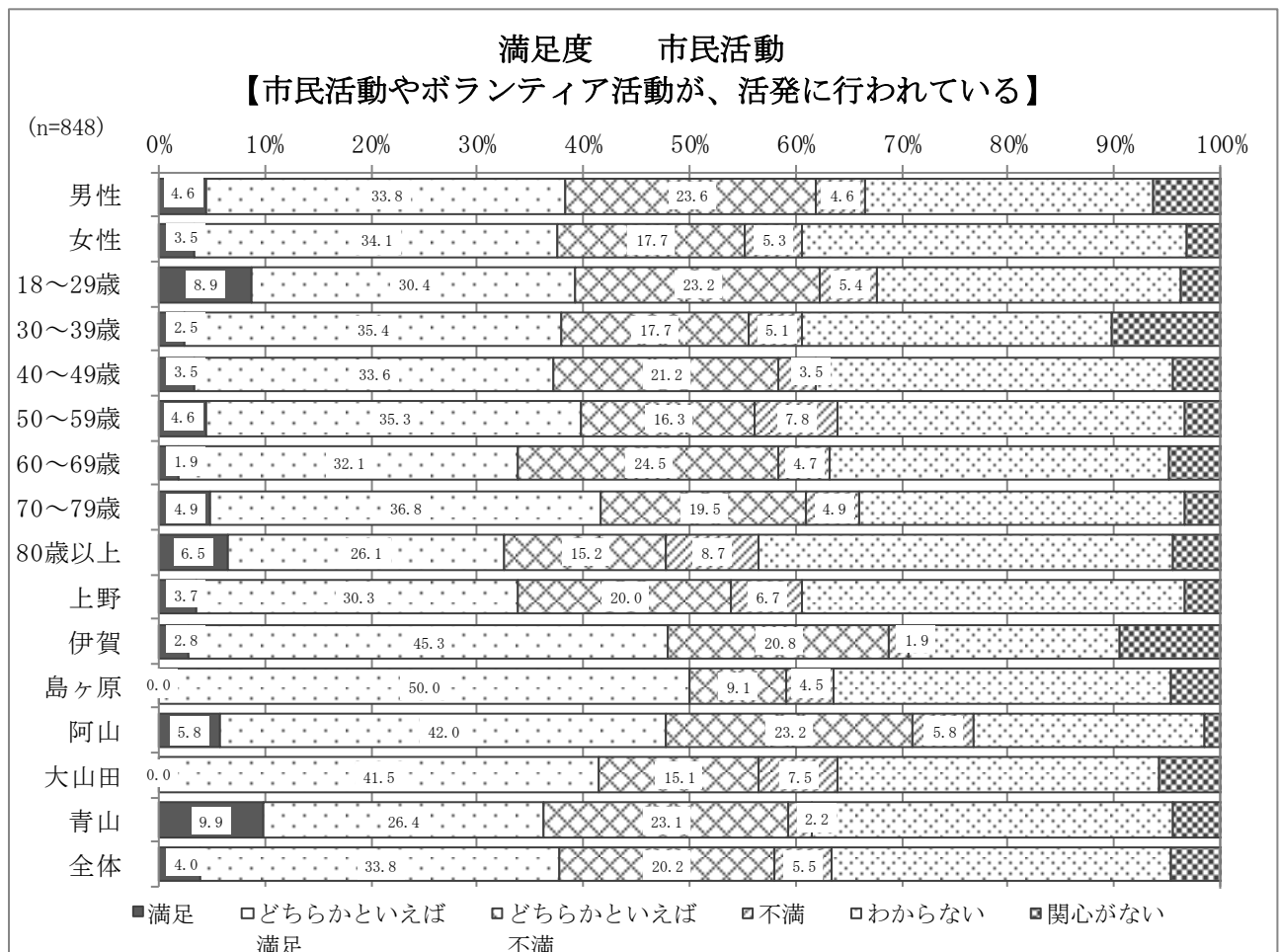
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『市民活動やボランティア活動が、活発に行われている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	59	6.4%	34	4.0%	-25	-2.4p
2. どちらかといえば満足	335	36.3%	287	33.8%	-48	-2.5p
3. どちらかといえば不満	341	37.0%	171	20.2%	-170	-16.8p
4. 不満	70	7.6%	47	5.5%	-23	-2.1p
5. わからない	5	0.5%	271	32.0%	266	31.5p
6. 関心がない	58	6.3%	38	4.5%	-20	-1.8p
7. 無回答	54	5.9%	(48)	—	(-6)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『自治活動や公益活動を理解し、主体的にまちづくりに参加している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	62	6.7%	67	7.9%	5	1.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	272	29.5%	251	29.5%	-21	0.0p
3. どちらかといえば、当てはまらない	275	29.8%	245	28.8%	-30	-1.0p
4. 当てはまらない	199	21.6%	226	26.5%	27	4.9p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	13	1.5%	8	1.0p
6. 関心がない	50	5.4%	50	5.9%	0	0.5p
7. 無回答	59	6.4%	(44)	—	(-15)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策39 「域学連携」 産学官連携により、地域課題を解決する

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	21.9	18.7	-3.2	—	—
	(順位)	(37)	(40)	(-3)	—	—
市民参画度	%	12.5	15.9	3.4	—	—
	(順位)	(45)	(45)	(0)	—	—

今後の重要度	%	75.6	78.7	3.1	—	—
	(順位)	(46)	(45)	(1)	—	—

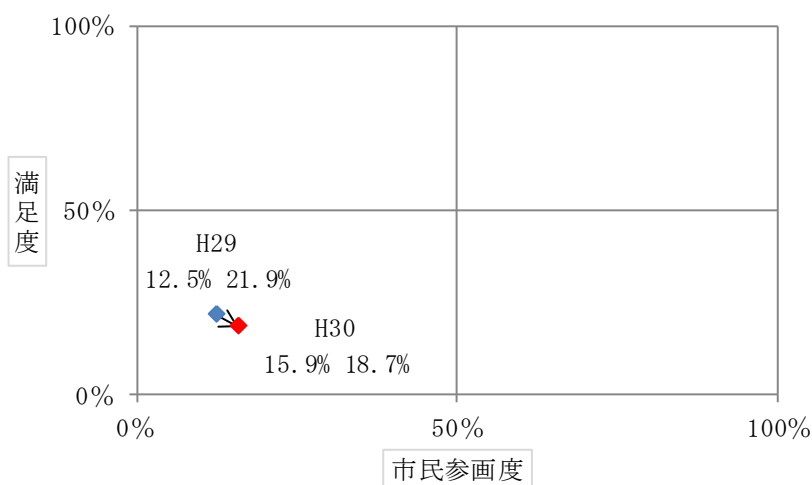
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

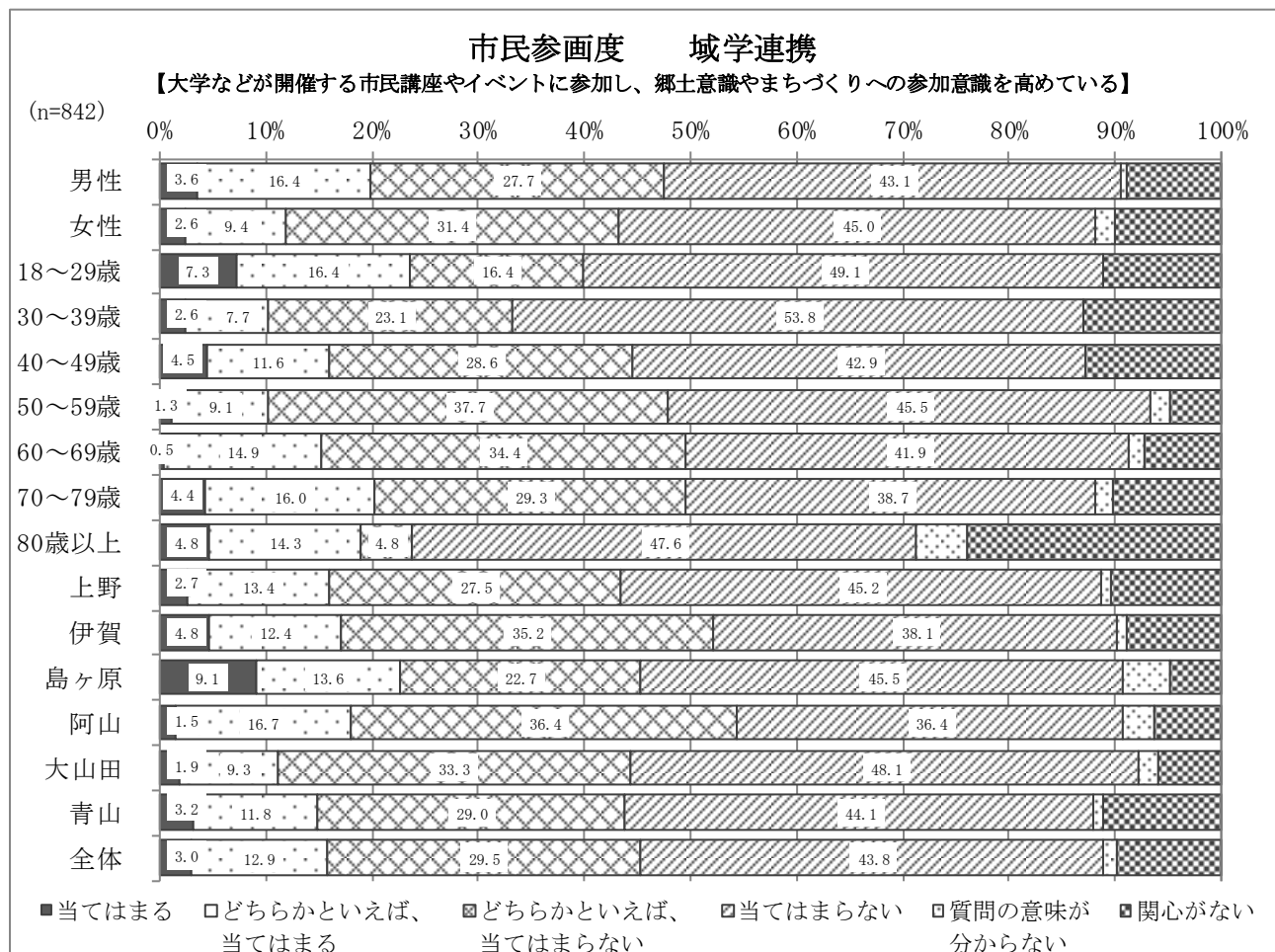
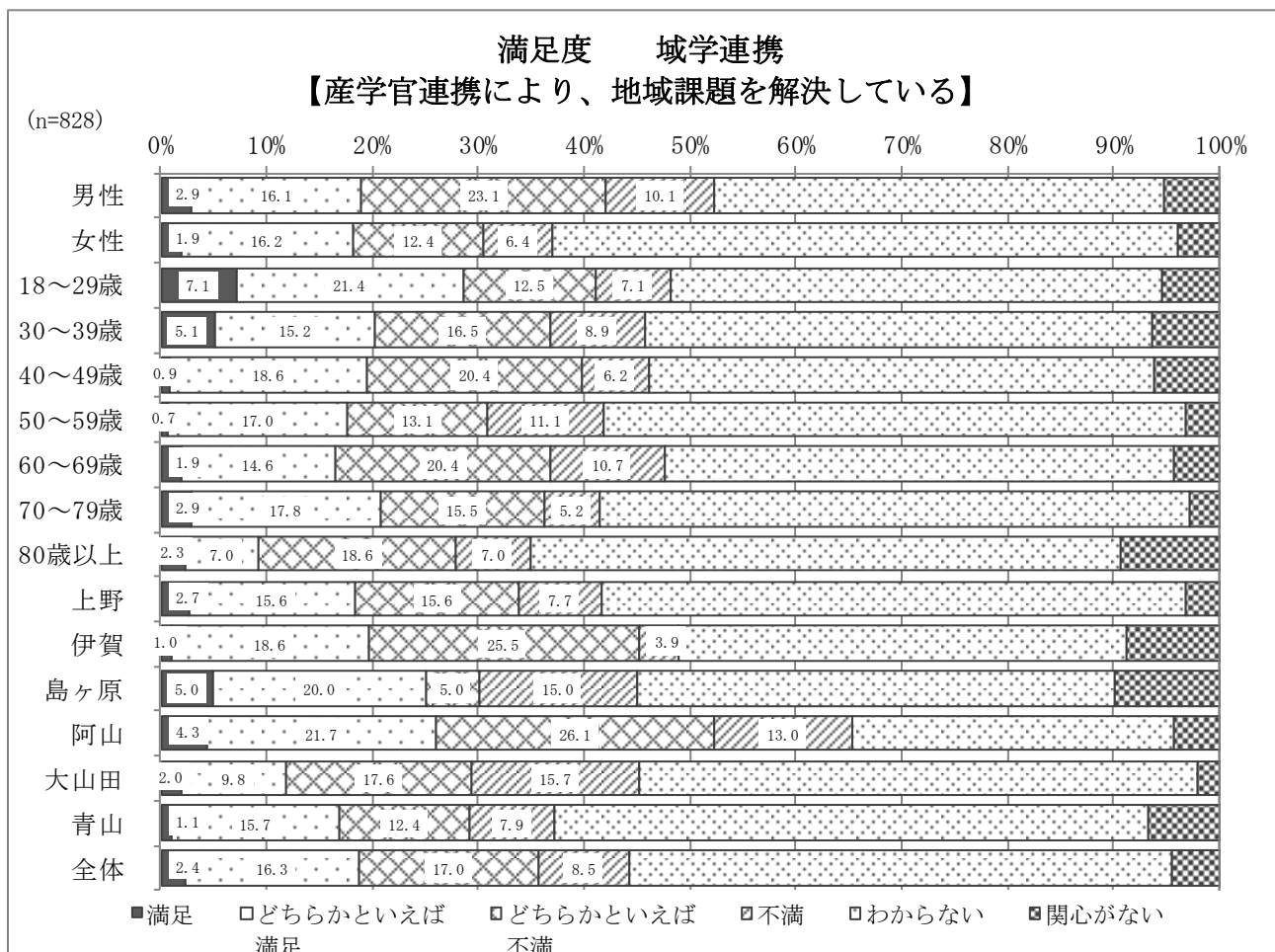
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『産学官連携により、地域課題を解決している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	23	2.5%	20	2.4%	-3	-0.1p
2. どちらかといえば満足	179	19.4%	135	16.3%	-44	-3.1p
3. どちらかといえば不満	368	39.9%	141	17.0%	-227	-22.9p
4. 不満	122	13.2%	70	8.5%	-52	-4.7p
5. わからない	63	6.8%	424	51.2%	361	44.4p
6. 関心がない	89	9.7%	38	4.6%	-51	-5.1p
7. 無回答	78	8.5%	(68)	—	(-10)	—
N値	922	100.0%	828	100.0%	-94	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『大学などが開催する市民講座やイベントに参加し、郷土意識やまちづくりへの参加意識を高めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	16	1.7%	25	3.0%	9	1.3p
2. どちらかといえば、当てはまる	99	10.7%	109	12.9%	10	2.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	270	29.3%	248	29.5%	-22	0.2p
4. 当てはまらない	367	39.8%	369	43.8%	2	4.0p
5. 質問の意味が分からない	3	0.3%	11	1.3%	8	1.0p
6. 関心がない	97	10.5%	80	9.5%	-17	-1.0p
7. 無回答	70	7.6%	(54)	—	(-16)	—
N値	922	100.0%	842	100.0%	-80	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【文化・地域づくり】

施策40 「住民自治」 住民自治活動が、活発に行われる

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	51.8	53.4	1.6	—	—
	(順位)	(12)	(3)	(9)	—	—
市民参画度	%	30.5	32.7	2.2	—	—
	(順位)	(31)	(30)	(1)	—	—

今後の重要度	%	80.7	83.6	2.9	—	—
	(順位)	(40)	(37)	(3)	—	—

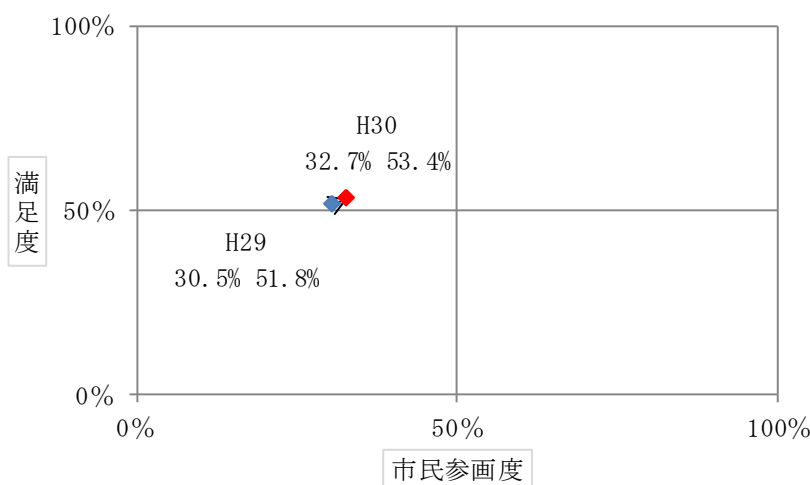
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

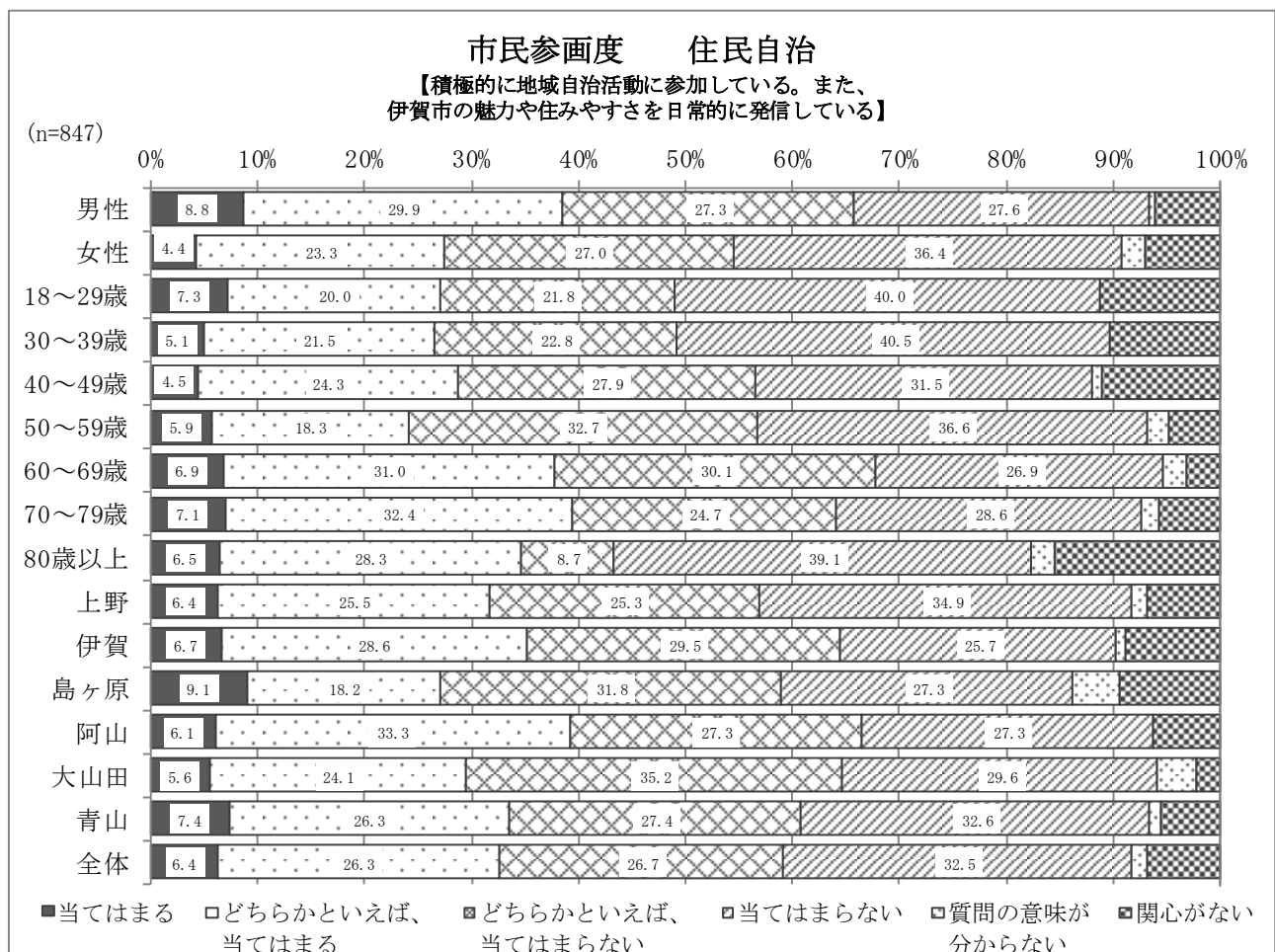
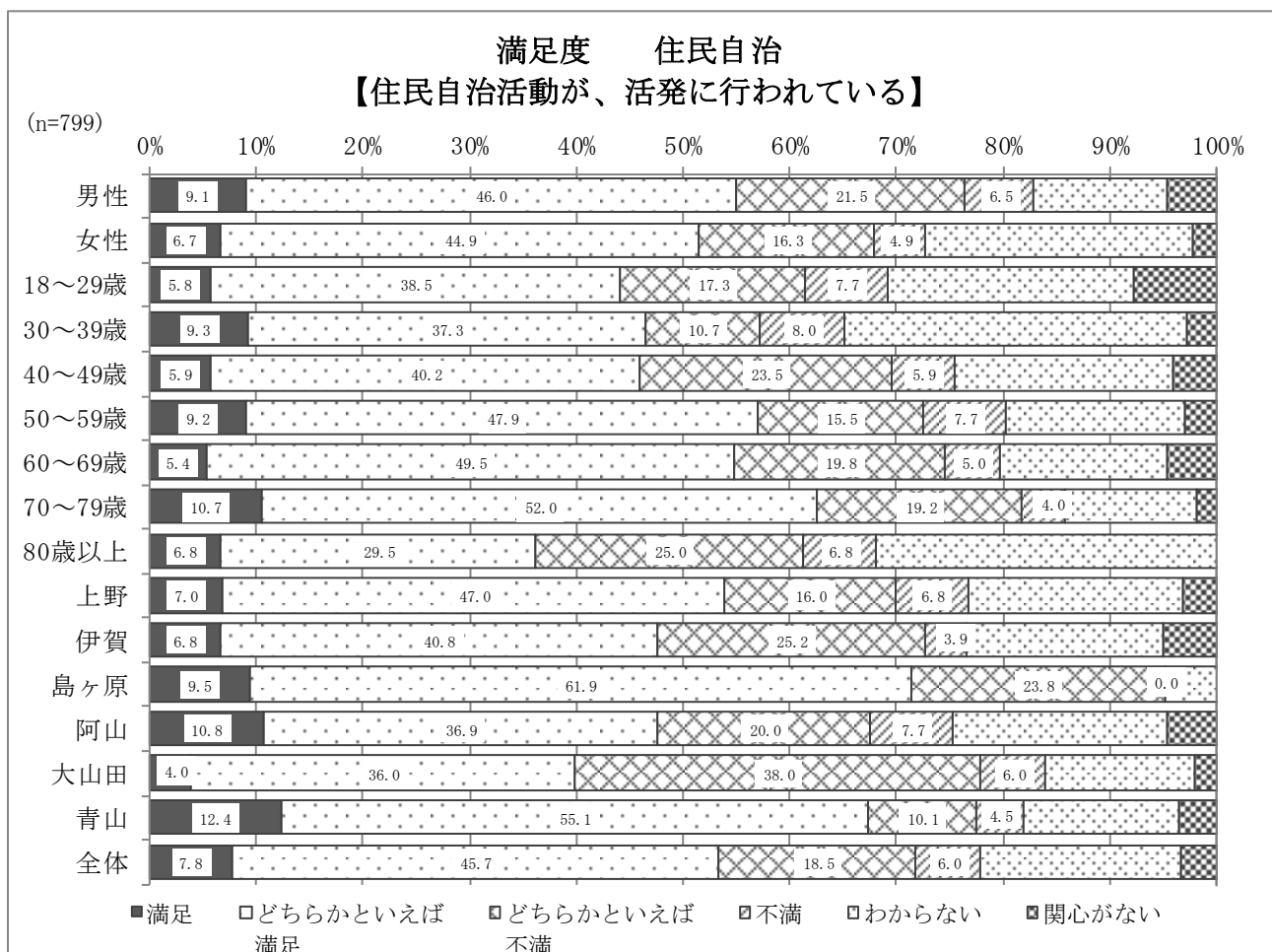
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『住民自治活動が活発に行われている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	85	9.2%	62	7.8%	-23	-1.4p
2. どちらかといえば満足	393	42.6%	365	45.7%	-28	3.1p
3. どちらかといえば不満	271	29.4%	148	18.5%	-123	-10.9p
4. 不満	72	7.8%	48	6.0%	-24	-1.8p
5. わからない	8	0.9%	150	18.8%	142	17.9p
6. 関心がない	46	5.0%	26	3.3%	-20	-1.7p
7. 無回答	47	5.1%	(97)	—	(50)	—
N値	922	100.0%	799	100.0%	-123	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『積極的に地域自治活動に参加している。また、伊賀市の魅力や住みやすさを日常的に発信している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	50	5.4%	54	6.4%	4	1.0p
2. どちらかといえば、当てはまる	231	25.1%	223	26.3%	-8	1.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	280	30.4%	226	26.7%	-54	-3.7p
4. 当てはまらない	230	24.9%	275	32.5%	45	7.6p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	13	1.5%	8	1.0p
6. 関心がない	63	6.8%	56	6.6%	-7	-0.2p
7. 無回答	63	6.8%	(49)	—	(-14)	—
N値	922	100.0%	847	100.0%	-75	0.0p

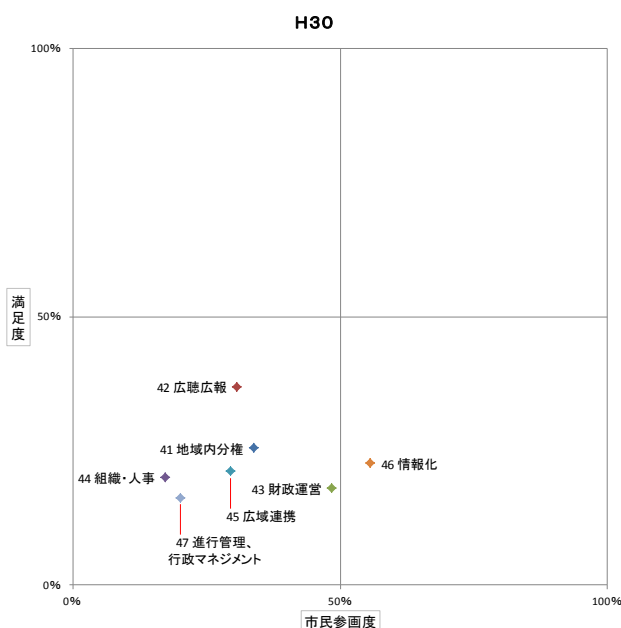


- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



7. 計画の推進

政策名	平成29年度						平成30年度					
	満足度		今後の重要度		市民参画度		満足度		今後の重要度		市民参画度	
	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
(41)地域内分権 ガバナンスの確立による分権型まちづくり	21.5%	38	72.9%	47	24.9%	38	25.5%	33	86.0%	32	33.9%	29
(42)広聴広報 理解と共感につながる市政情報の共有化	31.6%	32	80.8%	38	23.0%	40	37.0%	24	87.4%	29	30.7%	33
(43)財政運営 健全な財政運営	20.8%	40	88.7%	22	46.0%	18	18.1%	42	94.4%	16	48.5%	17
(44)組織・人事 市民の期待に応えられる組織・人づくり	22.3%	35	86.7%	24	18.5%	43	20.0%	38	91.0%	23	17.3%	44
(45)広域連携 圏域全体の活性化につながる広域的な連携	22.3%	35	82.0%	37	24.2%	39	21.2%	36	84.8%	35	29.5%	35
(46)情報化 情報化による効率的な行政運営の実現	24.1%	34	82.8%	35	45.3%	19	22.8%	34	86.7%	30	55.6%	14
(47)進行管理、行政マネジメント PDCAサイクルによる計画の推進ができています	17.1%	44	79.1%	43	14.1%	44	16.3%	45	85.6%	33	20.1%	43



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。

【計画の推進】

施策41 「地域内分権」 ガバナンスの確立による分権型まちづくり

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	21.5	25.5	4.0	—	—
	(順位)	(38)	(33)	(5)	—	—
市民参画度	%	24.9	33.9	9.0	—	—
	(順位)	(38)	(29)	(9)	—	—

今後の重要度	%	72.9	86.0	13.1	—	—
	(順位)	(47)	(32)	(15)	—	—

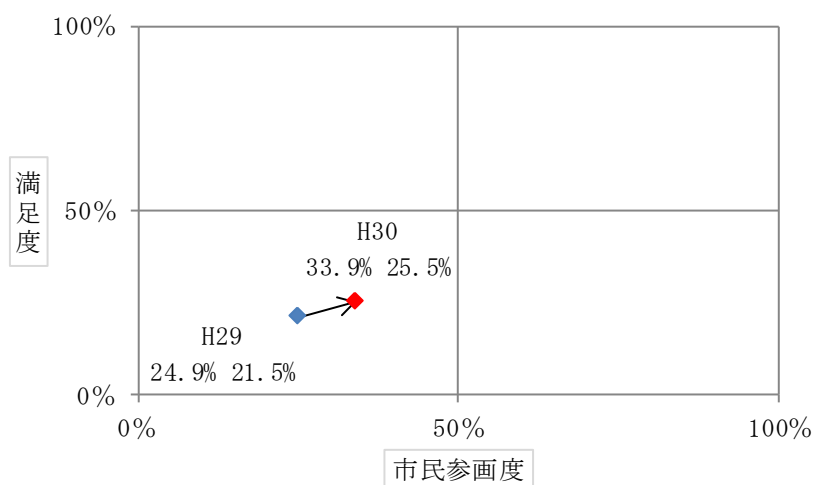
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

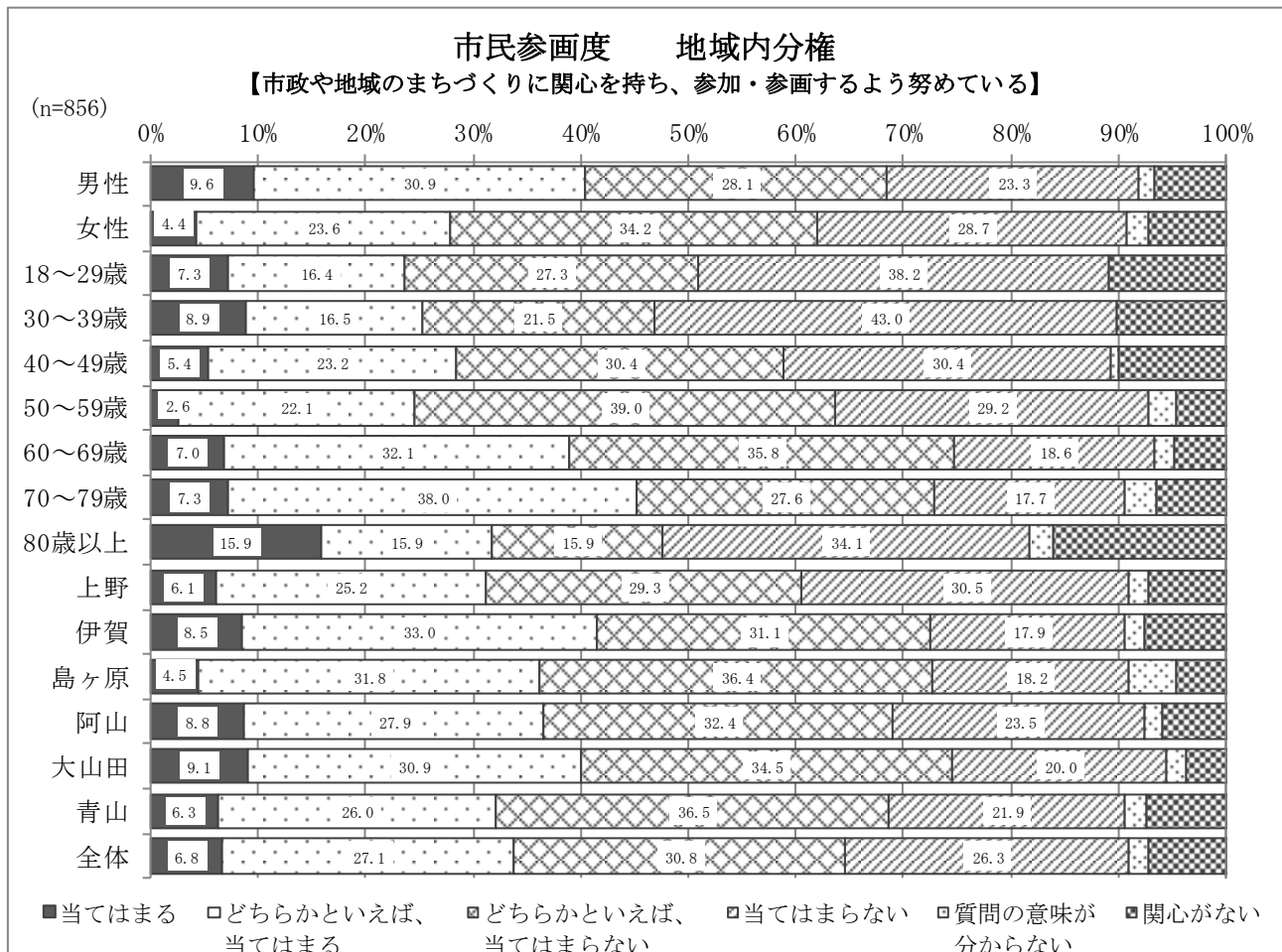
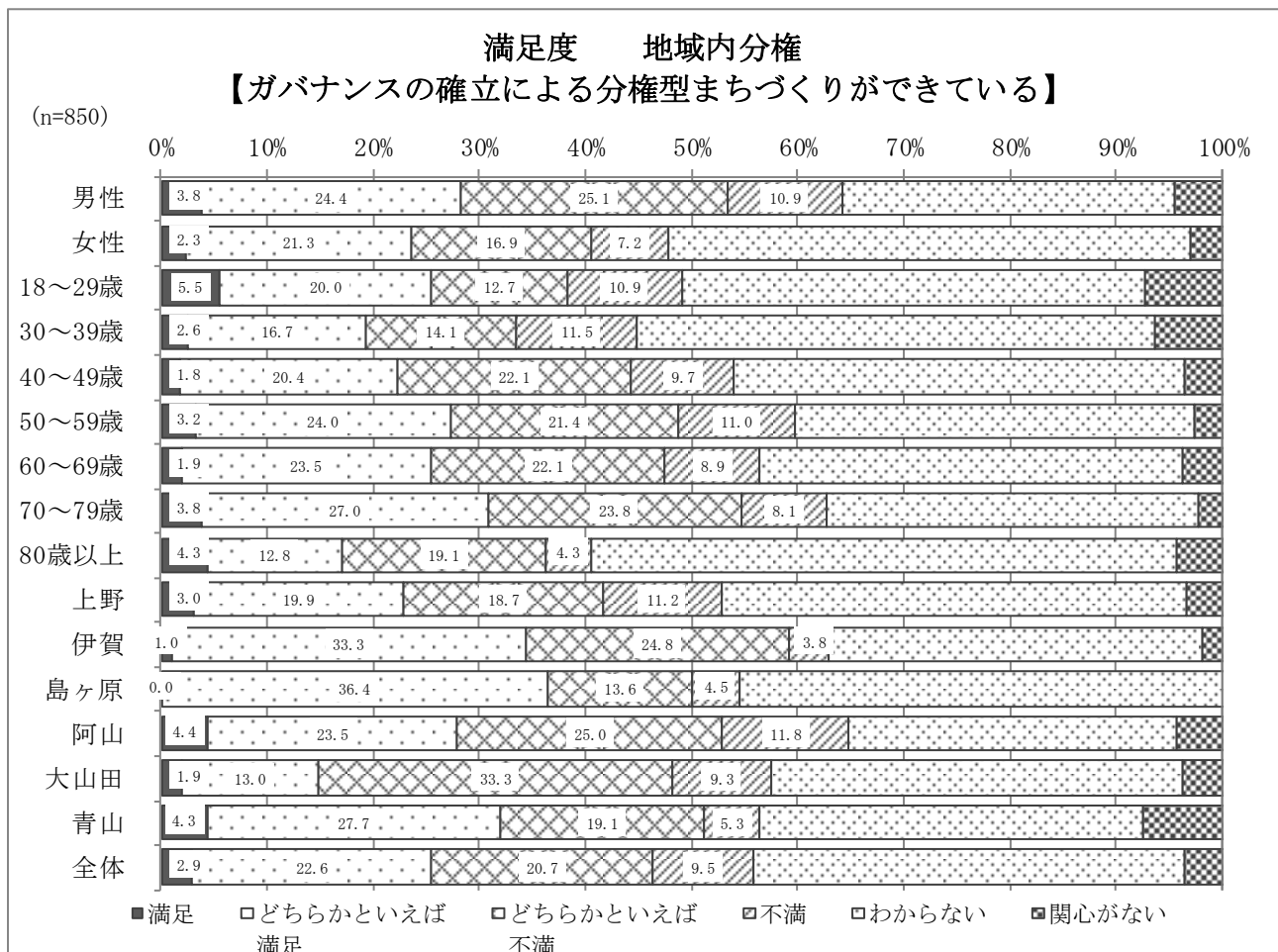
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『ガバナンスの確立による分権型まちづくりができている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	21	2.3%	25	2.9%	4	0.6p
2. どちらかといえば満足	177	19.2%	192	22.6%	15	3.4p
3. どちらかといえば不満	334	36.2%	176	20.7%	-158	-15.5p
4. 不満	115	12.5%	81	9.5%	-34	-3.0p
5. わからない	113	12.3%	345	40.6%	232	28.3p
6. 関心がない	83	9.0%	31	3.6%	-52	-5.4p
7. 無回答	79	8.6%	(46)	—	(-33)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『市政や地域のまちづくりに関心を持ち、参加・参画するよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	38	4.1%	58	6.8%	20	2.7p
2. どちらかといえば、当てはまる	192	20.8%	232	27.1%	40	6.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	301	32.6%	264	30.8%	-37	-1.8p
4. 当てはまらない	245	26.6%	225	26.3%	-20	-0.3p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	16	1.9%	12	1.5p
6. 関心がない	73	7.9%	61	7.1%	-12	-0.8p
7. 無回答	69	7.5%	(40)	—	(-29)	—
N値	922	100.0%	856	100.0%	-66	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策42 「広聴広報」 理解と共感につながる市政情報の共有化

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	31.6	37.0	5.4	—	—
	(順位)	(32)	(24)	(8)	—	—
市民参画度	%	23.0	30.7	7.7	—	—
	(順位)	(40)	(33)	(7)	—	—

今後の重要度	%	80.8	87.4	6.6	—	—
	(順位)	(38)	(29)	(9)	—	—

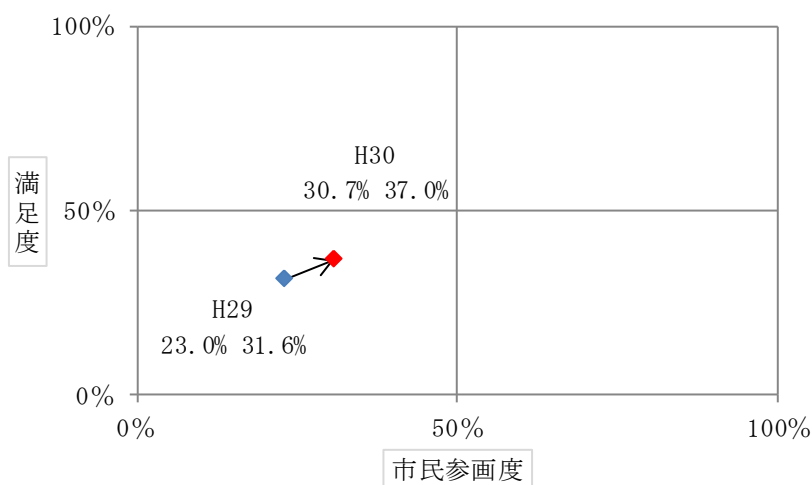
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

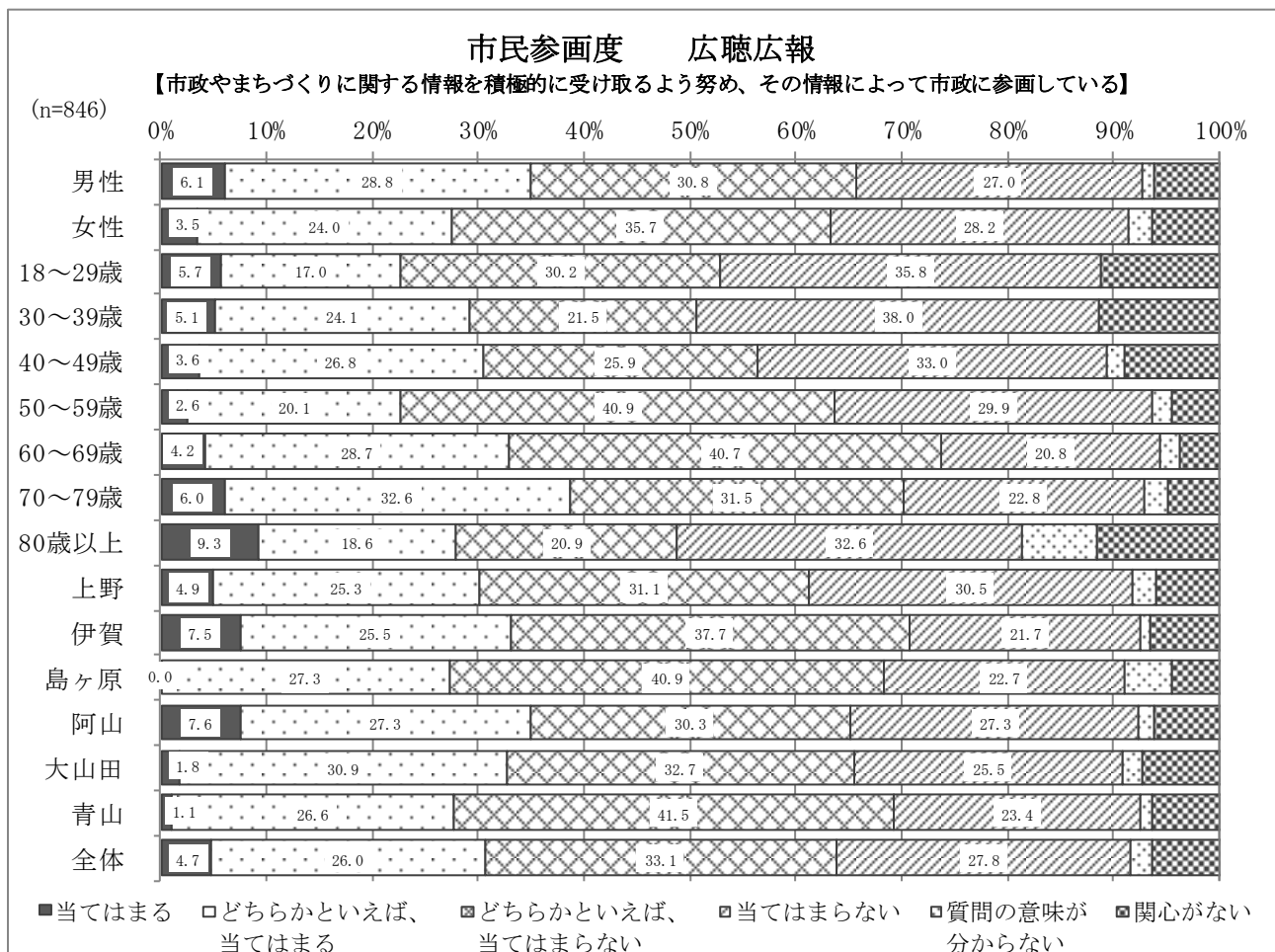
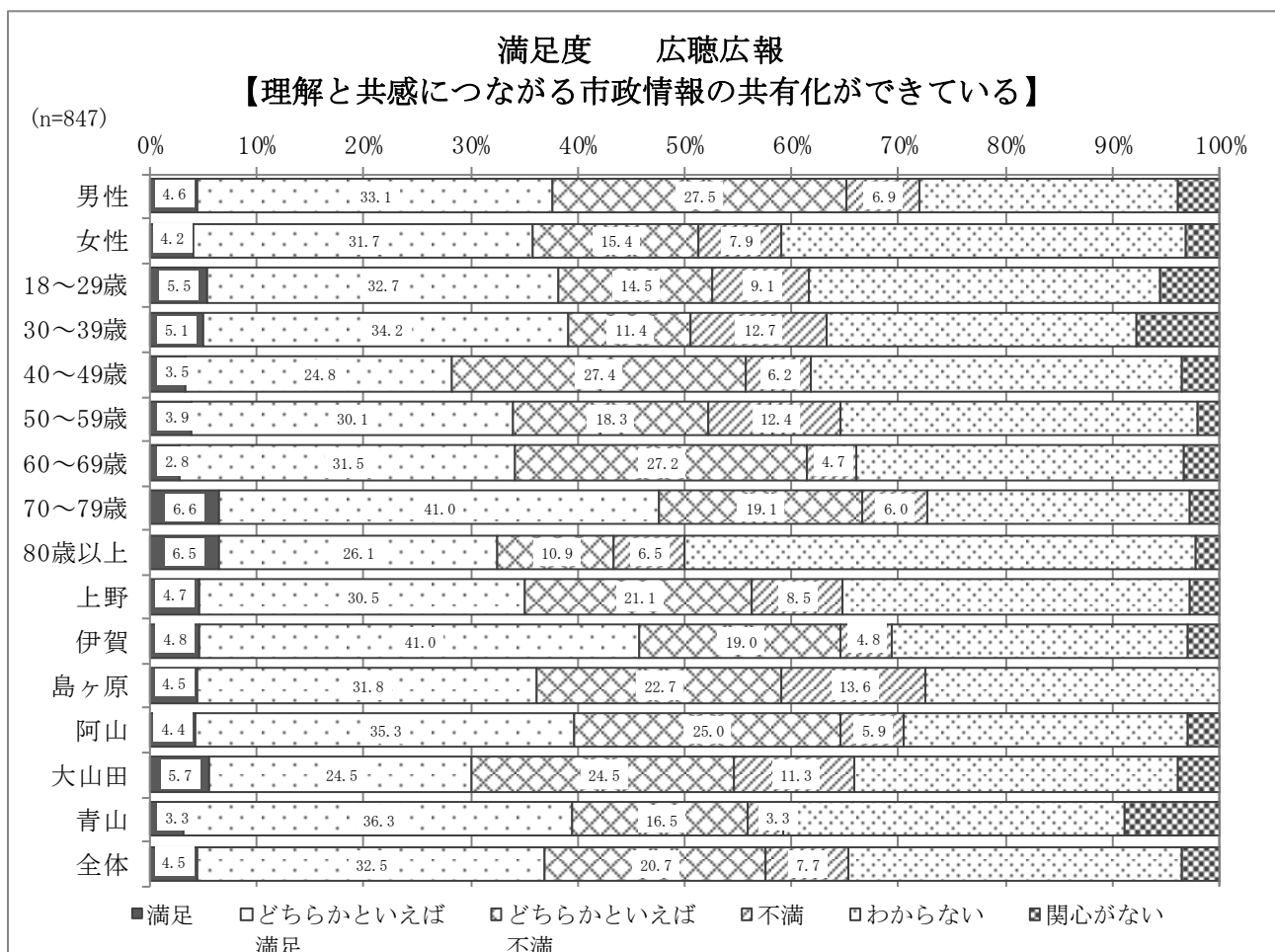
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『理解と共感につながる市政情報の共有化ができている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	35	3.8%	38	4.5%	3	0.7p
2. どちらかといえば満足	256	27.8%	275	32.5%	19	4.7p
3. どちらかといえば不満	331	35.9%	175	20.7%	-156	-15.2p
4. 不満	113	12.3%	65	7.7%	-48	-4.6p
5. わからない	51	5.5%	265	31.3%	214	25.8p
6. 関心がない	64	6.9%	29	3.4%	-35	-3.5p
7. 無回答	72	7.8%	(49)	—	(-23)	—
N値	922	100.0%	847	100.0%	-75	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『市政やまちづくりに関する情報を積極的に受け取るよう努め、その情報によって市政に参画している』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	30	3.3%	40	4.7%	10	1.4p
2. どちらかといえば、当てはまる	182	19.7%	220	26.0%	38	6.3p
3. どちらかといえば、当てはまらない	336	36.4%	280	33.1%	-56	-3.3p
4. 当てはまらない	234	25.4%	235	27.8%	1	2.4p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	17	2.0%	12	1.5p
6. 関心がない	70	7.6%	54	6.4%	-16	-1.2p
7. 無回答	65	7.0%	(50)	—	(-15)	—
N値	922	100.0%	846	100.0%	-76	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策43 「財政運営」 健全な財政運営

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	20.8	18.1	-2.7	—	—
	(順位)	(40)	(42)	(-2)	—	—
市民参画度	%	46.0	48.5	2.5	—	—
	(順位)	(18)	(17)	(1)	—	—

今後の重要度	%	88.7	94.4	5.7	—	—
	(順位)	(22)	(16)	(6)	—	—

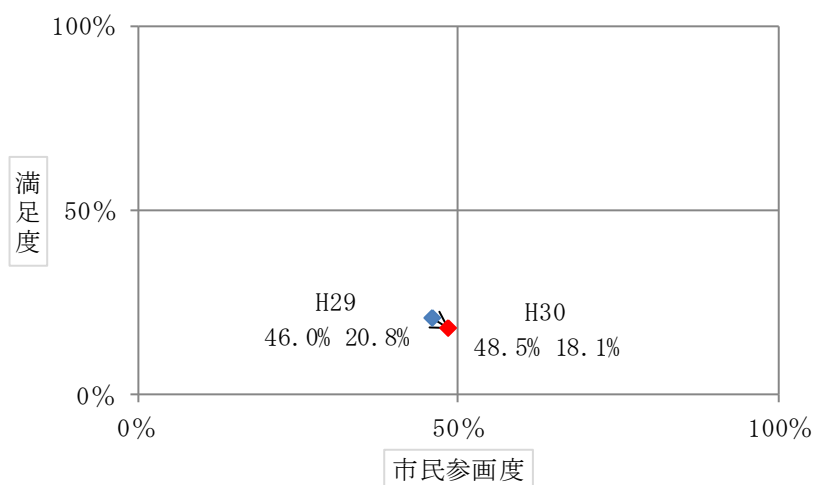
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

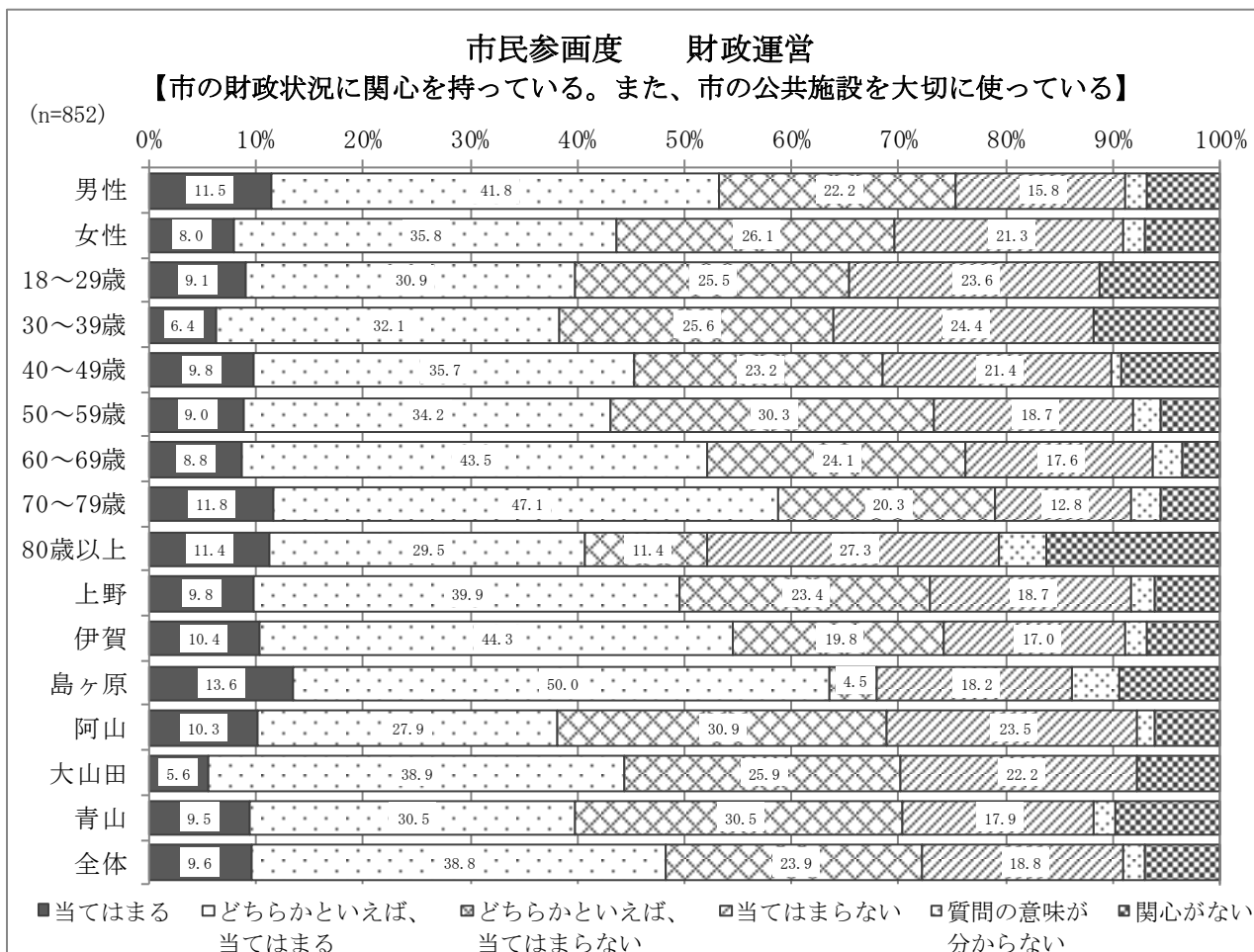
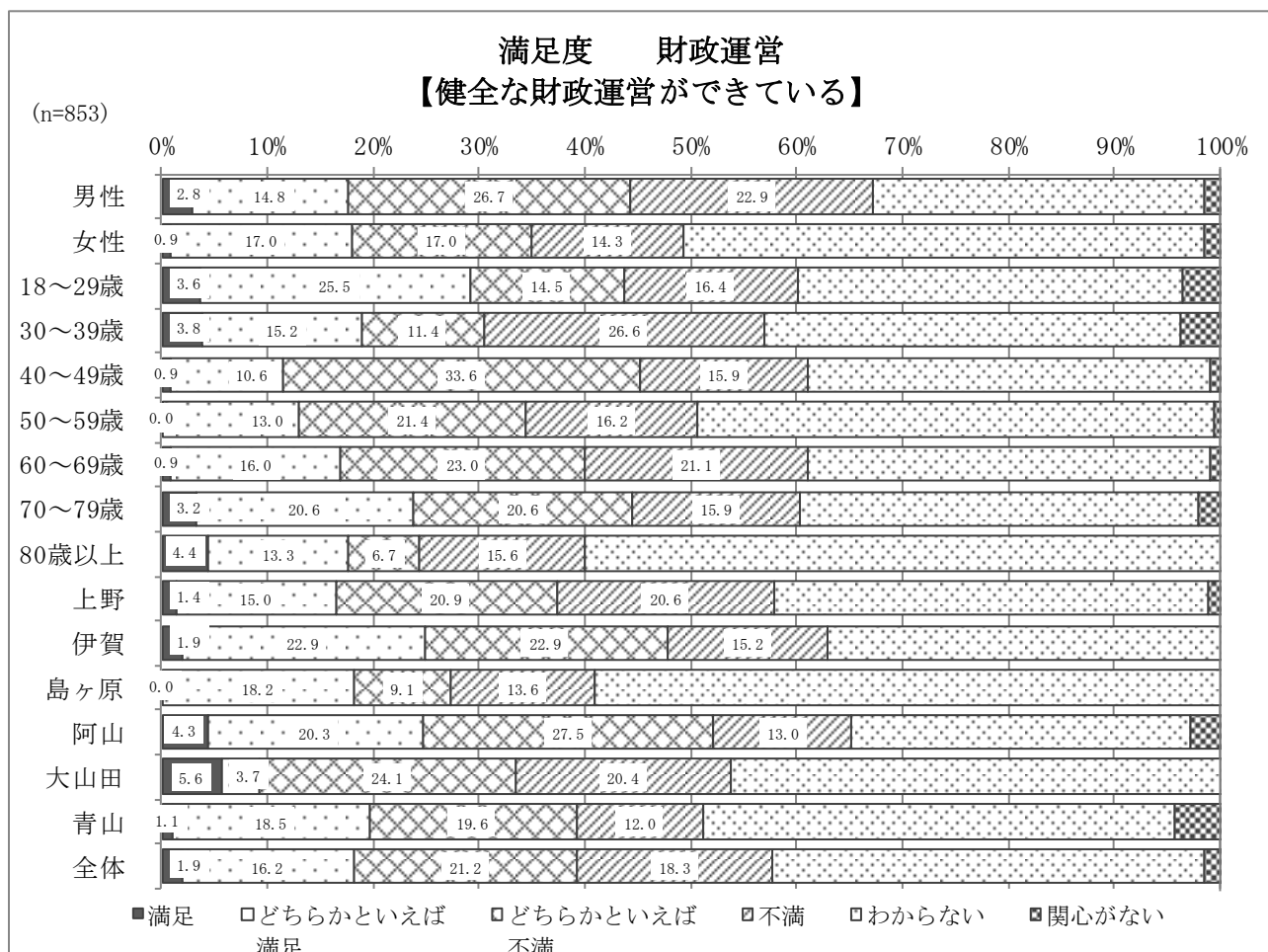
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『健全な財政運営ができています』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	15	1.6%	16	1.9%	1	0.3p
2. どちらかといえば満足	177	19.2%	138	16.2%	-39	-3.0p
3. どちらかといえば不満	363	39.4%	181	21.2%	-182	-18.2p
4. 不満	192	20.8%	156	18.3%	-36	-2.5p
5. わからない	30	3.3%	349	40.9%	319	37.6p
6. 関心がない	72	7.8%	13	1.5%	-59	-6.3p
7. 無回答	73	7.9%	(43)	—	(-30)	—
N値	922	100.0%	853	100.0%	-69	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『市の財政状況に関心を持っている。また、市の公共施設を大切に使っている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	77	8.4%	82	9.6%	5	1.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	347	37.6%	331	38.8%	-16	1.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	216	23.4%	204	23.9%	-12	0.5p
4. 当てはまらない	150	16.3%	160	18.8%	10	2.5p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	18	2.1%	14	1.7p
6. 関心がない	60	6.5%	57	6.7%	-3	0.2p
7. 無回答	68	7.4%	(44)	—	(-24)	—
N値	922	100.0%	852	100.0%	-70	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策44 「組織・人事」 市民の期待に応えられる組織・ひとづくり

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	22.3	20.0	-2.3	—	—
	(順位)	(35)	(38)	(-3)	—	—
市民参画度	%	18.5	17.3	-1.2	—	—
	(順位)	(43)	(44)	(-1)	—	—

今後の重要度	%	86.7	91.0	4.3	—	—
	(順位)	(24)	(23)	(1)	—	—

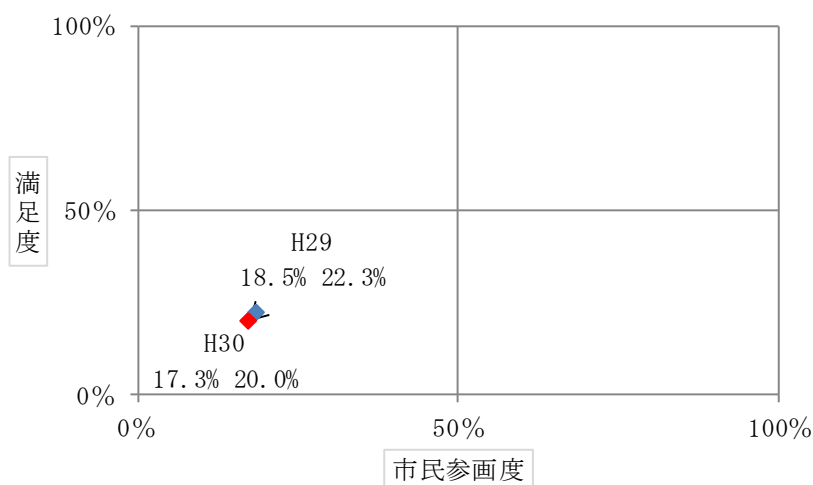
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

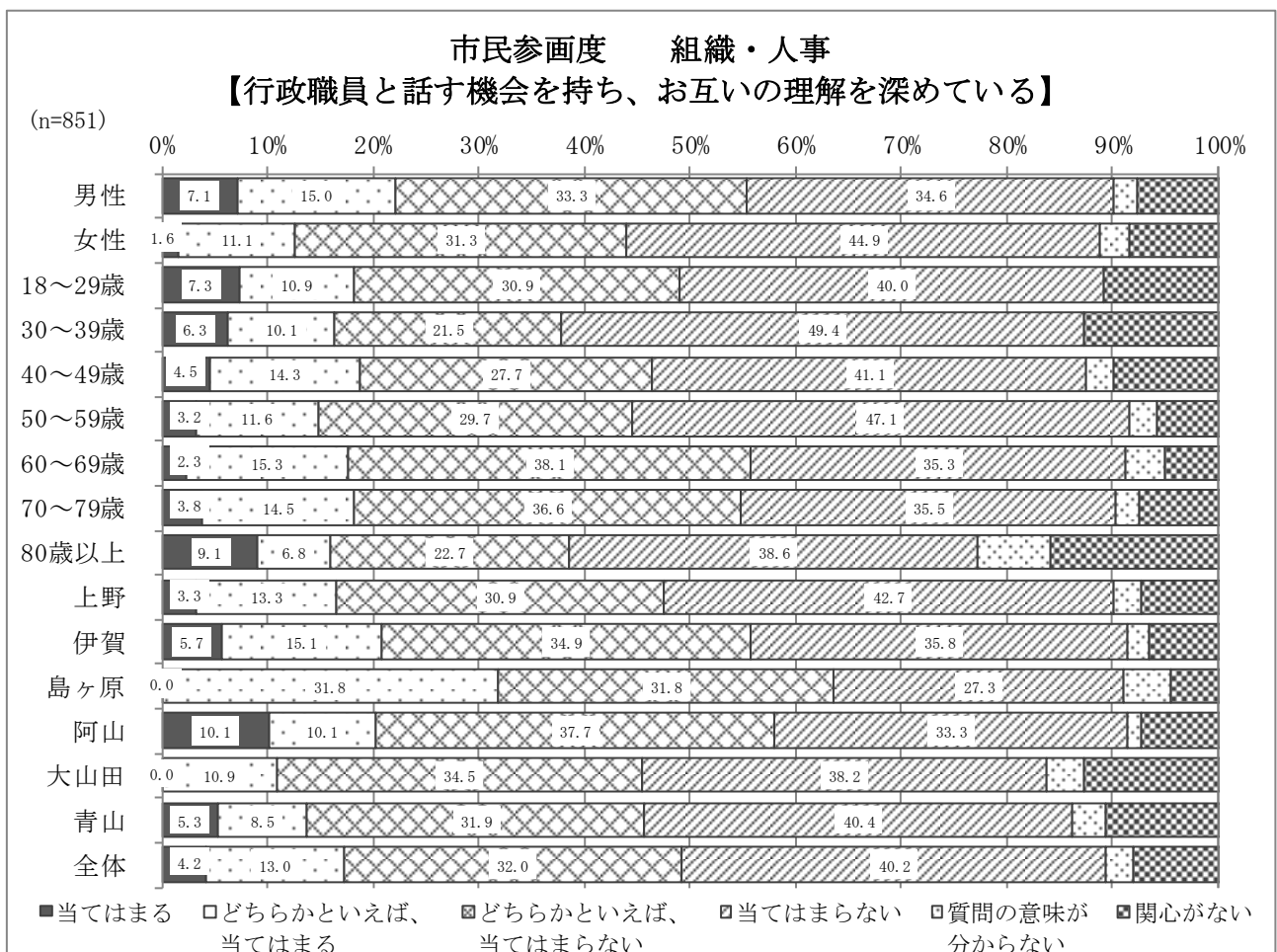
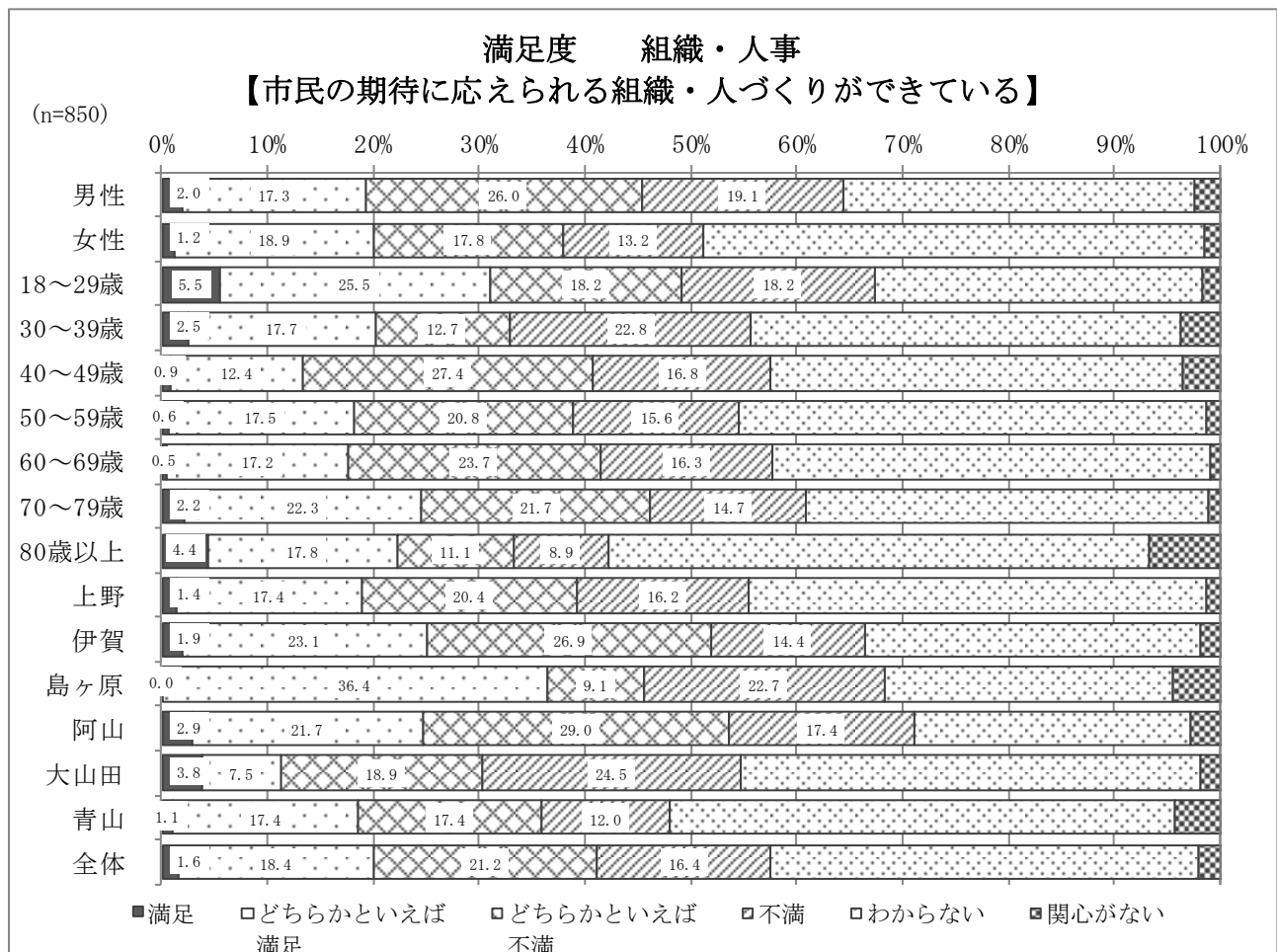
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『市民の期待に応えられる組織・人づくりができています』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	15	1.6%	14	1.6%	-1	0.0p
2. どちらかといえば満足	191	20.7%	156	18.4%	-35	-2.3p
3. どちらかといえば不満	357	38.7%	180	21.2%	-177	-17.5p
4. 不満	182	19.7%	139	16.4%	-43	-3.3p
5. わからない	32	3.5%	344	40.5%	312	37.0p
6. 関心がない	70	7.6%	17	2.0%	-53	-5.6p
7. 無回答	75	8.1%	(46)	—	(-29)	—
N値	922	100.0%	850	100.0%	-72	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『行政職員と話す機会を持ち、お互いの理解を深めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	25	2.7%	36	4.2%	11	1.5p
2. どちらかといえば、当てはまる	146	15.8%	111	13.0%	-35	-2.8p
3. どちらかといえば、当てはまらない	299	32.4%	272	32.0%	-27	-0.4p
4. 当てはまらない	303	32.9%	342	40.2%	39	7.3p
5. 質問の意味が分からない	5	0.5%	22	2.6%	17	2.1p
6. 関心がない	73	7.9%	68	8.0%	-5	0.1p
7. 無回答	71	7.7%	(45)	—	(-26)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策45 「広域連携」 圏域全体の活性化につながる広域的な連携

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	22.3	21.2	-1.1	—	—
	(順位)	(35)	(36)	(-1)	—	—
市民参画度	%	24.2	29.5	5.3	—	—
	(順位)	(39)	(35)	(4)	—	—

今後の重要度	%	82.0	84.8	2.8	—	—
	(順位)	(37)	(35)	(2)	—	—

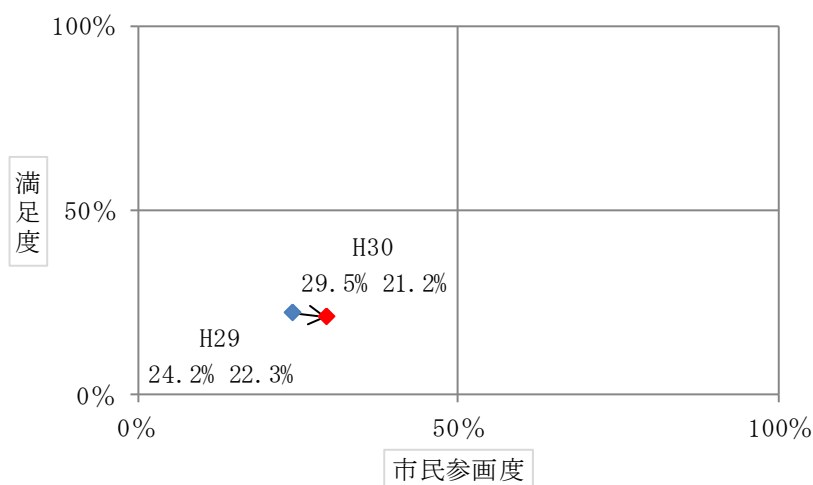
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

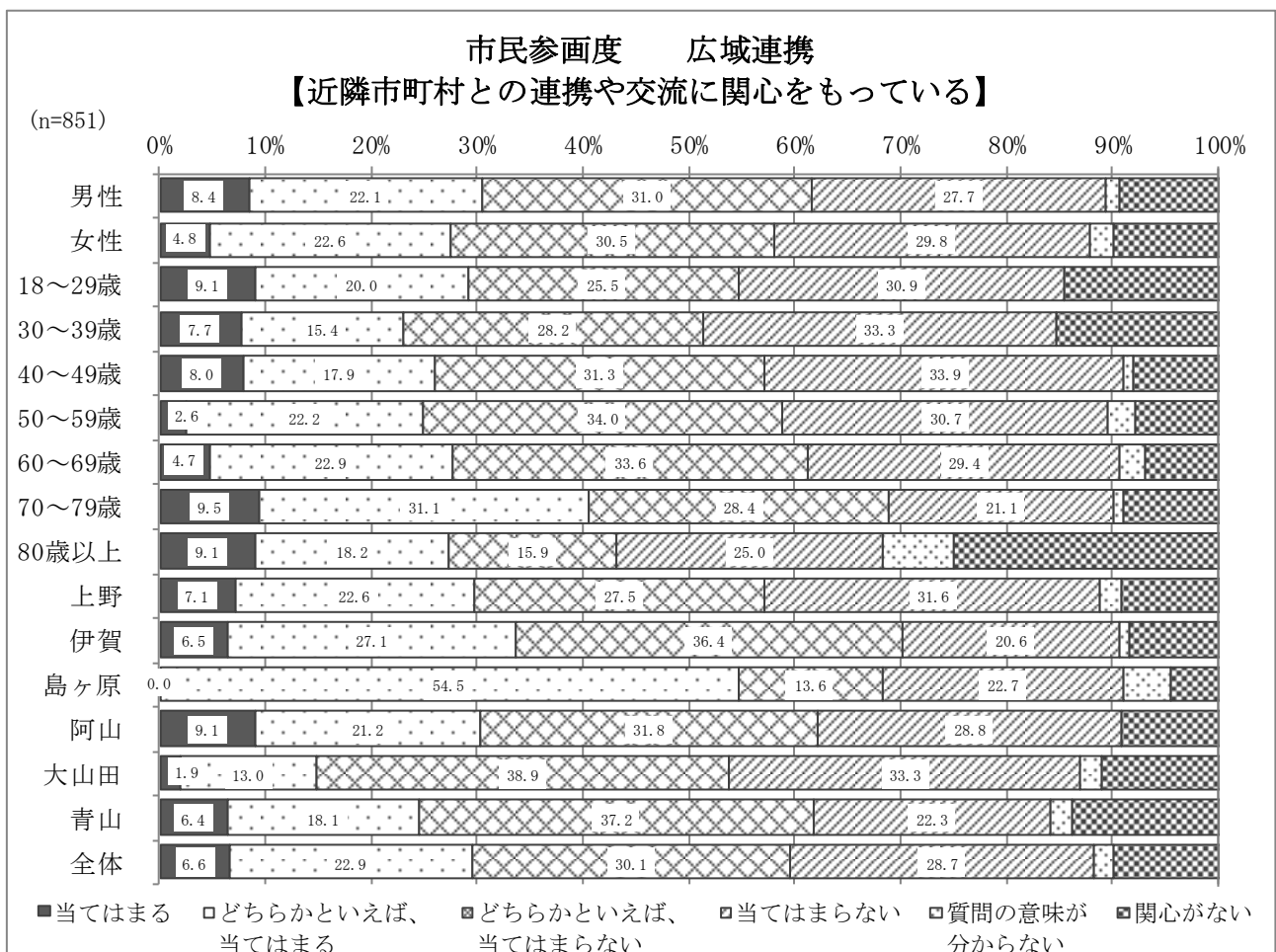
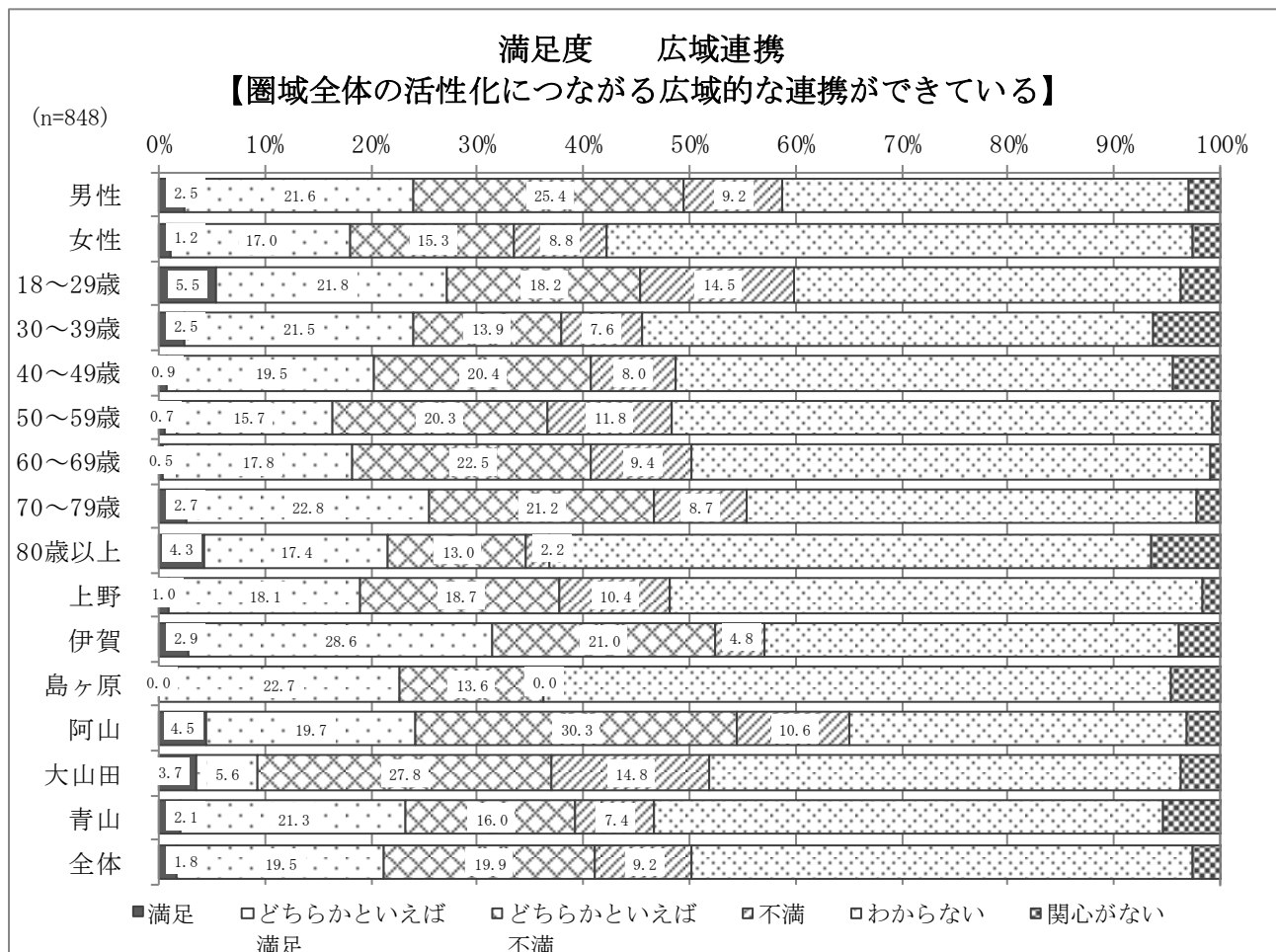
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『圏域全体の活性化につながる広域的な連携ができています』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	11	1.2%	15	1.8%	4	0.6p
2. どちらかといえば満足	195	21.1%	165	19.5%	-30	-1.6p
3. どちらかといえば不満	361	39.2%	169	19.9%	-192	-19.3p
4. 不満	152	16.5%	78	9.2%	-74	-7.3p
5. わからない	52	5.6%	399	47.1%	347	41.5p
6. 関心がない	73	7.9%	22	2.6%	-51	-5.3p
7. 無回答	78	8.5%	(48)	—	(-30)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『近隣市町村との連携や交流に関心を持っている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	41	4.4%	56	6.6%	15	2.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	182	19.7%	195	22.9%	13	3.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	304	33.0%	256	30.1%	-48	-2.9p
4. 当てはまらない	240	26.0%	244	28.7%	4	2.7p
5. 質問の意味が分からない	4	0.4%	16	1.9%	12	1.5p
6. 関心がない	76	8.2%	84	9.9%	8	1.7p
7. 無回答	75	8.1%	(45)	—	(-30)	—
N値	922	100.0%	851	100.0%	-71	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策46 「情報化」 情報化による効率的な行政運営の実現

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	24.1	22.8	-1.3	—	—
	(順位)	(34)	(34)	(0)	—	—
市民参画度	%	45.3	55.6	10.3	—	—
	(順位)	(19)	(14)	(5)	—	—

今後の重要度	%	82.8	86.7	3.9	—	—
	(順位)	(35)	(30)	(5)	—	—

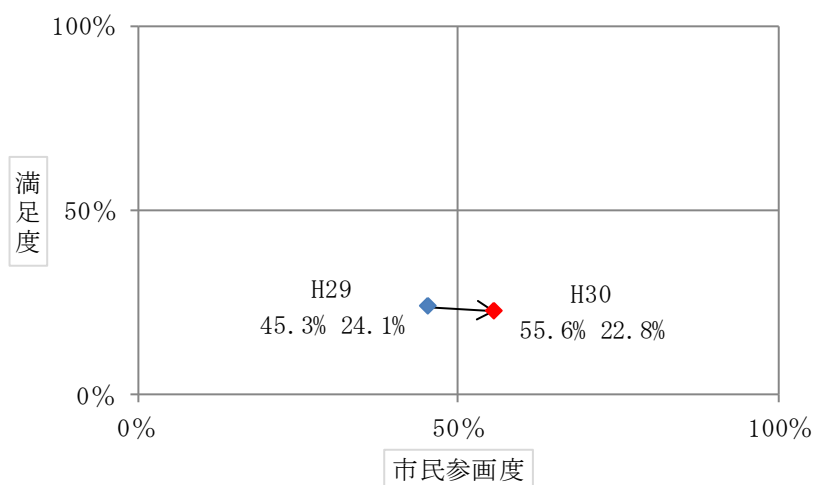
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

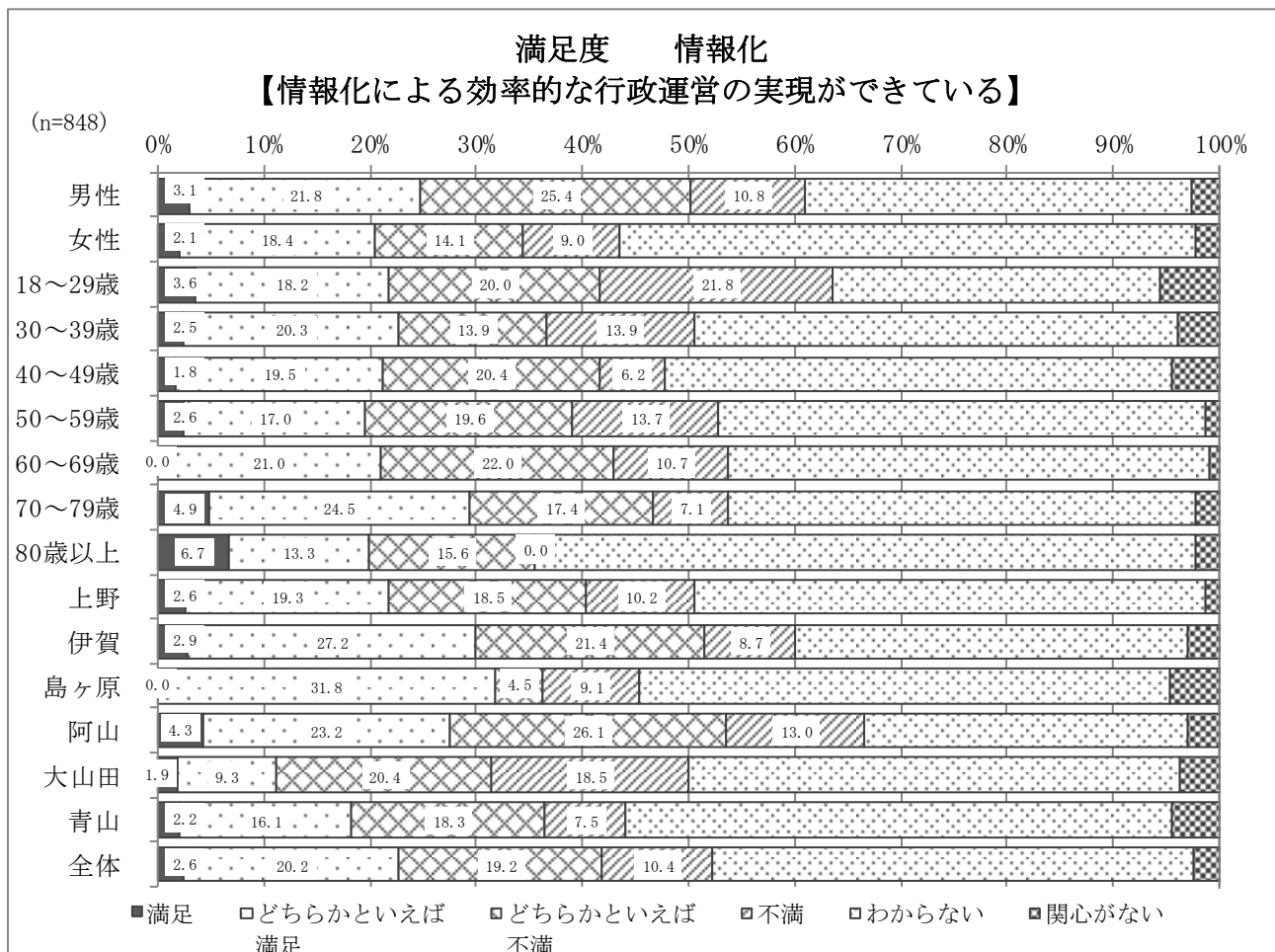
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『情報化による効率的な行政運営の実現ができている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	20	2.2%	22	2.6%	2	0.4p
2. どちらかといえば満足	202	21.9%	171	20.2%	-31	-1.7p
3. どちらかといえば不満	367	39.8%	163	19.2%	-204	-20.6p
4. 不満	133	14.4%	88	10.4%	-45	-4.0p
5. わからない	42	4.6%	384	45.3%	342	40.7p
6. 関心がない	80	8.7%	20	2.4%	-60	-6.3p
7. 無回答	78	8.5%	(48)	—	(-30)	—
N値	922	100.0%	848	100.0%	-74	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『マイナンバー制度への理解と活用に努めるとともに、自らの情報を自らが守るよう努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	105	11.4%	141	16.5%	36	5.1p
2. どちらかといえば、当てはまる	313	33.9%	335	39.1%	22	5.2p
3. どちらかといえば、当てはまらない	218	23.6%	168	19.6%	-50	-4.0p
4. 当てはまらない	156	16.9%	130	15.2%	-26	-1.7p
5. 質問の意味が分からない	12	1.3%	28	3.3%	16	2.0p
6. 関心がない	53	5.7%	54	6.3%	1	0.6p
7. 無回答	65	7.0%	(40)	—	(-25)	—
N値	922	100.0%	856	100.0%	-66	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



【計画の推進】

施策47 「進行管理、行政マネジメント」 PDCAサイクルによる計画推進ができています

		H29年度	H30年度	前年比	R1年度	R2年度
満足度	%	17.1	16.3	-0.8	—	—
	(順位)	(44)	(45)	(-1)	—	—
市民参画度	%	14.1	20.1	6.0	—	—
	(順位)	(44)	(43)	(1)	—	—

今後の重要度	%	79.1	85.6	6.5	—	—
	(順位)	(43)	(33)	(10)	—	—

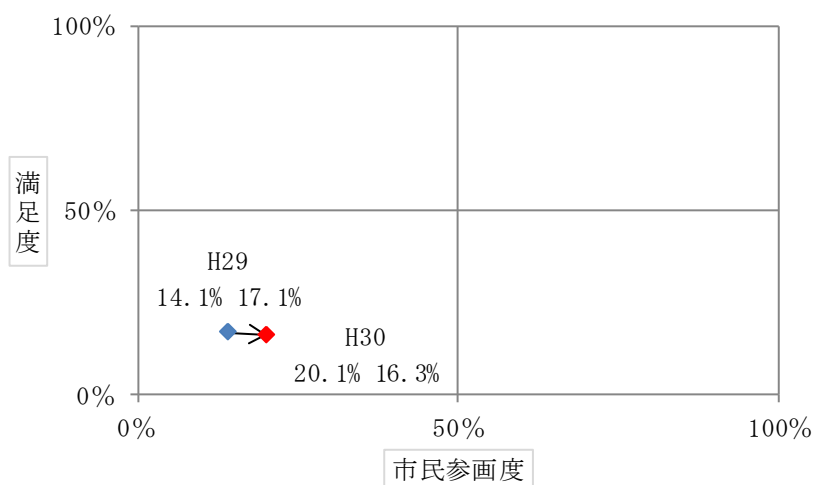
この施策に対する満足度・市民参画度、及び今後の重要度の一覧です。

()内は、全47施策中(市民参画度は、「産業立地」「雇用、就業」施策を除く45施策中)の順位です。

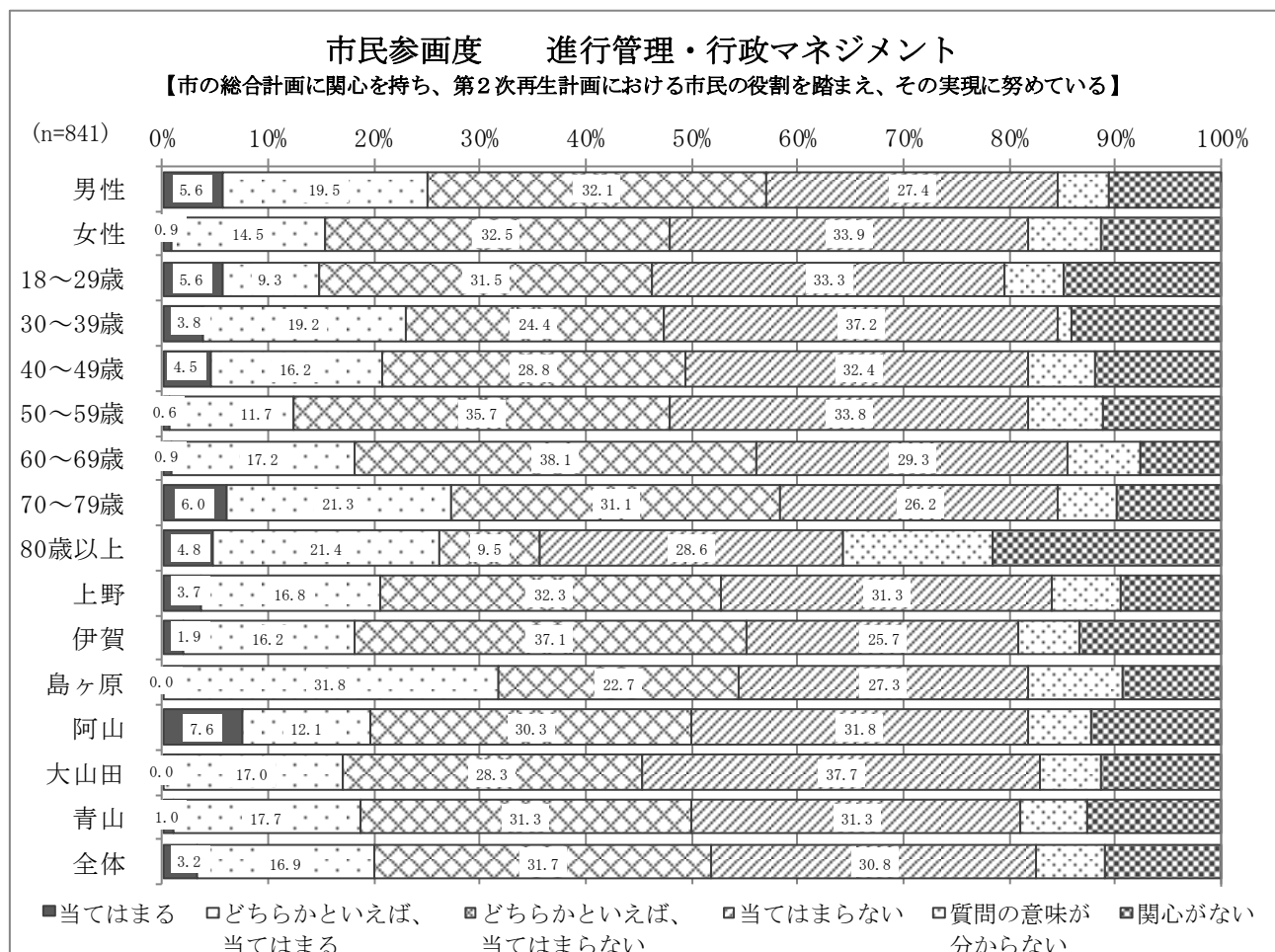
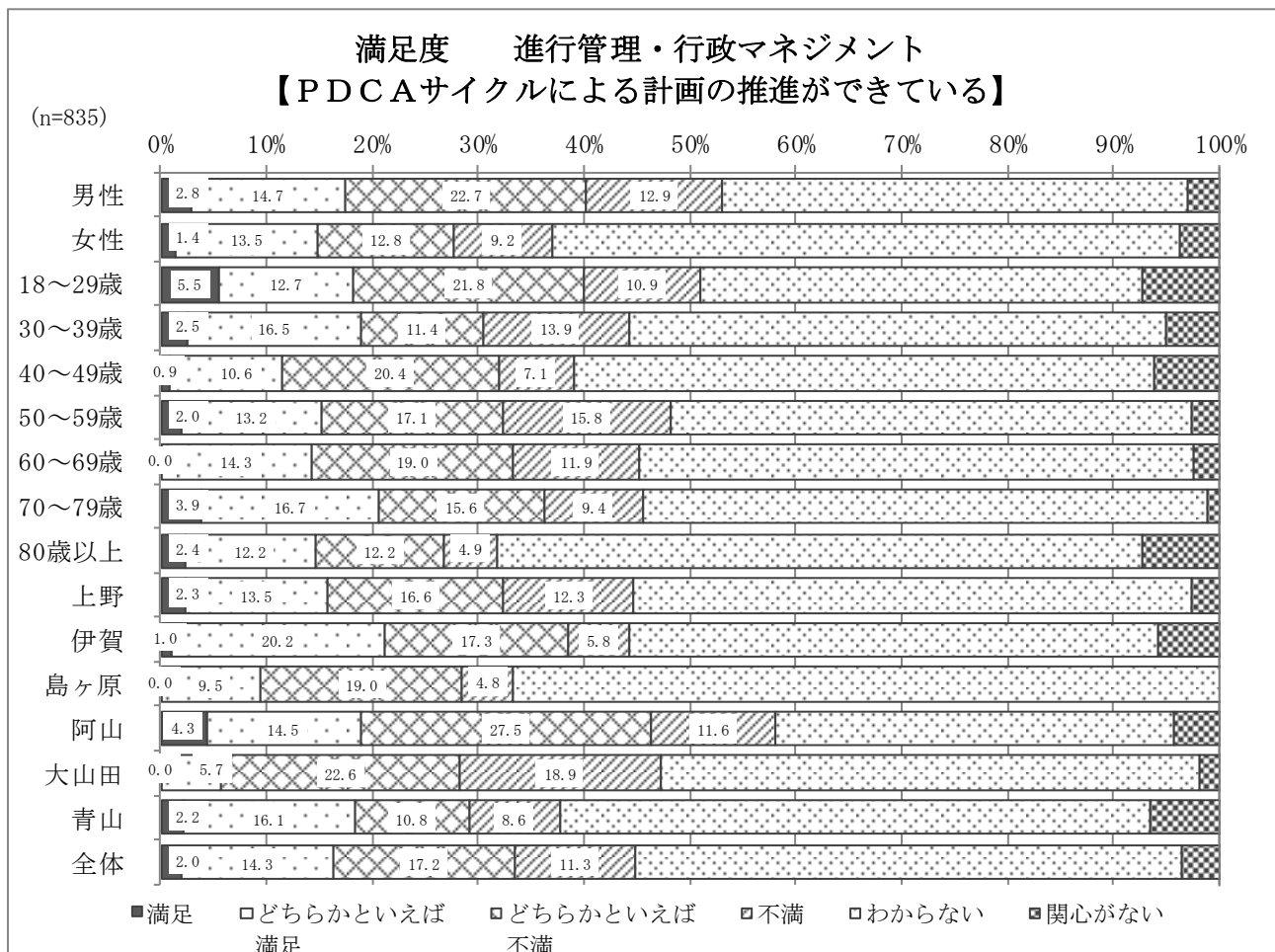
(アンケート結果)

満足度	H29年度		H30年度		前年比	
『PDCAサイクルによる計画の推進ができています』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 満足	14	1.5%	17	2.0%	3	0.5p
2. どちらかといえば満足	144	15.6%	119	14.3%	-25	-1.3p
3. どちらかといえば不満	326	35.4%	144	17.2%	-182	-18.2p
4. 不満	128	13.9%	94	11.3%	-34	-2.6p
5. わからない	109	11.8%	432	51.7%	323	39.9p
6. 関心がない	113	12.3%	29	3.5%	-84	-8.8p
7. 無回答	88	9.5%	(61)	—	(-27)	—
N値	922	100.0%	835	100.0%	-87	0.0p

市民参画度	H29年度		H30年度		前年比	
『市の総合計画に関心を持ち、第2次再生計画における市民の役割を踏まえ、その実現に努めている』	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 当てはまる	18	2.0%	27	3.2%	9	1.2p
2. どちらかといえば、当てはまる	112	12.1%	142	16.9%	30	4.8p
3. どちらかといえば、当てはまらない	332	36.0%	267	31.7%	-65	-4.3p
4. 当てはまらない	278	30.2%	259	30.8%	-19	0.6p
5. 質問の意味が分からない	24	2.6%	54	6.4%	30	3.8p
6. 関心がない	85	9.2%	92	10.9%	7	1.7p
7. 無回答	73	7.9%	(55)	—	(-18)	—
N値	922	100.0%	841	100.0%	-81	0.0p



- ・満足度については、「満足」「どちらかといえば満足」と回答された割合です。
- ・重要度については、「重要」「やや重要」と回答された割合です。
- ・市民参画度については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答された割合です。



伊賀市まちづくりアンケート

記述意見一覧

問1－5（伊賀市への転入の理由）

問1－7（就労・就学先「9. その他の市町」の具体的な就労就学先）

問2－1（第2次伊賀市総合計画を知ったところ）

問3－1（伊賀市に『住みたい』『できれば住みたい』理由）

問3－2（伊賀市から『移りたい』『できれば移りたい理由』）

問4－2（公共交通を利用する目的）

問5（公共交通の利便性を向上させるために、必要なこと）

問6（今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか）

※一部、不適切な回答については、掲載しておりません。

問1-5 伊賀市への転入の理由

番号	性別	年齢	住まい	転入理由	【参考】転入前住所
1	男	30～39歳	伊賀	転勤	神奈川県横浜市
2	女	40～49歳	上野	結婚	三重県四日市市
3	女	70～79歳	上野	両親の介護のため	三重県四日市市
4	女	80歳以上	大山田	静かな所	大阪
5	女	60～69歳	青山	家を建てたから	奈良県奈良市
6	女	50～59歳	青山	家を購入	三重県名張市
7	女	40～49歳	上野	結婚のため	三重県津市
8	女	50～59歳	伊賀	結婚	三重県津市
9	女	50～59歳	上野	結婚のため	三重県松阪市
10	女	50～59歳	青山	親と同居	千葉県船橋
11	女	70～79歳	上野	Uターン	大阪府枚方市
12	女	60～69歳	青山	再婚の為	三重県津市
13	女	60～69歳	上野	夫の転勤	神奈川県茅ヶ崎市
14	女	30～39歳	上野	仕事の都合により	—
15	男	60～69歳	大山田	転勤	三重県鈴鹿市
16	女	18～29歳	上野	家の新築	奈良県北葛城郡王寺町
17	男	40～49歳	大山田	親の仕事の都合による	大阪府東大阪市
18	女	60～69歳	青山	家を建てたから	大阪府枚方市
19	女	40～49歳	上野	結婚のため	奈良県奈良市
20	男	60～69歳	上野	仕事	奈良県北葛城郡王寺町
21	女	40～49歳	伊賀	結婚	京都府京都市
22	男	60～69歳	上野	結婚、転勤	京都府京都市
23	男	50～59歳	大山田	会社移転の為転勤	大阪府東大阪市
24	女	50～59歳	大山田	子どもと同居の為	三重県名張市
25	男	60～69歳	大山田	結婚	三重県津市
26	女	18～29歳	上野	会社の移転	大阪府富田林市
27	男	60～69歳	上野	職業	奈良県大和高田市
28	男	60～69歳	阿山	会社に近かったため	滋賀県甲賀市
29	女	60～69歳	上野	主人の定年を期に田舎暮らしの為	奈良道王寺町
30	男	60～69歳	島ヶ原	本籍地 帰郷	京都府木津町
31	女	60～69歳	青山	家を建てた	大阪府茨木市
32	女	60～69歳	青山	家購入の為	大阪府堺市
33	男	60～69歳	青山	家を新築	大阪府大阪市東住吉区
34	男	60～69歳	青山	家を建てて	大阪府松原市
35	男	70～79歳	上野	海拔が低いから	三重県三重郡川越町
36	女	60～69歳	青山	家購入したため	大阪府吹田市
37	女	50～59歳	伊賀	子供の進学と夫の転勤	宮城県仙台市
38	男	60～69歳	島ヶ原	広い家と田舎	大阪府大阪市
39	女	60～69歳	上野	新築住居の購入	大阪府大阪市

番号	性別	年齢	住まい	転入理由	【参考】転入前住所
40	男	70～79歳	上野	実家へ帰った	三重県名張市
41	女	50～59歳	上野	結婚	愛知県西尾市
42	女	60～69歳	青山	一戸建の家を建てた。住みたかった	大阪府八尾市
43	女	60～69歳	上野	住居の購入価格が安価な為	大阪府交野市
44	女	70～79歳	青山	結婚	三重県松阪市
45	女	80歳以上	上野	子供の就学	名張市
46	女	18～29歳	上野	仕事の為	広島県東広島市
47	男	60～69歳	上野	結婚の為	大阪府大阪市
48	女	30～39歳	上野	結婚	大阪府大阪市
49	女	50～59歳	青山	結婚し主人の実家へ	愛知県豊川市
50	女	40～49歳	上野	旦那の仕事の為	大阪府柏原市
51	男	40～49歳	上野	転職	静岡県三島市
52	女	50～59歳	上野	結婚	三重県四日市市
53	男	40～49歳	上野	職業の都合で	京都府京都市
54	女	50～59歳	青山	結婚	岩手県一関市
55	男	60～69歳	大山田	郷里の為	千葉県浦安市
56	女	40～49歳	上野	結婚	三重県津市
57	女	70～79歳	上野	定年退職して夫の故郷へ	愛知県名古屋市
58	女	70～79歳	上野	結婚	滋賀県日野町
59	男	30～39歳	—	転勤	滋賀県大津市
60	女	60～69歳	青山	結婚	三重県名張市
61	女	30～39歳	青山	親が家を買った為	兵庫県川西市
62	男	40～49歳	上野	仕事都合の為	青森県黒石市
63	女	70～79歳	阿山	仕事のため	京都府城陽市
64	女	70～79歳	上野	新築	大阪府高槻市
65	男	50～59歳	上野	勤務のため	広島県庄原市
66	男	40～49歳	阿山	転職のため	東京都大田区
67	男	70～79歳	伊賀	就職	滋賀県高島市
68	女	60～69歳	上野	父が高齢の為面倒を見てくれと頼まれたから	奈良県奈良市
69	男	60～69歳	青山	自宅購入（建築）	大阪府枚方市
70	女	60～69歳	大山田	家を買ったので	奈良県橿本町
71	男	70～79歳	大山田	実家へ戻った	愛知県名古屋市
72	男	30～39歳	上野	仕事	大阪府大東市
73	女	50～59歳	上野	結婚	大阪府岸和田市
74	女	70～79歳	青山	家を、新しく建てた	大阪府吹田市
75	男	60～69歳	青山	親が高齢の為	三重県名張市
76	女	60～69歳	青山	主人の会社から少しでも遠い	三重県名張市
77	男	70～79歳	上野	住宅新築	奈良県生駒郡斑鳩町
78	女	40～49歳	上野	結婚	大阪府大阪市
79	女	60～69歳	阿山	地元だったから	山口県萩市
80	男	40～49歳	上野	仕事の都合	滋賀県大津市
81	女	30～39歳	大山田	転勤	三重県松阪市

番号	性別	年齢	住まい	転入理由	【参考】転入前住所
82	女	50～59歳	大山田	結婚	愛知県豊田市
83	女	60～69歳	上野	田舎が良かった	三重県名張市
84	男	40～49歳	青山	仕事	島根県松江市
85	男	70～79歳	上野	仕事	三重県伊勢市
86	女	60～69歳	上野	実家にかえってきた	三重県四日市市
87	女	50～59歳	上野	就業	栃木県黒羽町
88	女	30～39歳	上野	結婚	三重県名張市
89	女	70～79歳	青山	新築の為	大阪市
90	女	70～79歳	伊賀	古民家にあこがれて	埼玉県さいたま市
91	男	70～79歳	青山	家屋の新築	大阪府堺市
92	女	30～39歳	青山	仕事のため	静岡県磐田市
93	男	70～79歳	上野	家を建てたので	奈良県
94	女	50～59歳	伊賀	住宅購入	奈良県奈良市
95	女	18～29歳	上野	就職の為	和歌山県紀の川市
96	女	60～69歳	大山田	転勤（夫）	京都府精華町
97	男	70～79歳	伊賀	娘夫婦の近くだから	兵庫県神戸市
98	女	50～59歳	青山	家を建てた為	大阪府東大阪市
99	女	70～79歳	伊賀	自宅購入	大阪府吹田市
100	男	40～49歳	上野	転勤	大阪府東大阪市
101	女	40～49歳	阿山	子供の学校	滋賀県甲賀市
102	女	50～59歳	上野	結婚	大阪府大阪市
103	男	40～49歳	上野	家を購入した為	三重県名張市
104	女	40～49歳	阿山	嫁いだ	三重県鈴鹿市
105	女	50～59歳	上野	就職	奈良県生駒郡三郷町
106	女	30～39歳	上野	転勤	滋賀県甲賀市
107	女	18～29歳	上野	親の帰省	兵庫県神戸市
108	男	70～79歳	上野	誕生地に帰省	大阪府八尾市
109	女	70～79歳	上野	子供がぜんそくで	大阪府和泉市
110	男	18～29歳	上野	帰郷	千葉県千葉市
111	男	60～69歳	上野	立退き	京都府相楽郡笠置町
112	女	50～59歳	上野	子供がうまれたのを機に	名張市
113	男	60～69歳	上野	上野市に住宅を購入した為	三重県四日市市
114	女	50～59歳	青山	家事都合	三重県鈴鹿市
115	男	70～79歳	青山	妻が1戸建家を希望した為土地を講入し家を新築	京都府八幡市
116	女	60～69歳	上野	主人転勤の為	大阪府八尾市
117	女	50～59歳	上野	転職	大阪府天王寺区
118	女	40～49歳	上野	結婚	三重県四日市市
119	女	70～79歳	上野	住みやすい	三重県名張市
120	女	40～49歳	上野	結婚の為	兵庫県神戸市
121	女	50～59歳	上野	転勤	大阪府富田林市
122	女	70～79歳	上野	主人の転勤	福岡県穂波町

番号	性別	年齢	住まい	転入理由	【参考】転入前住所
123	男	60～69歳	上野	就職のため	三重県志摩市
124	男	60～69歳	上野	就職からの帰郷	大阪府豊中市
125	女	80歳以上	上野	子の所	滋賀県近江八幡市
126	男	60～69歳	上野	転勤	栃木県矢板市
127	男	18～29歳	上野	学業の為	大阪府大阪市
128	女	80歳以上	阿山	結婚 昭和30年に	滋賀県甲賀町
129	男	70～79歳	青山	家を建てた為	大阪府茨木市
130	女	50～59歳	青山	父が脳梗塞のため	東京都武蔵野市
131	男	70～79歳	伊賀	工場新設	神奈川県横浜市
132	男	70～79歳	上野	転職	三重県四日市市
133	男	70～79歳	上野	仕事	三重県名張市
134	女	70～79歳	上野	店舗開店	大阪府泉大津市
135	男	50～59歳	上野	転勤	京都府宇治市
136	男	40～49歳	上野	仕事の都合	大阪府東大阪市
137	女	80歳以上	青山	住居を建てた	大阪府堺市
138	男	60～69歳	上野	母親のかいご	愛知県名古屋市
139	—	70～79歳	上野	転勤等	愛知県瀬戸
140	女	30～39歳	大山田	結婚	大阪府堺市
141	女	50～59歳	—	名古屋の自宅が白アリにくわれ住めなくなったため	愛知県名古屋市瑞穂区
142	女	60～69歳	上野	結婚	津市
143	女	60～69歳	青山	新居	大阪府阿倍野区
144	男	—	青山	結婚、仕事	奈良県山添村
145	女	60～69歳	上野	結婚	三重県津市
146	男	70～79歳	上野	就職	三重県津市
147	女	60～69歳	上野	結婚	静岡県静岡市
148	男	70～79歳	上野	新居購入	大阪府東大阪市
149	男	50～59歳	島ヶ原	海外赴任から帰国	—
150	男	50～59歳	青山	転勤のため	三重県志摩市
151	男	70～79歳	上野	転勤	愛知県常滑市
152	男	80歳以上	上野	家内の里	三重県
153	女	70～79歳	伊賀	結婚	滋賀県甲賀市
154	男	50～59歳	上野	転勤、結婚	愛知県名古屋市
155	男	70～79歳	伊賀	子供の近くに引越	愛知県名古屋市
156	女	60～69歳	上野	結婚	名張市
157	男	40～49歳	青山	転勤	東京都世田谷区
158	女	70～79歳	上野	生誕地に戻った	四日市市
159	男	50～59歳	大山田	妻の実家の両親とくらすため	三重県伊勢市
160	女	30～39歳	島ヶ原	親の実家	大阪府藤井寺市
161	男	30～39歳	上野	地元への転勤	三重県四日市市

問1-7 就労・就学先（「9. その他の市町」の具合的な就労・就学先）

番号	性別	年齢	住まい	「9. その他の市町」の具合的な就労・就学先
1	男	18～29歳	伊賀	滋賀県日野町
2	女	18～29歳	上野	兵庫県尼崎市
3	男	60～69歳	青山	大阪市
4	男	50～59歳	上野	鈴鹿市
5	男	50～59歳	青山	奈良市
6	女	18～29歳	青山	伊勢市
7	女	18～29歳	上野	奈良県奈良市
8	男	50～59歳	上野	大和郡山市
9	男	30～39歳	阿山	奈良県奈良市
10	男	60～69歳	上野	松阪市
11	女	60～69歳	上野	東京
12	男	60～69歳	青山	大阪府
13	女	60～69歳	青山	松阪市
14	女	18～29歳	伊賀	四日市市
15	男	18～29歳	大山田	大阪
16	男	60～69歳	島ヶ原	京都府亀岡市、大阪府守口市
17	男	18～29歳	上野	大阪
18	男	18～29歳	上野	愛知県名古屋市
19	女	60～69歳	阿山	奈良市
20	女	18～29歳	上野	東大阪市
21	女	60～69歳	青山	奈良県橿原市
22	女	30～39歳	上野	滋賀県栗東市
23	男	80歳以上	島ヶ原	大阪
24	男	60～69歳	大山田	愛知、岐阜周辺
25	男	60～69歳	阿山	滋賀県草津市
26	男	60～69歳	上野	奈良県
27	男	60～69歳	青山	大阪市内
28	女	30～39歳	青山	大阪市内
29	女	70～79歳	阿山	名古屋市
30	男	40～49歳	阿山	鈴鹿市
31	女	18～29歳	青山	奈良県奈良市富雄
32	女	30～39歳	上野	愛知県名古屋市
33	男	50～59歳	上野	奈良県橿原市
34	男	30～39歳	上野	東大阪
35	男	40～49歳	上野	奈良県、天理市
36	女	30～39歳	伊賀	滋賀県大津市
37	女	40～49歳	阿山	鈴鹿市
38	男	80歳以上	島ヶ原	奈良市他（関西圏全域）
39	男	50～59歳	大山田	京都府木津川市

番号	性別	年齢	住まい	「9. その他の市町」の具合的な就労・就学先
40	女	50～59歳	青山	鈴鹿市
41	男	18～29歳	上野	宮崎県宮崎市
42	男	60～69歳	上野	大阪市中央区
43	男	18～29歳	上野	大阪府大阪市淀川区
44	男	70～79歳	青山	大阪府中央区
45	女	18～29歳	上野	名古屋市
46	男	60～69歳	上野	奈良県橿原市
47	女	50～59歳	上野	奈良県奈良市上深川
48	女	60～69歳	伊賀	四日市
49	男	30～39歳	阿山	滋賀竜王町
50	男	50～59歳	島ヶ原	奈良市
51	男	50～59歳	島ヶ原	東京
52	男	50～59歳	上野	東京都中央区（本社に所属し全国転勤）
53	男	18～29歳	上野	大阪府茨木市
54	女	30～39歳	伊賀	鈴鹿市

問2-1 第2次伊賀市総合計画を知ったところ

番号	性別	年齢	住まい	10. その他（ ）
1	女	40～49歳	上野	子供が小学校よりもらってかえってきた
2	男	70～79歳	上野	何となく
3	女	70～79歳	上野	まったく知らない
4	女	50～59歳	阿山	どこで見たのか、覚えていない
5	男	50～59歳	大山田	覚えがないが、どこかで見た
6	男	30～39歳	上野	研修
7	男	30～39歳	上野	聞いたことがある（人から）

問3-1 伊賀市に『住み続けたい』『できれば住み続けたい』理由

番号	性別	年齢	住まい	13. その他（ ）
1	女	18～29歳	伊賀	ひっこしする理由ない
2	男	60～69歳	上野	先祖の土地を保持するため
3	男	60～69歳	上野	なし
4	男	60～69歳	伊賀	自宅がある為
5	男	18～29歳	上野	何もないから落ち着く
6	男	18～29歳	上野	将来も家族と近くで生活したいと考えるため
7	男	60～69歳	上野	他に行く所がない
8	男	50～59歳	伊賀	ケイフンのにおいがなければずっ～と住み続けたい
9	女	60～69歳	上野	家があるから
10	男	70～79歳	阿山	先祖代々住み続けている。ひ孫も生れ8人同郷している
11	男	40～49歳	阿山	田舎の暮らしが性に合っているから
12	男	60～69歳	青山	どこへも行きようがない
13	女	60～69歳	上野	そういう宿命だから
14	男	70～79歳	上野	持家で年金生活
15	女	50～59歳	伊賀	他に住む所がないから
16	男	80歳以上	島ヶ原	ふる里
17	男	50～59歳	上野	地理的立地が優位
18	女	60～69歳	上野	この年で転出したいと思いますか？
19	男	70～79歳	青山	今更、移住する所がないから
20	女	70～79歳	上野	友人が多くいろんな事に協力してくれる
21	女	70～79歳	上野	田畑等の不動産を、出来る限り守って行く為
22	男	70～79歳	上野	お墓建立した為
23	男	50～59歳	上野	持家のため、他所に移る考えはない
24	女	60～69歳	伊賀	先祖から住んでいる場所だから

問3-2 伊賀市から『移りたい』『できれば移りたい』理由

番号	性別	年齢	住まい	13. その他（ ）
1	女	18～29歳	上野	町が小さいから
2	男	40～49歳	上野	老後の時点で好きなところへ行く。伊賀かもしれないが
3	男	70～79歳	上野	臭い ゴミ村
4	女	50～59歳	青山	車の運転ができなくなったら色々不便になるので大阪の方へ移りたいと考えてる
5	女	60～69歳	上野	老後が心配
6	女	18～29歳	青山	1回は市をでて生活したい
7	女	18～29歳	上野	親と一緒に住みたくないから
8	女	30～39歳	伊賀	自治会の役など大変、会費も高い
9	男	60～69歳	青山	自分の夢のため
10	女	70～79歳	伊賀	地域の行事、つき合い等強制に近い状況だから

問4-2 公共交通を利用する目的

番号	性別	年齢	住まい	公共交通を利用する目的
1	男	30～39歳	伊賀	旅行
2	男	40～49歳	上野	出張
3	男	60～69歳	上野	余暇や娯楽を楽しむ場
4	男	50～59歳	上野	仕事
5	男	60～69歳	青山	今のところ不自由なし
6	女	50～59歳	青山	レジャー
7	女	30～39歳	伊賀	子どもの体験に
8	女	50～59歳	上野	ただの移動手段
9	女	70～79歳	上野	四十九駅の確認
10	女	60～69歳	伊賀	旅行
11	女	60～69歳	上野	友人と会うため
12	男	50～59歳	上野	他地域への移動
13	女	30～39歳	上野	免許返納後の最終手段として
14	男	50～59歳	青山	降雪時、飲酒時
15	—	60～69歳	上野	都市部への移動
16	女	60～69歳	阿山	私用
17	女	40～49歳	伊賀	出張
18	男	50～59歳	大山田	出張
19	男	30～39歳	上野	ギャラリー列車
20	女	50～59歳	上野	車の運転が出来る間は乗る予定なし
21	女	50～59歳	上野	遊び 孫を乗車体験させたい
22	男	30～39歳	上野	出張
23	男	18～29歳	上野	遊び
24	男	70～79歳	青山	視察
25	男	60～69歳	島ヶ原	仕事
26	男	60～69歳	上野	子ども（まご）のおもり
27	女	60～69歳	上野	タクシーを使う
28	—	50～59歳	上野	旅行の為の交通手段として
29	女	60～69歳	青山	用事で外出時
30	男	18～29歳	伊賀	レジャー
31	女	50～59歳	青山	旅行
32	男	60～69歳	青山	他府県へ用事で
33	女	30～39歳	上野	イベント
34	女	60～69歳	上野	飲食
35	女	50～59歳	上野	レジャー
36	女	30～39歳	上野	知人に会う為
37	女	40～49歳	阿山	出張
38	男	50～59歳	上野	自家用車に乗れない時
39	女	30～39歳	上野	帰省

番号	性別	年齢	住まい	公共交通を利用する目的
40	男	40～49歳	上野	レジャー
41	男	40～49歳	上野	出張など
42	男	60～69歳	大山田	移動
43	女	70～79歳	上野	友人宅へ。会議。納税相談会
44	女	70～79歳	青山	遠くの友人・知人に用件があり逢うため
45	女	60～69歳	上野	観劇・観光
46	男	60～69歳	上野	研修等
47	女	70～79歳	伊賀	イベント等の時
48	女	50～59歳	青山	友人に会う為
49	女	60～69歳	上野	他県へ行く為
50	女	30～39歳	上野	子どもの作品がかざってあった為
51	女	60～69歳	青山	3と2の両方
52	男	50～59歳	上野	会社の酒席
53	女	60～69歳	—	車でないので
54	女	40～49歳	上野	帰省
55	男	30～39歳	上野	上野祭 楽市楽座
56	男	40～49歳	上野	祭りの時子供と
57	女	40～49歳	阿山	法事
58	男	40～49歳	青山	出張
59	女	30～39歳	上野	子どもがのりものに興味が出て体験的意味で
60	男	70～79歳	上野	飲み会
61	女	18～29歳	上野	高速バス以外は利用しない。車ですべて移動するため
62	男	70～79歳	上野	県外出張時。旅行
63	女	50～59歳	伊賀	車を手放した時
64	男	50～59歳	上野	旅行
65	女	70～79歳	上野	孫とバスに乗車
66	女	30～39歳	上野	食事にお酒を飲む
67	男	30～39歳	上野	あそび
68	男	50～59歳	伊賀	出張
69	男	60～69歳	島ヶ原	旅行、OB会
70	女	30～39歳	上野	子供が時々のと喜びから
71	男	60～69歳	上野	出張
72	男	18～29歳	上野	出張
73	男	50～59歳	上野	旅行
74	女	40～49歳	上野	飲み会
75	女	60～69歳	上野	飲食
76	女	30～39歳	上野	出掛ける
77	男	18～29歳	上野	雪の時など
78	女	40～49歳	上野	大阪方面へ遊びに行くとき
79	女	40～49歳	上野	帰省時、外出旅行
80	女	40～49歳	上野	遊びに行く
81	男	60～69歳	上野	移動する時

番号	性別	年齢	住まい	公共交通を利用する目的
82	男	60～69歳	上野	関西の美術館めぐり
83	男	70～79歳	上野	アルバイト
84	女	70～79歳	上野	医師の指示で車を運転できなかった
85	男	60～69歳	上野	車の利用ができない場合
86	男	50～59歳	上野	特別な期会
87	男	50～59歳	阿山	津や大阪方面に用事で行くとき
88	男	70～79歳	上野	大阪で友人と会う
89	男	60～69歳	伊賀	旅行
90	女	30～39歳	伊賀	ライブ鑑賞・買物
91	女	60～69歳	上野	旅行
92	女	80歳以上	上野	病院
93	男	70～79歳	伊賀	出張
94	女	50～59歳	上野	観光
95	男	70～79歳	上野	里帰り、旅行等
96	女	40～49歳	上野	レジャー
97	女	50～59歳	大山田	大阪に行く為
98	女	60～69歳	青山	旅行
99	男	60～69歳	青山	旅行
100	男	50～59歳	青山	旅行
101	女	70～79歳	阿山	公共交通が通ってないので不便
102	男	70～79歳	上野	趣味で遠方へ出かける
103	女	70～79歳	伊賀	旅行（関西線）
104	男	60～69歳	伊賀	旅行等
105	女	18～29歳	上野	県外へ出かけるため
106	男	40～49歳	上野	出張
107	女	40～49歳	阿山	資格試験講習の為
108	女	40～49歳	上野	子供とのレジャー
109	女	50～59歳	上野	必要時
110	男	70～79歳	上野	公共交通が無い
111	男	30～39歳	—	旅行
112	男	40～49歳	上野	旅行
113	女	40～49歳	阿山	旅行
114	男	30～39歳	上野	研修、会議
115	男	40～49歳	上野	出張
116	男	30～39歳	上野	飲み会のため

問5 公共交通の利便性を向上させるために、必要なこと

番号	性別	年齢	住まい	公共交通の利便性を向上させるために、必要なこと
1	男	18～29歳	伊賀	関西本線の電化と草津線の複線化
2	女	50～59歳	上野	1～5全て!!
3	女	40～49歳	上野	にぎわいフェスタ、天神まつり時バスの本数ふやしてほしい
4	男	60～69歳	大山田	デマンド型
5	男	50～59歳	青山	バスの終了時間が遅いとうれしい
6	男	50～59歳	上野	病院（個人病院を含む）・買物のバス経路（専用）への変更
7	男	40～49歳	上野	対象をしぼる（対観光 対市民等）
8	男	70～79歳	上野	コミュニティバス
9	男	40～49歳	上野	直通便がほしい
10	男	60～69歳	上野	タクシーを安くする。公共タクシーを作る
11	女	60～69歳	青山	駅に最低限スロープは必要（車イスや、ベビーが通れるようにしてほしい）
12	男	60～69歳	伊賀	利用したい時に携帯で連絡すれば利用できるようにしてほしい
13	男	60～69歳	青山	24時までバスを運行
14	男	18～29歳	大山田	ルート
15	女	60～69歳	上野	夜の時間帯の運行を増やす 特にバス
16	男	70～79歳	上野	わからない
17	男	30～39歳	上野	店が離れているので、なん回も乗るのがめんどろ
18	男	60～69歳	上野	利便性が向上されたら、どうなるの？
19	女	60～69歳	上野	ここを通過して欲しい、利用したい人の希望場所を聞いて欲しい。空で走るより・・・
20	女	70～79歳	伊賀	行政バスとの連携がなく、空バスになっている
21	女	40～49歳	上野	公務員が利用する
22	男	50～59歳	青山	ウェルキャブ仕様の増加
23	女	70～79歳	上野	三重交通のみ
24	男	70～79歳	上野	駅にトイレを設置
25	男	40～49歳	阿山	無人の便を減らす工夫
26	女	40～49歳	上野	近鉄大阪線の駅がないのが不便
27	女	70～79歳	伊賀	土、日、祭日の運行も望む
28	男	70～79歳	上野	運行時間が短い
29	女	40～49歳	阿山	バスの乗り降りが心配なく出来る事
30	男	50～59歳	伊賀	柘植ー伊賀上野の複線電化！！
31	男	80歳以上	島ヶ原	バス停から病院等へのアクセス
32	女	60～69歳	上野	芭蕉ハイツは山の上。バス停から坂を登るのは大変
33	女	70～79歳	上野	バス等は行き先に行く路順ははっきり わかる様に
34	男	60～69歳	上野	家の前でのりおり
35	女	70～79歳	上野	駅の駐車場を増やす
36	男	18～29歳	上野	バス停の場所をしっかりとって欲しい
37	女	50～59歳	上野	過疎地でも運行できるしくみを考えてほしい

番号	性別	年齢	住まい	公共交通の利便性を向上させるために、必要なこと
38	女	30～39歳	伊賀	名古屋駅から伊賀神戸駅に帰ってくる時に、終電が早くて帰る時間に間に合わない事態を避ける為、津駅まで車で行って、津駅の駐車場に車を停めて名古屋に行くことがあるので、出来れば名古屋から伊賀神戸への終電を土日だけでも遅い時間の便を増やして頂けると有難いです
39	—	70～79歳	上野	路線の変更（しらすぎ号など一考してほしい）
40	女	50～59歳	阿山	必要とする所（場所）へ行ってくれる
41	女	60～69歳	上野	道幅が狭いから小さくてびっくりする乗り物がよい
42	男	18～29歳	上野	自動運転バスを導入する
43	女	60～69歳	青山	特になし
44	男	70～79歳	伊賀	ほとんどが車なので、バス停がわかりにくい
45	女	40～49歳	青山	運行時間の見直しをして利用が多い時間帯に設定する
46	男	40～49歳	青山	カードの導入
47	男	70～79歳	上野	公共交通が無いのでバスを通してほしい
48	男	30～39歳	上野	オンデマンド方式の導入
49	男	40～49歳	上野	ゆめが丘に駅がほしい

問6 今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか

番号	性別	年齢	住まい	今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか
1	女	40～49歳	阿山	ムダのないように考える。例えば、今のままのバスでは大きく、のり手もないのにムダ。からで走ってる方が多いように感じる。バスを小型にして金額を返納者は半額にするなど、サービスも必要
2	女	80歳以上	大山田	商業、病院、地域が工夫すること
3	男	70～79歳	阿山	県道だけではなく市道にも多く
4	男	18～29歳	伊賀	旧上野市外の地域の公共交通がとくに手薄な気がするので市民全員にメリットがあるなら負担を増やしてもよいと思う
5	女	50～59歳	上野	市民の負担増やさず、取り組むべきです
6	女	70～79歳	上野	コミュニティバスの充実
7	男	70～79歳	青山	業者依頼は？
8	女	60～69歳	伊賀	若い者との同居
9	女	60～69歳	上野	利用増につながる施策を一生懸命考えて収益改善をめざす
10	女	50～59歳	上野	路線増やす
11	女	30～39歳	上野	全域でというよりは地域ごとに福祉サービスなどで対応してほしい 大きなバスの運行ではなくて良いと思う
12	男	60～69歳	大山田	ボランティアによる送迎
13	男	50～59歳	青山	地域性もあるので意見を聞いて方針を決定する
14	男	40～49歳	大山田	利用者の負担を減らす事を考えて下さい
15	男	50～59歳	上野	乗車率の低い運用をなくし、乗車率の高い運用区間で運用する
16	女	50～59歳	上野	市民、利用者の負担はふやさず、公共を取りくむべき
17	男	50～59歳	大山田	コミュニティ自動車の活用
18	男	70～79歳	上野	免許返納者に対する対価として、その対象者には、充分の助成が必要。自治体では、既に取り組みが進んでいる。当市は、農村部を多く抱えて、高齢者が免許返上する環境になっていないが、その他の者が返上しても何も個人に対してメリットが少ないので、その状況が増大しないのではないかな。一考を要する!!
19	男	60～69歳	大山田	行政のムダを除いて取り組む
20	男	30～39歳	阿山	時々に応じた適切な対応。利用の少ない地域はタクシーのように予約して利用できることも大切
21	女	50～59歳	阿山	利用者の負担を増やさず、公共交通の便を利用しやすいように考えてほしい
22	女	50～59歳	上野	地域ごとのコミュニティバスをきめ細かくし本数を増やす
23	女	50～59歳	上野	簡単には選べない。公共交通をどれだけ利用するのか疑問
24	女	60～69歳	上野	変なところに税金を（日本一高いトイレ？）使わず、こういったところに税金を使うべき
25	男	40～49歳	上野	ウーバーのような乗り合いが市内でできないか？
26	男	60～69歳	上野	市の財政ですべき
27	男	60～69歳	上野	本当に必要な方にのみ必要なサービスを提供する
28	女	60～69歳	上野	自己負担もありではないでしょうか
29	男	50～59歳	上野	新しい発想による公共交通のあり方を考えるべき
30	女	50～59歳	青山	コミュニティバスの増加
31	男	60～69歳	青山	民間に協力してもらう 市がしなければと思わず法的に無理が有るなど決めつけないで
32	女	50～59歳	伊賀	一定年令以上の方は、免許の更新を1年ごとにして、運転適応者かどうかを見ていく。料金は補助する

番号	性別	年齢	住まい	今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか
33	女	30～39歳	上野	何にお金をかけるべきかもっと考える必要があると思う
34	男	50～59歳	上野	コミュニティーバスを増やす
35	男	40～49歳	上野	他の税金のムダ使いを減らして取り組み
36	男	50～59歳	上野	高齢者の活用
37	男	40～49歳	上野	富山市で行っているライトレール化等考えてみる必要がある
38	男	60～69歳	上野	個々に対応できるシステムを考えるべき
39	女	30～39歳	阿山	利用者のニーズに合わせ現状を見直す
40	男	70～79歳	阿山	現在公共交通大きなバスで1～2人しか乗っていない。0人の時もある。効率よく、市、利用者の負担軽く効率よくすべき、と思います
41	女	70～79歳	青山	免許返納になると長男の家に住みます
42	女	60～69歳	伊賀	高齢者の移動を助けてくれる人たちをふやす。公共サービスに力を入れる
43	女	60～69歳	上野	介護タクシーを利用したい
44	女	60～69歳	上野	普通ワゴン車に下げ、病院とイオン行ぐらいい
45	女	50～59歳	上野	市民・市の負担を増やさず取り組める方法を考えていくべき
46	男	70～79歳	大山田	免許が無いと生活出来ない。都会へ行くしかない
47	男	30～39歳	上野	どうにかして、負担を減らすべき。少ない年金でお年寄りにお金をもらわずに済む様に
48	男	60～69歳	青山	税使用の見直し（無汰、公務金）等
49	女	40～49歳	上野	公務員がまず利用するべき
50	女	50～59歳	上野	タクシーチケット等の配布
51	女	60～69歳	—	車がなければ病院や買物にも行けない
52	男	60～69歳	上野	年間3万円ぐらいの乗物チケットをくばる（免許返納者に）
53	女	70～79歳	上野	他府県の様に、マイクロバスの様に小さめの車を利用してもらい、アンケートを取った上で回数（平日）を多くしてはどうかと思います
54	男	40～49歳	青山	無駄な公共事業を全廃
55	男	60～69歳	上野	バスをもっと小さくする
56	女	18～29歳	上野	バスや電車を最近利用していないので分かりませんが、まだ多くの高齢者が利用したいと考えているなら運賃は増やさず継続すべきだと思います
57	男	70～79歳	上野	市民の運賃を安く（乗りホウダイ1日200円等。）市民の福利厚生として！（足として）
58	女	70～79歳	伊賀	1が望ましいが、仕方なし
59	男	70～79歳	上野	市民の負担をかけずに取り組むべき
60	男	70～79歳	伊賀	利用者のニーズを聴き空きバスがない様、コース、時間帯を考え運行する
61	女	50～59歳	青山	市・関係機関・利用者で取り組む
62	女	40～49歳	阿山	本当に利用者が利用しやすいバス、利用のしやすい時間帯にバスが出ているか？考えてから今後の進める方向を考えてほしいです
63	男	50～59歳	伊賀	市長、市議、市職員の俸給を減らしてでも公共交通網を拡充すべし！！増税はダメ！！

番号	性別	年齢	住まい	今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか
64	女	30～39歳	上野	市の負担を増やして取り組むべき。むだに税金を使っているところがあるので、必要な所にまわすべき。税金を払っていない人は、本当に払えない人ばかりでしょうか
65	女	30～39歳	青山	便利が良い場所は本数を減らし、バスが通らない地区にはコミニティーバスなどの運用
66	女	60～69歳	上野	コミニティーバスを走らせてほしい。高齢者に優しく
67	男	18～29歳	上野	複数の会社に役割を分担させる
68	女	40～49歳	上野	高齢者の意向を聞くべきかと思う。公共交通機関だと乗る場所まで自宅からどうやって行くのか？という問題も出てくると思うので、本当に利用を希望する人がどれぐらいいるのかを把握すべきだと思います
69	女	40～49歳	上野	車両を少人数用、小型化にして維持する
70	男	18～29歳	青山	道路や公共交通をもっと整備し、自然に対する予算を減らす。現状、公園なども利用者が減る中、そのような施設に予算を回すのではなく、荒れた道路や公共交通に回し、「住みやすい地」にしてもらいたい。大村神社から中学校までの道をきれいに
71	男	18～29歳	上野	有意義に使うなら②です。なぜ、忍者ばかりにお金を使うのですか？
72	女	70～79歳	上野	車を小さくしてでも回数をふやす。昼間の時間数が少ないから行き帰りともは乗る事が出来ない
73	男	40～49歳	上野	しらすぎの運行を減らし、三交のバスの運行本数増やす
74	男	70～79歳	上野	交通だけではないが対象人員の増加策を進めるべき
75	女	18～29歳	上野	無駄使いをするな
76	女	50～59歳	上野	市民（特に交通弱者）に負担を求めるより、市や、市に進出している企業から協力してもらう形にはできないか
77	女	50～59歳	阿山	高齢化が進んでいる事がわかっているのですしたらどこに予算を、おくか
78	女	50～59歳	伊賀	京都市のようにバスを老人に充実させる フリー停留所など。（料金は負担させるべき）
79	男	18～29歳	上野	IT、IoTを積極的に利用し、維持費の削減に取り組む
80	男	50～59歳	上野	軽自動車税を増税し、公共交通維持費に充てる
81	女	30～39歳	上野	白タク
82	男	60～69歳	上野	負担を増やさず公共交通を維持して下さい
83	男	70～79歳	上野	伊賀鉄道車両をへらすべき又バスに代えるべき
84	男	70～79歳	青山	自動運転車の導入等考慮するべし（人件費の削減）
85	男	50～59歳	島ヶ原	ボランティアを活用する
86	女	70～79歳	伊賀	問5、6の課題は大変むづかしく思います
87	男	60～69歳	伊賀	利便性を保障すべきであるが利用者負担増は疑問。公共サービスとして充実させるべき
88	男	50～59歳	伊賀	乗り合い（バス・タクシー・ボランティア）制度みたいのを作ってみればいいのか
89	女	70～79歳	伊賀	予約制とか当日予約とか、合乗り予約とか・・・。行き先別予約とかもっと現在と違う方法で利用しやすい方法を考えてほしい
90	男	60～69歳	伊賀	利用者、市の負担をへらし、便利な交通（デマンドタクシー等）
91	男	50～59歳	上野	バスではなく、乗り合いタクシーのような乗り物を増やせばどうか。行く範囲は、決められているような感じで
92	男	70～79歳	阿山	免許返納者には、何かの特典を考慮、等は？
93	女	40～49歳	青山	車輛の大きさなど地域性に合わせた物にするなどして燃料費などを減らすなど工夫しながら取り組むべきだと思う
94	男	18～29歳	上野	不用な経費の見直し
95	女	50～59歳	上野	不必要な忍者市アピール、ポケットパーク事業費を転換

番号	性別	年齢	住まい	今後公共交通はどのような考え方で進めるべきか
96	女	40～49歳	阿山	バスや鉄道以外の公共的な移動手段を考えていくべき
97	男	40～49歳	上野	デマンド型交通への移行を検討すべき
98	男	30～39歳	上野	様々なイベントを実施し、収益を増やす

資 料

伊賀市まちづくりアンケート (市民意識調査)

《アンケート調査の実施について》

市では、現在第2次伊賀市総合計画第2次再生計画を策定し、それぞれの施策について、市民のみなさんや地域、各種団体のみなさんと一緒に取り組みを進めることとしています。

このアンケート調査は、市民のみなさんが普段の生活で感じられていること、お気づきになられていることをお聞かせいただき、今後の伊賀市のまちづくりへの参考とさせていただくため実施するものです。アンケート調査へのご協力をよろしくお願いします。

2019（平成31）年2月



《おねがい》

- 封筒のあて名のご本人がお答えください。（ただし、ご本人が何かのご都合でお答えいただくことができないときは、ご家族に18歳以上の方がおられましたら、その方が代わってお答えください。）
- ご記入いただきましたアンケート用紙は、**3月7日（木）**までに同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れて、郵便ポストへ投かんしてください。

《その他》

- このアンケート調査は、市民のみなさんのご意見を幅広くお聞かせいただくために、**18歳以上**の市民のみなさんのうち、**2,222人**を住民基本台帳から無作為抽出により、選ばせていただきました。
- このアンケート調査の内容は、この調査以外の目的には使用いたしません。まとまりしだい、アンケート用紙は廃棄いたします。
- このアンケートについて、わからないことがありましたら、つぎのところへお問い合わせください。



伊賀市企画振興部総合政策課企画調整係

〒518-8501

伊賀市四十九町3184番地

電話 22-9620 FAX 22-9672

電子メール sougouseisaku@city.iga.lg.jp

1. あなたご自身のことについてお尋ねします。

問1 次の(1)～(7)の項目ごとに、あてはまる番号を1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

※伊賀市全体の分析のため、回答者お一人おひとりについて、以下の情報が欠かすことができません。性別については、性別による回答のばらつきを集計するため、お聞きしています。また、このアンケートの集計以外には回答は利用しませんので、ぜひご協力ください。

(1)性 別	1. 男性 2. 女性 3. その他
(2)年 齢 (調査票記入時点)	1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳 4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70～79 歳 7. 80 歳以上
(3)世帯構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦のみ 3. 2世代（夫婦と子どもなど） 4. 3世代以上 5. その他（ ）
(4)居住地区 (住民自治協議会 の区域) ※区域がわからない方 は、ご住所（町名な ど）をご記入くださ い。	1. 上野東部 2. 上野西部 3. 上野南部 4. 小田 5. 久米 6. 八幡町 7. 花之木 8. 長田 9. 新居 10. 三田 11. 諏訪 12. 府中 13. 中瀬 14. 友生 15. 猪田 16. 依那古 17. 比自岐 18. 神戸 19. 古山 20. 花垣 21. ゆめが丘 22. きしが台 23. 柘植 24. 西柘植 25. 壬生野 26. 島ヶ原 27. 河合 28. 鞆田 29. 玉滝 30. 丸柱 31. 山田 32. 布引 33. 阿波 34. 阿保 35. 上津 36. 博要 37. 高尾 38. 矢持 39. 桐ヶ丘 40. わからない（ 町、字（丁目））
(5)居住年数 ※伊賀市にお住まいの 期間。一時期他の地 域にお住まいだった 方は通算の期間。	1. 1 年未満 2. 1 年以上 5 年未満 3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満 5. 20 年以上 6. わからない 本市に転入前の直近の住所 <u> 都・道 市・区</u> <u> 府・県 町・村</u> 本市へ転入の場合、転入の理由（ ）
(6)職 業 ※複数の場合は主なもの。	1. 農林漁業 2. 製造業 3. 商業・サービス業 4. 建設・不動産業 5. 運輸・通信業 6. 金融・保険関係 7. 医療・福祉関係 8. 教育・保育関係 9. 公務員（8は除く） 10. パート、アルバイト（※ ） 11. 学生 12. 無職（家事に従事する場合を含む） 13. その他（ ） ※パート、アルバイトの方は、お勤めの職種番号（1～9、13）を記載してください。
(7)就労・就学先	1. 伊賀市内 2. 名張市 3. 亀山市 4. 津 市 5. 滋賀県甲賀市 6. 京都府南山城村 7. 京都府笠置町 8. 奈良県山添村 9. その他の市町（具体的に： ） 10. 就労・就学していない

2. 第2次伊賀市総合計画について

伊賀市では、めざす伊賀市のすがた（将来像）やまちづくりの基本理念、それらを実現するため必要な政策を示す基本構想と、基本構想に掲げる将来像を達成するための施策や事業を示す再生計画で構成された、第2次伊賀市総合計画を策定し、さまざまな施策の推進や事業に取り組んでいます。

問2 あなたは、「第2次伊賀市総合計画（H29.12.15 第2次再生計画概要版各戸配布）」をご存知ですか。次のなかから1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

1. 計画の内容を知っている 〔問2-1へ〕
2. 計画書又は概要版を読んだことがある 〔問2-1へ〕
3. あることは知っている 〔問2-1へ〕
4. 全く知らない 〔問3へ〕



問2-1 問2で1～3を選ばれた方にお尋ねします。

第2次伊賀市総合計画をどのように知りましたか。次のなかからあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 市役所窓口 2. 広報いが市 3. 各戸配布された概要版
4. 行政情報チャンネル 5. 市公式ホームページ 6. 市公式フェイスブック
7. 各地区市民センター 8. 住民自治協議会や自治会・区など、地域の自治組織
9. 新聞 10. その他（ ）

3. 定住意識について

問3 あなたは、伊賀市に将来もずっと住み続けたいですか。次のなかからあてはまる番号を1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

1. 住み続けたい 〔問3-1へ〕 2. できれば住み続けたい 〔問3-1へ〕
3. 移りたい 〔問3-2へ〕 4. できれば移りたい 〔問3-2へ〕
5. わからない 〔問4へ〕

問3-1 問3で1～2を選ばれた方にお尋ねします。その理由を次のなかから2つ以内で選んで、番号に○をつけてください。

1. 自然環境や広場・公園に恵まれているから
2. 土地になじみや愛着があるから
3. 隣近所の人々の気心が知れているから
4. 現在の住宅に満足しているから
5. 生活上便利なところだから（通勤、通学、買物、医療など）
6. 歴史・文化に恵まれているから
7. 地震など自然災害の不安が少なく、治安もよいから
8. 仕事の関係で都合がよいから
9. 医療・福祉サービスが充実しているから
10. 子育て・教育環境がよいから
11. 余暇や娯楽を楽しむ場が充実しているから
12. 住民自治の活動が充実しているから
13. その他（ ）

問3-2 問3で3～4を選ばれた方にお尋ねします。その理由を次のなかから2つ以内で選んで、番号に○をつけてください。

1. 自然環境や広場・公園に恵まれていないから
2. 土地になじみや愛着がないから
3. 隣近所の付き合いがむずかしいから
4. 現在の住宅に不満があるから
5. 生活上不便なところだから（通勤、通学、買物、医療など）
6. 歴史・文化に恵まれていないから
7. 地震など自然災害の不安があり、治安もよくないから
8. 仕事の関係で都合がよくないから
9. 医療・福祉サービスが充実していないから
10. 子育て・教育環境がよくないから
11. 余暇や娯楽を楽しむ場が充実していないから
12. 住民自治の活動が充実していないから
13. その他（ ）

4. 市内公共交通について

問 4 この1年間で市内の公共交通（鉄道、バス）を利用したことがありますか。
次のなかから 1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 利用した [問4-1へ]
- 2. 利用していない [問4-2へ]

問 4-1 問4で「1. 利用した」を選ばれた方にお尋ねします。どのくらいの頻度で、市内の公共交通を利用していますか。次のなかから 1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

- 1. ほぼ毎日 2. 週に1回程度
- 3. 月に1回程度 4. 年に数回 [問4-2へ]

問 4-2 問4で「1. 利用した」を選ばれた方は主な目的を、「2. 利用していない」を選ばれた方は、将来、公共交通を使うなら次のどの目的で利用されますか。次のなかから 1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 通勤、通学 2. 通院
- 3. 買い物 4. その他（ ）

問 5 公共交通の利便性を向上させるためには、何が必要と考えますか。次のなかから 2つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 乗り場（バス停）を増やす
- 2. 運行本数を増やす
- 3. 乗り継ぎを便利にする
- 4. 運賃を安くする
- 5. 乗車時間を短くする
- 6. その他（ ）

問 6 これから高齢化がさらに進み、免許返納者も増えることが予想されます。そのようななか、公共交通の維持費は年々増加していますが、今後どのような考え方で進めるべきだと思いますか。次のなかから 1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

- 1. 市民・市の負担を増やしてでも取り組むべき
- 2. 利用者の負担（運賃）を増やしてでも取り組むべき
- 3. 市民・市や利用者の負担を増やさず公共交通を縮小するべき
- 4. その他（ ）
- 5. わからない

5. 暮らしの現状について

問 7 暮らしの現状やお考えについてお聞きます。次の(1)～(11)の各項目について、1～6のなかからそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

記入例

(1) 男女を問わず、子育てや介護をするような雰囲気や環境があると思いますか	1	2	3	4	5	6
--	---	---	---	---	---	---

項目	はい	はい どちらかといえ	はい どちらかといえ	いいえ	質問の意味がわからない	関心がない
(1) 男女を問わず、子育てや介護をするような雰囲気や環境があると思いますか	1	2	3	4	5	6
(2) 人権同和問題に関する学習の機会や相談の機会が保たれていると思いますか	1	2	3	4	5	6
(3) 家族と過ごす時間や自分自身の時間がとれていますか	1	2	3	4	5	6
(4) 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心してくらせていると思いますか	1	2	3	4	5	6
(5) 公共施設の統廃合が進んでいると思いますか	1	2	3	4	5	6
(6) 市政に参加したいと思いますか	1	2	3	4	5	6
(7) 伊賀市は住み心地がよいと思いますか	1	2	3	4	5	6
(8) 地域に愛着や誇りを持てる子どもの育成ができていると思いますか	1	2	3	4	5	6
(9) 市の魅力を活かした情報発信ができており、移住・交流事業が進んでおり、また、人格と個性を尊重した共生社会が実現していると思いますか	1	2	3	4	5	6
(10) 福祉・医療サービス、公共交通、上下水道などの生活基盤について、使いやすいと思いますか	1	2	3	4	5	6
(11) 歴史・文化や伝統産業など、伊賀市が持つ地域資源を活かした、地域に賑わいを取り戻すためのまちづくりが進められていると思いますか	1	2	3	4	5	6

6. 伊賀市の現状と今後の重要度について

- 問8 あなたは、伊賀市が目指す次の取組みについて、どのように感じていますか。
 次の(1)～(47)の各項目について、現状の満足度(1～6)と、今後の重要度(1～4)をそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

記入例

(1) 健康づくり 生涯を通じ、健康に暮らせる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
----------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

項目	現状の満足度						今後の重要度			
	満足	いどちらば満足	いどちらば不満	不満	わからない	関心がない	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない

【健康・福祉】

(1) 健康づくり 生涯を通じ、健康に暮らせる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(2) 医療 身近なところで安心して医療を受けられる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(3) 福祉総合相談 さまざまな困りごとを総合的に支援し、解決することができる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(4) 障がい者支援 障がい者が、自分らしく安心して暮らせる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(5) 高齢者支援 高齢者が、生きがいを感じながら安心して暮らせる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(6) 生活支援 生活困窮者を支援し、自立を助けることができる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(7) 社会福祉・地域福祉 助け合いや支え合いにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(8) 子育て・少子化対策 子どもを安心して産み、育てられる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

項目	現状の満足度						今後の重要度			
	満足	い え ど ち ら か と 満足	い え ど ち ら か と 不満	不満	わ か ら な い	関 心 が な い	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない

【生活・環境】

(9) 危機管理 災害などの危機に強い	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(10) 消防・救急 火災や急病などで人命が失われない	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(11) 事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護） 犯罪や消費者被害を未然に防げている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(12) 環境保全 豊かな自然環境が守られている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(13) 一般廃棄物 廃棄物を減らし、再資源化し、残りは適正に処理できている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(14) 上下水道 安全でおいしい飲み水と、美しい水環境が守られている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

【産業・交流】

(15) 観光 観光客を呼び込み、もてなしている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(16) 農業 自然と共存し、人と人がつながる農業が元気である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(17) 森林保全、林業 森林や里山を大切にし、林業が元気である	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(18) 中心市街地活性化 中心市街地の賑わいがある	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

項目	現状の満足度						今後の重要度			
	満足	い え ど ち ら か と 満 足	い え ど ち ら か と 不 満	不 満	わ か ら な い	関 心 が な い	重 要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
(19) 商工業 商工業活動が盛んである	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(20) 産業立地 地域の特性を活かした新たな産業を創出している	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(21) 雇用、就業 働く人の意欲に応え、働く人の能力が発揮されている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(22) 起業支援 事業性、継続性のあるビジネスを創出している	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

【生活基盤】

(23) 都市政策 適正な土地利用により、まちの魅力が高まっている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(24) 住環境整備 だれもが安心な住まいで暮らしている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(25) 道路 道路ネットワークによって移動がしやすい	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(26) 公共交通 身近なバスや鉄道に愛着を持ち、みんなで支えている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

【教育・人権】

(27) 人権尊重、非核平和 人権に対する正しい知識を習得する機会がある	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(28) 同和問題 部落差別をなくす	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(29) 男女共同参画 性別による分け隔てをなくす	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

項目	現状の満足度						今後の重要度			
	満足	い え ど ち ら か と 満 足	い え ど ち ら か と 不 満	不 満	わ か ら な い	関 心 が な い	重 要	やや重要	あまり重要でない	重要でない
(30) 学校教育 子どもたちが、未来に夢や希望を持 てる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(31) 教育環境 子どもたちが、安心して学んでいる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(32) 生涯学習 生涯を通じ、生きがいを持ち活躍で きる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(33) 青少年育成 子どもや若者が、健やかに成長でき る	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

【文化・地域づくり】

(34) 多文化共生 国籍や文化の違いを認め、共生して いる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(35) 文化・芸術 豊かな感性を育む文化・芸術に親し むことができる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(36) 歴史・文化遺産 歴史や文化遺産を守り、未来へと引 き継いでいる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(37) スポーツ 気軽にスポーツを楽しむことがで きる	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(38) 市民活動 市民活動やボランティア活動が、活 発に行われている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(39) 域学連携 産学官連携*により、地域課題を解決 している	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
*産学官連携：企業（産）、大学等（学）、 政府・地方公共団体など（官）が連携し て、様々な取り組みを行うこと										

項目	現状の満足度						今後の重要度			
	満足	い え ど ち ら か と 満 足	い え ど ち ら か と 不 満	不 満	わ か ら な い	関 心 が な い	重 要	やや 重 要	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
(40) 住民自治 住民自治活動が、活発に行われている	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

【計画の推進】

(41) 地域内分権 ガバナンス*の確立による分権型まちづくりができています *ガバナンス：市民（団体）・地域・市がそれぞれの役割を担い、お互いに力を合わせ、より良い地域をつくる取り組みを継続すること	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(42) 広聴広報 理解と共感につながる市政情報の共有化ができています	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(43) 財政運営 健全な財政運営ができています	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(44) 組織・人事 市民の期待に応えられる組織・人づくりができています	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(45) 広域連携 圏域全体の活性化につながる広域的な連携ができています	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(46) 情報化 情報化による効率的な行政運営の実現ができています	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4
(47) 進行管理、行政マネジメント PDCAサイクル*による計画の推進ができています *PDCAサイクル：計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）の循環により、事業を継続的に改善していく手法の一つ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4

7. まちづくりへの市民参加について

問 9 あなたは、次の(1)～(45)の各項目について、何か心がけたり、取り組んだりしていますか。1～6のなかからそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

記入例

(1) 健康づくり 生活習慣を見直し、改善しよう努めている	1	2	3	4	5	6
----------------------------------	---	---	---	---	---	---

項目	当てはまる	当てはまる どちらかといえば、 どちらかといえ、 当てはまらない	当てはまらない どちらかといえ、 どちらかといえ、 当てはまらない	当てはまらない	質問の意味が 分からない	関心がない
----	-------	---	--	---------	-----------------	-------

【健康・福祉】

(1) 健康づくり 生活習慣を見直し、改善しよう努めている	1	2	3	4	5	6
(2) 医療 救急相談ダイヤル*などを活用し、みだりに救急車を使わないなど、適切な受診行動に心がけている。また、医療保険制度が安定的に運営できるよう、制度の理解を深めている	1	2	3	4	5	6
※救急相談ダイヤル：市民の皆様の救急医療や応急処置等に関する相談に24時間対応するためのダイヤル						
(3) 福祉総合相談 地域で困っている人に気づいたら声をかけ、話を聞き、必要などときには、支援機関につなげている	1	2	3	4	5	6
(4) 障がい者支援 障がいのある人への理解と認識を深め、障がいを理由とする差別の解消に努めている	1	2	3	4	5	6
(5) 高齢者支援 高齢者がいつまでも安心して暮らし続けられるよう、地域で取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
(6) 生活支援 生活困窮者に偏見を持たず正しく理解し、地域で孤立しないように努めている	1	2	3	4	5	6

項目	当てはまる	当てはまる どちらかといえば、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまらない	質問の意味が 分からない	関心がない
(7) 社会福祉・地域福祉 地域の生活課題に気づき、学び、その解決に向け、自ら取り組み、活動を広げている	1	2	3	4	5	6
(8) 子育て・少子化対策 子どもを持つ親同士が交流し、地域における子育てネットワークづくりに努めている	1	2	3	4	5	6

【生活・環境】

(9) 危機管理 自らの身は自ら守る取り組みを実践し、家庭や企業等での防災・減災対策に努めている	1	2	3	4	5	6
(10) 消防・救急 応急手当の技術を身に付け、実行できるよう努めている。また、住宅用火災警報器の設置等、家庭における防火対策を進めている	1	2	3	4	5	6
(11) 事故・犯罪防止（交通安全・消費者保護） 犯罪や消費者被害にあわないよう、正しい知識を身に付けている。また、交通安全に対する意識を常に持ち、交通マナーを守っている	1	2	3	4	5	6
(12) 環境保全 身近な環境を保全するために、自らできることを実行している	1	2	3	4	5	6
(13) 一般廃棄物 ごみの分別を徹底するとともに、地域における環境美化活動等に積極的に参加している	1	2	3	4	5	6
(14) 上下水道 水を大切にし、きれいに保つよう努めている	1	2	3	4	5	6

【産業・交流】

(15) 観光 観光客に対しておもてなしの心で接している	1	2	3	4	5	6
(16) 農業 地元農産物に親しみを持ち、地元で消費する地産地消に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6

項目	当てはまる	当てはまる どちらかといえば、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまらない	質問の意味が 分からない	関心がない
(17) 森林保全、林業 里山を大切にし、学習をして保全に努めている	1	2	3	4	5	6
(18) 中心市街地活性化 歴史や文化で培われてきた中心市街地の魅力を大切にしている	1	2	3	4	5	6
(19) 商工業 地元の商店や地元企業を利用している	1	2	3	4	5	6
(20) 起業支援 市内の起業家を応援するために、商品・サービスの利用や情報発信に協力している	1	2	3	4	5	6

【生活基盤】

(21) 都市政策 地域の良好な景観が保てるよう努めている	1	2	3	4	5	6
(22) 住環境整備 所有する建物の耐震化等、適正な管理に努めている	1	2	3	4	5	6
(23) 道路 地域や市民どうしの協力により、道路を大切に使っている	1	2	3	4	5	6
(24) 公共交通 自家用車に過度に依存することなく、節度を持って交通手段を選んでいる	1	2	3	4	5	6

【教育・人権】

(25) 人権尊重、非核平和 人権イベント等の人権啓発事業に参加し、人権問題について学び、行動している	1	2	3	4	5	6
(26) 同和問題 同和問題について、自らの問題として、部落差別の解消に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
(27) 男女共同参画 男女共同参画に関連する活動へ参画するとともに、仕事と家庭生活の両立に努めている	1	2	3	4	5	6

項目	当てはまる	当てはまる どちらかといえば、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、 当てはまらない	当てはまらない	質問の意味が 分からない	関心がない
(28) 学校教育 子どもたちが夢を実現できるよう、学校・幼稚園と手を携え、 子どもたちの支援に努めている	1	2	3	4	5	6
(29) 教育環境 通学のあり方検討や校区再編の協議、事業の推進に参画して いる	1	2	3	4	5	6
(30) 生涯学習 生涯学習の重要性を理解し、積極的に学んでいる。また、地 域の文化・情報の拠点である図書館を活用している	1	2	3	4	5	6
(31) 青少年育成 青少年の規範となるべきことを自覚し、青少年の健やかな成 長にふさわしい環境づくりに努めている	1	2	3	4	5	6

【文化・地域づくり】

(32) 多文化共生 外国人住民と日本人住民が違いを理解し、認め合い、尊重し 合えるよう交流している	1	2	3	4	5	6
(33) 文化・芸術 文化・芸術に親しんでいる	1	2	3	4	5	6
(34) 歴史・文化遺産 身近な歴史や文化財を守り、将来へ引き継ぐことができるよ う努めている	1	2	3	4	5	6
(35) スポーツ スポーツに親しみ、楽しんでいる	1	2	3	4	5	6
(36) 市民活動 自治活動や公益活動を理解し、主体的にまちづくりに参加し ている	1	2	3	4	5	6
(37) 域学連携 大学などが開催する市民講座やイベントに参加し、郷土意識 やまちづくりへの参加意識を高めている	1	2	3	4	5	6
(38) 住民自治 積極的に地域自治活動に参加している。また、伊賀市の魅力 や住みやすさを日常的に発信している	1	2	3	4	5	6

項目	当てはまる	当てはまる どちらかといえば、 どちらかといえ、 当てはまらない	当てはまらない どちらかといえ、 どちらかといえ、 当てはまらない	当てはまらない	質問の意味が 分からない	関心がない
----	-------	---	--	---------	-----------------	-------

【計画の推進】

(39) 地域内分権 市政や地域のまちづくりに関心を持ち、参加・参画するよう 努めている	1	2	3	4	5	6
(40) 広聴広報 市政やまちづくりに関する情報を積極的に受け取るよう努 め、その情報によって市政に参画している	1	2	3	4	5	6
(41) 財政運営 市の財政状況に関心を持っている。また、市の公共施設を大 切に使っている	1	2	3	4	5	6
(42) 組織・人事 行政職員と話す機会を持ち、お互いの理解を深めている	1	2	3	4	5	6
(43) 広域連携 近隣市町村との連携や交流に関心を持っている	1	2	3	4	5	6
(44) 情報化 マイナンバー制度への理解と活用にも努めるとともに、自らの 情報を自らが守るよう努めている	1	2	3	4	5	6
(45) 進行管理、行政マネジメント 市の総合計画に関心を持ち、第2次再生計画における市民の 役割を踏まえ、その実現に努めている	1	2	3	4	5	6

お疲れさまでした。調査票への記入は以上で終了です。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきましたアンケート調査票については、同封の返信用封筒に入れて、

3月7日（木）までに、郵便ポストに投函してください。

